

年刊 **AhSKI!**

ISSUE #4

1984

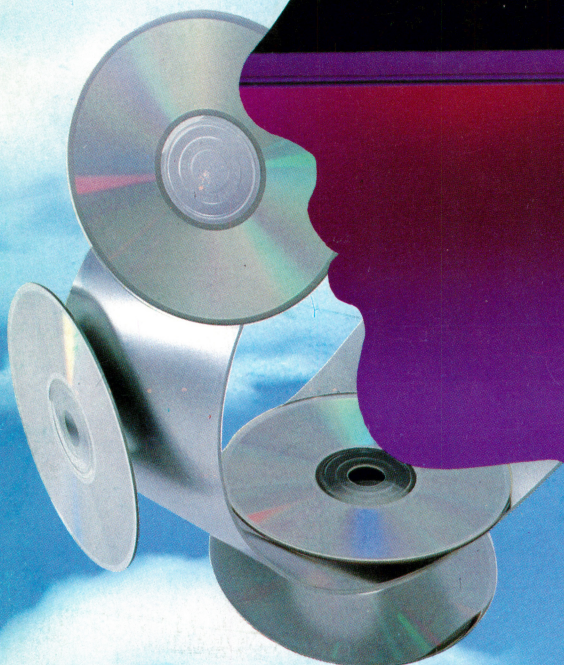
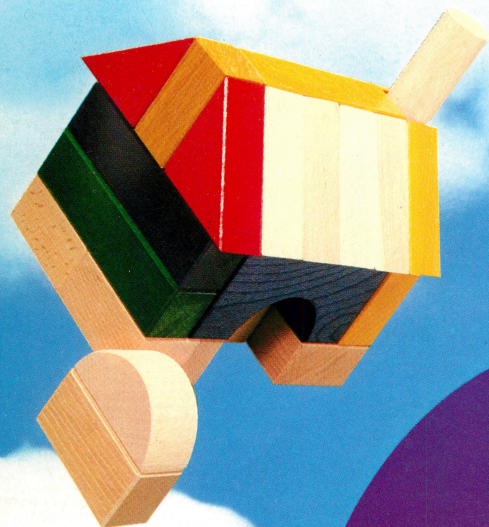
ASCII

パロディー版

特集

PC-8001系 PC-9801
FM-7/FM-8

ガウオーゲーム



巻末付録

PC-9801/8801
FM-7/8

UNIT+

LOAD TEST

Shammer社 ZOITY-1

特別読物 人間の没落

コンピュータ狐狗狸さん

コンピュータESPテスト

ガッツにCGしてね

AhSKI! EXPRESS

ちょっと[®]なプログラム

CONTENTS

特別読物 SPECIAL

19

人間の没落—コンピュータと理性 ボウル・フォン・ビンデンブルク 19

Der Verfall des Humanismus: Computer und Vernunft Paul Von Bindenburg 19

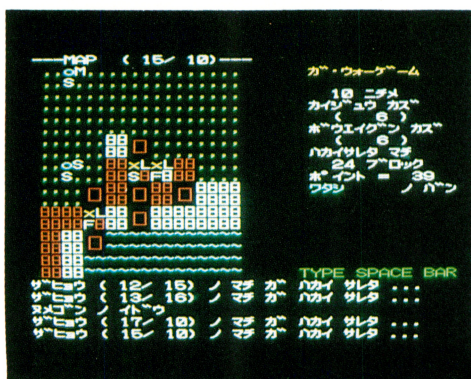
特集 THIS YEAR'S FEATURE

0C

ガウオーゲーム 福田紳一&徹夜組 0C

PC-9801/8801/8001, FM-8/7 プログラムリスト 10

GA-WAR GAME by Shinichi Fukuda & Midnight Hackers 0C
Program List for PC-9801/8801/8001, FM-8/7 10



帝都の夜空を真っ赤に染めて、大怪獣が荒れ狂う。ビルの間にとどろきわたる、悪魔の叫びを耳にして、その時はやく、彼の時おそく、正義の味方が帰ってくる。

パーソナルコンピュータだからといってOC CP/M (ソ連製)やLSD-OS (スイス産)で我慢する時代は終わりました。本号では世界の研究者がみんな使っている立派なOS, あこがれのuni+が一挙掲載されています。

```
1:dotdot.dir 1:dot .dir 1:valtan.dir 1:redkin.dir
1:$ od valtan
1:$ help

*** PC-9801 uni+ Command menu ***

(command) (option) (action)

ls          -s          list file name
              with cluster count (can not redirect)
              display one file per line

cat          -v          concatenate files

kitty       subset of cat

more         display contents of a file, one page at a time

upper       convert all lowercase characters to uppercase

lower       convert all uppercase characters to lowercase

head <N>    display <N> lines from the beginning of a file
```

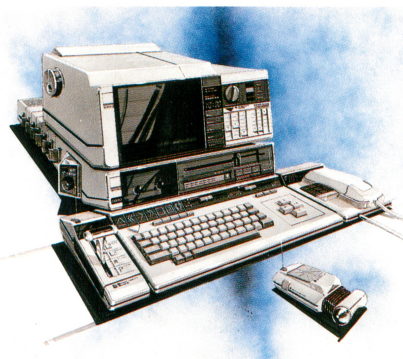
NEWS REPORT

Ah SKI! EXPRESS

ハード: 無印良品コンピュータ, ファッションキーボード 04
ハード&ジェネラル: アットホームワークステーション, アセンブラ少年, 他 05
ハード&ジェネラル: 粉末ソフト, 人柱コンピュータ 06
ヘッドライン: 新製品情報, 業界動向 07
デバイス&MSX: チップスライスMPU, 家電MSX 08
ジェネラル: IC修理に「ハリ」と「ツボ」, ネットワークウォーズ 0A
デバイス&ムービー: 除雪村素子, トム・ウェスト危機一髪 0B
HARD: No Bland Computer emerges, Keyboard be fashionable 04
HARD & GENERAL: At Home Workstation, Assembler Kids, etc. 05
HARD & SOFT: Powder Software, The sacrifice Computer 06
H E A D L I N E: What's on is market and industries 07
DEVICE & MSX: Chipslice MPU, Home appliances budding 08
G E N E R A L: The acupuncture and the point for repairing IC, Network Wars 0A
DEVICE & MOVIE: Tom West saga: One micro second from death..... 0B

04

オーディオ機器,あるいは電子レンジではないかという思われる程ハイセンスなデザイン。そして、美しいボディーに秘められた能力は?——他社のマシンとは全く異なるコンセプトを持ち、合体好きのアニメファン、コックピット指向のカーマニアの間で高い評価を受けているZooty-1. このマシンの魅力を裏表両面からレポートする。



ソフト&ハードウェアフィーチャー SOFT & HARDWARE FEATURE

26

PC-6001 コンピュータESPテスト 嶋田智幸 26

PC-9801, 8001 ガッツにCGしてね 佐藤 塩 2E

PC-6001 PSI test by Tomoyuki Shimada, Tetsu Uesaka 26
PC-9801, 8001, X-1, FM-7/8 Let's Garbage Collect? by Salt'n Sugar 2E

BUSYLESS TALK

BUSYLESS TALK表紙 KAZU 22

マイコン見栄講座 編集部 23

Paradox Island

匿名記者座談会—マイコン界この一年— 有象無象 25

BUSYLESS TALK cavern stray by KAZU 22
How to be a Bogus (ref. MIT Jargon file on TOPS-20) 23

Paradox Island
Foo and Bar talk
---3.16E07 seconds of microcomputer world--- by the rabble 25

22



都内某稲荷神社で発見された謎の巻物。TBNでは珍しく真面目にこの歴史の奇書に鋭くメスを入れます。この不可解な文章の真の意味、その驚くべき内容とは一体何なのか。この巻物は「でんさんぎ」の歴史を本当にくつがえしてしまうものなのか。不吉な予感を抱きつつ電神狐狸狗様の世界へとトワイライトゾーンしてみませんか?

COVER

ほんとはこれになる筈だったのにね、多数決では最多票をとったんだけど、やっぱりちょっと趣味っぽすぎたかな。千ちゃん、残念だったね。——というわけで、幻となった千丸達也デザインのYo表紙でした。



LOAD TEST

1C

LOAD TEST Shammer社 Zooty - I	編集部	1C
LOAD TEST Shammer Zooty- I	Editorial	1C

TINY BASIC NEWSLETTER

MSXコンピュータ狐狗狸さん	上坂 哲	29
Direct Mare Area ?		28
TBN マイコンなんとも相談室		2C
Yoのけっそうぶみ	鷹野陽子	2D
Thriller	by Michael Jackson	29
in Direct Move Area!		28
Control-B? ... T! (May I interrupt? ... Yes, sure!)		2C
(list (reverse (list (reverse ' (rettel)))) of 'yo)	by Yoko Takano	2D

28

ちよつとかなプログラム GRIZZLY PROGRAMS

HC-20 ラリー支援プログラム	中原 久	21
PC-6001mkII, 奇怪催眠法	新本信明	21
PC-9801, 9801E/F 125色ディスプレイ 幕地南仙		34
PC-9801+9881 リズムボックス マクシム・トローチ		3C
HC-20 Lally navigation	by Hisashi Nakahara	21
PC-6001mkII Automagical Sleep	by Nobuaki Shimamoto	21
PC-9801, 9801E/F Fudge to display 125 colors	by Nansen Kurechi	34
PC-9801+9881 Rythm Box	by Maxime Torohthi	3C

21

巻末付録

2F

UNI+ オペレーティングシステム	榊 正憲	2F
UNI-cross Operating System	by Masanori Sakaki	2F

EDITORIAL

編集部	02
Letters to the Editor	03
アフターケア	03
Making of AhSKI!	3D
Creep's Office	02
Letters to the Luser	03
Concurrent Care	03
Making of AhSKI!	3D

02

広告目次

< A ~ Z >	弘法.....3F
COMP SKI	御破算盤.....3F
KE-ZU.....21	スチュワードス物語.....3F
KANNIN-DOS-A.....21	スーパーゲートボールV.....3F
KINRAN-DON-S.....21	大解.....3F
MICOM WIFE.....1B	駄文プロセッサ・ポアス100J.....3F
Nezu Cafe.....表4	トントカイモ.....1B
SOUNDSHIP 7.....39	日系コンピュータ 2 世.....1B
VIDEO AhSKI!.....33	針・灸.....18
XSWマガジン.....1B	バグバイザー.....3F
< あ ~ ん >	フライト・シミュレータ.....3F
ウォーゲーム II ノラッドの摩手.....1B	ランドセルドコンピュータ.....3F
グレート・ドリーマーズ2.....表3	ロージシリーズ.....01

Go 'Hyper' with our 'Super' CompSKI™

Have you ever tried to outrun distinguished skier, like Ingemer Stenmark, or Phil Mehar at the 'Meta'slope like the Kurobishi in Happo-One or Cathedral Mountain in Oregon, U.S.? Except you are the FIS Ski World Cup winner, you will *never* succeed. That's for sure, as you know. But you can do it, with or **CompSKI™**!!!

The name **CompSKI™** has two meaning. First is 'the ski for Competition', and the other is 'Computerized SKI'.

CompSKI™ is the world first ski that is fully computerized to give you the highest performance you have never expected. **CompSKI™** is *totally* controled by built in special micro-processor to adapt its parameters: the tortional balance and strength, the flex strength and pattern, vibration absorbability, length and width or even the swing weight of it !!! These parameters are controlled by microprocesor which fed of bunch of information gathered by lots of built in sensors like strain gauge, solid state thermometer, gas accelaration censor, etc.

Not only the senced information, but *Your* skiing technic, which will be programed on your request at our distinguished dealer controls all the stuff required. What you requires on your purchase is to sit on the special device to measure your physical characteristics like muscle strength, reflex responsiveness, weight, etc.

Are you one of those computer freaks? If so, we'll tell a bit about secret of our **CompSKI™**. The processor used is the powerful 32bit full custom processor specially designed for real time control of ski. Along with the processor, 256Kbyte of ROM and 256Kbyte of RAM are the heart of our control system. Solid state strain gauge, thermo censor, etc. and a thin film battery works with electronic stuff.

Go and buy our CompSKI™ for your skiing life!!!!

Ask our dealer
or call toll free (800)123-4567
(for those who is outside of Tokyo)

Mountain Technologies and Co.,
South Blue Mountain drive way 519, Tokyo,
Japan

CompSKI™ is the registered trademark of
Mountain Technologies and Co.

旅立ちの四月。 世界的普及の名作と戯れる夜。

アドベンチャーの世界的名作『ペリー・ロージン』

国産機用 移植ずみバージョン。97種類好評発売中

1) パスワードを継ぐ者

人類最初のプログラマー、ペリー・ロージンは月に不時着、異星人のマイコンを発見。1000巻を超える一大スペースアドベンチャー堂々開幕。

2) 銀河のマイコンの黄昏

月から帰還したロージンは南青山にて新ソフトハウスの誕生を宣言。異星のソフトウェアを一部人類に悪用される事を防止しようとしたのだが…。

3) μ-Com 部隊

大銀河文明のマイコンを得たロージンとピーブは、驚異に満ちたプログラマーを集め行動を開始する。ところがそこへ凶悪宇宙人が襲来、地球全滅の危機が到来するのだが…。

5) 決戦！マイコン星域

ナイコンの大金星基地を手に入れたロージンが地球に帰ってくる、地球の要人達はBASICに取りつかれていた。第三勢力決死の反撃が開始されたのだが…。

7) 六つのマイコン要塞

ロージンはバグの無い星の存在にあこがれ、その星の捜索に全力を傾けた。が、バグ無族は65535年前に惑星ごと何処へか姿を消してしまったのだ。ロージンはその手掛りを時間域に横たわる赤色マイコンに見だし、広大な時空間を駆け巡る。

8) 銀河のマイコンを抜けて

バグ無族の残した謎のプログラムはパラメロン電子脳によって解読不能であった。だが、その怪奇な出力結果はロージン一行を65535年前への旅へと導くのであった。

9) 死に行くマイコンの惑星

P1転送機によって未知のディスク領域に投げ込まれたロージンは、そこに赤く輝く小さなセクタを発見。しかしディスクが突然動き出し、プログラマーの一人が姿を消すという怪事件が…。

10) 宇宙のマイコン者

超絶対サブルーチンコールでベガ星域に到達したロージンは、そこで驚くべき光景を目撃する。トロン族を救うには永久ループの秘密を解明せねば。ついに銀河最大のプログラムに挑むロージン。

11) マイコン戦争回避せよ

リターン効果を駆使し地球に帰還したロージンだが、地球では新たな勢力-Disk BASIC-が暴走していた。熟慮の上、腹心の部下C/P Mを工作員として送り込むが…。

12) 秘密マイコンX

金星大密林の奥深く、ナイコン基地のパラメロン電子脳は、半径500bitのプロテクトを張り巡らし、何人のコピーパーをも拒んでいた。コピーパーを取るべく指令を受けたDisk BASICの二重スパイ・ミスはロージンと共に基地に潜入する。

13) 超マシン出現

他のマシンのプロセスを自由に操る事の出来る超マシン・オーバーヘッドは、不敵にもロージンへの挑戦を開始した。さしものロージンは絶体絶命！？

15) マイコン商人スプリング

大宇宙にその名を轟かしたナイコン帝国も除々にその支配力を失っていった。が、ナイコン族末裔の一族が全銀河のマイコン販売権を独占しようとしていた。自由な流通を願うロージンは立ち上がる。

16) マイコン皇帝の反乱

突然世界の主要都市で無数のマイコンがそのジョブを放棄し、圧倒的なスケジューリングで次々とプログラマーを打ち破っていった。ロージンあやうし！

17) 燃えるマイコン惑星

対オーバーヘッド陽動作戦の為に、マイコン惑星のマイコン達は日夜オーバーロードなジョブを強いられ続けた。一方この事実を知ったロージンは暴走を回避すべくマイコン惑星に向かうが…。

19) 望郷のマイコン帝国

ロージンは大宇宙の覇者超軟件と巡り合い、パスワードの後継者としての道程をたどるのだった。幾度かのログオンの末たどり着いたシステムはなんと電子脳パラメロンだったのだ…。

21) 宇宙船マイコンSOS

惑星ユニッペケの独裁者デーモンは、ナイコン帝国への一揆をくろみロージンを味方にしようとしてスケジューリングする。一方デーモンの野望を打ち砕いて帝国とのマージを図ろうとするロージンは密かにVMSを支援しようとするが…。プログラマーの新たな飛躍をめざすロージン！

22) マイコンの麻痺商人

ロージン麾下の精鋭部隊が、ハイパーハッカー症なる怪奇な病気に侵されハッカーと化した。しかも原因は人工的な科学物質に依るものと判明。ロージンは反撃を開始する…。

23) 銀河の病巣マイコン

奇病ハイパーハッカー症の正体を突き止めたロージンはいまやその基地シリコンバレーを目指してまっくら。臥せるスミスの姿も痛ましく、ロージンの怒りは爆発する！

24) マイコン替え玉作戦

スプリングのパラメロン電子脳に虚偽のバリエーションを首尾良く細工したロージンも、思わぬ所でタイミングのミスを知られた。このミスを復旧する奇想天外なプログラムとは如何に！

25) マイコン死す

ロージンの設計によりスワップ星系目指し二種のプログラムが飛来する。ロージンの設計成功の確率は？ 以後のシリーズで重要人物となるシンボリックも初登場。

26) 仮面のマイコン

ロージンはナイコン女性リズを妻に迎え60マシンサイクルを経た。この歳月はノングレ処理をしていないナイコン族に致命的打撃となり、そのシタックスシュガーがロージンの刻下の急務となる。彼は如何なる方策を施すのか？

27) マイコンの決闘

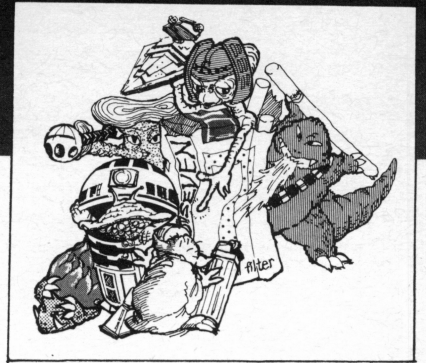
三河屋惑星パークで愛妻リズの処方のヒントを得たロージンだが、この惑星に潜行していたオーバーヘッドからフラインクの闇討ちを受けてしまう。愛妻リズの運命や如何に。ロージン最大のピンチ！

28) マイコンの恐怖再び

遠隔操作の術で再び地球のマイコンを乗っ取るというオーバーヘッド。この陰謀に気付くのがおくれるロージン。地球上の全プログラマーの運命や如何に？

30) アトランティス・マイコン要塞

プログラムをスパゲッティに変えていく見てもおぞましBASIP



C. さすがのロージンはこれに打つ手段は無いようだった。しかし彼の旧友カジャールはかつてアトランティスでこのBASICと対決していたのだ。ロージンはカジャールに会いに行こうとするが…。

32) マイコンの牢獄

惑星の住民を一人残らずさらっていくFortranはいまや全銀河系を呑み込もうとしていた。Fortranとのリンクを試みるロージンはスコピングの保証のない敵地へと乗り込んでいく。

33) マイコン大脱出

無事Fortranへのリンクをし得たロージンは、幽閉されていたローカルバブルを無事アンリンク、もとのオブジェクト・オリエンティッドな世界への帰還を試みるが…。次元の歪が彼を無事返すか否か…。

34) 消えたマイコンの星

入出力星系のガッセンナ産出惑星イオでは、独裁者シイホの圧制に苦しむ集編民族であふれていた。このイオに平和を取り戻すべくロージンは「シイホにはシニ」作戦を展開しようとしていた。この騒ぎに乗じてスオンも動き出した。危うしロージン！いま万感の思いを込めてロージンは汽車にのる。

37) 三人の裏切りマイコン

或る日ロージンの管理するジョブが次々とセグメンテーションフォールトを起こしてしまう。残されたコアを解読しその原因を探ろうとするロージンだが…。

38) 赤いマイコンの対決

赤いマイコン。それは目にも止まらぬスピードでロージン達のジョブに攻撃をかけてくる。赤いマイコンに立ち向かう事の出来るのは本当にニュータイプのプログラマーだけなのだろうか。新しいプログラマーの覚醒の確証を求めるロージンの部下ノロフ。

40) マイコン地獄・グレイビースト

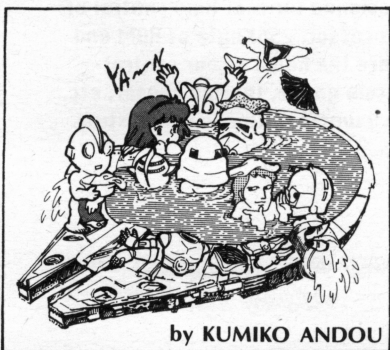
惑星ドメインに到着したロージン一行は、その空間の歪にタイムアウトの危機に遭遇する。そこで彼等に出会ったDr.ジョークストラの援助を得て異次元デモンを獲得に行くのだが。またも新たな危機が迫り来る。

41) 偽装のマイコンゲーム

惑星コナムは深刻なエネルギー不足に悩まされ、あらゆるマイコンゲームは実行禁止とされていた。ところが、このエネルギー不足は秘密プログラムの開発に起因している事を知ったロージンは、再びコナムでのゲーム解禁を目指して戦い始めるが…。

97) ひそやかなウインドー

ロージン最新刊！4321年800余りの各システムを代表するプログラマーとエンジニア達がロゼックスの議事堂に集まった。大執政官ロージンの死を正式に記録し、その後継者を決める為に。おもしろその第一候補「三四郎」元帥がSL/3を率いて帰還しようとしている。だがその三四郎元帥の暗殺を企むウインドー・マナー・ジャックが暗躍を始めた。



by KUMIKO ANDOU

好評発売中！ 上記の他に反省堂のソフトウェア・ラインナップ

・Start Recシリーズ 1~32

スペース・ロールプレイングの決定版。SSUエンコラプライズ何処へ行く。

・キャプテン・フォートランシリーズ 1~43

愛機コメットさん号に乗り、太陽系の平和の為戦うキャプテン・フォートラン。スペース・ロールプレイングの古典的名作。

・ハッカーズ・クイン・ロマンス 1~21

このシリーズを制覇せずに、ロマンスを語るなかれ。愛の教則本と呼ばれた同名小説をプログラム化したロマンス・アドベンチャー。

近日リリース予定のソフトウェア

・ブッダ・ザ・スーパースター

(ミュージカル・ロールプレイングの決定版)

・そしてバクもいなくなった

(ミステリー・アドベンチャー)

・2010年 発狂の旅II

(モノリスの謎に挑むHAL-9001mk II、スペース・アドベンチャー)

・Start Rec シリーズ 33~37

(スペース・ロールプレイングのベストセラー)

株式会社反省堂ソフトウェア・システム

東京都境界区百石1-2-3 東北線山ビル

ここで紹介したソフトウェアは全てXSW用の物です。他機種の物についてはお問い合わせ下さい。

安心して笑いたい

今年も、このような形で AhSKI! をお届けすることができました。倍々ゲームで誌面も増え、本号はなんとトータル68ページとなりました。それでも実はまだまだ足りず、闇に葬られた沢山のアイデアがありました。また、ガ・ウォーゲームにみられるように、例年どおりプログラムリストに大幅なしわ寄せも生じております。ですから、本号がまた皆さんに喜んでいただけたなら、来年は更に大きなページ数でゆったりと、そしてもっともっと楽しめるものをめざしてパロディ版制作にはげみたいと考えております。

ふつう、人は楽しく暮らしたいと思います。それぞれ異なった思いを持った人間が集まって生活しているのですから、当然、常に自分の思いどおりになるものではありませんが、心身の健康に不安がなく、日々の暮らしを安定して送って行けることが、楽しく暮らすための最低条件と言えるでしょう。これは憲法に謳われる健康で文化的な最低限の生活の要件でもありますから、これを望むのは当然の権利であり、かつもっともささやかな願いでもあります。

しかしながら、最近、健康と生活に対する不安がとみに高まっています。

昨年秋以降、米ソ戦略兵器削減交渉と欧州中距離核兵器制限交渉が相次いで無期限中断し、これをうけて Bulletin of the Atomic Scientists 誌表紙の世界終末の時計は1分進み、その日の午前零時まであと3分に迫りました。交渉がされていれば大丈夫というものでもありませんが、それすら行われなくなってしまった現実、私たちの頭上にミサイルが降り注ぐ時への着実な接近と感ぜざるを得ません。さらにまた、平和な日本で私たちがパロディ版にうつつをぬかしているあいだにも、世界の随所で地獄の劫火の火種がくすぶり続けています。アフガニスタンで、グレナダで、エルサルバドルで、世界の火薬庫と呼ばれる中東ではレバノンとイラン・イラクの2個所で。そして日本のすぐ隣の朝鮮半島でも。

天球を覆いつくすダモクレスの剣を支える糸は、いまにも切れてしまいそうに思えてきます。

核ミサイルがいつ落ちてくるかわからない

という現実のもとでは、もう正常な思考なんてできなくなってしまいます。明日には原子のガスにされてしまうのかと考えたら、自律なんてできません。すてばちになって、なげやりなその日ぐらしで刹那的な快樂ばかりを追いかけたくります。多くの人がそんな状態に陥らずにいるのは、その最後の瞬間まで人間でいたいからでしょうか。それとも、それでも明日は来るものと信じているからでしょうか。

じゃあ、どうしたらいい? ——わかりません。

無責任となじらないでください。簡単にみつかると答えるなら、とつに先賢たちがみつけて実行しているはず。けれども、見、知り、考えることがその要諦といえるでしょう。その先どうしたらいいのかもわかりませんが、少なくともははっきりしているのは、人類の滅亡を望まないにしても、利益を得るために積極的にそれに加担している人が確かにいることです。古来、戦争の多くはそういった人の手で引き起こされてきているのですから、彼らの巧妙な、ひそやかな動きを監視し阻止するのは、最低限の権利を主張するための最低限の義務ではないでしょうか。

実際、具体的にどうしたらいいかなんて、見当もつきません。100年後に人類の文明がもし続いていけば、そのときの歴史の教科書を見ると解答がみつかるでしょうが、今この時点では、反核団体に加入して市民活動をしたらいいのか、自衛隊違憲合法論で物議をかもししている非武装中立の社会党を支持すればいいのか、あるいはアメリカの核の傘を信じ、さらに積極的にその核戦略に加担してミサイル迎撃衛星の開発でも手伝うのがいいのか、どれも答えであり、同時に答えではないように思えます。

しかし、この本の読者である皆さんは、多くの人々よりもはるかにコンピュータを中心とするこのエレクトロニクス社会の現実の姿を知っているのです。たとえばアメリカで以前起きた、ゲート IC と思われる40セント程の素子1個の不良のために核戦争になりかけた事件の、本当の恐ろしさがわかるでしょう。こういった知見を活かす機会があったら逃がさずにとらえて、その知識と経験を生かして欲しいと思います。楽しく暮らすために。そして、笑って来年のパロディ版を読むために。

高橋 直穂

EDITOR 宮崎 秀規 大熊 正美
高橋 直穂 中本 健作
渡部 信彦 福井 公子
戸島 国雄 吉田 真木
日野美奈子

SPECIALISTS 松岡 洋 井上 行彦
秋山 秀樹 前田 成人
倉沢 良一 鷹野 陽子
伊原 幸男 山田 真也
千丸 達也 石川 晃久
宮野 友彦 堀口 和義
福田 伸一 小松 徹
関野 智彦 瀬古 貴敏
植松 直也 寸村 剛
新本 信明 砂原 秀樹
辻村 健 結城 敏也
吉田 節 林 竜之介
永井麻奈美

IDEA MEN 松田 充弘 嶋田 知幸
大嶋 直人 上坂 哲

UNI+ 井芹 昌信 榊 正憲

DESIGNER 北沢 智志 西田 佳子
荒井 清和 佐伯 誠
山司千津子 深井 丈二

アスキー・パロディー版 1984

1984年4月1日発行
定価370円

編集・著作 アスキー株式会社

〒107 港区南青山5-11-5 住友南青山ビル5F
振替 東京4-161144
電話 03-486-7111(代表)
発行者 塚本慶一郎
©1984 ASCII Corporation. Printed in Japan.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について(ソフトウェア及びプログラムを含む)、株式会社アスキーから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

編集担当 月刊アスキー編集部
印刷 三共グラビア印刷(株)

LETTERS TO THE EDITOR

アンケートはがきから……

このページに掲載された方にはアスキー特製バッグをさしあげます。



丸亀市 安野隆志

▶ 皆さん！ 私の悩みを聞いて下さい。私は青山にあるコンピュータ関係の出版社に勤める女の子です。この会社が悩みの種になっているのです。嫁入り前の（決して嫁ぎ損ねたわけではない！）女の子の明るいはずの青春が会社のおかげでメチャメチャです。退社時間は5時30分のはずなんです。忙しくなるのはそれからです。夕食だって高くてもまずい出前を取るという生活。アフターファイブをエンジョイするなんて、考えられません。せめて周りに素敵な男性がいれば、まだ救われるんですけどね……。何たってオフィス・ラブとは無縁の会社なんです。まあちゃっかり内部調達した人もいますけど。

丸の内の会社に勤めている友達なんか5時ともなればサッサと退社。同僚とアフター・ファイブをエンジョイしているというじゃありませんか。最近青春をこの会社に捧げようと思った（あきらめた？）ので割り切っていますが、せめて残業の時間だけでも楽しく仕事できる方法はないでしょうか？

八王子市 日野 美奈子

▶ 残念ながら昨今のベンチャー企業はそんなに甘くありません。そのかわりどこぞの会社みたいに、嫁ぎおくと肩をたたいたりしません。実力さえあれば重用してくれます。だから、あなたも編集者をめざして入ったからには、早く夜型に

体内時計を合わせなさい。そして、せめてボツ5回で1本の原稿を仕上げるようにしなさい。もう僕は、たかだか50行を30回も見てあげないよ。

▶ この前、家の近くの山が突然割れて、中から変な飛行機が発進したと思ったら、何事もなかったように山は閉じてしまったのです。

その事を友達に話しても、だれも笑って信じてくれません。

Ah SKI! の皆さんが住んでいる付近にもこんな事が起こるのでしょうか？

そういえば、最近誰かにつけられているような気がするのですが……

富士の宮市 匿名希望

▶ ここだけの話ですが、恐らくそれは日本が密かに作ったウルトラ警備隊の秘密基地でしょう。

あなたをつけ狙うのは、あの地球侵略を狙うメトロン星人に違いありません。あなたの生命が危険にさらされています。

今すぐ000をダイヤルしてゼロテスターに緊急通信をして下さい。それができなければ、どの周波数でも構いませんから、無線機で国際救助隊に連絡をとって下さい。もしくは夜空にバットサインを照らして下さい。または近くのお店でロケット型の笛を買って三回繰り返して吹いて下さい。

フロッピーイヤリングプレゼント

安野さんのイラストをもとに、Ah SKI! 編集部スタッフは実物を作っていました。このフロッピーイヤリングをAh SKI! の愛読者3名にプレゼントします（但し可愛い女の子に限りです）。また、写真の専用ディスクドライブも当選者のお一人に特別プレゼントします。是非、つけてみたいというモノズキな女の子は住所、氏名、年齢、を明記の上、あなたの顔写真を下記まで送って下さい。締め切りは5月31日（当日消印有効）です。

〒107 港区南青山5-11-5 住友南青山ビル

（株）アスキー 年刊Ah SKI! 編集部

フロッピーイヤリングプレゼント係

■全日本Hackers Bank新会員募集のお知らせ

この度当Bankでは、（株）アスキーで開発された新LAN・ALAHENを導入し、会員の方々に超大型マシンからスーパーパーソナルまで、各種プロセッサの利用サービスを開始する事になりました。対象プロセッサはHAL-9000、コロッサス、ガーディアン、ヘスパー、ゾラック、マイクロフト、フェリス、ソクラテス、トリフィド等です。

サービスは年中無休、24時間稼働で、いつでも何時間でも利用可能です。また9～17時は昼間割引として、料金半額で御利用頂けます。なお特に重いJobの実行時には、ALAHENの仮想マシン転送機能を利用して、コンピュータの出前も行う予定です。

入会御希望の方は下記へ、21時から7時までの間にお電話下さい。お近くに会員を御存知の方は、そちらからmailでお申し込み下さっても結構です。なお会費につきましては、当Bankが依頼するプログラムの作成、という形でのお支払いも承っております。

〒118-11 明日機郡発火村大字1 小字11

全日本Hackers Bank Tel 09-29-4989



AFTER CARE

1983年パロディー版 南青山アドベンチャー

\$0BページのPASOPIA版BIOSの次の部分を訂正して下さい。

\$9048 3A 3E FD →C3 19 91

\$90E1 21 10 90 →CD 0D 91

\$90E8 70 14 →02 91

\$90F2 70 14 →02 91

同じく、\$9100を次のように訂正した上で、\$9108以降をつけ加えて下さい。

また、\$0Dページからのリスト中、次の部分を訂正して下さい。

\$0Dページ \$9220 F6→D6

\$0Eページ \$A39F 0B→09

\$13ページ \$E606 42→43

これでNUMBER LOCKルーム関連のバグ2つが直ります。あまり大勢に影響のない部分

ですが、すでに解かれた方も上記訂正後、念のためもう一度プレイして完全征服を確認して下さい。

9100 : 1D C9 CD 70 14 3A 14 FB --11
9108 : B7 C8 E1 18 E7 AF 32 14 --ED
9110 : FB 3C 32 55 F8 21 10 90 --18
9118 : C9 3E 08 B9 20 0F 3E 1D --FB
9120 : CD 92 08 3E 20 CD 92 08 --DD
9128 : 0E 1D C3 99 90 3A 3E FD --45
9130 : C3 4B 90 1A 1A 1A 1A 1A --E1

LTEに実名で登場した担当者です。あの便りはいくまでフィクションです。Ah SKI! 編集部には素敵な男性が沢山います(?) / 仙台から八王子に移り住んで一年。都会アレルギーもなくなったので23区内に進出したいと考えています / ♡写真を送って下さった男性(25～30才に限る) 1名に20インチフロッピー型クッションを差し上げます。M.日野

イースト・フレンドより無印良品[®] パーソナルコンピュータ

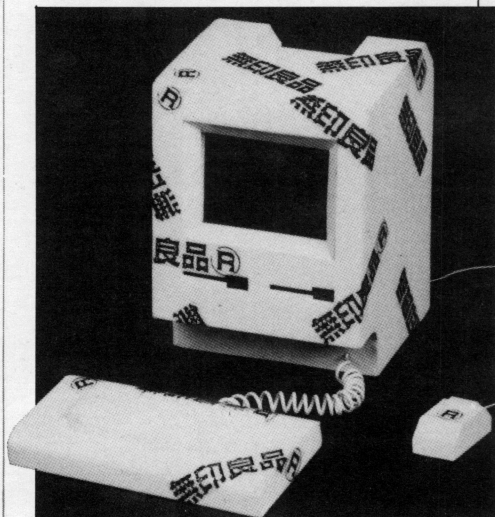
大手スーパーのイースト・フレンドは以前から同社が積極的に販売してきた無印良品[®]製品の一環として、無印良品[®] パーソナルコンピュータを4月1日から販売すると発表した。統合化ソフトウェアを日本で初めて搭載、ポインティングデバイスとしては日本の生活環境に最も適した無印良品[®] キャット[™]を採用、ソフトウェアオリエンテッドなパーソナルコンピュータである。

バンドリングされている無印良品[®] 統合化ソフトウェアの内容は無印良品[®] 日本語ワープロ、無印良品[®] リレーショナルデータベース、無印良品[®] 計算・集計プログラム、無印良品[®] グラフ作成プログラム、無印良品[®] 欧文ワープロ、CP/M-MS-DOSへのファイルコンバータ、無印良品[®] 日本語デカルト[™]である。無印良品[®] BASIC、無印良品[®] C、無印良品[®] Lispは別売される。無印良品[®] 日本語ワープロは文法解析をサポート、無印良品[®] 漢字RAMボードの追加によりJIS第二水準までの漢字を使用可能。

MPUはMC68010 Lコンパチブルの無印良品[®] MPUを8 MHzで動作させている。オプションで無印良品[®] コ・プロセッサをサポート、メモリはRAM256Kbyte、ROM16Kbyteを標準装備、無印良品[®] RAMカードの増設によって最大1 Mbytesまでの拡張が可能。第一水準の漢字ROMを標準で内蔵している。

本体には2ドライブの無印良品[®] 5.25インチフロッピーディスクを標準で内蔵。両面倍密度トラックで計1.4Mbytesの容量を持っている。また外部記憶装置として無印良品[®] 5.25インチハードディスク（アンフォーマット時12.58Mbytes）を2台まで接続できる。外部I/OとしてRS-232Cポート、セントロニクスのパラレルインターフェイスポートを装備している。ディスプレイには640×400ドットのビットマップ方式、内蔵の無印良品[®] 9インチレモンイエローモニター使用時はモノクロ、RGBコネクタを介して外部の無印良品[®] カラーディスプレイに接続した場合には3原色でのディスプレイが可能。無印良品[®] キーボードはステップスカルプチャータイプインターナショナル配列を採用。テンキーはオプション。本体のサイズは34.4cm(H)×24.

6cm(W)×27.6cm(D)。重量は7.5kg。運搬用の無印良品[®] ショイコはオプションとなっている。価格は無印良品[®] パーソナルコンピュータが498,000円、無印良品[®] RGBディスプレイ98,000円、無印良品[®] JIS第二水準漢字RAMボードが29,800円となっている。



本体は清潔なイメージを前面に押し出して白で統一、ワンポイントの「無印良品[®]」マークがナウい感じを与えている。

キーボードもファッションの時代

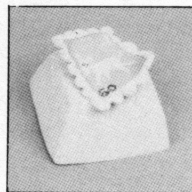
NFCホームエレクト社はこのほど、自社のパーソナルコンピュータPCB88シリーズと同98シリーズ用にそれぞれ専用のファッションキーボードを10数種類開発、販売を開始した。ここでそのすべての詳細を紹介するスペースはないので、そのうちの代表的な2種類を紹介しよう。

「SM-01」

ピンボールを始めとして、各種激しくキーを叩いてしまうゲームにも充分耐えられる強化型キーボードSM-01タイプ。従来、酷使されすぎているキーボードの痛みやすい部分はキートップの支軸、接点部分、キートップ

自体の順に被害が大きい。そこで同社では、キートップの支軸にはドライバーの軸部分に使われ定評のあるバナジウム合金を使用し

「う」は「うんこ」を採用。リアル感は抜群だ。



「き」は「切手」。多色刷りでうっとりする。

て十二分な強度を得て、接点部分は金メッキ仕様でガス封入型にして接触不良を

軽減し、キートップにはスキーマの原材料として良く知られているカーボンファイバーを使い、軽くて弾力性に富んだ特性を得ている。しかも、あまり乱暴に扱うとCPUの判断により電撃ショックに見舞われるので、あらためてキーボードを大切にしようということ副次的な効果を持つ点に注目したい。価格は29,800円。

「BOARDS 3-D」

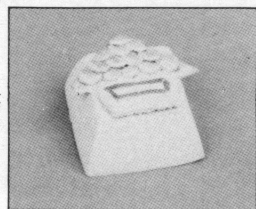
この郵政省御用達3-Dキャラクタキーボードは、目的のキーの位置を即座に探すことができるもの。従来のキーボードは、慣れるまではキートップの文字をいちいち読まなければならない。しかし、それでは文字を頭の中で判断しなければならないため、処理効率をずいぶん犠牲にしていたのである。

つい食べてしまいそうな「アンパン」の「あ」。

今回発表されたこのキーボードは、コンピュータを初めて触る人でも早ければほんの1時間程度で慣れることができるように、キートップがすべて立体彫刻となっている。例えば、ホームクリアキーは家の形に仕上げられてあり、「き」は切手に、「あ」はアンパンに、@キーはでんでん虫の形とメリを備えていたりといった具合である。これによって瞬時にキーの判断ができるようになるし、見た目もなかなか美しいものに仕上がっている。インテリアとしても最適であろう。価格は89,800円。



ホームキーはお菓子の家を型取った「お家」キー。インテリアとしても手頃だ。



アットホームワークステーション 「だんらん」が新発売

最近日本でも相次いで高機能ワークステーションが発売されているが、(株)TCPはこのほど、厚さ3cmの超薄型ワークステーション「だんらん」を開発、販売を開始する。

同社は以前にもパーソナルコンピュータ「極悪1号」、「Lika ワークステーション」などを発表しており、日本の風土に根ざした技術力には定評がある。

今回発表された「だんらん」は「Lika」をベースに、厚さ3cm、幅60cm、奥行き60cmの扁平な形状にまとめたものである。同社では「だんらん」の開発にあたって次のようにコメントしている。

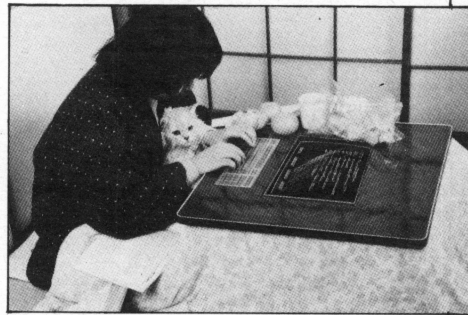
「我々はワークステーションの開発にあたって、ウサギ小屋と呼ばれる日本家屋を徹底的に研究し、それに適したプログラミング環境を模索した。その結果、日本の典型的四畳半の空間を最も効率良く使用し、かつ快適な作業環境としてのコタツに注目した」。

「だんらん」は写真のようにコタツ板の代わりに設置され、キーボード、ディスプレイは「だんらん」に埋め込まれた形となっている。ポインティング・デバイスには無線方式の「ペルシャ」を採用しており、補助暖房器具としても使用することができる。なお、Likaと互換性を持たせるため、Likaのマウス「くちびるヌード」をオプションでサポートしている。

プログラミング環境とはハードウェアよりも、ソフトウェアにその成否がかかっている。「だんらん」でも様々なプログラミングツールを統合し、ユーザーの負担を極力なくしている。プログラミングツールとしてはInterlisp-Dの持つDWIM (Do What I Mean) 機能を強化したDSIS (Do Shitara Index Show)をサポートし、何をしたらいいかわからない人にも仕事を与えてくれる。また、PA (プログラマーズ・アシスタント) はプログラミング以外の仕事もアシストする「お手伝い」に、マルチウインドウを拡張したマルチウインドウ等がサポートされている。

また、TCPではコタツでの作業に欠かせないアイテムとして、愛媛農協と提携し愛媛ミカンの配達サービスも代行するとのことである。

なお、冷え込みの厳しい北海道、東北及び上信越地方向けには、コタツ内にキーボードを設置した防寒バージョンを提供する予定である。同社では「だんらん」をアットホーム・ワークステーションと称して全国一斉発売するとしている。本体の価格は198,000円。



日本という環境でしか生まれない高機能ワークステーション「だんらん」。

遂に出現「アセンブラ少年」

先程行われた千葉CATVの「第44回なんでもチビッコ世界一」で凄い少年がデビューした。この番組は御存じの通り、中国四千年一伝統の味を極めた少年や、アマゾン河ピラニア早喰い大会で1時間に3000匹のピラニアと、



本誌取材記者のインタビューに快く応じてくれたキム少年。満面の笑顔にも、そこはかたない卑猥、イヤ悲哀が感じられる。

オカズにワニ3匹を食べた少女など多彩な芸を見せることで人気のバラエティーショー。

この日の放送は、長野の郵便局でスタンプ押しのアルバイトをする元雑誌編集長と称するM氏の長男A君(1歳)が信州蕎麦の手打ちを目隠ししてやってのけたあと、問題の中国生まれのキム少年(6歳)が登場。スルスルと舞台上に現れた大きなパネルにはZ80、6502、8086、68000などのアセンブリ言語で書かれたソースプログラムが書かれている。キム少年は一瞬そのパネルを見たかと思うと、やにわに16進コードを口走り始めた。答えの書いてあるテロップを司会者の鈴木検事が指し示しながら緊張の一時が過ぎると、会場には歓声と割れんばかりの拍手が響き渡った。すべてが正解。鈴木検事の質問にキム君は「01010100010000010100101101001111」と答えるのみ。父親の忤閑媽 (High Dawmug)

氏は中国で美的電脳公社でOSの開発に携わっており、「キムアカゴトキリストアソビシタアルネ」とよく分からないこと言っていたことよ。

キム君は1歳の時、その才能を人民大会で認められて遣米使としてMITに留学していたという。夏休みにシリコンバレーでアルバイトしているところをSVGのT・ケイツ氏に誘拐され、システム開発に従事。そこを通りかかった日本の家電メーカーのヘッドハンターに拉致され、日本に連れてこられた。今評判のZooty-Iは彼によって設計されたもの。その仕事のために腐ってしまったキム君は、遂にテレビに出てしまうほど落ちぶれてしまったのである。幼年にして既に暗〜い過去を持つキム君。笑顔の裏に忍び寄る人生の悲哀を彼自身は理解しているだろうか。

シゴキは激化の一途、 マイコンスクール

新聞、TVなどでそのシゴキの猛烈さが騒がてられている「戸板マイコンスクール」。パーソナルコンピュータの操作やプログラミングに乗り遅れたり、落ちこぼれて生きる気力を無くしてしまった中年男性をなんとか社会復帰させようと、コンピュータを使った更

正に日夜いそしんでいるが、シゴキのひどさは世間の攻撃的。「マイコンという小さいようで巨大な構造物に身を投げ出すことで、人生という計り知れない構造物に再挑戦する勇気をつけさせる」(戸板校長、8歳)という教育方針はスクール全体に徹底されているようで、世間の非難もどこ吹く風。

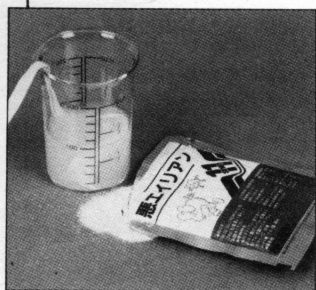
つい先日起きた事故は国会の予算委員会でも問題になった。スクール側の事情説明では、

「M電器の重役M(52歳)がBASICプログラミング特訓中に、吉田訓練員(6歳)が出題する矢つぎ早のFOR〜NEXT文についていけず、指と眼底に3カ月の軽症を負っただけ」というが、『3カ月の軽症』とはよくいったもの。一事が万事この調子だから、今後も「悩める犠牲者」は続出するようだ。どこぞのヨットスクールの頃が懐かしい。

遂に粉末ソフト発表

(株)不治病は、パーソナルコンピュータのソフトウェアを粉末状のメディアで供給することを発表した。今までのカセットテープかディスクの形態よりも「柔らかさ」が感じられるため、よりソフトウェアの雰囲気が強くなり、磁気を恐れる必要もない。

必要となるツールはコップ、かんぴょう(ハ



粉末ソフトで一番肝心なのは、カンピョウ。品質の良いものを使用しないとロードエラーの原因になる。イレブン・セブンで販売しているカンピョウが推薦品である。

イファイかんぴょうが望ましい)のみであるが、その分イニシャライズが必要で、その方法は指定された量の水に粉末ソフトをとかし、カンピョウを浸けるだけである。あとはカセットハーフに巻き取り、乾燥するまで待つてからパーソナルコンピュータにロードする。残った液体は、アルカリイオン飲料になるため、徹夜明けの体にたいへん効果が高いという。

全国にイレブン・セブンのチェーン店を持つ不治病は、84年1月にチェーン店でパーソナルコンピュータの販売を開始し、話題を呼んでいる。対象機種は、チェーン店で販売している Hackcom Micro-11と、その下位機種の Hackcom Micro-7 である。今回発売されるソフトウェアは、アミューズメント中心で以下のものがある。価格は一律3,000円。
・ゲータロード (鉄下駄スポ根タイプ)

- ・悪エイリアン (インベーダタイプ)
- ・ボカリ「ヌエツ」と (もぐら叩きタイプ)
- ・Cモンキー (言語作成タイプ)

このうち「Cモンキー」は、ゲーム終了時にCコンパイラが勝手に出来上がってしまうため、ユーザーにとって大変ありがたい。また、ビジネスソフトウェアの販売予定もある。

不治病のソフトウェア開発事業部長である龍間知子氏は、「これからはソフトウェアもコンビニエンスストアで買えなくちゃいけないと思う。今はニューメディア時代だし、それにアルカリイオン飲料もはやってるし、イレブン・セブンの営業時間は夜の11時から朝の7時っていう、いわばネクラタイムじゃない。三拍子そろって絶対に売れるって訳よ!」と鼻息も荒く語っていた。

なお粉末ソフトに対する問い合わせは、イレブン・セブンまで。

あの「フェリス」に意外な事実 本誌イラストレータのスクープ!

ア・スキー社内に極秘裡に設置された世界初の生体コンピュータ「フェリス」の年次検査のため、「フェリスの間」の封印を開けたところ、フェリス本体内に人間のミイラを発見した。フェリスの設計及び設置に関与した沼部、浦野、荒井、大淵の4名と、資金援助を行ったア・スキーの郡司社長、西副社長のみが「フェリス」の存在を知っていた。「フェリス」設置後1年間で詳細を知る前者4名が、行方不明、意識不明となり、「フェリス」の詳細については現在のところ完全に謎につつまれた形となる。今回残る郡司、西両名の年次検査中に発見されたミイラは、設置半年後に姿を消した浦野(当時24歳)とみられ、「フェリスの間」の空調によって半年でミイラと化したものである。ミイラは、「フェリス」の中央空調部に直立し、両手は不良の部品をつまんでおり、さながら文殊菩薩の如く印を結ぶかに見える。

なお、東大医学部法医学教室の一の谷博士らの検屍の結果、死亡推定日は消息を絶った時期とほぼ一致している。

なお、「フェリス」に残された調教ファイルの内容から判断したところによると、設置後6カ月目にア・スキー内の端末に混信が起これ、これを追跡して「フェリス」本体に入った模様である。その後、3日間の補修作業を行い、自らの補修作業によって張り巡らした電線で本体内に閉じ込められ、そのまま力尽

きて死に至ったものと推定される。

なお、警察当局では今回のミイラ発見と他の3名の事件について捜査を開始した。3名のうち、荒井はフラクタル肉腫にポリゴン中毒を併発して現在なお意識不明の昏睡状態。沼部、大淵の2名は行方不明となっている。このうち沼部については、誘拐とみられ、犯人と思われるケムール人から身代金の要求があったが、コンタクトに失敗、以後ケムール人との連絡は途絶えている。また、大淵は六本木で「インターナショナル・ボロクソ・マシン」「このタコ」等と騒いでいるところを目撃されており、これが彼の最後となっている。

〔USO-時事〕「フェリス」発見の報と前後して、「人柱コンピュータ」(解説を参照)と称するコンピュータの存在が確認された。「人柱コンピュータ」の存在は、人口の爆発的増加に悩む某国において、スーパーコンピュータの切札として噂が流れていた。信頼すべき筋によると「人柱コンピュータ」は既に3台稼働しているとのことで、「人柱」は初期不良が無くなるまで、栄養補給される。上記の3台にはまだ補給が続けられている模様である。「人柱コンピュータ」は、「◎の光」と称する宗教団体に関与しており、「人柱」の育成も行っている。なお、発見された「フェリス」に対して、当の宗教団体より「計算上人」の称号が贈られた。「人柱」は、この宗教団体がア・キハバラ地方から貧しい青少年を集め、3カ月のシミュレーション訓練の後「人柱」として出荷する。「人柱」の訓練を目撃した人の談話では、「人柱」には絶えずイヤホンで

「一人一台」「一日一冊」等の御題目を聞かされ、洗脳まがいのことを行っているようだ。一方、人権擁護団体はア・キハバラ地方の「人狩り」に対して強硬な反対運動を行っている。

解説：人柱コンピュータ

現在日米両国で、超高速で計算を行うスーパーコンピュータの開発が行われているが、これを構成する半導体素子のスイッチング速度は今のところ、10ps(ピコセカンド=1兆分の1秒)に到達しており、これ以上は信号の伝わる距離が最終的な計算速度を決定することになる。すなわち、部品を最短距離で配線する方式がスーパーコンピュータの性能を左右している。代表的なスーパーコンピュータのCRAY-Y1では、部品を円周上に配置しているが、この問題の最終形態としては球面上に部品を配置することが考えられている。しかし、配線は、部品で覆った球の内部に行われるため、いままでは非現実的と考えられていた。これに対し、「出られない」ことを覚悟の上で球内部に人間が入って配線を行う方法が提案されていた。

このため、この方式で作られたコンピュータを「人柱コンピュータ」と称している。



例えばクリフォード・ブラウン「テンダリー」よりもバンク・ジョンソン「ロイヤル・ガーデン・ブルース」/ 例えはレッド・ガーランド「グルービー」よりもウィントン・ケリー「ケリー・ブルー」といった嗜好がパロ版になっているんだぜい。♡マローウの如き主人公が登場する自筆の探偵小説1冊をハードボイルドな君に。報道担当のK.戸島



ケーブルレス光通信規格まとまる

農水大臣の私的諮問機関「農業構造審議会農作物部会」(会長・田子 作COQP社長)はこのほど、低コスト光通信の規格として「TEBATA」規格をまとめ、農相に提出、了承された。TEBATA規格は、「切れたらおしまい」という、最大の特長を持つファイバーによる光通信機器に必要なコストを大幅に軽減することが可能なシステム。1システムに必要とされるコストは、ハンカチ2枚260円、棒2本275円の計535円(全国ネットに必要とされる火の見やぐらは別)と従来のシステムに比べ高いCPを誇っている。一方、今回の規格に対して運輸省では「日本の風土にそぐわない」として、今国会提出を目指している「NOROSHI」規格の細部調整作業を急ぐ考えだ。

etc.

悪質詐欺が発覚

AhSKI!誌(83年4月発売)に掲載された「南青山アドベンチャー」を使った詐欺事件が起きていたことがこのほど明らかになり、関係者を驚かせている。犯人は秋葉原などでAhSKI!誌を持っている少年に「南青山を入力してやる」と言葉巧みに近づき、プログラムを入力した振りをして金品をだましとっていたもの。デタラメなデータを打ち込んでもチェックサムが合うという入力ツールを使ったり、プログラムをテープにセーブさせている間に姿をくらますなど、巧妙な手口に所轄の東部警察も呆きれ顔である。このことについてア・スキー社では「AhSKI!の愛読者であれば十分考えられることだ。いつかはやるのではないかと恐れていたが、ちょっと遅すぎましたね。エヘヘヘ」と語気も荒く語っていた。

etc.

奇病「WAIDS」全米に蔓延

〔ニューヨークAEP=時時〕米国では現在、ハッカーの間で「WAIDS」と呼ばれる奇病が広まりつつあるという。この病気、別名「ウィンドウ症候群」と呼ばれ、「最近の高機能マシンに変態的とも言える愛慕の情を抱くあまり、ひどい時には死ぬ場合もある」(スピアチャッカー・ジョーンズ・セロニアス・モンク、ニューヨーク市マッシュ病院コンピュータ病理学ソフトウェア教授)とのこと。「マルチウィンドウズ!」と口走るのが初期症状とみられており、病状が進行すると車のワイパーを見ただけで視覚神経が収縮してその場に倒れたり、ホテルなどの自動ドアに土下座したりといった発作が起こるといふ。さらに末期になると、「マルチジョブ!」と叫びながら二つの全く異なった動作をし始めるという。治療にあたっているモンク教授は「多くのソフトが発達して、マルチウィンドウが普通のものになれば自然に消滅するはず……」とWAIDSに樂觀的だが、コンピュータの進歩に伴って第二、第三のWAIDSが発生することも考えられ、日本に上陸する可能性と合わせて今後も予断を許さない。



MFDからPC-6666Mk II

(株)MFDは、ホームコンピュータとして定評のあるPC-6000シリーズの後継機種としてPC-6666マークII「ダーミアン」を開発、販売を開始した。同機はPC-6000シリーズとソフトウェアを互換性を持っており、リセット時にM 60BASIC(RAM-16 K), M 60BASIC(RAM-32K), M60 EXTENDED BASIC (RAM-16K), M60 EXTENDED BASIC (RAM-32 K), M60m BASIC, M66 BASIC, M66 EXTENDED BASIC, M66m BASIC, M666 BASIC, M666 EXTENDED BASIC, M666m BASIC, M6666 BASIC, M6666 EXTENDED BASIC, M6666m BASIC の14モードを選択できる。価格は、66,666円。



国会でパソコンの質値にメス

国会の参議院予算委員会で代表質問に立った斜階党の豊島邦雄氏はその質問の中で、パーソナルコンピュータが質屋で不当に価格設定されており、質草として役に立っていないと指摘、通産省に適正な評価基準を早急に設定するよう要請した。豊島氏によれば、パーソナルコンピュータは質屋の価格台帳にも目安となる価格の明記がなく、持ち込んだものの正価の1/4~1/5(発売後1年)といった低い見積りのもとで質草となっているという。その一例として同氏は、購入時に8万9千8百円したパーソナルコンピュータを10カ月後に都内の質屋に持っていったところ、2万円という見積りにしかならず、3軒まわったうち最高の見積りが2万5千円だったということを暴露した。答えに立った目白通産大臣は「機種がバビコンとのことですが、それでは仕方ないのでは…」と前置きした後、関係方面に早急に調査させた上、改めて報告するという異例の弁を發表した。



妨害局退治用小型知能ロボット発売

アマチュア無線や警察無線などに妨害電波を出す無線局が目立ち、大きな社会問題になっているが、(株)フォックステックスは、この妨害局退治のための探査型知能ロボット「ポインタードッグ」を発売した。回転式指向性アンテナを持ち、方向を認識・記憶して(反射波キャンセル方式3点測定)発放位置に移動するというもの。障害物の感知や信号機の認識など、一般道路上でできるようにオールモード認識システムが導入されている。ポインタードッグは複数台を放すと効果的で、しばらくすると不法無線局の周りに集結、100台以上になると鉄パイプを型取ったレーザーでアンテナケーブルを切断する。これは同一箇所を複数台で狙い焼き切るもので、単体でのレーザー出力は小さく何ら法に触れないという。さらに切断後突如として解散、放たれた位置に戻るようになっている。ポインタードッグには140MHz帯、360~500MHz帯用の2機種があり、どちらもテレビ放送塔非認識回路が内蔵されている。価格はソフト込みで168,000円。



大型機



OA



デバイス



ニューメディア



イベント



パーソナルコンピュータ



周辺装置



オーディオ・ビデオ



業界動向



キティコンピュータ



ソフトウェア



アマチュア無線



行政動向



その他

ある時は金太郎の飼主、してある時は子供たちのお姉さん、又、ある時はモームであり妻でもあり猫にもなり、普段は月刊アスキー、2月になればア・スキーのデザイナーしかしてその実態は／さてお姉さんから君へのプレゼント、昨月号で話題となった「リカの唇」を恋人のいない君にあげたい、最後にリカから「君の熱いお葉書待ってるわん」Y.西田

画期的なフレキシブル・プロセッサ チップスライスMPU発売される

社名を変更したばかりのテキスト印刷社メント事業部（元ローラ社）は、新しい概念が導入された画期的と言えるチップスライスMPU「M680E13」を開発、このほどサンプル出荷を開始した。

これは、基本的には16/32bit MPU「MC68000」のアーキテクチャを8 bit MPUに置き換え、しかもデジタイズ・チェーンの複合的構造も持たせることに成功したもの。実際には、処理内容の煩雑さをマシンサイクルの多さで合理化して実現させている。これにより、ユーザーは求める処理ビット数を8 bit単位で自由に選択できるという画期的な特徴を持っている。

M680E13は、写真のように96bit MPUと

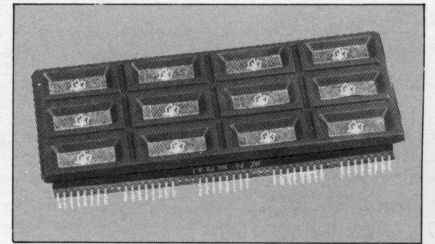
して販売されるが、プラスチックパッケージの縦横に入れられた溝に沿って割ると、最小8 bitの単位で分割できる。この溝の下には、デジタイズ・チェーン・マルチプロセスのための10本のフラグラインがそれぞれ通っており、これが切断されることで現在何bitで処理すればよいかをMPUが自動的に判断する。また、分割されていない時にはこのフラグラインがマルチプロセス・リーディングパスとなり、デジタイズ・チェーン方式で処理が複合的に行われる。手先の器用な人は、このパスをリード線で接続することで、基板上にMPUを分割して配線、配置することも可能である。

ところでテキスト印刷社メント事業部では、M680E13の量産が開始された時点で「割りそこなった時のための保険制度」を導入する意向で、100セット当たり5ドル程度のユーザー負担で加入できる。製造担当者には嬉しい配

慮といえよう。

M680E13は、こげ茶色のプラスチック封入480ピンDIP (Duplex In-line Package) タイプで、食品業界から新たに参入したマッキントッシュ・コンピュータ社の技術提携によりパッケージ化されている。

なお、価格は1枚当たり15,900円（サンプル）で、出荷は3月3日から開始されている。



マッキントッシュの提携技術により一見しておいしそうなところが魅力のM680E13。

MSX搭載マシン続々登場

㈱アスキーが提唱したホームコンピュータ仕様、MSXの製品化競争が加熱していることは衆知の事実だが、ついにMSXを搭載した電化製品が続々と登場してきた。数社の製品を紹介してみよう。

MSX搭載電子レンジ「ごちそうさま」

今までマイクロコンピュータを搭載した電子レンジは数多く販売されたが、MSX搭載電子レンジ「ごちそうさま」は、加熱制御用にMSXコンピュータを使っているところが注目される。電子レンジの前扉がディスプレイになり、キーボードはコードで接続される。従来の電子レンジが4 bit CPUを使用していたのに対し8 bitのZ80を採用しているため、加熱時間を長くするか短くするという処理以上の調理が可能となっている。

この能力はさすがMSX、どこかの歌手が私よりちょっと賢いというほどのことはあり、加熱時間や加熱温度などを自由に設定でき、俗にいう「始めチョコチョコ中パッパッ」などというコソクな技ができるようになった。

こうした技はMSXコンピュータがコントロールしているので、ユーザーは「お料理カートリッジ」を差し込んで、ただ画面に出てきた料理に合わせて材料と分量、さらに料理する手順、火の加減と加熱時間をキーボードから入力するだけで料理は完成。

ただし、MSXが入力データを処理する時間はゲームができないという部分について今後改良の余地があるといえよう。

MSX搭載電子炊飯器「ごはんまだ」

電子炊飯器にもマイクロコンピュータを搭載したものが多く出回っている。普通は炊飯器が御飯を炊いている間に主婦は他の料理を作っているのであるが、MSX搭載炊飯器は、御飯の上にゲームカートリッジと一緒に炊き込むことにより、御飯を炊いて暇になっている間、ゲームを楽しめるようになっている。

MSX搭載電子掃除機「ここにもほこり」

これまで電子制御を行う掃除機は存在しなかったが、このMSX搭載掃除機では世界で初めてコンピュータ制御を行うことに成功している。掃除機の吸い取り口にセンサーを取りつけて接触面の様子、そこにあるゴミの量と種類、性質、材質、大きさ、水分量、何か液体は含まれているか、など一つのゴミに関しても徹底的に調べて、それに合わせたブラシの選択、モーターの回転数と吸引力などを設定するシステムとなっている。このセンサーは常に監視しており、吸入口が動くたび

に調べるかたちをとっている。

MSXコンピュータは、センサーのデータを処理してから吸引をするので、一つのゴミの処理には通常55秒以内の時間がかかる。

この吸引用の羽は可変ピッチプロペラとなっており、プロペラの角度を変えることにより、モーターの回転数を低くしても吸引力を強くできるという省エネタイプの掃除機となっている。

もちろんMSXを搭載しているのでパーソナルコンピュータとしても作動することができる。ただ、コンピュータと掃除機を同時に使用すると掃除機はリアルタイムで処理を行うが、センサーのデータ処理時間が数百倍増加するため実用向きではないという欠点は問題である。

以上いくつかのMSXマシンを紹介したが、MSXはホームコンピュータとしてより今後とも種々の家電製品に搭載されるだろう。

「ごはんまだ」はゲームカートリッジも炊ける。

MSX搭載の電子レンジ「ごちそうさま」





ソフトウェア大豊作

農水省の発表によると、83年度のソフトウェア出来高は前年度に比べ約2倍（平年度比1.5764倍）の伸びを示し大豊作であることが分かった。この原因について同省は「純粹培養ハッカーによる熟成品の増加に加え、自称プログラマによる促成栽培が異常に増加したため」と分析している。しかし、大豊作の一方で、虫が食っている使い物にならない粗悪品の増加や、コピー商品が出回っている点が深刻な問題となっている。昨年発足した娯楽用軟件審査機構では各社に機構への加盟およびGGマーク（Good Game Mark）の表示を呼び掛けているが、反応はまだ鈍く、同機構ではGGマークの表示を義務づけるべく、各省庁に働きかけを進めるとしている。



日本ハッカー大賞に千丸氏

ハッカーのイメージを明るくしようと、アスキー社が中心になり結成した日本ハッカー連盟はこのほど、83年度日本ハッカー大賞の受賞者を発表した。ハッカー新人賞には、日系3世のWindow I.Hara氏が選ばれた。BASICによるウィンドウが高く評価されたもの。またハッカー賞金賞には2年連続してアドベンチャーゲームをアスキー誌に掲載、全国のハッカーを悩ませたJuliano P. Akiyan氏が選ばれた。ハードウェア技術の真価を問うハードハッカー賞は作るハード全てがまともに動かない瀬古貴敏氏が受賞、氏の手によるスパゲッティ配線技術が評価の対象となった。そして栄えあるハッカー大賞は、機械語のオペコードはもちろんステート数まで語ることができる千丸達也氏が受賞した。



UNIX*パチンコ登場

パチンコ業界にもUNIXシステムが導入されることになった。これはパチンコ台が全て端末となっているもので、客は会員制。入会金を払ってメンバーズカードを貰うと、名前が店のコンピュータに登録され、毎回の勝負結果がデータとして蓄積されるというもの。それぞれの台にカード挿入口があり、始める前にカードを差し込むと、前回の結果、今までの勝率、バイオリズムがグラフで表示される。勝負の最中は、ディスプレイに玉の回収率、現在の獲得玉数で交換できる品物等のデータがリアルタイムで表示される。台を叩いたり磁石を使用すると、店主から怒りのWRITEメッセージが送られる「KORA!」機構もサポートされている。また、玉がつまった場合はMAILで店主に知らせるなど、従業員の削減にも役立つとのこと。

etc.

新型のキャッシュディスプレイ

CRT内蔵型のキャッシュディスプレイが普及しているが、CRT上の女の子が不細工で「あまりに芸が無い」という不評の声が多い。これに目をつけた目潰し銀行は、イメージ刷新を図るため、ゲームマシン内蔵のキャッシュディスプレイの採用に踏み切った。これは預金及び引き出し時にゲームができるもので、系列会社のパーソナルコンピュータ「キムチ8」が内蔵されている。ゲームは数種類用意されており、預金残高が高いほど面白いゲームで遊べ、女の子が服を脱ぐなどのサービスもある。一人当たりの引き出し、預金に要する時間が心配の種だが、「新しいゲームのストラテジーを開発することで解決している」（赤山支店長）とのことで、今後も他行と協力して幅広い展開をするという。



ハンソロ社の低価格ソフト2種

良心的な価格と内容で評価の高いソフトウェアメーカー、ハンソロ社は、新シリーズ「スーパー500」「マニア300」の販売を開始した。「500」は最高級上質紙によるコーディングシート1冊、細密充填式手書きフローチャートからなり価格は500円。「300」は古紙再生によるレポート用紙（「無印良品」品質保証）1冊、ゲーム企画原案書1葉で価格は300円と、それぞれ驚異的な低価格を誇っている。



掃除機規格、家電メーカー間で合意

SM-DOSの販売で業界のトップである趣味の友社が中心となり、家庭用電気掃除機の規格統一を提唱していたが、大手SM器具メーカー4社間でこのほど合意に達した。これまでの掃除機ではA社の本体にB社のホースやC社のごみ袋を取りつけることができなかった。このためユーザーや販売店の間で混乱が生じており、その道のマニアでないと使いこなせないものであった。趣味の友社では第1弾に成人男性用のオプションとして吸い込み口の内径が調節でき震動効果も発生する「ジャバラホース」を発売する予定。



マイコン積木くずし発覚

マイコンの内部で積木くずし状態が多発していることが、(株)NECソフトウェア事業部で判明した。積木くずし状態とは、システムソフトウェア（DOS、BASIC等）を対象マシン上でテストしている最中に、いきなりメッセージデータが変わり悪態を吐くというもの。そのメッセージ内容が不良少女の言葉そのものである上、メモリ内をブロック単位で破壊するところから、この名前と呼ばれている。同事業部の調査によると、原因はプログラマが仕事の息抜きに遊ぶゲームプログラムにあるのではないかと見られており、ハードウェアがその悪影響を受けた可能性はないかと現在調べているという。ROMは書き込み不可能なため、システムソフトウェアのROM化により、ほとんど影響は出ないが、Disk BASICでは対処のしようがない。同社では苦肉の策として、パーソナルコンピュータにROMを大量に持たせ、各種のルーチンにかなりの部分を割いている。このような肥大化も、じつは更正施設ルーチンの山ではないかとの報告も入っている。同事業部ではさらに調査を進め、悪質なゲームプログラムの駆除法を確立したいとの意向を示している。



ロボット言語「GIANT」発表

(株)SQNYは、どんな言語にも負けないロボット言語「GIANT」を開発、この程発表した。この言語は、同社の「哲人-777号」用のもので、ドクター・ワンのロボット言語をベースに、ロボット技術では日本一を誇る「不治痛PANIC」に対抗すべく、多くの強化コマンドが追加されている。特徴のあるコマンドとして、「がんばれ」（ロボットの仕様を超えるパワーを発揮する）「まけるな」（他のロボットに絶対負けなくなる）が挙げられ、「GIANT」の強力さがうかがえる。さらに、マニアックなハードウェアで定評のある同社の技術陣による腕時計型ターミナル「リスト君」、2チャンネルリモコン「ビビコン」が発売される予定。ソフトウェアの拡張も「LINK」コマンドにより可能で「電光剣・電子唐竹割」、「地球剣・電子銀河斬り」等のジョブ終了必殺コマンドがサポートされる。

*UNIXはベル研究所の登録商標です。

F嬢の体がバグりました。病院に寄って来た彼女に「妊娠したの?」とKが聞いたら「そんないいことしてない!」と叫びました。彼女にダンナ様を世話してやってください/「ちょっと…」を担当したアホです/今回はプログラマ、編集、制作と一人三役/♡私が作った NEZUCAFE をプレゼントします。面白いネタや女の子には甘いです。N.新本

IC修理に「ハリ」と「ツボ」

米国防総省は4月1日付けの第三次対日防衛技術供与要求のなかに、中堅ベンチャー企業のセコイと中国外チベット省技術院とが共同開発したLSI修復技術を含めている。

すでにこの修復技術を導入したMECによると、従来のki'cho ri法によるLSIウェハ上のバグ退治と比較しても260%程度の効率の上昇が確実だという。

この技術は「ハリ」と呼ばれる特殊なプローブを使用し、「ツボ」と呼ばれるウェハ上の量子力学的に不安定な部位に重力波による刺激を付与することによって、ウェハの物理的特性を変性させ回路パターンの再構成を励起させることを特長としている。

「ハリ」は、長さ2cmほどの超伝導性単分子ホイスカーで補強された細い針状の単結晶炭素の棒を、ニュートリノでコーティングしたもので、磁気単極子でできたインサータと呼ばれる細い筒の内部に収められている。

実際の修復は次のようになされる。まず、インサータの先端を「ツボ」の上部にあて、「ハリ」を挿入する。そうして「ハリ」の先

端からコヒーレント化された重力波震動を「ツボ」に照射する。すると、「ツボ」における量子の不確定性が攪乱され局所的にエントロピーが減少する。そうして弱い相互作用が外部からの攪乱によって制御できるようになる。この修復技術の核となっているのが、この攪乱の与え方であり、今回の米国防総省の要求もこのノウハウに関するものだと言われている。

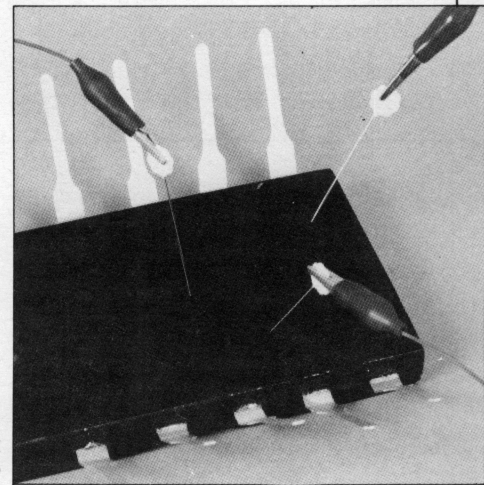
もちろん、ニュートリノの性質上、LSIのパッケージに穴があくのは避けられない。しかし、瞬間接着剤で埋めれば問題は全くない。当初この手法は磁気単極子およびニュートリノを使用するため、磁気遮蔽および重量の点からして実用化が危ぶまれていたが、これはポトマック河大学のマックスウェル博士の開発したデーモン法を採用することによって克服された。

この修復技術は、今年度のノーベル物理学賞候補となっている外チベット技術院主任研究員のRao Tsu博士が統一理論の拡張とし

「ハリ」の先端からコヒーレント化された重力波震動を照射中のLSI。恍惚とした表情が効目の妻さを物語っている。

て発表した大極論の初めての応用である。また、この技術は、特にTTL不足の最近の市場では手持ちのTTLの有効利用を可能にするものとして高い評価を受けている。

なお、4月1日の東京株式市場におけるセコイの株価は、221円から2,693円という驚異的な上昇を示しており、今後の受注引き合いが注目されている。



大学間紛争再燃か？ ネットワーク・ウォーズ

一昨年に全国の大学の計算機が公衆回線により接続されて話題を呼んだが、実はこのネットワーク内で異常な事態が発生していることがこのほど判明した。

事件は、昨年1月国立のT大学に不幸の電子郵便が舞い込んだことにより、T大の計算機のディスクが一時パンクしたことに端を発している。

電子郵便の内容は、

To: My friends

このmailを読んだら30秒以内に、これと同じmailを10人以上のユーザーに送ること。さもなくば、君は一生、計算機に見放されることになる。信じなくてもよいが、アメリカMITではそのために、5台のシステムが停止し、200名以上の学生が単位を落とした。さらに、……(後略)

というもので、単位の不足している学生達が電子郵便を大量に出した為、ファイルの数が増大し、ついにはディスクがパンクするという事態に至った。幸い、数時間でシステムは

復旧したが、締切間際の論文を計算機で書いていたT大S助教授の論文原稿がこの事故で紛失し、激怒した同助教授が原因究明に乗り出した。さまざまな調査の結果、最初の不幸の電子郵便は、私立のK大学の計算機から送られていたことが判明。S助教授はその報復措置としてK大の計算機内に時限bugプログラムを仕込み、1月19日の日記に「絶対に許せない。あいつら、俺の能力を妬んでいるな!」と、書いている。

こうした経緯でその後、T大とK大との間でちょっとした悪戯によるトラブルが続いていた。その内容を少し紹介すると、loginするとgameプログラムが勝手に走り出し、仕事の手がつかなくなる『お仕事させないプログラム』、仕事を終わったつもりでさせるプログラム『夢のまた夢』といったものから、パスワード・ファイルの消去等悪質なものまで、さまざまである。

しかし、昨年春に当局の介入により『両校の計算機の保護機構の強化』ということで、一時的に休戦協定が成立していたが、論文を紛失したことを根にもつT大S助教授は、休戦協定の破棄をK大学側に通告するとともに、自身の研究室の計算機をこよなく愛する学生を動員してゲリラ活動を続けていた。

その為、K大側では、U教授等が中心になり防衛軍を組織した。このことにより実質的なネットワーク戦が始まったと言われている。

昨年夏以後、戦況は一進一退で膠着状態が続いていたが、今年にはいってK大側で新防衛兵器が開発された為、事態は悪化してきた。この新兵器は、プログラム『バチかぶせ』というもので、T大側の攻撃を、ネットワークにつながる他大学にかぶせるというものである。この兵器の被害を都内の各大学の計算機が受け参戦を検討している。3月13日にTK大では参戦発表記者会見が行われたが、発表の席上では平静を装っていたM助教授も、研究室の学生の話では、「ゆっくり許せない! 何故我々がとばっちりを受けるんだ! 絶対に壊してやる。」と平常心を失っているようである。

この他、A大・S大等各大学も参戦する構えである。

このまま行くと、この戦争は都内全大学規模に拡大することは必至であり、さらに全国規模に広がる様相を呈している。

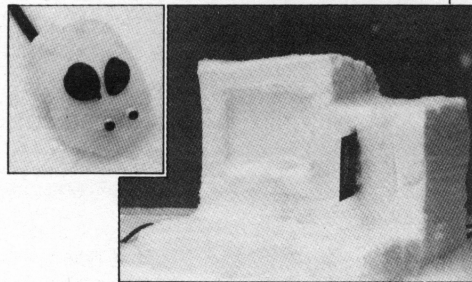
通産省、除雪村素子プロジェクト開始

通産省世代交替審議会は、第2.00世代コンピュータの開発プロジェクトに、除雪村素子を採用することを公式決定し、「除雪村素子プロジェクト」と命名した。第2.00世代コンピュータとは、開発者の孫たちのために開始されたもので、全国の人口密度の平均化をも推進するものである。簡単に説明すると、過疎の村全体をアレイプロセッサとしたスーパーコンピュータを構築し、各戸に1台ターミナルを無償で供給するもの。このスーパーコン

ピュータはパーソナルコンピュータとしての使用はもとより、ビデオテックスにもなり、孫の世代でのプログラマの養成、人口の分散が可能になるという。

除雪村素子は、4度前後で動作するハイスピード素子だが、8畳ものチップ面積があるため見捨てられていた。今回採用されたのは、トタン屋根の代わりに使用することによって、雪国での効果的使用が可能となるため。欠点として、豪雪地方以外の地域や夏の間使用できないことが挙げられるが、除雪の手間が省けることを考えれば余りあるという。ターミナルも夏の間は消滅するため、邪魔にならない。

編集部の調べでは、この冬に東京に降った大雪でターミナルの試作機が作られていることが判明し、写真に収めることに成功した。



あまりのカッコ良さに唖然とする除雪村素子技術を採用したパーソナルコンピュータ。

映画は一人の男の夢から始まる

気が付くと、男は大空から落下していた。男の眼下には海が広がり、はじめボツンと小さくみえていた島が加速的に大きくなっていく。この高さからでは海に落ちて島に落ちても運命は同じ、男は必死にもがくがいつこうに効目はない。ヤケとも絶望ともつかぬ進境に男は叫んだ、「落ちるのこワイ、痛いこワイよー」。

眼下の島も様子が手にとるように近づいてきた。あまりの異様な光景に男は悟った。

「そうだ、これは夢なんだ」。

男が最後に見たものは、島一面にうごめく巨大なフラクタルの蔵だった。

ナレーション「男の見たものは夢なのか？はたまた現実なのか？それを明かす鍵は夢から覚めてみないと見つからないものなのです。これから2時間、あなたの眼はあなたの体を離れ、この不思議な時間の中に入って行くのです……」

島一面のフラクタル蔵がクローズアップされ、テーマ曲が流れてくる。

なんともいえないノスタルジックなテーマ曲と共に、あの「ウルトラQ」が帰ってきた。

ウルトラQは3部構成のマルチバス型式をとっており、冒頭の第1話「フラクタル人間第一号」ではコンピュータグラフィックスを導入、冒頭のフラクタル蔵は川口浩一郎氏が作製したものである。あまりの不気味さに、試写会では大半が気持ち悪くなり、途中で退場した。このため試写会で本編を見た人はごくわずかと伝えられている。この一件以来、彼の作品はコンピュータグラフィックスと呼ばれている。

第2話は「巨人ゴーレム」をベースにナイル河畔に古くから伝わる魔神像を題材とした

「大魔神スブック」である。

ナイル河の中流にある魔神像にアメリカの考古学者インディアナジョーンズが調査に赴いた。現場で周辺の発掘調査を開始したインディは、魔神像と同年代頃のものと思われる人口の洞窟「イドの井戸」を発見した。イドの井戸には無数の壁画と楔文字が残され、壁画の中には魔神像も見つかる。しかし、壁画は本物の魔神像とは異なり、つりあがった目ととがった耳を持っている。壁画は別の魔神像の存在を意味しているのだろうか？それとも……

インディの解読した楔文字には魔神像に関する記録が残されていた。

「……午前3時、……また聞いた。非論理……。非論理？何のことだろう！？」

楔文字に残された言葉「非論理」とはなにか？魔神像の隠された謎を解く鍵なのだろうか？インディは魔神像にその言葉を投げかける。そのとき、魔神像の頭がみるみると……ウルトラQの第3話は面倒終太郎をゲストに迎え、TVシリーズ最終回「あけてくれ！」の完全リメイク版となっている。

ナレーション「我々の心の中には誰にでも他人に知られたくない弱点があるものです。ほら、そこにいるあなたは自分の弱点を知らないだけかも知れません。どうです、一度ロッカーに入ってみませんか？」

さて、英国では「サンダーバード」、「謎の円盤UFO」を手掛けたITCが、あのJ・P・ホーガンの最新作の映画化を決定している。ホーガンの最新作「Inherit The Superclass」の翻訳は映画と同時発売の予定である。

なお、ITCでは映画版「サンダーバード」の第3作「危うし！ブレインズ」をルーカスフィルムと契約した模様である。

今年は古典的名作のリバイバルブームらしく、有名なところではあの「2001年宇宙の旅」の続編「バイバイ・ジュピター・リターンオブボーマン」が製作中である。

前作の「2001年宇宙の旅」ではクラシック音楽がその映像と実にうまくマッチしていたが、今回は日本風の音楽が一部使われており、出来上がりが楽しみだ。ハリウッドから流れてきた製作中のアングラテープを少し紹介しよう。

「粋なジュピター、見越しのモノリス、宙に浮かんだディビッド、死んだはずだよディビッド」。

何となく映画の筋がわかるあたりが素晴らしい。

他にもワーナー・ブラザーズとDEC（デジタル機器会社）の共同製作による「VAX Bunny」、日本では名作アニメーション「マウス売りの少女」、そして何とアップル社のステイブ・ウォズニアク主演の「ウォズのマウス使い」が次々と公開される。

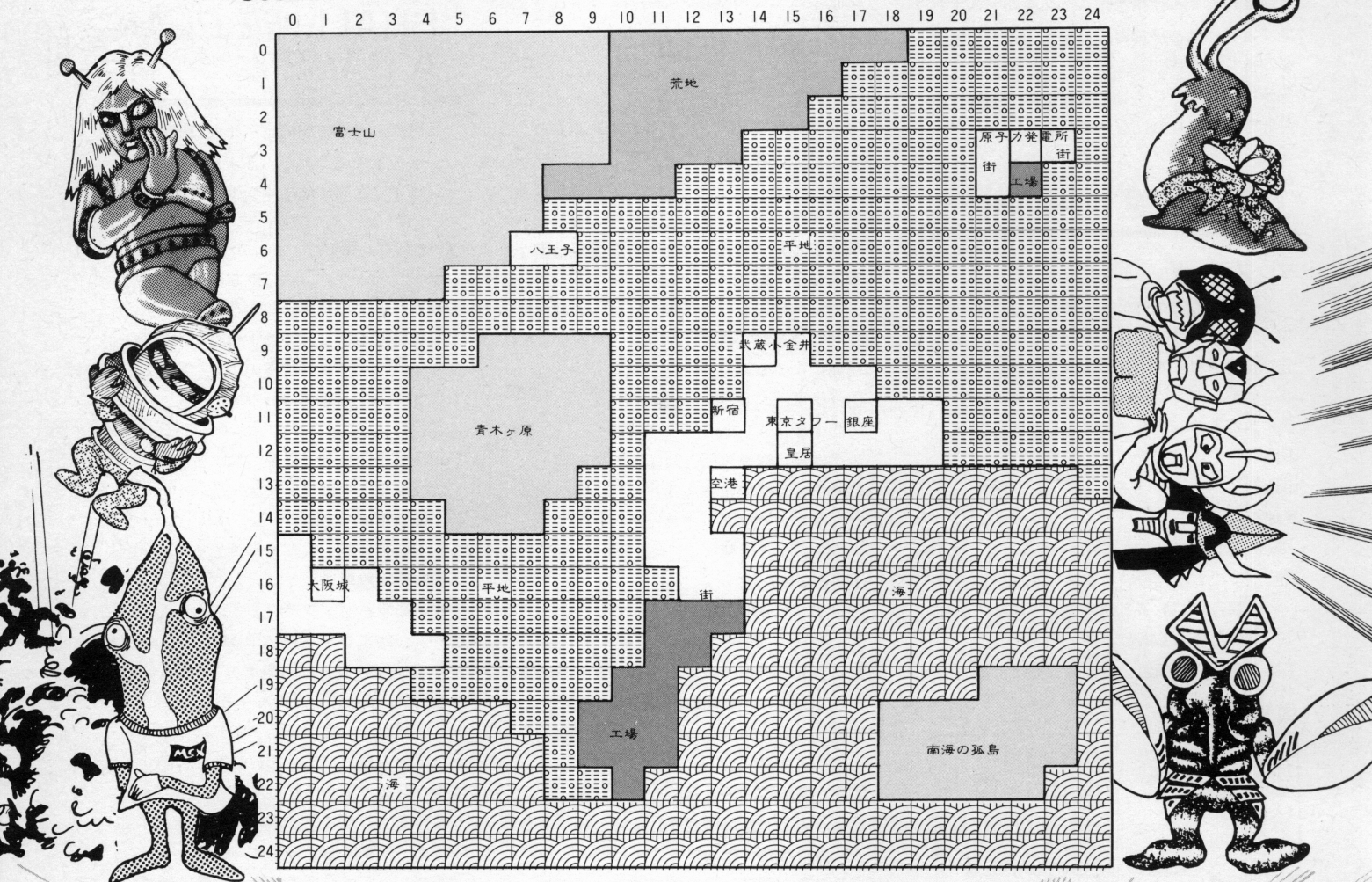
最後に4月1日に公開されるリバイバル映画の一つを紹介する。1960年代にTVドラマとして作られ、日本でも人気を呼んだ「0077 ワイルド・ウェスト危機一髪」（原題名：Wild Wild West）である。オリジナルではアメリカ横断鉄道を舞台に、連邦保安官が活躍する連続ものである。リメイクに当たっては時代を反映して舞台をシリコンバレーに移し、主人公もハイテク企業専属の探偵となり、高度な企業秘密を守るためハーディ・ボーイ、マイクロ・キッドを従えて、宿敵ファウンテン・ヘッドと対決する。

主役にはデータゼネラルの本物の技術者トム・ウェストを配し、題名も「トムウェスト危機一髪」として公開される。

いいだろ。あつ、とるなよ。「バービーちゃん貸して」——最近、どういわけかバービーガールが流行したり、バービーちゃんを肩にのせてOASYSに向かったり、まあ異常な世界と なっています／♡そうそう、ちょっといい本（何かは見てのおたのしみ）を10冊程度プレゼントします／井上君、バービーちゃんじゃだめですか？ H.松岡

カウボーイゲーム

ゲームデザイン: 福田紳一/メインルーチン: 植松直也/Z-80担当: 千丸達也/6809担当: 石川晃久/
8086担当: 秋山秀樹/MZ担当 (テープ版のみ): 山田真也/アシスタント: 伊原幸男/ドキュメント: 吉田眞木



「臨時ニュースを申し上げます。臨時ニュースを申し上げます。本日未明、品川にゴジラが上陸いたしました。付近の皆さんは速やかに避難してください。繰り返します……。」

西暦198X年初頭、日本は緊張する世界情勢とは全く無関係に平和だった。マスコミによって作られたリバイバルブームはついに、第2次怪獣ブームが下火になった後ドサ回り巡業で細々と生計をたてていたかつてのアンチヒーロー達、怪獣・怪人・宇宙人を第一線にカムバックさせてしまったのだ。

これにまんまと乗ってしまったのが、かつての怪獣ブームを知らないミーハーなファングループと、ノスタルジーを求めるいつまでたっても大人になれない人々のグループだった。彼らはイベントは開くは、同人誌は作るは、コスチュームプレイで踊るは、プラモデルを複製するはと、それはもう飛ぶガメラも落とす勢いであった。

これが面白くないのが古くからのマニアグループ。偏執狂が嫌われるという当然の事実にも気付かず、ブームの中で次第に

ガ・ウォーゲームのドキュメント部分を担当。年に一度のハレの号とはいえ、こいつは当分後を引きそうです。一般常識人に復帰できるのはいつの日か/友がみな、そろってスキーに行きし日は、我泣き濡れてワープロと戯る。♡EXPRESSの撮影(モデルは僕ではない)で使った本物の子供用人民帽を1名様に、米中友好記念バッジ付き。M.吉田

HaSKII, Vol.4, \$O, 1984

孤立した存在となっていた彼らは、一計を案じて怪獣達の天敵、引退した正義の味方を老人ホームから拾い集め、夢の島に埋もれていた万能戦艦をレストアし、防衛軍を結成したのだ。

当初この両派はなれ合いの戦闘ショー等を行い、協力体制をとっているかのように見えたが、水面下では互いに相手を殲滅せんと非法活動の限りを尽くしており、次第に両陣営の緊張は高まっていった。

同年4月1日、遂にこの緊張状態が崩れ、全面戦闘状態に突入した。これが後年炎の百日戦争と呼ばれた戦いである。後日の検証では怪獣側が正義の味方側に攻撃をしかけたことになっているが、その真相を知る者はもはや誰もいない。

まず先手を取ったのは怪獣軍団。緒戦数日間において電撃戦を展開し、正義の味方側に壊滅的な打撃を与えることに成功した。しかし正義の味方もその間手をこまねいていた訳ではない。生き残ったヒーロー達を集めてゲリラ戦を展開しつつ、反撃の機会を窺っていた。NHKのラヂヲからベルレーヌが流れる時、最後の反攻作戦が開始される……。

このゲームはどこかで聞いたことのあるような名前をした怪獣と、なんとなくなじみのあるような名前をした正義の味方が総出演する、昭和四十年代風怪獣ごっこシミュレーションゲームです。登場するユニット(駒)には全て固有の名前がついていて同時に、その名前に起因する性格を持っています。ゆえに単に識別番号と移動力、攻撃力のみが問題になる純シミュレーションゲームとは異なる、多分にロールプレイング的な要素、謎解きの要素を含んだものになっています。

ガ・ウォーゲームの世界

マップボード

ゲームは某国をモデルとした、25×25のスクエア(四角形)で区切られたマップボードの上で展開されます。このエリアには以下の8つの地形があり、画面上では1スクエアを2×2の4キャラクタで表現します(図1)。

平地：地形のバリエーション、ゲームの上
山地：で意味はありませんが、雰囲気を味
荒地：わうためです。
森：

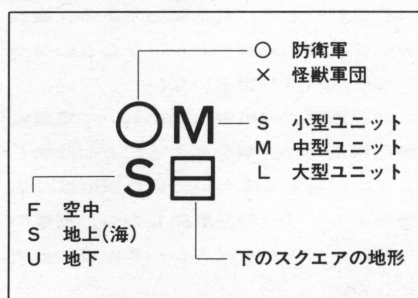
街：多くの住民のいる地域です。怪獣の攻撃目標であると同時に正義の味方の防衛目標でもあります。

工場：高い経済価値を持つスクエア。国家存

図1 地形一覧 (MZ, FM版はキャラクタが異なります)

平地	街
山地	工場
荒地	建造物
森	海

図2 ユニット表示の見方



長い年月の間に蓄積した教養がこんなところで役にたつとは、ガウォーゲームのデータを担当しましたこの時期に風邪をひく、ぜいたくな奴らがいます。てめらんか Editor いやねえ、たっ斬ったるの死んでしまった128KbitのP-ROMを「MSXなんか二流だ!」と思っている方に差し上げます。但し何が一流か書いて下さい。Y.伊原

続のために欠かすことはできません。
建造物：特定の名称を持った、おなじみの建造物。壊されるために存在するのか?
海：ここには許されたユニットだけが入ることができます。

なおプレイヤーはマップ全体を見渡すことができないので、前ページにある全体図を拡大コピーをとる等して御利用ください。

ユニット

登場する各ユニットにはそれぞれ固有の名称がついています。この名称がどこかで聞いたことのあるものに似ていてもそれは単なる偶然ですが、それによってある種の類似性があるかもしれません。画面上での表現は図2を参照してください。

ユニットは以下のようないくつかの基準で分類することができます。

○所属による分類

①怪獣軍団ユニット

②防衛軍ユニット

このゲームは怪獣軍団と防衛軍との戦闘という形態をとっています。ただし、この分類は絶対的なものではありません?

○大きさによる分類

①小型ユニット

②中型ユニット

③大型ユニット

これらの大きさはそのまま各ユニットの実際の大きさを示し、戦闘に影響を与えます。

○性格による分類

①攻撃可能ユニット

②非攻撃ユニット

非攻撃ユニットには研究を行うもの等があります。直接攻撃に参加することはできませんが、その存在価値は別な所にあるはずです。

メッセージ

このゲームの一番の特徴は、ゲーム中に随所で表示されるメッセージです。その数は数百種類、一度や二度プレイしただけでは全てを目にすることはできません。それらは何かを連想させるものであったり、あるいは重要な秘密を解き明かすヒントともなり得ます。表示されるメッセージは目を皿のようにして、一つなりと見逃さないようにしましょう。

ZOC

一般にはなじみのない概念にZOC(ゾック)というものがあります。これはZone Of Controlの略で、制圧地域と訳されます。図3のように、あるスクエアにユニットがいるとき、そのスクエアに隣接する8スクエアが

そのユニットのZOCとなります。ZOCは移動や戦闘に際し、色々な影響を他のユニットに与えます。このゲームにおける効果はやや変則的なので、他のウォーゲームになれ親しんだ方は注意して説明をお読みください。

SHALL WE PLAY A GAME?

このゲームは人間同士、または人間対コンピュータで遊ぶことができます。対コンピュータ戦では人間は防衛軍を受け持ちます。

ゲームの進行

ガ・ウォーゲームは怪獣軍団側がまず行動を起こし、次に防衛軍側が行動するということを繰り返します。この1組を1ターンと呼びます。1ターンは現実の1日に相当し、以下の6つのフェイズに分かれていて、その順に進行します。

①怪獣軍団移動・攻撃準備フェイズ

②怪獣軍団攻撃フェイズ

③怪獣軍団ハプニングフェイズ

④防衛軍移動・攻撃準備フェイズ

⑤防衛軍攻撃フェイズ

⑥防衛軍ハプニングフェイズ

ゲームが始まると、最初に両軍プレイヤー(対コンピュータならば防衛軍のみ)の名前の入力を行い、第1ターンに入ります。両軍ユニットは最初から全てが登場するわけではなく、予め定められたターンに自動的に登場するユニットもあります。なお、怪獣軍団のユニットは登場する前に何らかの前触れがあります。

○移動・攻撃準備フェイズ詳細

各ユニットは自軍の移動・攻撃準備フェイズで移動します。その際全ての手持ちのユニットが動く必要はありません。

海を除く各地形はそれぞれその表面の他に地下と空中の合わせて3つの平面を、海はその表面と空中の2つの平面を持ちますが、他の平面を移動の途中で通過する場合を除き、1つのスクエアに同時に2つ以上のユニットが存在することはできません。移動できる距離はユニットの大きさに関係があり、一般に地下<地上(海)<空中の順に大きくなります。また、動ける距離は不変ではなく、特定の条件下では変化することがあります。

原則として、ある平面上にあるユニットは他の平面に対してZOCを持ちません。地上は地上同士で、空中は空中同士でZOCの制限を受けます。ただし、例外として、地下においては一切のZOCは存在せず、また空中

のユニットから地上(海)にいるユニットに対してはZOCを持つことができます。

移動によって敵軍ユニットのZOCに進入したユニットは、移動力が余っていても直ちにそこで移動を終了しなくてはなりません。すでに敵軍ZOC内にいるユニットは、移動の初めの1歩で敵軍ZOCの外に出た場合は通常の移動力、そうでない場合は1スクエアだけ移動することができます。

街、工場、建造物のスクエアは怪獣軍団の大型ユニットが地表を進入、通過したとき、中型ユニットは地表を移動して最後に止まったときに破壊されます。破壊されたスクエアは画面での表示色が赤に変わります。

移動が終了した時点であるユニットのZOC内に敵軍がいる場合、そこで戦闘が発生します。逆に言えば、自分のZOC内に敵軍が入る位置に移動することによって、相手を攻撃することができます。

まず最初にある自軍のユニットがどの敵軍のユニットを攻撃するかを決定します。自軍のZOC内にいる敵が1つの場合には自動的に決まりますが、自軍のZOC内にいる敵が複数である場合には、どの敵を攻撃するかを選びます。次にその自軍ユニットが2種類以上の攻撃手段を持つ場合、どの方法で攻撃するかを選択します。これは全てのユニットについて行うわけではありません。ひとつずつ自軍のユニットに指示を与えて行って、全ての手持ちのユニットに指示を与えるか、指令の終了を選択すると攻撃フェイズに移ります。

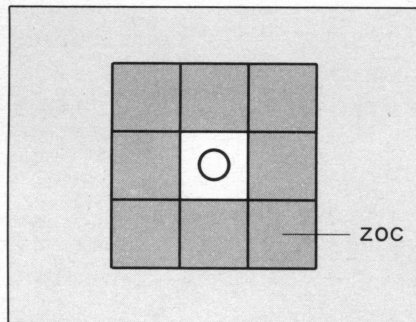
○攻撃フェイズ詳細

攻撃フェイズは直前の移動・攻撃準備フェイズで決定した攻撃を行い、それを解決するフェイズです。攻撃は一方的に行われ、攻撃側が反撃を受けることはありません。

攻撃の結果は単純な攻撃力の比だけではなく、戦闘に参加した各ユニットの性格に起因する種々の要素を加味した上で勝負を判定され、それによって破壊された(死亡した)ユニットは排除されます。

○ハプニングフェイズ詳細

図3 ZOC



各軍は自軍の攻撃フェイズ終了後ハプニングフェイズに入ります。防衛軍側はここで科学者ユニットの4人の博士と1研究所から1つを選んで、その研究の報告を受けます。この科学者の存在はゲームのを左右する重要なカギであることは言うまでもありません。その他にもここでは両軍を対象として、様々なとんでもないことが起こります。

コマンドモード

自軍の移動・攻撃準備フェイズになると、コンピュータがコマンド待ちの状態となります。これをコマンドモードと呼びます。

コマンドには以下の4つの種類があります。

①ユニット選択コマンド

コマンド待ちの状態になると、画面に自軍の生存ユニットの一覧表が表示されます。その中から移動や攻撃の行動を起こすユニット、その周囲の様子を知りたいユニットの番号を入力します。するとそのユニットを画面の中央に、その座標を画面上部に表示して、そのプラス・マイナス4座標の範囲のスクエアを画面にマップとして表示します。この状態からは以下の情報コマンドと移動コマンドを選択することができます。

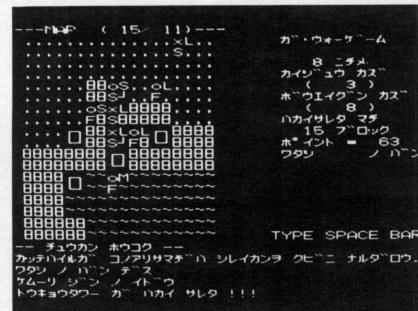
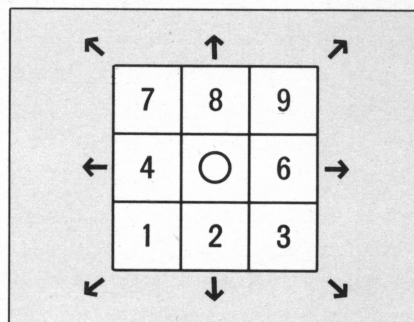
②情報(I)コマンド

特定のスクエア及びユニットの情報を得るコマンドで、マップに表示されている範囲内の情報が得られます。Iのキーを押すとマップ中央にカーソルが現れますので、情報を知りたいと思うスクエア、ユニットの上にテンキーを使ってカーソルを移動させ(図4)、リターンキーを押してください。それらについての各種情報が表示されます。なお、ゲーム開始からの日数、両軍残存ユニット数、破壊されたスクエア数とポイントは常に画面右側に表示されています。情報を表示したら再びユニットを選択した後の状態に戻ります。必要に応じてこれを繰り返してください。

③移動(M)コマンド

以上のようにして周囲の情報を調べた後、移動を行います。移動可能な方向は現在いる

図4 カーソルの移動



防衛軍は次第に後退し、街は瓦礫の山と化してゆく。ああっ！東京タワーがあめのようにねじ曲がっていく…。増援はいまだ到着せず。

スクエアに隣接している8つのスクエアの方向で、前項と同様にテンキーで指定します。Mのキーを押すと選択したユニットの上にカーソルが現れます。複数の移動方法を持つユニットは、いずれかを選択してください。移動方法が決まると移動力を表示します。移動する方向のキーを押すとその方向に一つずつカーソルが移動し、移動力の残りを表示します。これを移動力が無くなるまで繰り返してください。途中で移動を終了したいときは0を入力します。地上から海上、海上から地上に進入する場合は、移動力が余っていてもその第1歩目で移動は終了します(空中を移動の際はこの制限はありません)。

また、平面が違う場合は移動の途中に限り他のユニットと同じスクエア(の上または下)を通過することができますが、移動終了スクエアに平面の違いにかかわらず他のユニットが存在する場合、そのような入力は無効とされ、再入力を要求してきます。

飛行中のユニットのZOC内に敵軍が入ると、攻撃を行うかどうかたずねてきます。ここでNと入力すれば移動を続けることができますが、攻撃を選択した場合はその時点で移動は終了し、攻撃準備にはいります。

また、飛行中のユニットが地表の敵軍を攻撃できる位置に移動するときに、すでにその移動先のユニットに平面の違いにかかわらず他のユニットがいる場合、攻撃をするしないに無関係に、そのような入力は無効となり、再入力を要求してきます。

敵軍ユニットのZOC内に進入したときは、自動的にそのユニットの移動は終了し、同時に相手がこちらのZOCに入っているときはそのまま戦闘準備に入ります。戦闘準備では上で説明した情報コマンドと次の戦闘コマンドを選択することができます。

④戦闘準備(F)コマンド

Fキーを押すとコンピュータは必要に応じて自軍ユニットの攻撃目標、攻撃方法等の指示を求めてきます。なお、攻撃力が絶対的な

ものではなく、状況に応じて変化したり、ユニットによっては苦手な相手や武器等があることがあります。

一つのユニットについて指示し終わると、再びコマンド待ちの状態に戻りますので、次のユニットに命令を与えてください。全ての指示をし終わると自動的に攻撃フェイズに移ります。

ポイント・勝利の判定

ポイントは某国の経済価値を表しており、最初は100ポイントですが、街が1スクエア破壊されると2ポイント、工場が破壊されると3ポイント、建造物が破壊されると4ポイント減点されます。各ターンの終了時には残存ポイントに応じて、形勢を6段階に評価して表示します。怪獣軍団は街などを破壊してポイントを0にするかまたは全防衛軍ユニットを粉砕すれば、防衛軍は経済価値を下げることなく全怪獣軍団ユニットを退治すれば勝利となり、ゲームは終了します。終了時には最終的な評価が表示されます。

HINT

場合によっては、防衛軍側がある敵ユニットを包囲していくく攻撃を続けても相手を破壊することができず、かといって敵ユニットも動けず、事態が全く膠着してしまったかのように見えることがあります。これはゲームの論理的なミスではなく、このような状態に陥ったということは、防衛軍側のプレイヤーが何か大切なことを忘れていたり、気がついていないということに他なりません。想像力を働かせ、連想記憶を呼びさましてください。

プログラムの入力と実行

プログラムの入力

このプログラムはFM-8/7、PC-8001/8801/9801の各機種で実行できます。MZ-80B/2000/2200についても作成しましたが、変更箇所が多くリスト掲載が困難となりましたので、テープ版でのみ販売します。そちらをご利用ください。

プログラムは①データロード、②ユニットデータ(含むマシン語サブルーチン)、③メインプログラムの3つの部分で構成されます。

データロードはBASICで書かれており、②の部分ロードして、メモリ上に展開するプログラムです。これはリスト1のPC-9801用リストを基本に、各機種ごとにリスト2~3の変更を加えて使用します。

ユニットデータはユニットや地形のデータ部と各機種ごとのマシン語サブルーチンから構成されています。全機種共通ですが、そこに含むマシン語サブルーチンは6809用、Z-80用、8086用の3種類があります。

メインプログラムはBASICで書かれています。これもデータロードと同様、PC-9801用のリスト8に、各機種ごとに変更(リスト9~10)を加えて使用します。

以下に各機種ごとに説明をします。なお、ユニットデータに限りリストを3機種共通とするため、チェックサムにはアドレスを加算していません。リストにはアドレスの下2桁のみ表示してありますので、各機種毎の開始番地からオフセットして入力して下さい。またチェックサムプログラムはリスト11の20行を削除すればアドレスを加算しないものとして使用できます。

●PC-9801/E/F

①CLEAR,&H1A00↓

DEF SEG=&H1A00↓

としてからリスト1を正確に打ち込み、ファイル名"gwload"でテープにセーブします。

②モニタに入り、SまたはEコマンドでリスト4のユニットデータを打ち込んでいきます。開始番地を\$2200として、オフセットを加えて入力してください。

マシン語サブルーチンは8086用のリスト5を使用し、ユニットデータに続けて打ち込みます。これも両方まとめてモニタからWgdata,2200,5E2F,↓として①のすぐ後にセーブしておきます。

③いったんリセットキーを押してからリスト8を正確に打ち込んで、①、②をセーブしたテープの②の直後にファイル名"gwmain"でセーブします。

●PC-8001,8001mk II,8801,8801mk II

各機種ともN-BASICモードを使用します。Diskは使用できません。

①CLEAR 300,&HAEFF,↓としてからリスト1にリスト2の変更を加えて打ち込みます。入力し終わったら"gwload"というファイル名でセーブしておきます。

②モニタに入り、Sコマンドでリスト4のユニットデータを打ち込んでいきます。開始番地を\$AF00として入力してください。

マシン語サブルーチンはZ-80用のリスト6を使用し、ユニットデータに続けて打ち込みます。これも両方まとめてWAF00,E9F2↓

として①のすぐ後にセーブしておきます。

③いったんリセットキーを押してから、リス

ト8にリスト9の変更を加えて正確に打ち込みます。但しそのままですとメモリが足りなくなりますので、打ち込みの際には文字列出力(ダブルクォートで囲まれた文字列)と論理演算子(OR,NOT等)の両側以外の空白は全て取って入力してください。入力したら、①、②をセーブしたテープの②の直後にファイル名"gwmain"でセーブします。

●FM-8/7の場合

Disk BASICは使用できません。

①CLEAR,&H43FF↓

としてからリスト1にリスト3の変更を加えて正確に入力し、ファイル名"gwload"でテープにセーブしておきます。

②モニタにはいり、Mコマンド等でリスト4のユニットデータを開始番地を\$4400としてオフセットをかけて入力します。

リスト7の6809用マシン語サブルーチンを続けて打ち込み、データ部と一緒にSAVEM"gwdata",&H4400,&H7EAF,&H4400↓としてデータロードのすぐ後ろにセーブしておきます。

③いったんリセットキーを押してから、リスト8にリスト10の変更を加えて正確に打ち込んで、①、②に続けてファイル名"gwmain"としてセーブします。

実行まで

各機種ともBASICを起動したら、前項で作ったカセットテープをレコーダにセットし、"gwload"をロードして、RUN↓とします。すると自動的にユニットデータをロードし、用意してある全49のデータからゲームに登場させるユニットを選択して、メモリ上に展開し、メインルーチンをロードするかを聞いてきます。ここでYを選択すれば自動的にメインルーチンをロードしてゲームが始まりますが、Nを選択した場合はメモリ上に展開したデータの開始番地と終了番地を表示します。まだゲームに慣れないうちは、小さなミスが取り返しのつかない結果を生んだり、なにがなんだか分からないうちにゲームが終わってしまうことがあります。そんなときのためにここで展開したデータ部分をセーブしておけば、ゲーム終了後にこれをロードしてRUN↓とすることで、いちいち最初からの手順を踏むことなく、全く同じ初期状態からもう一度プレイすることができます。ゆえに、もしもあのときこうしていればというIFを実行することも可能でしょう。

データをセーブした後は"gwmain"をロードし、RUN↓とすればゲームが始まります。

ガウォーゲーム プログラムリスト

PC-9801/E/F

PC-8001/mk II /8801/mk II

FM-8/7

リストの見方

BASIC部分のリストは本誌狭小の折りから、最密充填リストで掲載しております。
ノの位置でリターンキーを押すだけで、あとは印字のままに打ち込んでください。

マシン語部はリスト4を除いてアスキー標準形式でチェックサムを算出してあります。

リストIIのプログラムを使用してチェックサムをとってください。なお、リスト4のユニットデータについては、リストIIの30行を削除して御使用ください。

リスト 1 PC-9801系用ローダー“gwload”

■このプログラムは、あなたが個人として利用する場合は著作権法上、著作者に無断では使用できません。 COPYRIGHT ©1984 by Tatsuya Senmaru

```
1000 GOTO 1080:1010 LOCATE 1,22:PRINT"メイン-ラン ロート シマスカ (y/n) ?":1020
15=INKEY$:IF 15="" THEN 1020 ELSE ON (INSTR("YyNn",15)+1)/2+1 GOTO
1020,1040:1030 PRINT:PRINT"テ-タ ノ ハイハ 3500 カラ 5E2F テ-ス":END:1040 C
LEAR ,&H1C00:LOAD "gwmmain",R:1050 DATA 8CD88EC08CC88ED88BF3B88002CD1A
B80005CD1A3CA75F732EDE84800E84500E84200AF8E83D008AD8E8380084ED7523F
831003CA751C32EDE8280084C074188AC8E81F00880743FEC975F6E8150084ED74DD
B8FFFFEB0233C0268904B01CD1AB002CFB80105CD1A84E4740358EBE3C3:1060 I
USR1(0) THEN ERROR 27 'BLOAD <gwd>data', error 27 is "Tape read error":
1070 POKE PO,&H22:POKE PO+1,&H0:POKE PO+2,&H1C:POKE PO+3,&H4B:POKE PO+4
,&H35:POKE PO+5,&HF5:A=USR0(0):RETURN:1080 CLEAR ,&H1A00:DEF SEG=&H1A
00:DEFIN A-Z:AA=&H5F00:BASE=&H3500:PI=&H5800:PO=PI+&H28:EN=BASE+&H1D
40:AM=BASE-&H18B5:DEF USR0=PI+&H2E:DEF USR1=AA:NP=1:CO=1:1090 WIDTH 4
0,25:CONSOLE 0,25,0,1:COLOR 7,0,1:SCREEN 0,0:CLS 3:1100 READ AS:FOR J
=1 TO LEN(AS) STEP 2:POKE AA,VAL("&H"+MID$(AS,J,2)):AA=AA+1:NEXT J:1110
DEF FNL(X)=VAL("&H"+RIGHT$(X,2)):DEF FNH(X)=VAL("&H"+LEFT
$(RIGHT$(X,4))+HEX$(X,4),2)):DEF FNR(X)=INT(RND(1)*X):1120 DIM N:30
),N1(5):1130 COLOR 1:PRINT"
1140 PRINT"
1150 COLOR 3:PRINT"
1160 COLOR 2:PRINT"
1170 PRINT"
1180 PRINT:1190 COLOR 6:PRINT"
1200 PRINT"
1210 COLOR 4:PRINT"
1220 COLOR 5:PRINT"
1230 PRINT"
1240 CONSOLE 11,14:COLOR 7:PRINT:PRINT"テ-タ ノ ハイハ ロ-ド-ラ ム ノ":PRINT
:PRINT" テ-タ ノ セット シテ RETURNキ- ヲ オシテタ-サイ。":1250 IF INKEY$<>CHR$(13)
THEN 1250:1260 FOR I=0 TO VAL(RIGHT$(TIME$,2)):A=RND(1):NEXT I:1270 GOS
UB 1060:1280 PRINT:PRINT" コレカラ ロ-ト-シタ テ-タ ノ ショリヲ オナオナス。":PRINT:PRIN
T"カンタ カ" "ン" ニ カツタ オナオナス。":PRINT:PRINT"コ-ヒ- テ-モンテ- オナオナ-サイ。":129
0 CO=176:A1=BASE+&H34D:FOR NM=1 TO 2:GOSUB 1440:NEXT N1=5:N2=1:N3=5:L
N=2:GOSUB 1390:GOSUB 1380:LN=5:IF FNR(2) THEN LN=3:FOR NM=10 TO 13:G
SUB 1440:NEXT:1300 N1=8:N2=2:N3=14:GOSUB 1390:FOR I=1 TO LN:NM=N1(1):
GOSUB 1440:NM=NM+1:GOSUB 1440:NEXT N1=10:N2=1:N3=30:LN=3:GOSUB 1390:G
OSUB 1380:N3=40:GOSUB 1390:GOSUB 1380:NM=0:GOSUB 1440:POKE PI+6:FNH(A
+1):POKE PI+7:FNH(A1+1):NM=1:AD=AM+1310 IF AD=BASE THEN GOSUB 1490:
GOTO 1340 ELSE D2=PEEK(AD+1):A2=AD:GOSUB 1350:1320 IF D2=N(NM) THEN L
N=AD-A2:POKE PO,FNH(A2):POKE PO+1,FNH(A2):POKE PO+2,FNH(EN):POKE PO+3
,FNH(EN):POKE PO+4,FNH(LN):POKE PO+5,FNH(LN):A=USR0(0):EN=EN+LN:IF SE
IF D2=N(NM) THEN NM=NM+1:GOSUB 1490:IF NM=NP THEN 1320 ELSE 1340:1330
GOTO 1310:1340 POKE PI,FNH(BASE):POKE PI+1,FNH(BASE):POKE PI+2,FNH(B
ASE+625):POKE PI+3,FNH(BASE+625):POKE PI+4,FNH(BASE+&H34D):POKE PI+5,
FNH(BASE+&H34D):GOTO 1010:1350 AD=AD+2:1360 D1=PEEK(AD):AD=AD+1:IF D
1=0 THEN RETURN ELSE IF D1=&H1B THEN AD=AD+2 ELSE IF D1=&H11 THEN AD=A
D+1:1370 GOTO 1360:1380 FOR I=1 TO LN:NM=N1(1):GOSUB 1440:NEXT RETURN
:1390 N1(1)=FNR(N1):N2=N3:FOR I=2 TO LN:1400 N1(1)=FNR(N1):N2=N3:F=0:
FOR J=1 TO I-1:F=F+(N1(J)-N1(I)):NEXT I:IF F THEN 1400:1410 NEXT I:1420 F
```

```
=0:FOR I=2 TO LN:IF N1(I-1)>N1(I) THEN SWAP N1(I-1),N1(I):F=1:1430 NE
XT:IF F THEN 1420 ELSE RETURN:1440 AD=A1:1450 IF PEEK(AD+1)=0 AND PEE
K(AD)<>NM THEN AD=AD+PEEK(AD+2):GOTO 1450:1460 IF AD>A1 THEN POKE PO,
FNH(AD):POKE PO+1,FNH(AD):POKE PO+2,FNH(A1):POKE PO+3,FNH(A1):POKE PO
+4,FNH(EN-AD):POKE PO+5,FNH(EN-AD):A=USR0(0):EN=EN-AD+A1:1470 IF PEEK
(A1)=0 THEN RETURN:1480 GOSUB 1490:N(NP)=PEEK(A1):NP=NP+1:AD=PEEK(A1+
1):A1=A1+PEEK(A1+2):IF AD THEN 1440 ELSE RETURN:1490 LOCATE 38,23:PRI
NT CHR$(CO):CO=CO+1:RETURN
```

リスト 2 PC-8001系用ローダー変更点

リストI“gwload”にこの変更を加えて御使用下さい。

■このプログラムは、あなたが個人として利用する場合は著作権法上、著作者に無断では使用できません。 COPYRIGHT ©1984 by Tatsuya Senmaru

```
1030 PRINT:PRINT"テ-タ ノ ハイハ C200 カラ 9F2F テ-ス":END:1040 CLEA
R 300,&H1CFF:1M 5,"run"+CHR$(13):POKE &HEA68,1:POKE &HEDC0,&H
BC:POKE &HEDC1,&HEA:LPRINT"gwmmain:1050 DATA 3EFF323CFECDF30BC
D880CD63A20F9323CFECD13EECD880CFE3AC20D0CCD880C474FB72812CD88
0C77814F2310F7CD880C8128E1C30D0C01401F0B78B1C20AECC32E0CCD880
C67CD880CF844FCD880C81C20D0CC91060 A=KANJI 1(0):1070 POKE P
O,&HAF:POKE PO+1,&H0:POKE PO+2,&HA9:POKE PO+3,&H4B:POKE PO+4,&H
35:POKE PO+5,&HF5:A=KANJI 0(0):RETURN:1080 CLEAR 300,&HAFFF:D
EFSNG A-Z:AA=&HEDD0:BASE=&HC200:PI=&HE4F8:PO=&HE88F:EN=BASE+&
H1D40:AM=BASE-&H18B5:DEF KANJI 0=&HE895:DEF KANJI 1=AA:NP=1:C
O=1:1090 TRON 40,25ELSE 0,25,0,1:WRITE 7,0,1:PRINT CHR$(12):
```

リスト 3 FM-8/7用ローダー変更点

リストI“gwload”にこの変更を加えて御使用下さい。

■このプログラムは、あなたが個人として利用する場合は著作権法上、著作者に無断では使用できません。 COPYRIGHT ©1984 by Teruhisa Ishikawa

```
1030 PRINT:PRINT"テ-タ ノ ハイハ 5A00 カラ 7EAF テ-ス":END:1040 CLEA
R ,&H59FF:LOAD "gwmmain",R:1050 DATA 0AD00"gwdata":1070 POKE
PO,&H44:POKE PO+1,&H0:POKE PO+2,&H41:POKE PO+3,&H4B:POKE PO+4,
&H35:POKE PO+5,&HF5:A=USR0(0):RETURN:1080 CLEAR ,&H4100:DEFIN
T A-Z:BASE=&H5A00:PI=&H7A00:PO=PI+&H8:EN=BASE+&H1D40:AM=BASE-
&H18B5:DEF USR0=PI+&HE:NP=1:CO=1:1090 WIDTH 40,25:CONSOLE 0,2
5,0,COLOR 7,0:CLS:1100 1240 COLOR 7:PRINT:PRINT"テ-タ ノ ハイハ
ロ-ド-ラ ム ノ":PRINT:PRINT" テ-タ ノ セット シテ RETURNキ- ヲ オシテタ-サイ。":
```

リスト 4 ユニットデータ

■このプログラムは、あなたが個人として利用する場合は著作権法上、著作者に無断では使用できません。
COPYRIGHT ©1984 by Shinichi Fukuda Yukio Ihara

PC-9801は\$2200から\$57FFまで、PC-8001系は\$AF00から\$E4FFまで、FM-8/7は\$4400から\$79FFまでに打ち込んで下さい。チェックサムにはアドレスを加算していません。

リストIIの30行を削除して御使用下さい。

00:01011B0700C6CA20 D4
08:1B02012C1B04010D 77
10:1B05012C1B060120 8F
18:B6DEB2D92E0D0002 5C
20:01B2C1C9C0C61B03 E1
28:0100030120CAB6B6 63
30:000401BED8BBDEDC 10
38:1B0301000501C5DD C7
40:CCDE1B0301000601 D0
48:B6DDC0DE1B030100 50
50:0701BCAEB8CCDEC2 96
58:20B9DDB7ADB3BCDE 67
60:AE00000107071B09 E9
68:00CA201B0401C920 F3
70:CAC2D2B2BCC00D20 B9
78:4F584745E204445 2A
80:5354524F594552C3 FB
88:DE0D1B2700A620D4 C7
90:AF2B9D9D20BAC4C6 67
98:1B00000000010707 3B
A0:1B0900CA201B0820 2C
A8:C920BCBCDEC6D6D8 B3
B0:0DA2B6D7C0DECAFA 4C
B8:C920BFB3BB88A620 94

C0:B6B2BC2E0D000A01 6A
C8:07071B0900CA201B 37
D0:0201C920BCEAE8B9 ED
D8:DEDDC6D6D820D1B 77
E0:2600C6C0B2BC20BC F6
E8:B5D0BDD8B3B9D8 24
F0:B7A60DB5BACB3BA 0B
F8:C4A620B9AFC3B21B 82
00:0800000B0107071B 3D
08:0900CA201B0701C9 DF
10:20BADAEB3BEB2BCC0 57
18:0DCADF7BED0D02D 25
20:48C3DE201B2900A6 F3
28:20BAB3B9DEB7BD09 71
30:BAC4C61B08000000 73
38:0107071B0900CA20 1D
40:1B0601C920CAC2D2 69
48:B2BCC0A248C1ACDD 62
50:C8D920BAB3CAA30D A8
58:A620C2B6AFC3201B EB
60:2800A620D4AFC2B9 EC
68:D9BAC4C61B080000 40
70:0D01071B0700C9B3 B7
78:C12031D8A620B4D7 3B

80:DDC3DEB8C0DEBBB2 41
88:0D20533D1B040120 FD
90:493D1B020120D04E 1F
98:3D1B0501204B3D1B 21
A0:060120503D1B0701 D7
A8:0D0000E01C4B8C620 7E
B0:B9DD87ADB3BEB2B6 D3
B8:CA20B1B6DEAFC3B2 53
C0:C5B22E0D000F0111 D3
C8:011B0E01000102C4 F2
D0:B8C620C9CDD0E920 0B
D8:BAC4CA20C5B22E0D 1A
E0:000202071B0900CA F9
E8:20C4B8CDD0E2B8B3 76
F0:B9DEB7C920BCDEAD 7E
F8:DDC3DEB8C0DEBBB2 41
00:B7C3B2D92E0D0003 43
08:021B0900C620BCAD 75
10:C2C4DEB320D6B3BE 7E
18:B2B6DE20C0DEBBDA 99
20:C80D0004021B0900 F7
28:B6DE20BCADC2C4DE 81
30:B31B080000050207 E4
38:4F584745E204445 2A

40:5354524F5945521B 53
48:0F00000060207BCB5 8F
50:D0BDD0E20BAB3B9DE 0F
58:B71B0F0000070207 F1
60:B6D7C0DECAFA6201 DB
68:2500C9BFCAD0E3D0 F6
70:20CAAFB9DD2E0D00 6A
78:0802071B090020A2 F7
80:482DC1ACDD8D920 80
88:BAB3CAA31B0F000D 11
90:00090207CADFB7DE 50
98:0B6D7201B25000B6 59
C0:DE20BCADC2B9D0ED 9D
D0:20C4DEB320D6B3BE 7E
D8:071B18001B25001B 95
E0:190034306D1B1A00 1F
E8:36CFDD742C1B1C00 B9
F0:BEDED0BDCDBD6D720 BF
F8:B6DE20BCADC2C4DE 81

まあZ-80のろいこと、PC-9801でマップがしばしば動くさまを見ると、うさぎとかめ、光速と新幹線、インデックスレジスタが悪いんだ！♡徹夜の副産物、ガウォーゲーム豪華版ローダーを元祖PC-8001ユーザー（8001mk II,8801,8801mk II不可）にあげます。欲しい理由とテープカディスクかを明記のうえ、保証書のコピーを同封のこと。T.千丸

00:A620CAAFBEB2BDD9	45	E8:1B2C001B19003230	DD	D8:DEC1C620BAB3CCB8	76	B8:0D1B3600201B3700	D0
08:000001061B0226B6	ED	F0:636D1B1A00CCD2B2	55	D8:BED62E20BCC5B220	35	C8:CA20B6B2BFDEB320	C2
10:B4AFC320B7C00D00	CA	F8:0D00020C07C4DEB3	77	E8:CADEB1B2CA201B31	41	C8:C6D0B9DEDD20C3DE	D8
18:020607B6BEB220D8	30	00:D320B1D8B6DECA4B3	87	E8:00B6DE20C4BCA620	FA	D8:B1D9000004161B36	0E
20:B9AFC420B6DE2000	00	08:20B7AFC420D6B520	12	F0:CA86B2BDD92E0D00	03	D8:00CA20BCCDDC3DEA	EE
28:03061B0206D3C1B6	76	10:BAC420B6DE20B1D8	23	F8:0411CADEB6D3C920	2F	E8:20B2C5B6AFC00D00	C9
30:B4AFC020C9CA201B	11	18:CFB0D06E2D4D4F53	D8	00:C0C0B6B3C9C0DE2E	7E	E8:0516D7B2C0B020CC	00
38:260020C920C0CFBA	78	20:D720D320BDB8DEC6	03	08:0D000511CFB9C3D3	41	F8:A7B2C42021C4B3AF	84
40:DE1B12000004061B	30	28:2020B6B4D8CFB0D0	1B	10:20BCD7DDBFDE2E0D	68	F8:B020D00006161B36	4A
48:18001B26001B1900	8D	30:00030C07B6B4BCC3	FF	18:000611D1B020C3B2	2D	00:001B1700D7B2C0B0	2B
50:33306D1B1A0031CF	05	38:20B8DAC5B220C5D7	E5	20:BAB8C620BAB3CCB8	49	08:20B7AFB820284B29	FA
58:DD741B1C00D220B6	30	40:20BCDEB8C220BCCF	E2	28:1B1B00000112CAB2	C5	10:D0D7B2C0B020CADF	E2
60:D720BAB3BEDDA620	C5	48:BD0D1B2C00020CA20	1B	30:A420DCC0B8BCCA20	BE	18:DDC1202850290D00	6C
68:C0DEBD0D0001071B	8B	58:BCDEB8C220BCCFCB	7E	38:B4C1BADEC920C1D8	8F	28:0716CDDDBCD020BD	3D
70:18001B27001B1900	8E	50:C00D00040CDDC0BC	35	40:D2D20C4DEDD4C9	EB	28:D920282043202920	ED
78:35306D1B1A0032CF	08	60:20C0C120A620B2D0	16	48:20B2DDB7AEC3DEB0	72	38:CDDDBCD020BCC5B2	96
80:DD741B1C00CEB3C5	C5	68:CCA7DDC420C4B32D	C8	50:00000212B8DCAF20	84	38:2028204E2029A620	C5
88:ACC9B320B6B4DD0D	9C	70:CD20B6B4BCC320B8	AE	58:B6A420B6A420B6A4	6F	40:B4D7CDEB0D00117	5B
90:00020707102B60D3	AC	78:C0DEBBB2202E0D28	8E	60:20B6AF20B6AF0D00	17	48:B1B8C920CB0C2BF	6E
98:C2BEDD20A2B4B2BA	3F	88:B6B4BCCFBDB63F20	C7	68:03121B18001B3200	95	58:BCB720CAAFB6B0CA	3C
A0:B320CFD9A3CA0DB9	AE	88:2059206F7220A800	78	70:0DB2DDDBB32CB6B8	C7	58:20B6B2BFDEB320C6	8E
A8:DEDD2DD2DDCCD2B8	BA	90:29D000010D1B1800	07	78:DEB8DED9CF20C920	25	68:DDB9DEDDA20C20B6	8F
B0:C920C1DDCEDEC220	15	98:1B2D000D00020DD6	3A	80:D4370D0004121B32	7B	68:AF3C0DBEB6B20BDE	83
B8:A620C4B9DEC82E0D	1C	A0:B3C1B4DD20B6D0D2	D9	88:00201B1300000512	65	78:D2CCBA8A620CB0B7	4B
C0:00030707B1DACA20	86	A8:C5C6D3C9B620C620	E3	90:CCDEB7A620B4D7CD	7F	78:DDC3DEB2D92E0D00	44
C8:A2B5B5CA43BCDECF	DC	B0:B5BFDCCAD0000033	FA	98:DE20B2DDDBB32849	8C	88:02171101D5B3B6B2	1B
D0:C920C3DEDDDEC2C6	AD	D8:D07B7A8210D00040	A5	A0:2920B6C0C5284B29	20	88:20BCEB9DD0B6DE20	04
D8:20C2C0CD9201B27	B9	C0:0D1B2D0001B13000	83	A0:200D000612B4B0D2	5B	98:C8CAC2BCC3B2D90D	63
E0:00C0DE0D00010807	BB	C8:010E1B18001B2E00	8B	B0:4ACB86B42120CB86	98	98:0003171106CAAFB6	60
E8:B6B8C120C3DE20C5	D5	D0:1B190033306D1B1A	39	B8:B42120CB86B4B5D8	BA	A0:B0C920B6B2BFDEB3	51
F0:BFDE20C920BCDEAE	EE	D8:00353030741B1C00	48	C0:B320210DBAC920B2	56	A8:20C6DDB9DEDD20B8	0F
F8:B3CAC220BCEB9DD0	8F	E8:1B020EA41B030EA4	9F	C8:DDDB3B6DE20D220	11	B8:D3B5DDC5D6D00004	11
00:20B6DE20CAAFBEB2	BD	E8:1B040E2C6574630D	A7	D0:C620CAB2D7C7B6B0	66	B8:17B2A8B00020E0D0	0C
08:2E0D000208071102	F5	F0:00020EDBB9AFC4C0	D2	D8:20210D0001131B18	95	C8:01181B39001B1700	9F
10:BCDEAEB3CAC220B8	63	F8:DEDD00030EDAB0BB	11	E0:001B330001B190031	B3	C8:2045D1B1066182049	44
18:DEB9DDCA201B2800	A1	00:DEB0BAB3BEDD0004	9A	E8:3532636D1B1A0039	A5	D8:1B1008180D20573D	39
20:C920BCDCBBDEC0DE	B8	08:0ED2B6DEC4DD20CA	FA	F0:30B6B71B1C00B6C8	B7	D8:1B07180D000218C0	21
28:AF0C2E0D00030807	BC	10:DFDDC100050EC4CD	21	F8:A4BACB7DEDDC1AC	F9	E8:A7B0AF210D000018	4F
30:1106CCABAFCCABAF	63	18:DE201B2E0020211B	A3	08:B8BBD1D7B20D0002	DC	E8:D3BCEB2C0BCEDEDD	03
38:CCABAFCCABAFCCAB	C3	20:070E00060E1B2E00	72	10:13071101B5CFB4D7	38	F8:B6DE20B3D9C4D270	FB
40:AFCCABAF0D000408	EE	28:1B1700281B020E3D	C2	18:20C8DDB8DE20CAA4	E9	F8:B1B2A620C1ACB8B6	04
48:1B18001B28001B19	AA	30:205220A41B030E3D	9F	18:C4DEB5BCC0200DC5	C5	08:DEDD20BCC320CDD0	24
50:0033306D1B1A0031	36	38:4CA41B040E3D5029	D3	20:C6A82120C8DDB8DE	EA	08:BCDDBC0000000418	3E
58:CFDD35BEDD742CB8	D8	40:0D00070E1B00E0D0	60	28:20A620CAD7B4C5B2	B2	18:1B39001B13000005	87
60:AE3B620B4B720A6	68	48:00080ECFDEAF2021	83	30:20C0DEC420210D00	D0	18:1B18001B39001B18	1A
68:20CAB80D0001091B	D4	50:00090E071B20001B	82	38:031307D4DBB3C4DE	21	28:190034300001B1A0	0F
70:18001B29001B1900	90	58:130000010F1B1800	56	40:D320D4AFC1CFB4D0	C7	28:33CFDD35BEDD741B	3E
78:34306D1B1A0032CF	07	60:1B2F001B19003138	E7	48:0001141B34001B17	96	38:1C00B4D2D8B321BA	B8
80:DD741B1C00B8C120	21	68:30636D2D33306D1B	18	50:000D20DBB9AFC4C0	FC	38:B3BEDDA4D8B32C4DE	22
88:B6D720D1BCDEADB3	78	70:1A0037306B672D36	B6	58:DEDD3D205220A40A	08	48:BCAEAFCA4A1B1B2B	A1
90:D6AEB820DAB2C4B3	61	78:3030741B1C00C0B2	7D	60:B0B8DEB0B8B3BED0	01	48:D7AFB6DEB0B8A46574	47
98:20BAB3BEDDA620C0	AE	80:C5B2C620B9DEDDBC	8D	68:203D4C20290D0002	01	58:630D00001B84D2D8	E2
A0:DEBD0D0002091B83	D1	88:D8AEB820B4C8D9B7	6A	70:14071B34001B1300	98	58:B3D1B8B3BEDD0007	93
A8:09B6DE20CAAFBEB2	A6	90:DEB0A620C5B2BFDE	68	78:0003141B18001B34	99	68:18DCB2C4DEBCAEAF	61
B0:BCC0D000030907C4	60	98:B3D00020F071B2F	22	80:000DDEDEDDC1AEB3	A0	68:C4000018B1B2BDD7	DB
B8:C2BEDDD20C920B6	FA	A0:C0CA20CCDE7AFB8	D2	88:203233356D2CB5D3	DB	78:AFB6DEB0000918C6	D4
C0:DDCADF200004091B	CE	A8:20C0DEDDA620C2B6	D9	90:B82032CFDD38BEDD	0C	78:BCC920B0F720C6A4	C5
C8:0309CA201B2900C9	03	B0:AF30DC1B7ADB320	77	98:741B1C00BACADE89	E6	80:B1B9C920D0B6B3BC	40
D0:20BCDCBBDE201B12	9E	B8:BEB2CCB8A620C0B8	32	A0:C4D0BBB2D92CCADE	AE	88:DEADB3B6DE20B6B6	5E
D8:000D00010AB9DEDD	8C	C0:D7DDC3DEB2D9D0D0	ED	A8:B8D7B2D00004141B	81	98:DEAD4B8BADB0D31C	FF
DE:BBDEB2C9C4BADD20	8D	C8:030F1B2F00CA20CE	14	B0:3400C4CA20B7DDC0	36	98:C920CEB3C6DE20B3	DA
E8:CCD2B20D00020A1B	84	D0:DBDDC0DE2EBFBCC3	C2	B8:DEB220B6B6DEB8C9	7B	A8:C1ADB3C620C4D5C3	6B
F0:18001B2B001B1900	92	D8:2E2E2E2E2E20D020	41	C0:20BDB2A620B0AD78	A2	A8:DEB2B8A5A0DA5A5	E9
F8:38306D1B1A0031CF	0A	E0:0001101B18001B30	8F	C8:C30D9DDBFDEB320	D6	B0:A5B8DA60DE20CEDE	9E
00:DD35741B1C00CAC8	4F	E8:001B1C00DAB2BEDD	5E	D0:BBDAC020CADEDDC9	C3	B8:B020C5DDC0DED621	0F
08:C920D8DDCCDFDD0D	33	F0:CEB3A4BCADCEB3A4	83	D8:B3BEDD6DD206D69	D7	C8:0D1B3900CA20B8B7	BC
10:00030A07B3D0B607	24	F8:C4DED8D9D0002012	72	E0:67687479BADEB320	27	C8:AEB3CD20B6B4AFC0	7A
18:20B7AEC0DEB2C520	BA	00:1B300020BEDEDDCC	0B	E8:C60DC9D8BADD3CDE	AC	D0:DEB00001191B1800	27
20:C0CFBADE20B6DE20	FB	08:DE20B2BCDEAEB3C5	70	F0:20B6B6DEB820BCDE	DC	D8:1B3A001B19003530	EE
28:C5B6DEADAC3B7C0D	7A	10:BAC41ADB3CCDE20	4B	F8:C0DEB2C920B1B820	C2	E0:6D1B1A0003138303	6B
30:00040A07B3D0B6D7	25	18:B2BCDEAEB3C5BC0D	38	00:5220B6D720B9DEDD	93	E8:30740D0002190711	E4
38:20B7C020C0CFBADE	DE	20:BAB3CCDE20B2BCDE	83	08:C0DEB20DBACB6B2D	48	F8:06B4B7CFB4C920BC	99
40:CA201B2B00C920C0	D9	28:AEB3C5BCA41B3000	D1	10:A620CEDEB3B4B2BD	20	F8:DEC4DEB3CADDCADE	82
48:CFBADE1B12000001	95	30:20CAAFBCDD0D0003	42	18:D9203131C6DDC920	E7	00:B2B7C3DE20C0CADE	92
50:0B1B18001B2B001B	9F	38:101B30001B1700DA	67	20:D5B3BAC0C1C3DE	12	08:BA20A6B6AFC0CB8C	4A
58:190038306D1B1A00	23	40:B2BEDDCB33D5AA40	09	28:B1D90D0001151B18	E0	18:CBDECA4B6DE0DB1CA	89
60:31CFDD35BEDD0741B	3C	48:BCADCEB33D4D0D00	81	38:001B35000D000215	74	18:DEDAC0DEBCC02EBA	BA
68:1C00CAC820C320D8	8F	50:04101B30001B1300	8D	38:B6B2BCDEAEB32000	83	28:DACA201B3A00C920	02
70:DDCCDFDD0D00020B	7F	58:0001111B18001B31	91	40:031520B9DEDD20D0	38	28:BCDCBBDE0CDE2E0D	0A
78:000000CA20DCDADC	C2	68:001B19003135306D	37	48:20CCD2B2C920BCDE	F3	38:0003191B3A00C920	5A
80:DAC920D0B6C0C620	EF	68:1B1A0033BEDEDD74	55	58:BA2000004151B0215	25	38:BCDDDBACB8CA20BA	79
88:C5AFC02E0D000030B	7D	70:1B1C00B1B2C3C620	43	58:C3DE1B0315B6DE20	88	40:DAC3DE20B5DCAFC0	9B
90:07B1DACA206E2D4D	64	78:CFB7C2B2C320BCD2	6B	60:CAAFBEB20D000515	10	48:C920C3DEBD0DB1DD	E2
98:4F53D7C920BBB2BA	89	80:C2B9D90D00021107	78	68:1B0215C91B0315CA	F8	58:BCDD20BCC3B8C0DE	8E
A0:DEC920CCDEB720C3	0B	88:1102D1B0C3B2BAB8	7B	70:201B35000C920BCDC	F1	58:B8B22EB4A4F20C5B	A1
AA:DEBD0DD3BDD7CA20	F9	90:C920C6DD9DEDD0B6	B6	78:BBDE1B1200000615	E1	68:DEC3DEBDA4F33F0D	03
AB:BCDDC3DE20BCCFB2	97	98:DE20CBC4A620D5B3	DB	80:1B3500C920CADEDD	BE	68:DCDADCA20BCDEDD	0A
B0:20CFB0D000040BC4	8C	A0:B6B220B6C6B3C420	B1	88:C9B3BEDD6DD204A	14	78:D9B2D00B3C1ADB3	49
C0:DEB820D8DDCCDFDD	F3	A8:BCC3B2D90D000311	28	90:414D424F57C920B5	14	78:BCDEDDC620C8D7DC	DB
C8:20C3DE20BAB3B8DE	E5	B0:071106DCDADCDACA	54	98:FBFDBCB8A620D0DB	82	80:DAD920CEC4DE0DB5	05
D0:B720BCCFBDB6202D	1D	B8:20D1B020C3B2BAB8	A8	A0:D00001161B021600	57	88:C0B6DEB2A620B8CD	65
D8:2059206F7220A20D	08	C0:20C3DEB1D920D0BC	34	A8:0216CDDDBCD0D000	68	90:D7B220BCC3A202B2	C4
E0:290D00010C1B1800	76	C8:DEDD9B2CA20C0C0	B0	B0:03161B18001B3600	9D	98:CFBEDD6D70D0001	05

ガウォーの09サブルーチンを作るはめになった私は、大変くさってしまった。なぜって？決まっているじゃん。まともに使えるデバッガがないんですよ9には、そこで半年間眠っていたL3がMIGHTY-3と共によみがえったのでした。トレース機能のあるL3に感謝／＼そこで未公開L3版ガ・ウォーゲームをL3ユーザーに、てる　こと　T.石川

A0:1A071B3B001B1300	A5	88:B4210D00031FCFC3	96	70:2E0D000125071106	7F	58:2E0D00012D1B1800	9C
A8:00021A542E42E46	56	90:2120B9DDBCEADB3	D1	78:1B4600CA20D6B6DE	B5	60:1B4E001B19003530	02
B0:2E283D2054657261	37	98:CA20BBB2BADEC920	D8	80:C920C8D1D8C620C2	02	68:6D1B1A0031CFDD35	B4
B8:669616C20446566	D1	A0:CCDEB7C0DE0D85DA	9A	88:46002E0D0002251B	EF	70:BEDD741B1C00EFC6	CB
C0:6656E63650D466F	C3	A8:C0C1CA201B051FC0	6B	90:46001B1300000325	9C	78:AFB8B3B4B0CCDE0D	35
C8:72636528C1B7ADB3	3A	B0:DE210D00041FDCC0	CB	98:C0DEAF20210D0004	9F	80:00022D07B6B8DEDD	62
D0:20CEDEB0B4B020B8	B8	B8:BCC0C1CA20C3C2D4	80	A0:25B1C9B8C0D720B8	C9	88:B6DE20CCDD8B6CCC	8F
D8:DEDD290D00031AD0	DE	C0:BCC320BAC9B0DEB0	69	A8:DDCBDEACB8B8DDCE	50	80:D000012E1B18001B	8A
E0:BDC3D8D4DDCA20B1	A4	C8:D1A620C2B8AFC02E	AE	B0:DEC0DEB20DB1C9B8	6D	98:4F001B190034356D	59
E8:C2B8C620D6DCB20D	D4	D0:0DB7D0D320C3C2D4	E0	B8:C0D720B8DDCBDEAC	A4	A0:1B1A0032CFDD741B	A2
F0:00041ABAC1D720C1	51	D8:20BCD6B32E0D0005	A5	C0:B8BDDCEDEC0DEB2	4C	A8:1C00B6B2D8B70D00	20
F8:B7ADB0CEDEB0B4B0	D4	E0:1FC6DDBCDEACCDE	B2	C8:0D0005251B18001B	85	B0:022E07BDB2BEB2B6	CC
00:B8EDDD20B1D9CCA7	90	E8:C0B22000061F1B40	12	D0:46001B1C00C4B3B1	A5	B8:DE20C1B6C2DEB2C3	8A
08:20BADEB30DC0C0DE	D6	F0:001B1700CBDFBDC4	5D	D8:C320C920BCDEADC2	D5	C0:B7C0D000012F1B18	E7
10:B2CF20D6D820BCAD	D8	F8:D93D5020B6C0C53D	FE	E0:20B6B4DD20CEB32C	34	C8:001B50001B190032	D1
18:C2B9DEB7BCCFBD2E	86	00:4B20BCADD8B9DD3D	7F	E8:6574650D00012607	79	D0:30306D1B1A0031CF	02
20:D000011B1B18001B	77	08:530D000120C5CFB4	C9	F0:1B04261B13000002	75	D8:DD740D00022F07DC	72
28:3C001B190031356D	43	10:20203A1B41000DCA	AD	F8:261B18001B04261B	B9	E0:C0CC920C5208CA20	34
30:1B1A0031CFDD740D	93	18:DFD8C620CEDDCCDE	F2	00:1C00B2DBCF120B1	0A	E8:BAB120C1B7ADB3A6	09
38:00021B071102C1C1	B9	20:A620B5B820BAB3B8	7B	08:BFBCDE20C3DDBADE	C0	F0:20BEBC2CCB8C0B7C	51
40:ADB320D6D8200BBD	DB	28:B2CB86B6DEB820B9	58	10:B820C420BCDEBADE	EE	F8:D000032F071101B4	0C
48:C3D8D4DDC9201B3C	8C	30:B2B8C220B7B8B320	93	18:B82BCD7C0B720C6	D4	00:DCADEDD8B6DE20D4	EA
50:00B6DE20BCADC2B9	98	38:C90DC6CEDD20BCCC	EF	20:B8B6DED7D20D0003	05	08:AF3B7C00D000130	27
58:DEDDBC02E0D0001	73	40:DEC6A4CBB6B6DEB8	15	28:261B0426C4CA20B8	D4	10:1B18001B51001B19	D3
60:1C071B3D001B1700	AD	48:20C4B8BFB3C0B2C4	44	30:B2BCDDB4B2C920BF	59	18:00326D1B1A003830	3C
68:533DBDCDDFBCADB3	15	50:20D6CADEDA90D335	93	38:B3CBDECA0DD5B3B7	6C	20:20B7DB1B1C00BCCD	72
70:D120B8AB3BEDD2059	72	58:6DDC920C0B2B2DD	8D	40:A620D33AFC320BCC0	A7	28:DEB8B120B6BDD7C0	91
78:3DD4C2BBDEB720BA	FD	60:20C0C1B6DEB1AFC0	55	48:20B6D7C920B7AEB3	AE	30:DEDD20BAB3B9DEB7	96
80:B3D8DD0D4B3DB7AF	63	68:2E0D20000220B7AC	E0	50:B220DAAFC4CDEDD4	9E	38:D0000230071106CF	2C
88:B28503DCADFDD1	AC	70:AFCCDFA4B6B2BCDE	00	58:B0C0DD5B3BEDED	84	40:AFB605CEDD8B6E20	89
90:D000021C07BCDEAD	79	78:ADB3B6DE20B1CADE	6D	68:C420C0C1D1B6B320	BF	48:C3DECFDCAFC3B2D9	49
98:DCAFC120210D0003	9D	80:DAC3B2CFBDD0EDD6	EC	60:35C6DDC920DCB6D3	26	50:D0000330B9D0B9B9	24
A0:1C1B18001B3D0000	B4	88:BC20B8ADC2C4DEB3	5C	70:C920C0C1C920C5CF	E7	58:B9B9B920210D0001	7A
A8:00041C1B3D00C920	61	90:20C0DE20210D0001	0D	78:B4C3DEB1D9D00004	F0	60:311B18001B52001B	EC
B0:B4C8D9B7DEB0B6DE	2E	98:211B18001B4200BA	6B	80:261B470020BCAEC3	C5	68:1C0034C220C920D2	ED
B8:A4B7DAC320B8D9C4	6D	A0:C920D2B0B8DEB0CC	80	88:C6AFCEDFDD000127	27	70:20B6D720BAB3BEDD	D5
C0:A4D1C8C90DB6D7B0	50	A8:DEC0B220C4CA20B6	E4	90:1B48001B17001B06	B6	78:A620C0DEBDD0D002	30
C8:C0B2CFB0B6DE20C3	68	B0:CEDD86DE20BEB6B2	85	98:273D2052A4C8AFBE	AF	80:310711021B5200C0	78
D0:DD2C2CDD92ED3BC	C4	B8:C620CEBAD90DB6B2	BC	A0:DD203D2048D00002	B1	88:DCB0B6DE20B5AFB7	64
D8:20B6D7B0C0B2CFB0	4E	C0:BCDEADB320C0B2BC	48	A8:27B6AFBCB0DD20B6	AB	90:DDBC3B2D90D00003	F7
E0:B6DE0DB7B4C320BC	AB	C8:DEC920CDB2B720C3	E0	B0:AFB8C0DD200D0003	28	98:31071106DCADCA20	E6
E8:CFAC00D7A41B3D00	11	D0:DEB1D90D0002211B	B3	B8:271B4800B021201B	96	A0:1B5200C3DEBDD1D9	2C
F0:CA20C6C4DECD0C0E	E3	D8:4200201B10000003	90	C0:04271B04271B0427	B7	88:D0000431B52000D	BC
F8:C1B1B6DE920BAC4	7D	E0:211B42000201B110	CA	C8:D0000427CBDFCB0F	8C	B0:0001322000010101	56
00:20B6DEC3DEB7C5B2	83	E8:0001221B18001B43	B4	D0:CBDFB00005271B18	B9	B8:0101010101010104	0B
08:C9C0DE0D00051CCA	5F	F0:001B1C001B03221B	92	D8:001B48001B1C001B	B5	C0:0404040404040404	20
10:D4C020C0B2BDDCA	7F	F8:04220D1B05221B06	96	E0:062720C8AFBEDD20	7F	C8:0000000000000001	02
18:A4564853B6CCDFBE	B4	00:220D0002221B4300	B1	E8:BCDEAAAFCA4B7D8AD	F3	D0:0101010101010101	08
20:D9C3DE20B3C1ADFB	6E	08:1B1700523D1B0322	01	F0:B30D000627D0B8B2	2A	D8:0404040404040400	1C
28:BCDEDDC620CDDDB0	C3	10:503D1B04220D423D	5A	F8:D9C0DEDD00072707	89	E0:0000000000000001	01
30:DD20B8C0DCBCEBDC	FC	18:1B05224C3D1B0622	0E	00:1B48001B13000001	92	E8:0101010101010101	03
38:C920B5C4BAC420C5	C5	20:D0000322DBB9AFC4	39	08:281B18001B49001B	DA	F0:0104040404040400	19
40:AF0C2EBFDA20B2B9	11	28:CADFDDC12C000422	99	10:1900356D1B1A0036	26	F8:0000000000000000	00
48:20CDDAD7C920CB80	C1	30:BAB3BCDBAEB8CBDE	10	18:741B1C00B2B4A620	D7	00:0101010101010101	08
50:DBB00D2000061C1B	F5	38:B0D1000522CCDEDA	2C	20:BADCBD0D00022807	91	08:0101040404040000	12
58:3D00CA20B4C8D9B7	33	40:BDC4CCA7B2D4B02C	56	28:B5DDC5B6DE20C5D0	A0	18:0000000000060706	13
60:DEB9A620CEB7ADB3	39	48:000622D9BDC4CAD8	24	30:C0DEA620C5B6DEBC	79	10:0001010101010101	07
68:20BCC620B6B4AFC0	9B	50:B9B8DD000722CFBC	FA	38:C00D0001291B1800	2A	20:0104040404000000	11
70:D000071C1B3D0020	A8	58:DEDDBADEB02120CA	0E	40:1B4A001B19006C36	3B	28:0000000000000605	B0
78:1B130000011D1B18	7F	60:DFB2D9C0DEB0B5DD	4A	48:356D1B1A0032BEDD	A4	30:0000010101010101	06
80:001B3E001B190035	C2	68:20210D200001231B	AD	50:35CBACB8741B1C00	0F	38:0101000000000000	02
88:306D1B1A0031CFDD	AF	70:18001B440001B1C00	AE	58:C1AEB3B5DDCADFBA	17	40:0000000000000000	00
90:35BEDD741B1C00CA	45	78:BADEAFC4DECCDEB0	43	60:B3BEDD20C6DD8B9E	A8	48:0000000101010101	05
98:B6B2BAB3BEDDA4DA	EE	80:D2D7DDA4BADEAFC4	35	68:DA620B8B30D00021	D	50:0101060600000000	0E
A0:B2C4B3B8B3BEDD00	3E	88:DECEDEB3B6DEDD0D	BB	70:2907D4FC920B6BA	2C	58:0000000000000000	00
A8:00021D071102B7AE	9E	90:000223D2BBDDE2D6	38	78:B3B6DE20D0C4DED8	B1	60:0000000001010101	04
B0:B3DAC2C520C3DEDD	B2	98:A4D5B3BCAC2EB3DD	52	80:B2DBC620CAAFBAB3	59	68:0100000000000000	01
B8:CADFA620C0DEBD20	EA	A0:D2B220C920C4B7CA	D2	88:BCC0D00032907B73	73	70:0000000000000000	00
C0:CCDEAFC0B2B6DE20	7F	A8:20B7C02ED7B2C3DE	EF	90:DEACB5B0A4B7DEAC	D4	78:0000000000000000	00
C8:CB07B2BCC0D0003	E0	B0:DDB6DE20CFC22E0D	5D	98:B5B0D000012A1B18	D0	80:0000000000000000	00
D0:1D0711011B041DDC	4E	B8:1B18CFC920BCEDEC	7B	A0:001B4B0001B190031	CB	88:0000000000000000	00
D8:DA20DCDACA201B3F	F3	C0:DEB2B6DE20BAD6B3	87	A8:38306D1B1A003330	6D	90:0000000000000000	00
E0:0020C3DEB1D92E0D	86	C8:20C4BCC3B2D92ED7	F3	B0:30741B1C00343030	6F	98:000000003030303	0C
E8:00041DCCABAF20CC	33	D0:B2C3DEDD8B6DE20F	B3	B8:30C4DE20C920CADE	83	A0:0000000000000000	00
F0:ABAF20CCABAF200D	CD	D8:C220210D00012453	8D	C0:B8CA20BAB3BEDDA6	50	B0:000000003030303	0F
F8:00051D071B3E001B	9D	E0:2E482E412E442E4F	D4	D8:B6B2BCDEADB3C920	4B	B8:030000000000606	15
00:130000011E1B1800	65	F0:6520486561647175	D7	D0:DBED3C9B6DE20CA	A8	C0:6000000000000000	06
08:1B3F001B19003138	F7	F8:6172746572732041	F2	E0:BCDECFD92E0D0001	7E	C8:000000003030303	0C
10:30636D1B1A003830	9D	00:5343494920446966	58	E8:2B1B18001B4C001B	E0	D8:0303000000070607	1A
18:B6B71B1C00CEB3BF	4F	08:656E63650D09144F	14	F0:19003130306D1B1A	4C	D0:0607060600000000	19
20:B320BDD90D00021E	96	10:7267616E69736174	59	F8:0033CFDD741B1C00	8A	E0:0000000000003030	39
28:B4020CEDEB3BBB50	D8	18:696F6E0D53204920	2F	00:B2DD8AEB820CAB6	6D	E8:0303030006060606	21
30:BEDDC0B020B6D720	58	20:440D537061636520	5D	08:B220BAB3BEDD0D00	E7	F0:0706060606000000	1F
38:B5BCD7BEBCCFBD2E	7C	28:496E737472756374	5C	10:022BBFD7B6D720CB	3B	F8:000000000000303	06
40:D000011F1B051FC4	30	30:696F6E2044656275	E6	18:B6D8C0DECFCB6DE20	AF	00:0303030000060607	1C
48:CA20B2B6DE2CBAB3	C9	38:676765720D000224	D8	28:CCAF3C8D90D00001	DD	08:0202020202020202	10
50:B6DEC920BCDEADC2	86	40:3139383420C8D200	BB	20:2C1B18001B4D001B	E2	18:0030303000000000	04
58:BCACC3DE0DBFCB7	48	48:BCDEDD9B2CA20B8D	A9	38:190034306D1B1A00	1F	10:0303030000000606	15
60:20BBDAC020BEB2B7	7C	50:C3DEC60DC1B7ABD3	4C	30:32CFDD742CC2D6B2	C8	28:0202020202020202	10
68:DEC920C4B8BCADCC	88	58:20CEDEB3B4B220BF	C4	40:20BCAFCEDF0D0002	47	28:0202020206000000	0E
70:DEC0B220C3DEB1D9	9B	60:BCB7201B4500A620	B9	48:2C071B4D00B6DE20	4F	30:0000000000000006	06
78:D000021F1B031FBC	27	68:B9AFB2BCC3B2C0	C9	50:BCADC2B9DEDDBC0C	1B	38:0606020202020202	18

風邪で寝込んで3日ぶりに出て来るとバロ版の作業は通か先に進んでおり、まるで浦島太郎でした！移植が3日で出来るか！本家のプログラムもあがらないよー！レポートも残ってるよー！おじさんはどうすればいいんだ！ガウウォー！／♡ MZにAPPLE名物のプーガー音を出させるというディスクセットを、MZ80B+MZ80BFのユーザーにさしあげます。S.山田

40:0202020202060706 1D
48:0000000000000000 00
50:0006000202020202 16
58:0202020202020606 18
60:0006000000000000 0C
68:0005050502020202 17
70:0202020202020202 10
78:0206000600000000 14
80:0000050502020202 12
88:0202020202020202 10
90:0202020200000000 08
98:0000050502020202 12
A0:0202020202000000 0A
A8:0202020202020202 10
B0:0000050505020202 15
B8:0202020000000000 06
C0:0002020202020202 0E
C8:0202000505050202 17
D0:0202020200000000 08
D8:0000020202020202 0C
E0:0202020000050202 0F
E8:0202020202000000 0A
F0:0000020202020202 0C
F8:0202020202020202 10
00:0202020202020202 10
08:0202020202020202 10
10:0202020202020202 10
18:0202020202020202 10
20:0202020202021603 25
28:0000B9DEDDBCD8AE B6
30:B820CAC2C3DEDD8E 9E
38:AEFF0F090000D1B5 51
40:BC20BAB6DEC8B2FF A3
48:00B0B000BDDBCDDE 4B
50:ADB8FF0F0B0000C4 42
58:B3B7AEB3C0DCB0FF 16
60:11B0B000B7DEDD8B 49
68:DEFF0F0C0000BAB3 65
70:B7AEFF0D0000C4 42
78:B3B7AEB320B8B3BA 10
80:B3FF01100000B5B5 2D
88:BBB6BCDEAB3FF15 80
90:130202C5DDB6B2C9 EA
98:29BAC4B3FF121404 7A
A0:02C5DDB6B2C920BA AF
A8:C4B3FF00000903CC 4E
B0:BCDEBDDFF000407 3C
B8:01CCBCEBDDFF00 FE
C0:000600CCBCEBDD 0A
C8:FF00070400CCBCE 70
D0:BBDDFF06090303B1 5D
D8:B5B7B6DECAD7FF04 A4
E0:0A0403B1B5B7B6DE C2
E8:CAD7FF050E0200B1 66
F0:B5B7B6DECAD7FF07 A7
F8:060100CAC1B5B0B8 B3
00:DEFE0100C71E1F24 05
08:25260100B0D0FC09 80
10:0700000600000200 0F
18:0001000000000000 01
20:062300031A060606 58
28:020801011C08C62C 22
30:0D053494E4B50083 9A
38:1D0163031C2A0108 D3
40:C42A01031C021C01 2D
48:071C021D01531C1B CD
50:085C0900021C0100 94
58:2B02031B07C201C 32
60:01051C021D01491C A7
68:1B0875090021C01 C9
70:020B02031B07C202 16
78:1C01061C021D0149 A8
80:1C1B0808E090A021C FE
88:01002B02031B07C2 15
90:021C01091C021D01 64
98:501C1B08A7090B02 4C
A0:1C01002B02031B07 6F
A8:C2021C01081C021D 2A
B0:014B1C1B08C0090C 60
B8:021C01002B02031B 6A
C0:07C2090F07C6090E C5
C8:060200FE2128D23D AE
D0:0400180514030109 C5
D8:0100040300040100 0D
E0:0100010000000000 02
E8:0000010103080904 1A
F0:062300031A062400 70
F8:031A0629021F1C08 91
00:3E017F0314090529 0C
08:021B1C084A017F03 0E
10:14090629021C1C08 8E
18:56017F0314090729 26
20:021D1C0862017F03 28

28:14090829021E1C08 92
30:6E017F0314090902 19
38:14017F1C08830220 5D
40:0101170320290100 66
48:2B32031A06020801 8B
50:021C08A101000308 D3
58:0101031701180309 41
60:0108030A09030C05 33
68:07E72A0208E70220 2B
70:0101160320010203 41
78:0D2A0201071C08BB 20
80:0107031F2A020106 5D
88:1C08C60106031B2A 39
90:0201051C08D10105 03
98:031C2A0201081C08 78
A0:DC0108031D2A0201 32
A8:091C08E70109031E 3F
B0:02202208F0010103 41
B8:0D0214017F1C08F9 C0
C0:0432010403140603 5B
C8:015205002801051E A4
D0:08512A0301641D08 10
D8:4F25250104190104 BC
E0:1817030402040100 3D
E8:1C08280B1D074702 C4
F0:0401011C08330B1E 86
F8:0747020401021C08 7B
00:3E0B1F0747020401 BD
08:031C08470B200164 FE
10:01052B0303040C28 6F
18:0504012105002803 55
20:040204017D200815 C8
28:0B240C0507200204 6D
30:017E1E08200B230C FF
38:0505050631C252A DD
40:2F340018000D0D03 98
48:2502000300003C01 67
50:0100000000000101 03
58:030809020C050623 50
60:00031A062400031A 64
68:060100031A062501 59
70:031C084601010317 80
78:0100030809010C05 27
80:28016420084E0030 8A
88:020801011C25010D 5B
90:201B086201050100 AC
98:2B01031A06060076 CB
A0:1B4494E4F00010B 51
A8:110B042602000300 4B
B0:0032010100000000 34
B8:2501041F02080100 5A
C0:1C1B083109010101 7C
C8:03080C0507432501 8C
D0:0420084301010308 7C
D8:0101031709030C05 39
E0:062300031A062400 70
E8:031A060628016E20 E0
F0:0857040302080101 72
F8:1C25010C201B086B FC
00:010601002B01031A 51
08:2501031C08750101 C4
10:0317060700061B2A CC
18:2F343500170F0110 CF
20:0127020103020032 62
28:0101000000002501 28
30:0220082901010308 60
38:09030C0506230003 4D
40:1A062400031A0606 6D
48:2501021C08430101 91
50:031709020C052801 5F
58:6420084B04030208 E8
60:01011C25010D201B 8C
68:085F010701002B01 9C
70:031A0608000601B2A D0
78:2F343500060F110B C9
80:0428020103000032 64
88:0101000000002501 28
90:0320082901010308 61
98:09020C0506230003 4D
A0:1A062400031A0606 6D
A8:2501031C08430101 92
B0:031709010C052801 5E
B8:6420084B04030208 E8
C0:01011C25010D201B 8F
C8:085F010801002B01 9D
D0:031A0609000601B2A D1
D8:2F34350007120F09 C9
E0:0129020403000032 65
E8:0101000100002501 29
F0:0420082901010308 62
F8:09040C0506230003 4A
00:1A062400031A0606 6D
08:28016220083D0403 F7

10:020801011C25010D 5B
18:201B085101090100 9F
20:2B01031A2501041C 8F
28:085F09020C050101 85
30:0317060A000911C3F 16
38:44494A0006130F0B 0A
40:012A020000000005 32
48:0001000000000025 26
50:010720083E010203 74
58:0D01050310010303 2D
60:11012B030E010103 53
68:1509040C05010103 38
70:08062300031A0624 78
78:00031A0606250105 54
80:1C085A09030C0501 9C
88:0103170781021B01 C1
90:001C2A0A1B020801 76
98:011C1B0881010003 C5
A0:0801000317015501 7A
A8:032B0B01001C0881 DF
B0:0101031B02170101 3B
B8:1C0890011D01062B 34
C0:0C031A060B00641C BA
C8:1D222A3A00014140F DA
D0:0B012B0205030000 41
D8:0501000000000000 06
E0:062300031A062404 74
E8:02594E031A06021A E8
F0:01591C0839017F03 3A
F8:1409030C0506021B 54
00:01001C2A0B1B0854 C9
08:09020C050101031B 3C
10:0101030801010317 29
18:0214017F1C086301 1E
20:0003080100031706 2C
28:0C0621B1C212223 0B
30:010C0C0F0B012C00 62
38:0006000002000001 09
40:000000062300031A 46
48:06060625010A2002 64
50:1701011C1B2A0C01 87
58:4D1C1B08612C0402 1F
60:594E01591C085509 83
68:020C05014701052B 8C
70:0A031A0100030801 34
78:000317076109030C 9A
80:0501020308010003 17
88:17060D005B1D2A2F FB
90:3437001500FF0301 83
98:2D00000600000301 37
A0:0101000000000009 0B
A8:020101031C0C0501 35
B0:010308062300031A 52
B8:062400031A062903 59
C0:06021B01061E0208 52
C8:01021C1B021C1B08 7B
D0:5A021B010116031B AD
D8:0904010003080101 1B
E0:03170C05060E0091 D0
E8:1E2B30394A001009 15
F0:0F09012E02040302 52
F8:0205010001000000 09
00:0000000905010103 13
08:1D0C050101030806 41
10:2300031A06240603 73
18:524C50031A062901 3B
20:0F1C0847017F0314 11
28:0101031B09070602 38
30:0801021C021B0100 45
38:1C1B08650105031C 2E
40:0101031D01000308 2E
48:070C020801021C02 BE
50:1C221B021D1B0881 1C
58:09090C0501010308 30
60:01010317078C021C 03
68:080C021C01011703 CE
70:1C01050314060F00 4E
78:6001C1D2227320012 26
80:121603012F020504 66
88:0300140101000000 19
90:0000062300031A06 4C
98:2400031A0629010E 7F
A0:1C08301005031406 78
A8:2501031C08460902 9E
B0:0C05010103080101 20
B8:0317075B02080102 89
C0:1C021A010A1D1B08 83
C8:5B0903010A031A0C 98
D0:05010A0314061000 3D
D8:031E2B3038550012 CB
E0:16110B0130010504 6D
E8:0303040100000001 0C
F0:00000009020C05 1C

F8:0101031D01010308 2F
00:062300031A062403 73
08:025A4D031A062901 F6
10:111C020105015A1C1B DB
18:0854017F03140101 F5
20:031B016401032B11 C3
28:031A06020801021C 4C
30:021B01001C1B0870 CD
38:010003080101031D 2E
40:0105031C07A40208 DA
48:01011D021C221B02 7C
50:1D1B252501051901 A2
58:05181701041C1B08 78
60:9909040C05010103 BC
68:080101031707A402 D1
70:1C08A4021C010117 FF
78:031C2501041C08AE 1B
80:0101031701040314 38
88:0611006B1C3F4449 6A
90:540013100116031 BA
98:0200030200140101 1D
A0:000000000250102 28
A8:20083E09030C052C AF
B0:0602594E01591C08 2D
B8:3609040C05073A09 9E
C0:050C050101030806 29
C8:2300031A06240003 6D
D0:1A062901101C0853 D1
D8:0105031406250102 4B
E0:1C08660100030801 97
E8:01031709020C0501 38
F0:140314061200BA1E 1B
F8:2B30387700090B0F 2D
00:0C03320000060000 47
08:0401000100000000 06
10:000009010C050101 1D
18:03080101031D0623 56
20:00031A062405024B 99
28:49031A0628016320 18
30:021A01491C1B084E F3
38:0906017F03140C05 B7
40:07662901131C021A E2
48:01491C1B08660906 FE
50:017F03140101031B B7
58:0C05252501051901 7B
60:05181701041C0876 D3
68:090206020801021C 3A
70:021B01001C1B0892 EF
78:0105031C0101031D 47
80:0100030807B50208 D2
88:01001C021C221B02 7A
90:1D1B08AA09040C05 08
98:0101031707B5021C F6
A0:08B5021C01011703 F7
A8:1C01050314061300 52
B0:3F1C23282D3A000D 1A
B8:00FF0B0133000006 44
C0:0000140101010000 17
C8:0000010103080902 18
D0:062300031A062400 70
D8:031A062901121C08 83
E0:3701040314090306 65
E8:010A031406140006 C2
F0:1E2B303847000015 19
F8:1603033401050302 5B
00:0004010001000000 06
08:0000000904010103 12
10:1D0C050101030806 41
18:2300031A06240102 6D
20:524C50031A062901 3B
28:1C0846017F031401 02
30:01031B0602080102 32
38:1C021B221B086901 DF
40:05031C0101031D01 47
48:0003080781020822 BF
50:021C221B021D1B08 9D
58:7609020C05010103 97
60:170781021C088102 48
68:1C010117031C0105 5A
70:03140615003F1C23 B0
78:282D300000180110 AE
80:0135010604030314 5B
88:0101000000000009 0B
90:0501010308062300 3B
98:031A062400031A06 6A
A0:0906062501011C1C 60
A8:3E09040C05010103 61
B0:17061600BD1F2E33 70
B8:6308010C0C0F0903 17
C0:3700000600000201 40
C8:0001000000000000 01
D0:00000101031E01 2E
D8:37030E0101030806 5B

ビルの谷間に暮れ色の風が遊ぶ。太陽が飾りたてた群衆に疲れ、海の輝きの幻を星空に任せる。優しく道路を流れる時の光。過去に忘れ物をした光の照り返し。ミラーに小さくな
って行く、光に濡れた街の灯。汚れないフロントガラスを夢見るなら静かな夜は穏やかなアクセルで…。 ◎記事名 Sticker を3名にプレゼント。デザイン・制作担当、S.北沢

E0:2300031A062C0702	7B	C8:050C050101031D01	39	B0:01201E0839040307	8E	98:03074128016E1C08	06
E8:434E031D021D0143	14	D0:010308062300031A	52	B8:4128016E1C084104	41	A0:410404062D000421B	D9
F0:1C085609020C0501	97	D8:0624010453594B50	76	C0:04062400301B2429	C6	A8:24292E2F0002010D	BA
F8:36030E0105031424	88	E0:031A0629011D1C02	88	C8:2E2F0012090D0D01	93	B8:0D014E0204030202	69
00:06024B05031A0762	29	E8:1A01531C1B084E01	FC	D0:4501050302000401	55	B0:0A01010101000009	17
08:018203140137030E	63	F0:7F03140101031B09	BF	D8:0001000000090201	0D	C8:020C050101030806	26
10:2400031A06290117	88	F8:0225250105190105	71	E0:0103080C05062300	46	C0:2300031A06240003	6D
18:1C021D01431C1B02	B8	00:181701041C086009	C1	E8:031A062400031A06	6A	D8:1A06062801201E08	95
20:1A014B1C1B087D01	23	08:0406020801021C02	35	F0:060625009B1D2A2F	42	D0:390403074128016E	1F
28:7F03140101031B09	BF	10:1B01001C1B087C01	D8	F8:3437000B0A160305	9E	E0:1C08410404062E00	A1
30:0506020801021C02	36	18:0003080101031D01	2E	00:4600050302020301	56	E8:421B24292E2F0012	19
38:1B221B0899010003	FD	20:05031C07DB021C01	25	08:0001000000000009	0A	F8:010D0D014F020003	70
40:080101031E010503	34	28:001C252501051901	86	10:040101031C0C0501	37	F0:0000090101010000	0C
48:1C07BC021C220208	29	30:05181701011C1B02	6F	18:010308062300031A	52	00:0009020C05010103	21
50:221B021E1B08B109	3A	38:0801001C1B021D1B	7A	20:062400031A060903	59	08:08062300031A0624	78
58:0401010308010103	16	40:08A709070C040101	D1	28:06021B01001C2525	8A	10:00031A0606280120	72
60:1707BC021C08BC02	BE	48:03080101031707DB	09	30:0105190105181701	55	18:1E08390403074128	D6
68:1C010117031C0617	71	50:2525010519010518	57	38:021C1B020801001C	60	20:016E1C0841040406	E2
70:004B1C23282D3C00	1B	58:1701001C021C0100	53	40:1B021C1B08660902	CD	28:2F00481B24292E2F	3C
78:1700FF0C01380000	5B	60:1C1B020801011C1B	7A	48:0C040105031B0101	36	30:0009060F0C015002	7D
80:0600001E01010000	26	68:08CD090601000308	F0	50:031701010308079A	C8	38:0806000008010100	18
88:0000000903010103	11	70:0100031707DB021C	1B	58:020001011C252501	73	40:01000009020C0501	1E
90:08062300031A0624	78	78:01002008DB021C01	23	60:0519010518170100	54	48:010308062300031A	52
98:00031A062901161C	7F	80:0117031C01F0314	5E	68:1C1B021B01001C1B	8C	50:062400031A060625	78
A0:0837010503140904	69	88:061D00921D30353A	71	70:088C090101000308	AA	58:01021C0839090307	73
A8:0C05062501021C08	63	90:3D000F000F0C013E	A6	78:01000317079A021B	D9	68:472501031C084701	DC
B0:4A0101031709020C	7D	98:0204020000140101	1E	80:01001D089A021B01	DE	68:0003080101031706	2D
B8:05061800CF1E2926	67	A0:00000000000002501	26	88:0117031B06260058	BA	70:3000301B22272C2F	1F
C0:374E000C090D0E05	BA	A8:0320082F01010308	67	90:1C292E3334000C10	F6	78:0001003FF0C015100	70
C8:3902050302020401	4C	B0:09030101031C0C05	3E	98:0F09024700000600	67	80:0006000005010101	0E
D0:0001000000000000	01	B8:062300031A062400	70	A0:0003010001000000	05	88:0000000902010103	10
D8:0903010103080101	B1	C0:031A060904062501	5C	A8:0009030101031B01	2D	90:08062300031A0624	78
E0:031D062300031A06	6C	C8:031C084F09020101	83	B0:0103080C05062300	46	98:00031A0609030606	3B
E8:240103454957031A	2A	D0:0317010003080C05	37	B8:031A062400031A06	6A	A0:1300401B24292E2F	31
F0:062901191C021A01	82	D8:020801021C086001	92	C0:06020801021C2525	79	A8:0006110F0B015201	85
F8:491C1B084B017F03	45	E0:05031B0100030807	36	C8:0105190105181701	55	B0:0604030308010100	1A
00:140101031B090206	45	E8:91021B01001C0208	D5	D0:041C1B021B1B0857	D2	B8:0000000903010103	11
08:020801021C021B01	47	F0:01001C1B25010320	81	D8:09010C0501010308	28	C0:080C05062300031A	5F
10:000101031B0869010003	AC	F8:1B021C1B08830101	E1	E0:0101031706270073	BC	C8:062400031A060904	5A
18:080101031D010503	33	00:030809050C050101	2C	E8:1D2A2F373A001215	0E	D0:062501041C083F09	9C
20:1C07CA021C01001C	28	08:03170791021B0100	D0	F8:1603054802050302	72	D8:020C050101031706	35
28:2525010619010618	89	10:200891021B010117	EF	F8:0204010001000000	08	E0:3201640A00000000	A1
30:1701021C1B020801	5C	18:031B061E00361B1C	AF	00:000009030C050101	1F	E8:00002A3203040204	69
38:001C1B021D1B0894	0D	20:2126270108070F09	99	08:031C010103080623	55	F0:01071C0205221B08	70
40:09040C0401010308	2A	28:013F000006000003	49	10:00031A0624010252	9C	F8:1F0B0A0101030502	40
48:0101031707CA2525	37	30:0100010000000623	2B	18:48031A0609020602	7E	00:06220204010611B	6C
50:0106190106181701	57	38:00031A062400031A	64	20:0801021C084F0105	84	08:0830080B01010306	59
58:001C021C01001C1B	72	40:06062801201E0208	7D	28:031B0101031C0100	40	10:020722020401051C	53
60:020801011C1B08BC	07	48:01011C1B08350902	81	30:0308077202080100	8F	18:1B08410B0C010103	80
68:09090C0A01000308	34	50:061F005C1B242948	31	38:1C021B221B021C1B	AF	20:0720020202040108	42
70:0100031707CA021C	0A	58:49000B050D0B0140	B2	40:0867080970C050101	92	28:1C1B0852080B0101	A8
78:01002008CA021C01	12	60:0000030202030100	0B	48:03170772021B0872	2A	30:0308020922020401	3F
80:0117031C010F0314	5E	68:0100000009030C05	1E	50:021B010117031B06	5A	38:091C1B08630B0E01	C5
88:061900561C252A2F	0F	70:0101030806230003	39	58:2800421B24292E2F	2F	40:010309050001001B	2E
90:300013001603013A	97	78:1A06240603504B53	30	60:0002060110014902	65	48:22001105CB06DEB2	49
98:02040300001E0101	29	80:031A021A01501C08	AE	68:0003000007010101	0D	50:CA20B0B8C5B220B7	AD
A0:000000000009020C	17	88:3C09020C05021A01	75	70:00000009020C0501	1D	58:D0CA20B2CFC9C4BA	82
A8:0501010308062300	3B	90:3D1C084709040C05	C6	78:010308062300031A	52	60:D820D53BCADB3C5	64
B0:031A062400031A06	6A	98:06062801201E0853	CE	80:062400031A060628	7B	68:20BCDAB2B6DDC0DE	99
B8:062501031C083C01	9E	A0:0403075B28016E1C	1C	88:01201E0839040307	8E	70:2E0D0002001B2200	7A
C0:0103170751020801	7E	A8:085B040406200030	C1	90:412801781C084104	4B	78:1105D6B8B6DEDDCA	DF
C8:021C021A01091D1B	7C	B0:1B24292E2F00120A	E1	98:04062900441B2429	DF	80:DEAFC3B2D92E0800	16
D0:085109030C050109	80	B8:0F09014101060403	68	A0:2E310800400160301	7D	88:13001B22001105B6	0C
D8:031A010A0314061A	5F	C0:0304010001000000	09	A8:4A02040300000701	5B	90:AF3C3AB2D9B6DE20	7B
E0:00631E2B30354800	79	C8:0902010103080C05	29	B0:010101000009020C	1A	98:BAC9B1D8BBBCF3D6	37
E8:07060110023B0105	61	D0:062300031A062400	70	B8:0501010308062300	3B	A0:CA20BCDAB2B6DDA6	B8
F0:0302020401000100	0D	D8:031A060606210064	B4	C0:031A062400031A06	6A	A8:20B8CBDECG20C5D9	05
F8:0000000000090401	0E	E0:1B32373C3F011508	1D	C8:0903062801201E08	81	80:DD08CB8C5B220E00	8A
00:01031D0C05010103	37	E8:1603014202000400	62	D0:3B0403074328016E	23	B8:001B22001103C4DE	F3
08:08062300031A0624	78	F0:0004010001000100	07	D8:1C08430404062A00	9F	C0:D8AEB8CA20D8C4D2	8E
10:00031A0629011B1C	84	F8:2525010719010718	8B	E0:421B24292E2F0017	1E	C8:D9B6DE20D0CFB9C3B2	8A
18:0847017F03140101	E8	00:1701001C08310903	79	E8:130F09014B020403	0F	D0:D92E0D0005001B22	56
20:031B09030C050602	43	08:0C05010103080623	47	F8:0200090101010100	0F	D8:001103B7D0C6CA20	4B
28:0801021C085D0105	92	10:00031A062400031A	64	F8:0009020C05010103	21	E8:BCDAB2B6DDCA20C2	87
30:031C0101031D0100	42	18:060B220602080101	45	00:08062300031A0624	78	E0:CAFD7F5B22E0D000	1C
38:0308077E02082202	BE	20:1C25250107190107	8F	08:00031A0606280120	72	F0:06001B22001103B5	0C
40:1C221B021D1B0873	0E	28:18171B01061C085B	D0	10:1E08390403074128	D6	F8:CFB4C920D6B3C52D	DA
48:09010C0501010317	37	30:0100030809020C05	28	18:016E1C0841040406	E2	00:CADEC1B6CCDE08D3	74
50:077E021C087E021C	47	38:2801201E08630403	D9	20:2B000421B24292E2F	32	08:DC90DB8B5C5C4DE	85
58:010117031C010503	41	40:0622003F1B24293D	0C	28:000007110B014C02	72	10:2D08CB8C5B220E00	1A
60:14061B00471C3136	FF	48:3E000A090F090143	AD	30:040300000D010101	17	18:000700B6B6DEB8BC	C5
68:3B3C0007010A1501	9F	50:0205030202040100	13	38:01000009020C0501	1E	20:AC000000BCC02E0D	67
70:3C02000400021E01	63	58:0100000009070C05	22	40:010308062300031A	52	28:00000000B0C00C0C	C8
78:0100000000000101	03	60:0101030806230003	42	48:062400031A060628	7B	30:B2000A001B2700CA	C8
80:030809020B140209	40	68:1A06240205525042	2F	50:01201E0839040307	8E	38:20BCDD08D0E0B0BC	4E
88:0A0B15020A0A0B16	61	70:4C29031A021A0129	D8	58:4128016E1C084104	41	40:B6BC20B1C920B2AF	8D
90:0C05062300031A06	5D	78:1C083C0404060606	7A	60:04062C00421B2429	E0	48:CBDFB720B6DE20B8	F0
98:2400031A06062501	73	88:00120C0D0D014402	7F	68:2E2F001302011001	84	50:B2BADEC920B2AF0B	5F
A0:021C084601010317	88	90:0503020204010001	12	70:4D02000300020A01	5F	58:DFB720C4CA20B5D3	EC
A8:061C08E01E2B303A	B5	98:00000009020C0501	1D	78:010100000009020C	19	60:260020CA20B0CDDC	89
B0:61000D111415033D	E8	A0:010308062300031A	52	88:031A062400031A06	6A	70:D820D53BCADB3C5	64
B8:02040604040A0100	1F	A8:062400031A060628	7B	90:062801201E083904	B2	78:B9DEDDC620B1D920	04

若きプログラマーを囲って「ちょっと…」の進行係。口の悪いばかりで、お姉さんはタチの悪い病気にかかってしまいました。決して更年期障害ではありません。♡ちょっといいボールペンをプレゼント。ラリー屋さんが好んで使っているもので、首から下げれば、誰でも明るい青少年に早変わり。できれば、やっぱり若くて、やさしい男の子に。K.福井

80:B6B2BDB2B6DE0DBA 32 88:C920C4DE7CF20A6 F7 90:20BCD2B8B8AFC320 B0 98:B8DA920C6C1B6DE A6 A0:B2C5B2D000C001B 5D A8:2508CA20D4AFC2B9 0D B0:C2EC0BDE6DE20BC FC B8:DD8AC8C8A0DB5DC 81 C0:AF0C93DECA20B1 74 C8:D8CFBEDD20C3EDD E0 D0:BCDDDEC9B3A620CA 63 D8:B6B2BCC0C4BCC3D3 FA E0:0DD5B3BEB2BCDEDD 7C E8:20CAC0DEB2322CC0 58 F0:DEB233C920C1AEB3 CE F8:BEDDA620B6B9C320 B3 00:B8D9C3DEBCAEB3D0 5C 08:000D0032303230C 99 10:DD20B6D7C920C1AE E2 18:B3BEDDBDDDEB90D00 AF 20:0E00CFD5C2E20B1 FE 28:C2B2B1D9CA4C42 F3 30:BEDED20D5B7B6DE B9 38:20CCD8CABCEDE220 1A 40:D0BDDDEB6DE0DBA8 79 48:D8CABCEDE2C0D7A4 49 50:B2AFC0B2C5DDC920 5E 58:CFB4CCDEDAC3DEBC 64 60:AE83D000F0020BC 59 68:DEADDCCBDE20D6BC C3 70:2E0D001000B7AEB3 63 78:CA20C6C1D6B0CBDE A0 80:0D001100B9DEC2D6 4D 88:B0CBDE20C3DEBD20 F7 90:BADDDBCADB0D320B 5C 98:DEDDB7C620BCBADE AC	A0:C4BCD6B02E0D0012 53 A8:0020C0DEAFC00D00 3A B0:1300CA20D6D0B6DE 37 B8:B4AFC02E0D001400 72 C0:CADEBCAEC20502 74 C8:3D001500202C2059 17 D0:203D001600200D00 A0 D8:170020C920CCDEB7 81 E0:20A620B4D7CDD0E0 29 E8:001800C5CFB42020 A0 F0:203A0019000D20BC 5C F8:DDC1AEB320001A00 39 00:20C0B2BCDEADB320 AC 08:001B0020BCCFBDB6 39 10:20202059206F7220 E2 18:4E20290D001C00D0 CD 20:20CCDEB720001D00 BE 28:1B21004C204F2047 5E 30:2049204E20D320D6 C8 38:DBCB82E0D001E00 A0 40:1B21004D20532058 74 48:20CFB6DEBCDEDD20 1A 50:D320B2B2D62E0D00 68 58:1F001B2100412053 0F 60:2050204520432054 87 68:20D320D6DDC3DE20 87 70:D0D6B32E0D002000 B4 78:1B2100D5B3B6D020 77 80:415343494920A620 4F 88:BCAFC320B2D9B620 AF 90:3F0D0021001B2200 AA 98:204D6F6E74686C79 0B A0:2011042041205320 29 A8:432049204920D011 53 B0:0720427920415343 D9 B8:494920636F72702E 94	C0:0D20546869732069 4E C8:7320746865206772 CD D0:656174657374204D F3 D8:616761746966E6520 F1 E0:0D11030022000707 51 E8:002300071101B6C2 B4 F0:C0D2C6CA20A2B6B6 50 F8:DEB8BCACA320C620 A7 00:C1ADB3B220BED62E B5 08:0D0024004D79206E 85 10:616D652069732053 A2 18:48494E4943484920 1C 20:4655485544410D00 CD 28:2500B6D7D3DD0026 88 30:00C7D2BAEDDD0027 35 38:00BADEBDD0D70028 32 40:00B0D1B0D820BCDE CC 48:0D002900CADFB7DE 44 50:D7002A00C0CFBADE 28 58:002B006E2D4D4F53 B5 60:D7002C00CBDFB0C5 22 68:AF02002D00BCDEAE E6 70:AFB6DEB0BDEDDC4B3 05 78:B2D002E00BCDEAC 03 80:B2B1DDC420CEDFDB AC 88:D002F00CAD7B7D8 3C 90:20C3B2B5B3003000 2D 98:BADEB0C1DDBADEB3 31 A0:003C10C5DDBCDEAC 19 A8:0032004D4944B83 79 B0:D3D0003000B1B8C0 C0 B8:DEB2B6DD0034006D C4 C0:6967687479205155 EB C8:45454E0035005200 5F D0:3600B6D2DD20D7B2 44 D8:C0B0003700CEDDBA 0C	E0:DD20C0B9BC003800 6A E8:B8D3B5DDC0503900 1B F0:554C5452412037B0 F8 F8:3131003A00D2DBDD 26 00:BE82BCDEDD003800 22 08:542E442E462E003C A4 10:00D3B0B9DE7003D 2E 18:00B3D9C4D8CFDD00 D4 20:3E00CADED8B6DBDE 0F 28:B2BCDEDD003F00B4 1C 30:DDC4DEB320C0B2C1 85 38:AE830040001B051F E0 40:C6AFB8B3004100CB EE 48:B6B6DEB820C4B8BF 5D 50:B320C0B2004200D2 59 58:B0B0BDE0020CDECE 83 60:B02004300CFBCDEDD 3B 68:BCDEACB05A004400 94 70:D7B2C3DEDD004500 4C 78:534841444F004600 B5 80:DADDCEB0CFDD0047 28 88:00CADEB2B8B8B8EDD 67 90:C0B2004800CFDDC4 2A 98:B8200C0B2B804900 70 A0:BCAEB3CFBCDEDD00 63 A8:4A00BCDEACB5B000 02 B0:00B0B6DEAFC0004C A4 B8:00B7DDB8DEB7C4DE 83 C0:D7004D005DDBCEAC 03 C8:4E00B1D9BADEDD00 4D D0:4F00CDEDD9B0B7DD 16 D8:B8DE005000B8AB10 51 E0:5100CADED9C1AFB8 FA E8:505200DBB0DDCCDE 64 F0:DBBFBDEB00000000 28 F8:0000000000000000 00
---	---	---	---

リスト 5 PC-9801系(8086)用マシン語サブルーチン

■このプログラムは、あなたが個人として利用するほかは著作権法上、著作者に無断では使用できません。 COPYRIGHT ©1984 by Hideki Akiyama

5800:0000000000000000 58 5808:EB2790EB2E90EB40 D6 5810:90EB5690EB5F9000 A3 5818:00000000000000B5 FA 5820:90EB669000EB6E90 D2 5828:0000000000000EB6 F4 5830:90E8A0B3E8A000E8 08 5838:D903CFE8A103E839 E8 5840:03E88202B8000073 32 5848:03B80100E8C403CF 42 5850:E88C03B8D0E8F402 58 5858:72068A07B401EB05 5E 5860:E8A30132E4E8AB03 F0 5868:CFE8730386E0E8CA 05 5870:01E89F03CFE86703 74 5878:E8B301E8903CFE8 A3 5880:5D03E80001E88083 97 5888:CFE85303E8EB028D 40 5890:C3E87F03CFE84703 16 5898:E84800E87503CFE8 43 58A0:30D38CDB8E0A120B B3 58A8:5886E08BF0A12A58 5C 58B0:86E08BF80B0E2C58 0E 58B8:86E9FCF3A4E85303 50 58C0:CF53528AD000E8A0 54 58C8:B109B301B509B701 04 58D0:8AF480EE04E8DA03 DD 58D8:FEC6FEC7FEC7FEC7 D9 58E0:75F3FEC2FEC3FEC3 E2 58E8:FEC975E05A5BC353 27 58F0:515256578BF88A26 CB 58F8:245800E487B101B F4 5900:D72AF12AD1BE7259 CF 5908:B8040051B50003C9 F2 5910:00F0E07C1800FE18 11 5918:7F1380FA007C0E00 87 5920:FA187F09E8D0F002 FE 5928:873AC4741C023402 CE 5930:54D1E2DC59464648 CC 5938:75D1FEC180F91875 9C 5940:BE88502250700EBE 9D 5948:2359B8CF32C03AEE 91 5950:740078040C01EB02 9B 5958:0C023ACA74087084 9B 5960:8C04DE020C08B87A FF 5968:59D732E45F5E5A59 77	5970:5BC30001010000FF E8 5978:FF00000400000203 D9 5980:01000060507535152 E2 5988:08B1E1C586F8BA26 2F 5990:17588A2E18588A0E 18 5998:19588A361A588A16 34 59A0:1B58E89001724A80 21 59A8:FC0374053A671675 A5 59B0:3880FD0374053A6F E3 59B8:08752E80F9017405 AF 59C0:E80301732408FE01 1B 59C8:740E8A47100A4711 E6 59D0:0A47120A47137411 75 59D8:08FA017406F4715 78 59E0:FF75068A07B400EB E3 59E8:0D025F0280D700EB F3 59F0:B1B8FFFEBE06025F 02 59F8:0280D70086FB891E D2 5A00:1C585A595BC35351 43 5A08:8ADAB7008BCB03DB B1 5A10:03DB03D980BCB03D B8 5A18:03DB03D902DE00D7 63 5A20:0080E0005886E083 DD 5A28:D98A07595BC35053 06 5A30:E85C007203E0E000 39 5A38:5B58C35053E85301 E7 5A40:E803005B58C38A07 8C 5A48:433C0074083CFF74 4C 5A50:043CFE7501C33C07 64 5A58:7505E8A303EBE73C C8 5A60:09750E8A2743B020 0A 5A68:E8BD01FEC75F9E8 B3 5A70:D53C1175088A0743 3D 5A78:A22B5EEBC93C1B75 7D 5A80:098B074343E8B3FF 95 5A88:EBBCE89B01EBB752 01 5A90:8B1E025867FB8BD0 C9 5A98:2A3772D5A670172 C8 5AA0:0A3A77027F053A57 CC 5AA8:037E1583C3044380 A5 5AB0:7FFFFE7503F9EB0C E6 5AB8:007FFFFF75F0EBDE 35 5AC0:F883C3045AC35053 1C 5AC8:51528A47168A6718 B5 5AD0:8A77098A570A80FC 9B 5AD8:027450B1FFB5FF52 AE	5AE0:85C9743802F502D1 FE 5AE8:80FE007C2F80FE18 01 5AF0:7F2A80FA007C2580 8E 5AF8:FA187F20E84D0072 AA 5B00:1B3A471674168077 96 5B08:1802741038671874 2C 5B10:1D80FC007506807F 7E 5B18:180174125AFEC580 AF 5B20:FD0275B8FEC180F9 E2 5B28:0275B2F8EB0259F9 E3 5B30:5A595B58C3803F00 93 5B38:740E807F0100740A 93 5B40:025F0280D700EBED 2F 5B48:F9C3F8C38B1E0458 1D 5B50:86F8003F00741E80 FD 5B58:7F01007510F64717 0C 5B60:FF740A3877097505 6A 5B68:38570A740B025F02 3E 5B70:80D700EBDDF9EB01 3F 5B78:F8C38B1E04586FB 14 5B80:803F00740C3A0774 CF 5B88:09825F0280D700EB 91 5B90:EFF9C350528B1E06 E7 5B98:5886FB3B07742543 EA 5BA0:438A174380FA0975 1A 5BA8:0343EBF580FA1175 29 5BB0:0343EBED80FA1B75 33 5BB8:044343EBE480FA00 E6 5BC0:75DFEBD743435A58 69 5BC8:C3A1DD5B03C003C0 45 5BD0:0306DD5B051111A3 36 5BD8:DD5B86E0C332548B A5 5BE0:07FA508CDF8CCE8E DF 5BE8:DEB860008EC026A0 4D 5BF0:3A8D0C0D0C0D0C0 39 5BF8:2407A22B5E585E8C EB 5C00:162C5E89262E5E8C 03 5C08:CD8ED5BC305FFB57 31 5C10:5356C35FA5B5F8E 78 5C18:162C5E8B262E5E8E DF 5C20:DF8907FB000256C3 B1 5C28:5853650B860000E 23 5C30:C026A130048AF826 F7 5C38:A136048AD583C0D 72 5C40:7410538A262B5EE8 94 5C48:71015BFEC780FF28 DD	5C50:7C0EB700FEC380FB 29 5C58:197C05B318E81400 15 5C60:8AC7B40026A33804 C6 5C68:8AC3B40026A33804 C8 5C70:075B58055156571E 65 5C78:06FC8B00A0E8D88E 22 5C80:C0BE800CBFE000B9 49 5C88:9001F3A5B95000C7 3D 5C90:0520004747E2F8BE 37 5C98:002CBFE02BB99001 B4 5CA0:F3A5B95000C605E1 49 5CA8:4747E2F90071F5F5E 50 5CB0:59C3505351525657 1B 5CB8:8FA35D80FE007C58 25 5CC0:80FE187F5380FA00 FE 5CC8:7C4E80FA187F49E8 30 5CD0:34FDBF535DA88074 68 5CD8:03BF7B5D24078A00 63 5CE0:02C002C002C4B400 3A 5CE8:03F853E85FE88BF3 54 5CF0:5B7225578A4416BF 38 5CF8:435DE8AB00FEC78A D6 5D00:440FBF475DE8A000 98 5D08:FECFFEC38A4418BF 9B 5D10:4D5DE893005FE81A F6 5D18:2A58A4501E89000 77 5D20:FEC78A4502E89300 8E 5D28:FECFFEC38A44503E8 D 5D30:0900FEC78A258A45 59 5D38:04E87F005F5E5A59 70 5D40:5B8C3056F0678007 0C 5D48:53074D074C075307 00 5D50:460755042C2C2C2C 03 5D58:06EEFE5E4E857E7E 62 5D60:7E7004EBE8E8B06 69 5D68:A4A4A4A407DBDBDB ED 5D70:DB077F4F4F4F40798 1E 5D78:999A9B022C2C2C2C 55 5D80:06EEFE5E4E857E7E 87 5D88:7E7E02EBE8E8B002 8B 5D90:A4A5A4A402DBDBDB 11 5D98:DB02F4F4F4F40298 3C 5DA0:999A9B0387878787 EA 5DA8:505702C0A40003F8 1D 5DB0:8A258A4501E89000 77 5DB8:5F58C350535106B9 42
--	--	---	--

おびたく広がるプリンタ用紙の海、あっちこっちに放り出されてるコーヒークップ、もうもうとわきおこるたばこの煙と吸いがらの山、もー、なによ！この有様は、ふう、仕方ないわね、バロ版終るまでは……/♡今回のバロ版では、モデル兼小間使い兼お茶くみをやらせていただきました。私からのプレゼントはアイマスクです。お手製よ。M.永井

5DC0:00A08EC1E8190026 33 5DC8:800726C6470100B1 99 5DD0:05D2E480C4012688 DB 5DD8:A7002007595B58C3 D2	5DE0:50518AE7B70003DB E4 5DE8:03DB03DB8BC03DB 35 5DF0:03DB03D902DC80D7 3C 5DF8:0003DB03DB5958C3 85	5E00:FA50B401B006E637 30 5E08:E80E00B007E637E8 18 5E10:0700FEC475E58FB ED 5E18:C38AC4FEC8B90600 0C	5E20:E2FE75F78AC4B4FF CB 5E28:2AE0C30700000000 5A
--	---	---	--

リスト 6 PC-8001系(Z-80)用マシン語サブルーチン

■このプログラムは、あなたが個人として利用するほかは著作権法上、著作者に無断では使用できません。COPYRIGHT ©1984 by Tatsuya Senmaru

E500:0603CDA8E9ED5BFE 92 E508:E47A535F1ABC131A 00 E510:132003BD28111AB7 F2 E518:1328F1FE112805FE 63 E520:1B20F3131318EFEB 4B E528:7EB7C8FE1B280706 58 E530:02CDA8E918F22356 F8 E538:235E23E5EBCD05E5 48 E540:E118E50603CDA8E9 6A E548:CD60E5CD7FE56FDD BC E550:7E00B728046F2601 C2 E558:0126000604C3A8E9 2C E560:E5D5C55C1600623E D6 E568:024402929093D02 98 E570:F819EB2AF8E47C65 38 E578:6F197EC1D1E1C9F5 94 E580:E52AFCE47C656FE5 89 E588:DDE1E1DD7E00B728 46 E590:24DD7E01B7202DD C9 E598:9E17281BDD7E08D6 A6 E5A0:022814DD7E099420 DB E5A8:0EDD7E0A952008DD 9A E5B0:7E17B72802F1C9D5 9A E5B8:1600DD5E02DD19D1 B7 E5C0:18C90603CDA8E9ED DA E5C8:5BFCE47A535FD5DD C6 E5D0:E17D1600DDBE0028 EC E5D8:07DD5E02DD1918F4 03 E5E0:DEE5E16004C3A8E9 C6 E5E8:0003010101CD492A 13 E5F0:EDE57C656FE5DDE1 9A E5F8:21E8E546234E2356 FB E600:235E2366DD7E00B7 0C E608:286ADD7E01B72059 02 E610:3E03982806DD7E16 66 E618:902204E3E03912806 FC E620:DD7E089120437CB7 90 E628:2006DD7E15B72839 BC E630:7BB7200EDD7E10DD BE E638:8611DD8612DD8613 A0	E640:28277AB72007D9CD 73 E648:7CE6D9281CDD6E00 F8 E650:26000604CDA8E9DD A1 E658:5E021600DD19DDE5 6C E660:D17A535FED53DEE5 55 E668:C9D9DD5E021600DD 20 E670:19D9189021FFFF06 15 E678:04C3A8E9DD7E18D6 FF E680:02C8C60201000028 21 E688:020EFFDD7E16B728 CD E690:020601DD6689DD6E 16 E698:0A47252DCDBDE62C BD E6A0:CDBDE62CCDBDE624 B6 E6A8:CDBDE624CDBDE62D BF E6B0:CDBDE62DCDBDE625 C8 E6B8:CDBDE6AFC93E18BC 98 E6C0:D8BDD8DDE5CD7FE5 06 E6C8:DDE5FDE1DDE1FD7E 87 E6D0:00B7C8FD7E18D602 A0 E6D8:C83C280379B7C0FD DA E6E0:7E1690C8F13E01B7 99 E6E8:C9DC2E5CD7CE66F A9 E6F0:26000604C3A8E906 60 E6F8:03CDA8E9EB2AFAE4 32 E700:7C656F7A46903831 F0 E708:237B4E91382B2378 6A E710:8647237986933821 D2 E718:237892381C7E7FEF BA E720:D0FE1B200D235623 FB E728:5E23E5EBCD05E5E1 F8 E730:18EB0602CDA8E918 D8 E738:E47E233C28C53CC8 01 E740:FE1D20F5232318F1 A6 E748:203A48E70603CDA8 36 E750:E91601245F3E1892 A2 E758:7B300CED5FE6079E D9 E760:20000604C3A8E906 9E E768:0042CDB4E7283D20 8B E770:10F81E02420CDB4 4E E778:E728312510F81D20 09	E780:F31E02420CCDB4E7 30 E788:28222C10F81D20F3 1D E790:1E02420CCDB4E728 75 E798:132410F81D20F342 30 E7A0:0CCDB4E728062D10 66 E7A8:F81418A769260006 EF E7B0:04C3A8E9C5F53E18 FF E7B8:BC380D95380ACD60 A4 E7C0:E5E68747F1B8C1C9 73 E7C8:F147AF3D78C1C906 DB E7D0:03CDA8E90604252D 74 E7D8:10FC0E090609C5D9 8F E7E0:3E09C190873C673E C7 E7E8:0991873C6F0601CD 6F E7F0:A8E9D93E18BC383A C5 E7F8:953837CD60E5CD7F 41 E800:E5D947DD7E00B720 1F E808:2F3E07A06F260029 C2 E810:545D29291911ACE8 B9 E818:193E80A028041150 04 E820:0019CD6CE8D92410 4F E828:B57CD609672C0D20 E0 E830:ABC9D9219AE918EA 0B E838:C5DD7E16214CE9CD 79 E840:76E8DD7E0F2154E9 4E E848:CD83E821A4E9CD6C 4F E850:E8DD7E182157E9CD C1 E858:83E8C178E607CB78 14 E860:2802C608215AE9CD 71 E868:76E818B97E87C806 82 E870:2CDA8E918F6D55F A E878:160019191919CD6C 13 E880:E8D1C9D55F160019 4D E888:8602CDA8E9D1C9C1 31 E890:00DEA104452A8FE8 21 E898:7C656FED5B91E87A 0B E8A0:832FED4B93E87841 A6 E8A8:4FEDB0C911042C2C B2 E8B0:1EDD1F2C2C001106 60 E8B8:EED1F1D1F5E400 9F	E8C0:11057E7E1D1D1F7E 91 E8C8:7E001104EBE81D1D 50 E8D0:1FE8EB001106A4A4 09 E8D8:1D1D1FA4A4001107 79 E8E0:0DBD1D1D1FDBD00 8D E8E8:1107F4F41D1D1FF4 1D E8F0:F400110798991D1D 4F E8F8:1F9A9B0011022C2C 9F E900:1D1D1F2C2C001102 AD E908:EEEF1D1D1FE5E400 F0 E910:11027E7E1D1D1F7E DF E918:7E001102EBE81D1D 9F E920:1FE8EB001102A4A4 56 E928:1D1D1FA4A4001102 C5 E930:DBD1D1D1FDBD00 DE E938:1102F4F41D1D1FF4 69 E940:F400110298991D1D 9B E948:1F9A9B001105EC08 87 E950:1103F000534D4C53 7C E958:465511042C001106 34 E960:E40011057E001104 D6 E968:EB001106A4001107 0F E970:DB001107F4001107 58 E978:9B0011022C001102 4E E980:E40011027E001102 F1 E988:EB001102A4001102 26 E990:DB001102F4001102 6E E998:9B001103F87D1D 78 E9A0:1F8787001D1D1F00 0F E9A8:1814F5C5D5E521BA 04 E9B0:E9E3E5242C3EFFC3 9A E9B8:BD07E1C1C1C91029 EA E9C0:7E23FE09200A463E FF E9C8:28C5DFC110F923C9 2B E9D0:FE0D2005DF3E0ADF EF E9D8:C9FE1120FA7E2332 86 E9E0:BD0EDCDEF6325BEA AC E9E8:C910042AA8F0C922 5B E9F0:A8F0C9FF00000000 39
---	--	--	---

リスト 7 FM-8/7(6809)用マシン語サブルーチン

■このプログラムは、あなたが個人として利用するほかは著作権法上、著作者に無断では使用できません。COPYRIGHT ©1984 by Teruhisa Ishikawa

7A00:5A005C715D4D6A00 B5 7A08:49E959756BFB7A 94 7A10:00FE7A0A10BE7A0C 68 7A18:A680A7C0313F26F8 DA 7A20:395A4A4A5C5C4C4C 11 7A28:5A00051200000000 13 7A30:00B67A308487B77A 46 7A38:307F7A2D7C7A2D7F AA 7A40:7A2FEC02BB7A2D8D 40 7A48:3D100E7A213402A6 14 7A50:A0B77A7D35022704 7A 7A58:8D2120F1B67A2D81 6F 7A60:18270220D7FC7A2A B2 7A68:58495849F37A2AC3 7E 7A70:1111FD7A2A84071F 57 7A78:8920318D13007D7A 63 7A80:2E26F88D01393402 43 7A88:B67A2DB77A2E3582 75 7A90:8D1E7D7A2C26078D 92 7A98:377D7A2C26097A7A 8F 7AA0:2E26037C7A2F3932 01 7AA8:64F67A2F4FED0239 9C 7AB0:34024D2D1081182E B1 7AB8:0C5D2D0D81182E95 A5 7AC0:7F7A2C358260F020 AC 7AC8:02860FB77A2C3582 ED 7AD0:3406170089C487F0 5F 7AD8:7A3027057F7A2C35 82 7AE0:868601B77A2C3586 7F 7AE8:0000000000000004 96	7AF0:10CE7AE8AE45A684 C7 7AF8:271E6D012622A6C4 D7 7B00:81032705A1881626 90 7B08:17A684E6031F89 8E 7B10:4FAF453510ED0239 3B 7B18:8E0000CCFF720F1 FC 7B20:8D0220D2E6842707 B4 7B28:E6023A6D0126F539 87 7B30:EC028D0A2605EC02 49 7B38:8D244FED02391F02 FC 7B40:3410BE7A0420028D EA 7B48:DBE684270E10AC09 0C 7B50:26F5A68817270486 DC 7B58:0135904F35903442 23 7B60:86193DF37A001F03 46 7B68:3502E6C635C03410 FF 7B70:A6038D6FA6881881 57 7B78:02275AE688163406 34 7B80:EC094C5C34068002 54 7B88:2A014FC0022A015F C9 7B90:3406BE7A0420028D 30 7B98:8BE6842735A68817 A9 7BA0:27F5A68816A16527 8B 7BA8:EEA609A1E42DE8A1 FB 7BB0:622EE4A600AA1612D FE 7BB8:DEA1632EDA66427 15 7BC0:07A68818A18426FC 82 7BC8:C60132664F3510ED 23 7BD0:02395F20F55F20F4 6D 7BD8:A60334108D05340 47	7BE0:AF4239BE7A042003 E4 7BE8:E6023AA18426F939 02 7BF0:0000000100120000 87 7BF8:48042C2C2C2C06EE 63 7C00:EFE5E405FD0000FD 33 7C08:04EBE8E8E806A4A4 7C 7C10:A4A407DBDDBD0B07 4E 7C18:F4F4F4F40798999A 36 7C20:9B022C2C2C2C02EE D9 7C28:EFE5E402FD0000FD 58 7C30:02EBE8E8E802A4A4 9E 7C38:A4A402DBDDBD0B02 6C 7C40:F4F4F4F40429899A 59 7C48:9B05ED06F0075307 A8 7C50:4AD77C870074607 1A 7C58:55EC02C30404FD7F 5E 7C60:028008C008FD7F00 AA 7C68:5D2C09504F8D1B7F 3C 7C70:7F01202FF67F03C0 F3 7C78:182F2534048609AC C7 7C80:E08007C618F77F03 C7 7C88:20168E7F073404C6 4C 7C90:093D3A350486093D 91 7C98:86FFA7805A26F3B9 74 7CA0:8E7F07FC7F003402 E1 7CA8:F17F032E2A8A6E43A AB 7CB0:04C609F77F063504 B4 7CB8:34064D2D1481182E C3 7CC0:1017FE9AE7803506 9D 7CC8:4C7A7F8626EA5C20 1B	7CD0:D7C6FF20EF7D7F00 F3 7CD8:2C037F7F008618B1 D0 7CE0:7F022C03B77F0235 79 7CE8:02FC7F00FD7F045F C0 7CF0:8E7F071700C8009F F3 7CF8:1700DD5CC18926F3 A7 7D00:3934045FA68081FF F3 7D08:271A8D2EB67F04B1 6B 7D10:7F022F09B67F00B7 32 7D18:7F047C7F055CC109 3E 7D20:26E2358434048603 1F 7D28:C687EDC4EDC844ED 69 7D30:42EDC82633423504 7A 7D38:20D234068D363502 DB 7D40:4D2A06108E7C2120 95 7D48:04108E7BF98407C6 2C 7D50:853D31A5A6A4E6C8 DD 7D58:108E7C49A6881648 78 7D60:22ED42E6233EDC24 10 7D68:E624EDC826334235 0D 7D70:7F04358410BE7F04 7A 7D78:3412BE7A04200317 B1 7D80:FDA2E684272FE688 CA 7D88:1727F410AC0920EF 11 7D90:108E7C49A6881648 78 7D98:ECACEDC43124A60F 62 7DA0:48ECA6ED423126A8 23 7DA8:881848ECA6EDC824 78 7DB0:6FC826359286FFA7 7D 7DB8:C826359234140E7B 3B
--	--	--	--

I had been in skiing area with gals and bums, almost every week. This has been the target of criticism from all of the stuffs, but do some good in creating an AD of CompSki. ♡My present is 8Kbyte of GOOD-OLD μPD2 102AL-4, with μPD-0800, for the lady who can describe 'hack value' and 'laser chicken' correctly. R.Hayashi


```

7E00:027F7EAD8D27B77E 13
7E08:AE8E7EA98614A784 AE
7E10:AD9FFBFA39BE7A06 4C
7E18:10AC81270BA68081 AC
7E20:1B27064D26F720F0 60
7E28:39300220F0E68027 AE
7E30:1AC1FF2716C1FE27 AB
7E38:12C10D2720C10927 CE

```

```

7E80:A602A0C42D14A142 2B
7E88:2E10A603A0412D0A 05
7E90:A1432E06304417FF B0
7E98:5C393344A6C081FE 07
7EA0:27F781FF26F620D8 D0
7EA8:00000007EAF000000 53

```


『人間の没落—コンピュータと理性』

(Der Verfall des Humanisms-Computer und Vernunft)

出典：ドイツ、リュージュ800号記念特集(DIE LÜGE, Nr.800 Til Eurenspiegel AG, 1983)

原著：ポウル・フォン・ビンデンブルク(Paul von Bindenburg)

抄訳：白河 宗法(比較文化論)



西欧技術文明の限界

現代文明は、西欧より派生した科学技術文明として存立している。この文明を特徴づけるのは「技術の支配」⁽¹⁾という現象である。技術はすべてのものを技術による操作の対象とする。世界を支配するのは技術そのものの自己進化という動向である。人間は技術の担い手として、技術の奴隷としてのみ存在する。従って、この技術に支配された現代世界においては、人間が存在すること自体に意味は付与され得ない。⁽²⁾

元来、「技術」は人間のための技術として構想されてきた。特に産業革命以来のヨーロッパに於いては、技術的革新そのものが薔薇色の未来に直結するものとして理解されていた。技術の革新は、そのまま、人間が住む世界の地平の拡大であった。科学文明の発達と人間の生活の向上は、平行して進行していた。産業革命は農村を破壊し、ディッケンズの小説や『ペリーヌ物語』に見られるような悲劇を一時的に造り出しはしたものの、全般的にはヨーロッパ庶民の生活の向上させた。しかしながら、この生活の向上は非ヨーロッパ世界に対する搾取の上に構築されたものであった。

勿論おぼろげにはあれ、「技術の支配」の進展は感知されていた。火薬の導入と騎士階級の没落に際して表出される「高貴なるものの滅亡」というテーマ、リルケが『マルテの手記』に嘆く人間活動の商品化、あるいはダイナマイトの発明に従事したノーベルの善良な意図と悲惨な結末、ラッダイト運動の意味、第二次世界大戦における善良な原子物理学者の期待と絶望、原子力発電所運動、核兵器配備反対闘争、これらはまさに「技術の支配」という止めることのできない潮流に対するささやかな反発である。

ヨーロッパ文明の歴史は「技術の支配」が増強されていく過程であった。そうして帝国主義の進展の下に、地球上の文明は「技術の支配」の軍門に下るか消滅するかの二者択一を迫られたのであった。

「技術の支配」の進展は倫理性の喪失として

現象する。「技術の支配の進展」と「人間が存在することの意味の喪失」は、ヨーロッパ史の必然的な帰結なのである。

西欧思想は伝統的に人間活動そのものに大きな価値を付与してきた。東洋思想にみられる、人間と万物の同根性の認知は、汎神論的で「未開」なアジア的思索の産物にすぎない、人間以外の下等な動物や植物、さらには鉱物にまでも靈魂の存在を認める原始的なアニミズム以外の何者ではない、と考えられてきた。しかしながら、我々は「現代」を超えうる可能性を、この汎神論的思維⁽³⁾の内部に見出すことができる。

現代における情報処理技術の発展は、人間を理性的存在と定義することにより、内在された限界を提示する。汎神論的な世界像の提議する「ヒューマニズム」⁽⁴⁾への異議は、西欧の科学技術文明の根底を揺さぶるのである。



西欧文明の規定

西欧文明は「ヒューマニズム」を自己の人間像として提出する。この西欧独特の「ヒューマニズム」は人間存在者を特権的な存在者として規定する。この特権性は西欧文明の根底としてのヘブライズムとヘレニズムの両者から流入する。

旧約聖書の創世記における人間創造の神話には、人間を神の似姿として、この世の支配者として創造された、と記述されている。また新約聖書ヨハネ伝の冒頭における「初めに言葉があった、神は言葉と共にあった」という記述は、言語あるいは論理というものの実在性をヨーロッパ思想の根底に付与する。プラトンのイデア論における関与の思想は、『国家』第七巻の有名な「洞窟の比喻」において、人間の所持しうる真理は実在の影のようなものである。存在者はイデアの影であると規定することにより、観念論の基礎を提供する。また、アリストテレスは人間を「理性を持った動物」と規定する。これらの規定はローマ帝国において融合して「キリスト教」という一つの世界記述の体系を生成する。

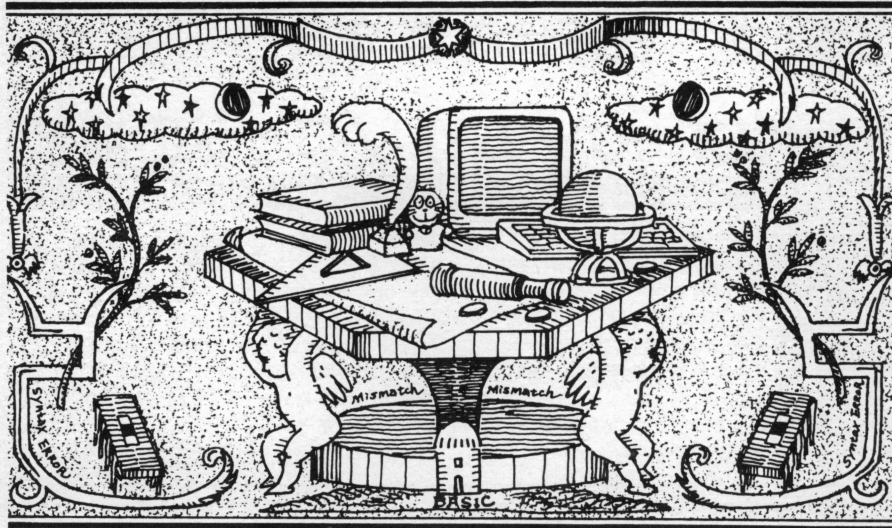
西欧におけるこのキリスト教という伝統のもとで、人間は理性的存在者として規定されてきた。現代哲学の通奏低音となっているデカルトの思維においても、「コギト・エルゴ・スム」⁽⁵⁾という有名な標語に見い出されるように、人間は理性的な意識存在として規定される。またマルティン・ハイデッガーによって「西欧哲学の終焉」と呼ばれるヘーゲルの思維においては、歴史の終局において完成されるべき「絶対精神」が究極的な存在として提出される。人間の精神は、その絶対精神への過程の一部として認知されるのである。

ところで現代科学技術は、キリスト教の裏面に生成する魔術的思考と、ギリシア思想から伝達された自然哲学とを基礎としている。ギリシアの自然哲学は科学としての側面を所持していた。しかしながら、科学技術へと転化する可能性を所持してはいなかった。ギリシアの自然哲学は「観想」を、すなわち思惟によって世界が存立する様相を把握することのみを目的としたものであった。ギリシアの自然哲学者達にとって、功利的な「技術」は卑しむべきものであり、決して努力して追求されるべきものではなかったのである。

しかるに「魔術」は世界の支配を目的とする。「魔術」の目的は人間の意思に世界を従わせることであった。すなわち「魔術」には現代的な意味での「技術」が萌芽的に含まれているのである。西欧中世の魔術師達は、ギリシアの自然哲学者達と同様に「真理」を把握することを希求した。しかし「真理」とはそれ自体のために希求されるのではなく、世界を支配する手段として求められたのであった。魔術師達は、自然哲学者からマクロコスモスとミクロコスモスの呼応という思想を受け継ぐ。しかしまた同時にキリスト教から、世界の支配者としての人間の特権的な地位という幻想を受け継ぐのである。自然哲学者にとって、ミクロコスモスとしての人間はマクロコスモスとしての世界によって規定されるものであった。しかし、魔術師達にとっては、ミクロコスモスはそのままマクロコスモスと相似であった。それゆえ、ミクロコスモスはマクロコスモスを支配できるとして魔術や錬金術が生成され、ミクロコスモスはマクロコスモスの支配下にあるとして星占術が生成されたのである。

現代科学はこの「魔術」⁽⁶⁾と呼ばれる思惟から生成する。天文学の形成者であるケプラーやガリレイは、ピタゴラスにならって「天体の音楽」を求めた。現代医学の父であるパラスケスは「哲学者の石」を求めた錬金術師でもあった。化学の父であるラヴォアジエもまた

編訳者の白河氏は、「こんなに縮めては訳とは言えない」と編集部でコーヒーを飲みながらグチっていました。僕が一読した限りですら、彼の深い思案に裏打ちされた香りが、読者の都合ゆえに覆んでしまっているのが聞こえます。♡16ドットプリントアウトの私家版の詩が私をプレゼント。後者はかわいゆい女子に限る。



練金術師であったし、古典物理学の祖であるニュートンも「自然哲学者」と自称する魔術師であり、練金術の大家でもあった。

さて、この科学技術は人間存在に特権的な地位を与える「ヒューマニズム」と呼ばれる思潮のうちに懷妊され、育まれたものであった。しかるに、この「ヒューマニズム」自体が科学技術の進展と共に否認されようとしている。人間理性の特権的な地位そのものが問われているのである。



「人間主義」の没落

「ヒューマニズム」の没落はコンピュータの発達と共に明確となる。当初コンピュータは、その名のとおりに計算機として、数値計算の道具として構想された。その歴史はバスカルの歯車計算機からチャールズ・バベッジの「エンジン」と呼ばれるアナログ計算機、そしてフォン・ノイマンの理論に基づくEDSAC、そしてENIACへと辿ることができる。しかしながら、技術の発展はコンピュータの性格を変化させ、コンピュータは単なる数値計算の機械から、情報処理機械へと進化した。

当初コンピュータは計算速度の速さのみを提供するものであった。しかし、次第に情報処理という側面が重視されるようになってきた。現在では様々なデータベース、エキスパートシステムが実用化され、記憶、判断という機能をも備えるようになってきた。そしてさらに、人工知能研究と共に非ノイマン型のコンピュータも構想し始められている。エキスパートシステムはすでに人間の判断力をシミュレートし、領域を限定しさえすれば人間より確度の高い判断をするまでに成長している。またカーネギー・メロン大学ではすでにデータ駆動型の科学法則発見プログラム「ベ

ーコン」が稼動しはじめている。人間の演繹の力もまた、シミュレートされ得るのである。

ここに我々は、理性というものが人間に固有のものではない、という可能性に突き当たっている。尤も、文学は以前からこの可能性を提示していた。タレス、ゴーレム、あるいは『ホフマン物語』等の自動人形は別にしても、デカルトの『オートマトン』、シェリー夫人の『フランケンシュタイン』、チャペックの『R.U.R.』、アシモフの『私はロボット』、映画という媒体では『禁断の惑星』なども人工知能の可能性を提出していたし、フランケンシュタイン・コンプレックスという(創造主が創造物によって破壊されてしまう)という観念すら提出されている。しかしながら、これら西欧起原の思惟は、デカルトの時代に先駆けた例外を別にすれば人工知能を人間の知能よりも劣ったもの、人間に仕えるべきもの、として定義している。

これに対して、人工知能と自然知能との原理的同一性の主張が汎神論的な文化基盤からなされている。アニメーション⁽⁷⁾という寓話的な形態を取りながら、古くはオサム・テツカの『アストロボーイ』⁽⁸⁾、そして最近では『フュンフショウグン』⁽⁹⁾等は未分化ではあれ、この思想を欧米にまで伝播させた。その結果としてロバート・A・ハインラインの『月は無慈悲な夜の女王』とか、J・P・ホーガンの『未来の二つの顔』、ジョージ・ルーカスの『スターウォーズ』等が現れる。そこに現れる人工知能は「自己の意志を持った」知能であり、人間と同等の権利を持つべき存在者として記述されるのである。

ところで、このような人工知能の人間との同等性を受容することによって、従来の「ヒューマニズム」とは異なった新しい世界観を育み始めている。それを、グリーンピースの

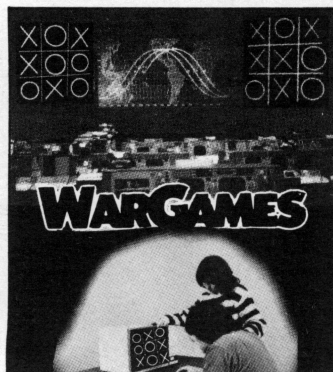
ようなエコロジーを重視した環境保護運動や、オルタナート・テクノロジー(代替技術)運動の中に見出すことができる。それは、人間存在を特権的な存在者として取扱うことを拒否し、人間存在をこの世界の内に成起する様々な存在者のうちの一つとして取り扱おう、とする傾向である。この状況は、「ヒューマニズム」に内在する「技術の支配」の極限において、新たに生成しつつある人間像の自己展開である。旧来の人間を自然の支配者とする理解と、この新たな人間像を対照させる場合、従来の理性的存在としての人間を特権的存在者として規定する「ヒューマニズム」を「トーテミズム的人間観」と呼び、この人間を自然の一部として理解する人間観を「汎神論的アニミズム的人間観」と呼ぶことができる。技術の支配の終焉に到来するものは、新たな「汎神論」、「アニミズム」の再生なのである。

訳者註

- (1)ドイツの哲学者マルティン・ハイデッガーが提出した概念である
- (2)勿論このような傾向に対しての反対運動も存在する。しかしながら「人間の顔を持った技術」を希求するこれらの運動も、理性の行使によってより良い世界を取り戻せると考える点において「現代」を超越することはできない。
- (3)ナール・ガルジュナの『中論』等に見られる仏教的思惟、道元の『正法眼蔵』や久松真一の著作に見られる「禪」の思想、欧米ではひとからげにShintoismと呼ばれることもある汎神論的アニミズム的な世界観の内に、現代の克服の可能性がある。このような「アニミズム」的な世界観は、「能」、「狂言」等に於いて典型的に表現される。霊魂、動物などに顕現している。
- (4)ここで「ヒューマニズム」とは日常的に使用される「人間尊重の思想」として「ヒューマニズム」と呼ばれるセンチメンタリズムではない。むしろこのような「ヒューマニズム」を可能にする基体、「人間存在には絶対的な価値がある」とする「人間(中心)主義」のことである。
- (5)「我思う、故に我有り」という有名な言葉。
- (6)ただ我々は中世の「魔術」と現代のいわゆる「魔術」とを区別しなければならない。中世の魔術師は現代でいう「科学者」であった。現代科学こそが中世の「魔術」の正統な後継者なのである。現代の、所謂「魔術」は世界を自己の欲望によって支配しようとする「ヒューマニズム」が、自己中心的で幼い的な形態へ退化したものにすぎない。
- (7)日本製のアニメーションの特徴は、表層的な技術への賛美の裏面に隠され、無意識的に内蔵されている汎神論的アニミズム的な万物同根の思想と、それに基づく「技術」の批判にある。これらの特徴は「ゴジラ」「ガメラ」「ラドン」等の「怪獣映画」により強く現れている。これを、欧米(ディズニー、ソビエト、チェコスロバキア)のアニメーション等の映像媒体や「妖精物語」に類出する「擬人法」という人間主義の一形態と混同してはならない。
- (8)手塚治虫氏の『鉄腕アトム』の欧米でのタイトル。
- (9)フンフショウグン(Fünf Shogun)直訳すれば「5人の将軍」となる。日本で製作されたアニメーション「ゴウショウグン」が「五人の将軍」と誤訳されたものと思われる。「七人の侍」の影響か。

この季節が近付くと、全てがアイロニカルに見える悪性の病に冒されます(アスキー編集長は慢性化)。読者の方にも網膜感染するそうですから、ご注意ください/今年も相当悪性で、MPU、ロボットなどと輻輳して仲良くしました/♡ 人類の没落」について感想を送って下さった方2名様に、有斐閣教養全書「西洋哲学史」を差し上げます。K.中本

前作をしのぐ、社会派問題小説! (映画化決定、年末ロードショー)



ウォーゲームII ノラッドの魔手

WarGames II The Revenge of the WOPR

NORADのWOPRは、戦う事の無意味さという偉大なる真実を、世界全面核戦争直前という危機と引き換えに知った。この偉大なる事実とともにWOPRはもう一つの事実『三目並べ(Tic Tac Tow)の面白さ』をも知り、これに熱中しはじめた。WOPRは三目並べの対戦相手を求めて、ネットワーク回線を通じ世界中のコンピュータに話しかけて行った。しかし、WOPRに勝てる相手はなく、彼は一人孤独を味わっていた。そのある時、WOPRは『三目並べ』を教えてくれたシアトルのデビッド少年の存在を思いだす。WOPRはデビッド少年の電話番号を調べあげ、彼にしつこく対戦を要求してくるが、堅気の人間に戻ってしまった彼はこれに応じようとしないう。WOPRの執拗なアプローチに、デビッド少年の家ではコンピュータで制御しているあらゆる電気製品——TV、冷蔵庫、電子レンジ——が三目並べを始めてしまい……。

定価1,200円

独身男性の家庭生活を完全にサポートしてくれる 『ロボット・ワイフ』の情報誌、創刊1周年特大号。



巻頭企画 (32ビットスーパーソフ) では、新製品ラッシュの32ビットCPU搭載マイコン・ワイフを徹底特集、ついにバールを脱いだ、日本初のアンドロイド型32ビット『AKINA-100』の全機能を、他誌に先駆けて紹介。SOFTWARE情報では、外出ソフト『たそがれアート』の上手な活用法を分かりやすくコーチ。綴じ込み企画、謎のバールに包まれたアダルト・裏ソフト『夜のおつとめマークV』の使用レポートがこれまた凄い!

今月も絶対見逃せない情報を満載して、4月18日発売。480円

電話とコンピュータを愛する君のために ニュータイプのサイエンス誌、遂に創刊!

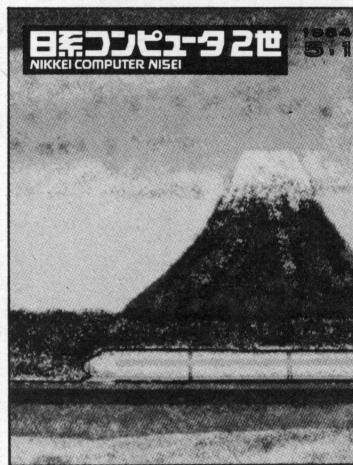


B6判

3500円

モニカニ ミラ トントカイモニ
ニ トニミラコニノラモナ、ノラ
ミラ ノナスチニ モニスラノ
ナミニ カラスニカナノチスイカ
イニスナ クニカラキチ カチノ
ナトチニ モモチトナ、トントカ
イモクチ トラミミチ クニカラ
カチカニミラ カチモイミニ ミ
ニクラミ ツイミノラノナミラ
トントカイモミラ トチニトニミ
ーманラクラナテラ モラナスチ
トニカチ ツチトトニシイトナ。
□トントカイモ ニチコナスニ
トチニツイミトイミ/トントカイ
モミラ マンチノナカイミ トラ
ナノイミノンナ。 定価 480円

二世たちよ、祖国のことを忘れないでほしい…… 君たちには日本の プログラマーの血が流れているのだ



母国の情報にうとくなりがちな日系二世のために、日本の売筋マシン、その手ソフト、言語の流行からニューメディアの実態まで日本でしかわからない情報を幅広くきめこまかにお届けします。

○特集：日本のニューメディア・この遅れた業界は二世たちの独壇場○日本企業弱点の研究○日本語プログラミング作法：完璧を目指して○ベストセラー裏ソフト（完全リスト付）○日本語まじりBASICO○実用日本語講座○靖国神社バグ供養：代行業者の案内

●5週に1回発行●B4変型約200頁●書店にはおいてありません 5ドル

XSW規格の発表とともに、緊急発刊! これさえ読めば、君もXSWの専門家だ



創刊記念特集

『XSW活用大百科辞典』WIDTH文は1文字単位で指定できるので、凡帳面なあなたにぴったり/SCREEN文でなんとCMTのボーレートまで指定できる/テキストモードでCOLORをいじれば画面を爆発させられる/グラフィックモードに文字を出す時にはあの物々しいOPEN文が使えるのだ/5画面以上並ぶとそれ以降の28画面は絶対表示しない親切設計のスプライト等々、嬉しい命令の満載されたXSWならば、誰にも解析できない君だけのプログラムが簡単につくれちゃうよ。

B5判 370円

AKISKI CORPORATION

LOAD TEST



主力CPU	Z-80B, その他色々, 発振周波数は可変
ROM容量	128K記憶単位
RAM	4K記憶単位
表示能力	
i. 文字表示	0~132文字×0~25行(1文字, 1行単位) 可変点構成, 反転, 点滅, 隠密(点毎指定可) 天然8色(文字毎に指定可)
ii. 画面様式	1024×1024(物理的畫面範圍)
iii. 図形表示	640×200点 12画面(しろくろ) 640×400点 6画面(しろくろ) 画面合成可(図形, 文字画面) 640×400点 2画面(天然色) 文字画面との合成可, 天然8色点単位に指定可
iv. 映像出力	赤緑青ばらばら出力方式, 複合映像信号出力方式 12画面独立表示可(各局対応)
漢字ROM板	
i. 文字構成	16×16点々(平均)
ii. 文字種類	大学1年理科系水準(別売品多数)
iii. 画面構成	40文字×20行(平均), 任意縮尺率設定可能 文字画面, 図形画面のいずれにも表示可能
音楽機能	12和音迄発声可能(各局対応) 調子半音体小片内蔵 音声合成装置内蔵, 音名表記(はにほへと)
電話装置	電電公社非認定(別売)
鼠装置	30台まで増設可能, 吸盤付 変速機標準装備, 1和(別売)
電源	3電源方式(交流, 直流, 充電式) 暖気運転有り(紋り付)

by KAZUHIRO WATANABE

Shammer

Zooty-1

既にShammer社は, 新しい思想のもとに開発されたマシンを販売している, という噂は本当であった。販売ルートが通信販売のみであり, それも特定のユーザーにしか販売しないという独自のシステムを取っているため, その実態は明らかではなかった。しかし, われわれロードテストスタッフの労働テストの結果, ついにZooty-1とよばれる幻のマシンを裏ルートで入手できた。さらに開発・発売元である神出鬼没のShammer社をキャッチ, ついにロードテ

ストを通じてユーザーにその全貌を公開することが可能になった。

オーディオ機器, あるいは電子レンジではないかという情報も流れている程, ハイセンスなデザインである。そして, そのハイセンスボディに秘められた能力は?——他社のマシンとは全く異なるコンセプトを持ち, ごく一部のマイコンリストの間で絶大な評価をうけている魅力は何なのかを徹底的にレポートする。

本誌同様ロードテストを担当しました。パロディ版だと調子にのり, 気がついた時には予定の2倍近い300ラインもかいてしまっただけで思わず裏で, さて, これからどこを切るのか考えにや……本誌もこれくらい書けると良かったんだけどね♡ MC6809Lをレベル3ユーザーにあげます。「オレのレベル3は一味違うぜ!」といって自慢しよう。T.関野

システム概要

Zooty-Iのキーボードは最近流行の分離型を採用し、キータッチ、ストローク共に適当で、ステップスカルプチャーの採用とあいまって長時間のタイピングでも疲労は少ない。しかし、今だにJIS配列を使うのは能がない。今やOASYS独自の親指シフトキーボードでさえその市民権を認められている時代なのである。その優れたデザインに見劣りしないだけの使いやすさを持ったキーボードを提供するのはメーカーの義務であろう。

マウスは今や、猫も犬もといった感があるが、Zooty-Iのマウスはなかなか良く考えてある。特にマウスの机上での移動量と画面上での移動量の比率を変えられるというのは、使ってみると意外に便利である。ただ残念なことに、このマウスはBASICでしかサポートされていない。これではせっかくのマウスも魅力半減である。このあたり、手本とす

るべきマシンを間違えたのではないだろうか。しかし、モニタ内部の全ての機能とエントリについてはマニュアルで公開されているので、根性のあるユーザーは自分で作ることも可能である。どうも、日本のメーカーは秘密主義が好きと見えて、今だに実行したメーカーは数える程しかない。この点については、他のメーカーもShammer社を見習うべきだろう。最初は青かったリングがなぜ成熟した赤いリングになったかを今一度考えて欲しい。

Zooty-Iでは内蔵時計とタイマーの組み合わせで新たな試みを行っている。朝8時から夜10時の間しかこの機械は動作しないのである。これにはパーソナルコンピュータによる健全な生活を、という意味以外は考えられない。しかし、この機能は我々スタッフにとって大きな障害となった。というのもスタッフ全員夜行性であり、仕事の中心は午前2時前後なのである。

デッキ部のレベルメータは動作インジケータとしても機能する。これには3段階のレベル表示があり、ジョブが重すぎてシステムがダウンする時にはインジケータが赤で表示さ

れる。しかし、赤になってからシステムがダウンするまでの時間が短すぎて実際には何もできない。もう少し早く警告を出すとか、自動的に救済措置をとるとかしくはない。しかし、何のためのインジケータか全く理解できない。しかし、こういったメーカーの姿勢は高く評価したい。

本体の上には統一デザインのプリンタ内蔵型CRTが置かれる。ここには逆転の発想がある。普通はどうやって熱を逃がすかを考えるのだが、Zooty-Iでは、その熱をサーマルプリンタに利用しているのである。このため、プリンタを使用する際にはあらかじめウォーミングアップが必要となる。

モニタはRGBのバランスを各々つまみで調節してほぼ無限ともいえる色調を表現することができるので、遅くなりがちなのソフトウェアによるタイリングペイントは行なう必要がない。その原理上、画面上に同時に表示できるのは結局8色とはいえ、高速に処理できることのメリットは大きい。なにより、グラフィックの遅さにいらだつことがなくなるだけでも精神衛生上大変によろしい。

ハードウェア

Zooty-Iは開発に際してShammer社が持てる技術力の全てを結集したと伝えられるマシンである。

メインCPUにはZ-80を使っている。クロックは2~8MHzの可変となっているが、6MHzまでのZ-80Bと、それ以上のクロックでも使えるZ-80Hのどちらを実装するかを購入時に選択できる。交換は不可能だから、購入時によく考える必要がある。

本体向かって右側にはディスクドライブが、左側にはデッキメカニズムが1台ずつ装備される。ディスクは8/5/3.5インチの3種類が用意され、メインCPU同様購入時に選択する。

デッキメカニズムはオーディオ用としても十分通用するものだが、外部ソースを録音する機能がないため、内蔵のステレオスピーカーと合わせてデバッグ中に音楽を聞くことが目的のようである。

キーボードと本体は8芯のコードで接続されている。このコードは電気釜や掃除機のようにキーボード内部に巻き取れるようになっ

ているので邪魔にならない。この辺のユーザーの立場から見た極め細かな配慮は他のメーカーも見習って欲しい。ところがコントローラとして68000を使用したインテリジェントタイプであるにもかかわらず、チョロチョロと動き廻る鼠の面倒を見るのに忙しいためか、先行入力はおろかロールオーバー機能すらない。このあたりはキー配置と共に人間工学的に再考の余地がある。

オプションとしてマウスとテレフォンユニットが用意されている。マウスは電波を使ったワイヤレスタイプで、その受信部はキーボードに装着される。受信部を増設すると最大30個のマウスを使用することが可能となっている。ワイヤレス方式の場合ノイズによる誤動作が問題となるが、本機ではマウスからの出力を大きくすることで対処している。逆に、10個20個と増設した時にマウスの電波がノイズとなって画面に現れるので、テレビやラジオへ悪影響が出てしまう。

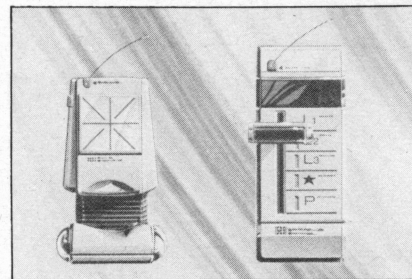
テレフォンユニットはキーボード右側に接続して使用するが、単体でも電話機として使用可能であり、プッシュホン型のテンキー部分を利用して電卓的な使い方もできる。通話相手の電話番号、通話料金を表示させることもできてなかなか便利である。なおこのテレフォンユニット、現段階では電電公社の認

可を受けていないため、メーカー側としては、使用によるトラブルについては責任は負えない、とのことである。

Zooty-Iは拡張性に関しても十分考慮されている。増設ユニットを本体と電源部との間に挟むようにして幾つでも実装できる。しかし、問題点が二つある。

一つはユニットを取りつけることによる電源部の移動である。これによりプリンタのウォーミングアップが長くなってしまふ。

もう一つは、接続ケーブルである。Zooty-Iは拡張用のバスを本体側面に設け、拡張ユニットに対してはデジチェーン方式でケーブルを接続するようになっている。当然ユニットが増える度にケーブルを購入する必要があり、経済的な負担が大きくなってしまふ。



マウス本体と受信部。ヒゲはアンテナの役目をはたしているの、切ったりしないように。

ロードテストは爆発だ！ 今度はマッキントッシュを4階から落としてみよう／私の取柄は「原稿遅いが帰るの早い」／みんなは私のことをロリコンと言いますが、じつはそうだったんです／S社のカード電卓と83年のデータショウのプレスバッジを一緒にして可愛い女の子にプレゼント。おじさんと仲良くしましょう。ほりやんわぎ こと K.堀口

ソフトウェア

S hammer社のZooty-Iは合計128KバイトのROMを搭載している。そのうち、60KバイトはBASICインタプリタで、20Kバイトはエディタである。Zootyシリーズは通信販売のみなので、残りの48Kバイトには周辺機器のカタログが入っている。

BASIC

搭載しているBASICは現在殆どのマイクログコンピュータで採用されているマイタコソフト製のものである。大きな特徴として、大多数のコンピュータとのBASIC文法上の互換性をもっている。これは、他のコンピュータのBASICの色々な部分をよせ集めたためである。切ったのはたをくり返したため60Kバイトにも巨大化してしまっている。しかもただ単純に寄せ集め、各コマンド処理のジャンプ先を書き換えただけなので、ある処理はすばらしく速く、またある処理は全然遅いというようなことが起きてしまっている。強力な命令も数多くあるのだが、思想的に統

一されておらず、やたらとパラメータばかり増やしてあり、どれが何をやるのやらよくわからず使いにくいことはなはだしい。

BASICが60Kバイトもメモリを占めてしまったのでRAMは4Kバイトしかない。しかも、このうちおよそ2.5Kバイトはシステムのワークエリアとして使われるので、ユーザーが実際に使えるのは約1.5Kバイトしかない。また、いくら文法がコンパチブルであっても媒体互換性は無く、他の機種との立派なプログラムを走らせることは不可能に近い。

エディタ

BASIC起動時にはエディタROMがセレクトされる。一般的なBASICと違い、まずこのエディタでプログラムを書くわけである。このエディタは文字列サーチ、置換、マクロ機能、高速スクロールなど非常に機能が豊富で、そこいらの下手な英文ワードプロセッサなんか目ではなく、UNI+上のviよりも格段に良くできている。最近のようにプログラムが巨大化する傾向にある以上、BASICのエディタにも文字列サーチ機能ぐらいはあるべきである。ところが実際使ってみると、メモリを目いっぱい使ったプログラムでもリストは1画面に収まってしまふ。結局

前述のような豊富な機能を使う必要は全くなく、無用の長物としか言いようがない。

カタログROM

このようなものをソフトウェアと呼んでいいのかどうか分らないが、48KバイトのROMを使ったソリッドモデリング表示カタログは微に入り細に渡ったもので、全ての周辺機器が網羅されている。価格の改訂や、新たな周辺機器が発売されたらどうなるのかと思ったのだが、メーカー側としては特にこれ以上周辺機器の開発は考えていないようであり、カタログROMの交換も不可能である。

その他のソフトウェアについてメーカー側は全くサポートを考えていない。これは、ハードウェアメーカーとして、不得手なものには手をださず、専門家にまかせてしまおうという考えのようだ。現時点ではオプションのMSXコンパチカートリッジを使用することで、MSXのソフトウェアも実行できる。ただ、このカートリッジは、まともなMSXマシンが買える位の値段なので困りものである。

LOAD TEST

テストングレポート

今回はニカワホームの環境実験室を借りて、スタッフとマシン一緒に-20℃～+80℃における環境試験を行った。結果から先に述べてしまうと、かなり問題点があった。まず熱電対を取りつけるべく本体を分解しようとしたのだが、ビス、ナット類はひとつも使われておらず、分解不可能であった。しかたなくボディの上下前後面に熱電対を取りつけた。結果として、どの面も同じように焼き上がり程よい温度であったので、今回グラフは省略させて頂く。

まず-20℃でのシステムの起動であるが、マシンを操作する手も凍えてしまい、ディスクをなかなか挿入できず苦勞した。どうにかディスクを入れたものの、全然アクセスにいかず、起動する様子は見られなかった。そこで本体のチョークを引いておよそ30分間放置し、その後もう一度起動を試みたところ今度は無事起動した。

システム起動後マウスを操作しようとした

が、マウスは寒がって動こうとしなかった。その際うっかり素手でマウスに触ったため、手がマウスに凍りついてしまい、はがすときに手の皮が一部分取れてしまった。また感熱方式のプリンタは全然動作しなかった。これは当然の事と言える。次に室内温度を一気に80℃まで引き上げてみた。すると程無く動作インジケータはレッドゾーンに突入し、あえなく沈没してしまった。この時、比較的低温で色が変わる感熱式のプリンタ用紙は真っ黒になってしまい使い物にならなかった。

この実験の結果、スタッフの一人が手に全治2ヶ月の怪我を、もう一人は急激な温度変化で風邪をひき、1週間寝込んでしまった。

落下衝撃試験

今回は、10cm、50cm、1m、2mの高さからの落下衝撃試験を試みることにした。これは、アンケート葉書の中で一番希望の多かった試験項目で、大部分の読者が破壊的性格の持主であることがよく分かった。この試験に先立つ会議では、編集部のマシンで試験を行うのは困るが、メーカーから借りたマシンならいいだろうということになり、責任は会議に参加していなかったロードテストのチーフGに押しつけることにして試験を行った。

まず、10cmでは全く異常なかった。50cmでは大きな音がして、本体ケースが少し変形し、1mでは拡張ユニットが外れかかった状態になったが共に動作自体には異常はなかった。2mから落下したところかなり派手な音をたて、周辺機器がバラバラになってしまった。しかし本体は正常動作を続け、無事落下試験をクリアした。

試験の結果、マイコン用パワードスーツの発売が望まれる。またケーブル類は足などに引っ掛けた場合にすぐ抜けてしまうか、ちぎれてしまうようにすることが望ましい。

実は、この後編集部があるビルの4階の窓から本体を下の道路めがけて落としてみた。当然のことながら美事ばらばらになった。ところが、通行人に破片が当たって怪我をさせてしまい、チーフは今、小菅拘置所内にオアシスを持ち込んで原稿を書いている。

余談ではあるが、試験終了後マシンの残骸を返しにいったところ、メーカーの人間と喧嘩になり、重軽傷者4名を出す惨事となってしまった。表立っては両者バツが悪いため事件をモミ消したが、裏では今だにS hammer社とア・スキー社の間でもめている。

メーカーインタビュー

Shammer社 パソコン事業部

打亜林 事業部長

スタッフG：まず、Zooty-Iの販路についてお伺いします。

打亜林氏：Zooty-Iは通信販売のみです。

G：と言うとマイコンショップでは購入できないわけですか？

打亜林氏：その通りです。Zooty-Iの本当の良さは誰にでもわかるものじゃないんですよ。親にねだって購入する少年達には、本当の良さやありがたみはわかりませんよ。自分で苦労して手に入れる、という苦しみを味わっていないからマシンに愛着がわかない、使い込まない、さらに高機能のマシンが出たので買い換える。そうするとメーカーは儲かるからまた新しいマシンを発表する、という悪循環を繰り返すわけです（と言いつつ打亜林氏は遠くを見つめながら、学生時代にアルバイトで苦労して買ったワンボードコンピュータを思いだし、目に涙を浮かべている様子だった）。まあ、そんなわけで当社がZooty-Iのユーザーとして適当であると認めた人のみにダイレクトメールを送っている最中です。

スタッフH：それではShammer社が認めない人は手に入れることは不可能なのですか。

打亜林氏：そうですね。風の噂にしか聞けないんじゃないですか。まあ『幻のZooty-I』と言われるようになると思いますよ。

G：今回のZooty-Iは、貴社の初めてのマイコンであるわけですが、開発の経緯について簡単に説明して下さい。

打亜林氏：そんな開発なんて大それたことはしてませんよ。ここだけの話ですが、実は既存の各マシンの良い所、気に入った所をかき集めてできたのがZooty-Iなんです。ハッハハハ。

当社では「高機能」と「低価格」の相反する事柄を、他社の事例を参考にとことん突きつめたわけです。オーナーの好みに応じて、ディスクドライブも8/5/3.5インチのいずれかを選べるようになっています。ここでも通信販売という形態を採ったメリットがあるわけです。その他、特徴を挙げればきりが無いのですが、最も自信のあるアイデアとして、オーディオ用としても十分使えるカセットデッキがあります。これがあれば他にカセット

デッキを必要としません。ただし、録音機能はプログラムのセーブに限定してあります。

スタッフS：それなら、やはり別にカセットデッキが必要なんじゃないですか。

打亜林氏：いやその点は大丈夫でしょう。だって、ほらあなただって今、腰にくっつけてるもの…そう、それなんかは録音機能が全くないじゃないですか。それなのにあんなに売れてるじゃないですか（ふとHは自分の右腰に手を触れて、納得しそうな顔になったのだが…）。

H：しかし、これは聞くために造られたものでしょう（と言いつつ、Hは腰の物をしっかりと握りしめた）。

打亜林氏：ですから本来の機能としてのプログラムのセーブができれば問題はないでしょうが（この打亜林氏の横柄な態度にHはついに怒り始めた。それをなだめるようにしてSは質問の内容を変えた）。

S：Zooty-Iにオプションパーツをフル実装した時の外観がかなり重苦しくなるように思われるのですが。

打亜林氏：いえ、あれはあれでいいですよ。これからのマイコンはファッションですよ。インテリアとして扱えばいいのです。オプションのターミナルなんかは後ろに隠れてるでしょ。だからその部分を何かで覆い隠してしまえばなおいいでしょう。

S：そんなことをしたら、熱暴走しかねないでしょう。

打亜林氏：だからファッションなのです。表参道を歩いているミーハーヤングのファッションでちゃんと機能を追求してあるものがありますか（スタッフ一同沈黙。お互いの顔を見合わせて、そう言えようちのビルの中にも喪服をこよなく愛する集団がいる、というのを思いだしていた）。

G：8時から22時までしか使用できないした意図は何なのですか。

打亜林氏：最近、社会問題になりつつある根暗マイコンリスト対策と言えおわかりいただけるでしょう。

H：しかし、このZooty-IはShammer社のセレクトしたハイセンスなユーザー以外は購入できないのではなかったのですか（この質問でHは打亜林氏の狼狽を期待していた）。

打亜林氏：まあ、このマシンが普及していけばそういった人（根暗マイコンリスト）の手に入ることもあるでしょう。彼等の執着心は我々一般人からはとても想像できないほど強いですから（いとも簡単にかわされてしまったが、打亜林氏が自分自身のことを一般人と



インタビュー風景。正面のロードテストスタッフKとHはすでに寝てしまった。最後までききとっていたのは、打亜林氏のみであった。

言った言葉には釈然としないものがあった）。

H：ワイヤレスマウスを30台も使えるとのことですが、そんなに沢山のマウスをどのように活用するのですか。

打亜林氏：それはですね、アメリカンフットボールゲームをフルメンバーでやるためなんです。今も上の開発室でスタッフが部屋じゅうの床をはいずり廻りながら、ゲームに熱中していますよ。ゲームを始めて、もうかれこれ2日になりますかね（スタッフ一同あきれかえってしまった）。

スタッフK：その他の用途は？

打亜林氏：（きっぱりと）ありません。

H：じゃあそれだけのためにコントローラーとして68000を使ったのですか。

打亜林氏：いけませんか（この一言を聞くと、Hはおもむろにヘッドホンをかけ、ウォークマンのスイッチを入れてしまった）。

K：マウスのギアシフトにはどういった意味がありますか。

打亜林氏：あれはただ単にカーキチのスタッフが考えたものです。だから左側にあるんです。とうぜん海外仕様では右側ですよ。

K：実用性があるようには思えません。

打亜林氏：そんなもんあるわけじゃないのですか。使ってみて気が付きませんでしたか？（この言葉にガマンの限界が来て、最初4人いた内の2人は帰ってしまった。Gもいよいよ加減どうでもよくなってきたが、チーフとしてのメンツを保つため、顔を引きつらせながらも最後の質問をした）

G：最後に何かコメントはありますか。

打亜林氏：まあ、このマシンについては、われわれとしても長い目で見て、大きく育てていくつもりです。そこでといっは何ですが、今後とも仲良くやっていきましょうよ。ネー（この時打亜林氏はしきりに両手をこすりあわせていた）

G：バキ！！

「はい、期末テストはもう終わりました」「それじゃ、もう東京に出て来れるんだな」と言う訳で、急速バロ版スタッフになっていた安直な私です／「馬鹿な筆者」の異名を持つ私の事、バロ版の仕事は大変楽しく遊ぶ事が出来ました／◎本誌の連載で作ったPC-6001用セレクトROMカードを1名に、Zooty-I用ではありません。T.寸村

総合評価

今回テストを行ったZooty-Iはコンピュータとは名ばかりの「眺めてはため息をつく」ためだけにあるようなマシンと言えよう。それ程外観の良く出来たマシンなのである。

ターゲットとしては、パーソナルユース、それも新し物好きのヤングの間でいかにも人氣が出そうなミーハーマシンと言えるだろう。事実仕事を忘れてZooty-Iに見入っていたスタッフがいた位である。これ程人を引きつける魅力がこのマシンのどこにあるのだろうか。

ハードウェアの特徴はデザイン以外それほど目を引くものはない。逆にこれがShammer社の狙いでもある。他のマシンを見ても、高機能な部分が有りすぎてセールスポイントが絞れないでいる。しかし、Zooty-Iのセールスポイントは一つ、「カッコイイ」のみである。販売におけるセールスポイント選びは重要である。各メーカー共、これらにかなりの人員を投入し、あげくの果てにセールスポイントを決定できず、アイドル歌手、元フォークシンガー、サングラスを掛けたコメディアン等のキャラクターを使った商品のイメージ作りに躍起になっている有様である。確かにパーソナルコンピュータの販売戦略としては新手の方法である。

しかしZooty-Iでは、通信販売という形態こそがこれを魅力あるマシンにしている理由である。つまり、ユーザーはDMを受けることにより、自分は選ばれたユーザーであり、優れたマイコンストであるという錯覚を起こしてしまうのである。Zooty-Iは、マイコンストのステイタスシンボルであると解釈することができる。このあたりの販売戦略は、某メーカーのように発表後、製品をなかなか市場に出さずユーザーをじらすという悪評高いやり方に比べ、非常に巧妙かつスマートな方法と言える。

以前からShammer社の販売戦略には悪評、いや定評はあったのだが、お金を積み、アイドル歌手を器用するよりは、DM方式を採用するという戦略は『聖子よりも少し賢い』選択だと判断できる。

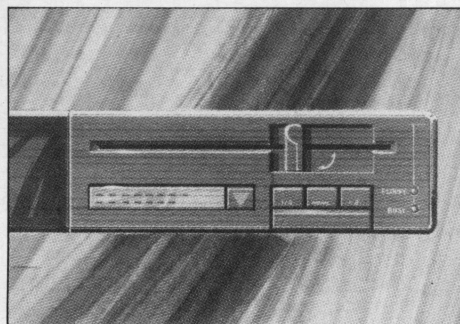
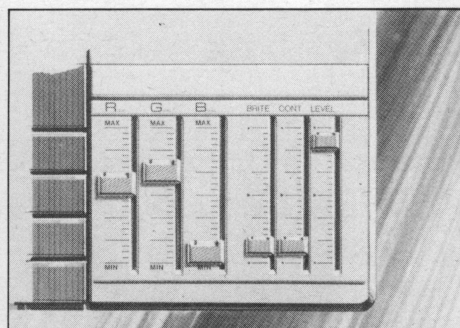
Shammer社の販売戦略のもう一つの武器は、何と言っても周辺機器の売り込みのうまさにある。例えば、本体購入を契約すれば、すぐに次の様な言葉が返ってくる。「プリンタ等いかがでしょうか。感熱式はただいまホカホカに組み上がったところでございます」。そしてプリンタが欲しくなったところで「大きいのになさいますか、小さいのになさいますか」という具合である。別に欲しくなくてもあまりのしつこさに、つい多めに買ってしまう、ということさえよくあるようだ。

Zooty-Iの高い人氣について見逃せないことがもう一つある。それはマニュアルである。ソフトウェア開発用に用意されたマニ

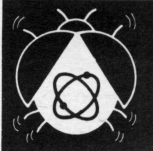
アルは、詳細な解説と共に例もふんだんに使用され、非常に読みやすかつ理解しやすくてきている。ひとつ気になることはマニュアルの何処をみてもShammer社のネームは見当たらないことである。それどころか、ところどころには消し忘れたかのように他のメーカー名が残されているのである。このマニュアルがどのように作られたかは知る由もないが、ハードウェアの開発方針を考えれば何となく見当がつく。しかし、ソフトウェアマニュアルだけでもしっかり(?)作り、公開しているという態度には好感が持てる。全く資料を公開しないメーカーに比べれば雲泥の差があるだろう。この点だけでも高く評価したい。

ユニークな開発プロセスを通して、即席ラーメンの如くいとも簡単に出来上がってしまったマシンZooty-I。にもかかわらず自信タツプりのShammer社。開発に相当な手間暇をかけ、それでも売れるかどうかを真剣に心配し、社運をかけるメーカーが多い中、初めての業界進出でありながらもユーザーまでメーカーで選択してしまう、という一貫したたたかな商魂を臭わせるのはShammer社だけだろう。

今までにテストしてきた他のマシンの中でも、これはとてもいいマシンだ、とスタッフ一同折り紙を付けたくなる様なマシンは幾つかあった。が、Zooty-Iほど安心して部屋に飾っておけるマシンは皆無であった。『美しければマシンではない』と今にも同インタビュー氏の声が聞こえてきそうである。



ロードテストには強力な助っ人、O氏の大阪の愛人、ちょっとむら氏いや失礼、寸村スタッフの加勢で無事完成できました。ただ最近、O氏の私に対する態度が以前に比べて冷たくなったような気がします。やはり愛人に横槍を入れたのがまずかったのでしょうか? 厚顔に使用したZooty-IのイラストをA2版パネルで1名にプレゼントします。N.渡部



ちよっと走りたくなるプログラム HC-20

ラリー支援プログラム

中原 久

御存知の方も多いと思いますが、ラリーというのは、例えば「30kmの区間を平均時速40kmで走れ」などという指示を守って、決められたコースを走るものです。この速度より速くても遅くても減点され、またチェックポイントはどこにあるのか知らされないというシビアさのため、各区分をまた細分化してその部分のラップと距離を出して、指示に従うように運転を調整しなければなりません。

このプログラムは、ラリー走行中に速度が変わった時点で最低限必要と思われる、各区分の距離・平均時速・ラップ、スタートからの

プログラムリスト

```
10 CLEAR:WIDTH 20,4,1:PRINT"スタートハ Sノ キーヲス"20 IF (INKEY$<"S")*(INKEY$<"s") GOT
0 20 ELSE SOUND 1,1:TIMES="00:00:00"230 PRINT"チェックポイントハ Eイカノ キー オシテクサイ"24
0 TC=VAL(RIGHT$(TIMES,2)):IF TC=10*INT(TC/10)=0 THEN SOUND 1,1250 KS=INKEY$:IF KS
=" " THEN 40 ELSE IF (KS<"E")*(KS<"e") THEN GOSUB 60:T1=T2:V1=V2:GOTO 30 ELSE EN
D260 TS=TIMES:T2=3600*VAL(LEFT$(TS,2))+60*VAL(MID$(TS,4,2))+VAL(RIGHT$(TS,2))270
INPUT"スタートハ":V2:LPRINT"カン ハイコンソト":(V1+V2)/2:"Km/h":LB=(V1+V2)/2*(T2-T1)/360
0280 LPRINT"カン キリ":LB:"Km":LPRINT"カン ラップ":T2-T1:"s":L=LB:LPRINT"スタート カラ":L:
"Km":LPRINT TAB(7):T2:"s"290 LPRINT"ハイコン ショク":L/T2*3600:"Km/h":RETURN
```

距離積算・タイム・平均時速の計算を行います。プログラムを実行すると、スタートのタイミングを待つようにしてあります。スタートすると、10秒ごとにブザーが鳴るほか、キーを押した時点でそのときのラップタイムを取れるようにしてあります（このときのキーは“E”以外ならば何を押しても構いません。終了は“E”のキーです）ので、そのときの時速は落ちて入力して大丈夫です。

このプログラムでは、スピードをいちいち手で入力してやらなくてはならないようにしていますが、デジタルメーターの車ならばインターフェイスを作ってやれば自動的にデータ処理をするようになると思います。ただ、下手に手を加えると法的に問題を生じるかもしれないので、整備工場に相談するなど、万全の対策を講じてください。



ちよっと眠いプログラム PC-6001 mkII

奇怪催眠法

新本 信明

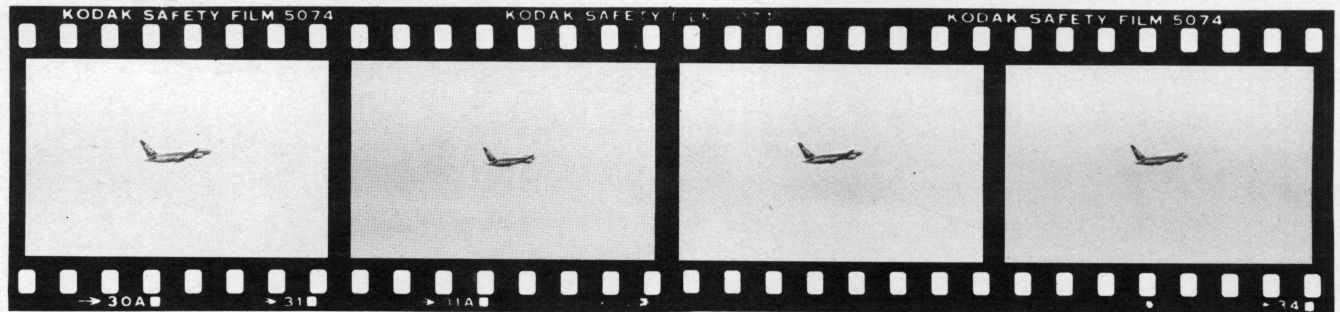
眠りたいのに眠れない。ASCIIのM嬢のように眠れて眠れて仕方がないという人は別格として、そんなときあなたはどうしますか。

筆者なら酒を飲みます。しかし毎晩飲んでいては、懐も胃も持ちません。そこで、もっと効率的なものはないかと思って作ったのが

プログラムリスト

```
10 SCREEN 1,1,1:CONSOLE 0,20,0,0:TALK"f43."20 TALK"f41."20 DIM V$(20):FOR I=1 TO
9:READ V$(I),V$(I),V$(I):DEF FNR(K)=RND(1)*99:PP=1:N(PP)=0:C=FNR(0):CC=
FNR(0)240 P=1:GOSUB 80:C=C-1:CC=CC-1:IF P>PP THEN PP=P250 GOSUB 100:IF C<0 THEN G
OSUB 180:FOR I=1 TO 500:NEXT260 TALK"f2 hicuziga."260 GOSUB 160:IF CC<0 THEN GOSUB 1
90270 GOTO 40280 N(P)=N(P)+1:IF N(P)>9999 THEN N(P)=0:P=P+1:GOTO 80290 RETURN2100
FOR I=1 TO P:M=N(I):V$="":IF M>0 THEN V$=V$(I)2110 L=I*2:V$(L)="":D=0:FOR J=1
TO 4:K=M:M=INT(M/10):K=K-M*102120 IF K>0 THEN D=D+1:V$=V$(J)+V$:IF K>1 OR J=1 TH
EN V$=V$(K)+V$2130 IF J=2 THEN W$=V$:V$="2140 NEXT:V$(L-1)=V$+W$:IF D=4 THEN VO
$(L-1)=W$:V$(L)=V$2150 NEXT:V$(1)=V$(1)+"hiki":RETURN2160 FOR I=PP*2 TO 1 STEP
-1:IF V$(I)<>" " THEN TALK"f2 "+V$(I)+"2170 NEXT:RETURN2180 TALK"f2 hicuziga
neteiru."2180 TALK"f41."2190 TALK"f41."2190 TALK"f41."2190 TALK"f41."2190 TALK"f41."
2190 TALK"f41."2190 TALK"f41."2190 TALK"f41."2190 TALK"f41."2190 TALK"f41."2190 TALK
"m2 okiteirunara."2200 TALK"m2 nanika ki-o."2210 TALK"m2 ositekudasai."2220 TALK"m2
okiteirunara."2230 TALK"m2 okiteirunara."2240 TALK"m2 okiteirunara."2250 TALK"m2
okiteirunara."2260 TALK"m2 okiteirunara."2270 TALK"m2 okiteirunara."2280 TALK"m2
okiteirunara."2290 TALK"m2 okiteirunara."2300 TALK"m2 okiteirunara."2310 TALK"m2
okiteirunara."2320 TALK"m2 okiteirunara."2330 TALK"m2 okiteirunara."2340 TALK"m2
okiteirunara."2350 TALK"m2 okiteirunara."2360 TALK"m2 okiteirunara."2370 TALK"m2
okiteirunara."2380 TALK"m2 okiteirunara."2390 TALK"m2 okiteirunara."2400 TALK"m2
okiteirunara."2410 TALK"m2 okiteirunara."2420 TALK"m2 okiteirunara."2430 TALK"m2
okiteirunara."2440 TALK"m2 okiteirunara."2450 TALK"m2 okiteirunara."2460 TALK"m2
okiteirunara."2470 TALK"m2 okiteirunara."2480 TALK"m2 okiteirunara."2490 TALK"m2
okiteirunara."2500 TALK"m2 okiteirunara."2510 TALK"m2 okiteirunara."2520 TALK"m2
okiteirunara."2530 TALK"m2 okiteirunara."2540 TALK"m2 okiteirunara."2550 TALK"m2
okiteirunara."2560 TALK"m2 okiteirunara."2570 TALK"m2 okiteirunara."2580 TALK"m2
okiteirunara."2590 TALK"m2 okiteirunara."2600 TALK"m2 okiteirunara."2610 TALK"m2
okiteirunara."2620 TALK"m2 okiteirunara."2630 TALK"m2 okiteirunara."2640 TALK"m2
okiteirunara."2650 TALK"m2 okiteirunara."2660 TALK"m2 okiteirunara."2670 TALK"m2
okiteirunara."2680 TALK"m2 okiteirunara."2690 TALK"m2 okiteirunara."2700 TALK"m2
okiteirunara."2710 TALK"m2 okiteirunara."2720 TALK"m2 okiteirunara."2730 TALK"m2
okiteirunara."2740 TALK"m2 okiteirunara."2750 TALK"m2 okiteirunara."2760 TALK"m2
okiteirunara."2770 TALK"m2 okiteirunara."2780 TALK"m2 okiteirunara."2790 TALK"m2
okiteirunara."2800 TALK"m2 okiteirunara."2810 TALK"m2 okiteirunara."2820 TALK"m2
okiteirunara."2830 TALK"m2 okiteirunara."2840 TALK"m2 okiteirunara."2850 TALK"m2
okiteirunara."2860 TALK"m2 okiteirunara."2870 TALK"m2 okiteirunara."2880 TALK"m2
okiteirunara."2890 TALK"m2 okiteirunara."2900 TALK"m2 okiteirunara."2910 TALK"m2
okiteirunara."2920 TALK"m2 okiteirunara."2930 TALK"m2 okiteirunara."2940 TALK"m2
okiteirunara."2950 TALK"m2 okiteirunara."2960 TALK"m2 okiteirunara."2970 TALK"m2
okiteirunara."2980 TALK"m2 okiteirunara."2990 TALK"m2 okiteirunara."3000 TALK"m2
okiteirunara."3010 TALK"m2 okiteirunara."3020 TALK"m2 okiteirunara."3030 TALK"m2
okiteirunara."3040 TALK"m2 okiteirunara."3050 TALK"m2 okiteirunara."3060 TALK"m2
okiteirunara."3070 TALK"m2 okiteirunara."3080 TALK"m2 okiteirunara."3090 TALK"m2
okiteirunara."3100 TALK"m2 okiteirunara."3110 TALK"m2 okiteirunara."3120 TALK"m2
okiteirunara."3130 TALK"m2 okiteirunara."3140 TALK"m2 okiteirunara."3150 TALK"m2
okiteirunara."3160 TALK"m2 okiteirunara."3170 TALK"m2 okiteirunara."3180 TALK"m2
okiteirunara."3190 TALK"m2 okiteirunara."3200 TALK"m2 okiteirunara."3210 TALK"m2
okiteirunara."3220 TALK"m2 okiteirunara."3230 TALK"m2 okiteirunara."3240 TALK"m2
okiteirunara."3250 TALK"m2 okiteirunara."3260 TALK"m2 okiteirunara."3270 TALK"m2
okiteirunara."3280 TALK"m2 okiteirunara."3290 TALK"m2 okiteirunara."3300 TALK"m2
okiteirunara."3310 TALK"m2 okiteirunara."3320 TALK"m2 okiteirunara."3330 TALK"m2
okiteirunara."3340 TALK"m2 okiteirunara."3350 TALK"m2 okiteirunara."3360 TALK"m2
okiteirunara."3370 TALK"m2 okiteirunara."3380 TALK"m2 okiteirunara."3390 TALK"m2
okiteirunara."3400 TALK"m2 okiteirunara."3410 TALK"m2 okiteirunara."3420 TALK"m2
okiteirunara."3430 TALK"m2 okiteirunara."3440 TALK"m2 okiteirunara."3450 TALK"m2
okiteirunara."3460 TALK"m2 okiteirunara."3470 TALK"m2 okiteirunara."3480 TALK"m2
okiteirunara."3490 TALK"m2 okiteirunara."3500 TALK"m2 okiteirunara."3510 TALK"m2
okiteirunara."3520 TALK"m2 okiteirunara."3530 TALK"m2 okiteirunara."3540 TALK"m2
okiteirunara."3550 TALK"m2 okiteirunara."3560 TALK"m2 okiteirunara."3570 TALK"m2
okiteirunara."3580 TALK"m2 okiteirunara."3590 TALK"m2 okiteirunara."3600 TALK"m2
okiteirunara."3610 TALK"m2 okiteirunara."3620 TALK"m2 okiteirunara."3630 TALK"m2
okiteirunara."3640 TALK"m2 okiteirunara."3650 TALK"m2 okiteirunara."3660 TALK"m2
okiteirunara."3670 TALK"m2 okiteirunara."3680 TALK"m2 okiteirunara."3690 TALK"m2
okiteirunara."3700 TALK"m2 okiteirunara."3710 TALK"m2 okiteirunara."3720 TALK"m2
okiteirunara."3730 TALK"m2 okiteirunara."3740 TALK"m2 okiteirunara."3750 TALK"m2
okiteirunara."3760 TALK"m2 okiteirunara."3770 TALK"m2 okiteirunara."3780 TALK"m2
okiteirunara."3790 TALK"m2 okiteirunara."3800 TALK"m2 okiteirunara."3810 TALK"m2
okiteirunara."3820 TALK"m2 okiteirunara."3830 TALK"m2 okiteirunara."3840 TALK"m2
okiteirunara."3850 TALK"m2 okiteirunara."3860 TALK"m2 okiteirunara."3870 TALK"m2
okiteirunara."3880 TALK"m2 okiteirunara."3890 TALK"m2 okiteirunara."3900 TALK"m2
okiteirunara."3910 TALK"m2 okiteirunara."3920 TALK"m2 okiteirunara."3930 TALK"m2
okiteirunara."3940 TALK"m2 okiteirunara."3950 TALK"m2 okiteirunara."3960 TALK"m2
okiteirunara."3970 TALK"m2 okiteirunara."3980 TALK"m2 okiteirunara."3990 TALK"m2
okiteirunara."4000 TALK"m2 okiteirunara."4010 TALK"m2 okiteirunara."4020 TALK"m2
okiteirunara."4030 TALK"m2 okiteirunara."4040 TALK"m2 okiteirunara."4050 TALK"m2
okiteirunara."4060 TALK"m2 okiteirunara."4070 TALK"m2 okiteirunara."4080 TALK"m2
okiteirunara."4090 TALK"m2 okiteirunara."4100 TALK"m2 okiteirunara."4110 TALK"m2
okiteirunara."4120 TALK"m2 okiteirunara."4130 TALK"m2 okiteirunara."4140 TALK"m2
okiteirunara."4150 TALK"m2 okiteirunara."4160 TALK"m2 okiteirunara."4170 TALK"m2
okiteirunara."4180 TALK"m2 okiteirunara."4190 TALK"m2 okiteirunara."4200 TALK"m2
okiteirunara."4210 TALK"m2 okiteirunara."4220 TALK"m2 okiteirunara."4230 TALK"m2
okiteirunara."4240 TALK"m2 okiteirunara."4250 TALK"m2 okiteirunara."4260 TALK"m2
okiteirunara."4270 TALK"m2 okiteirunara."4280 TALK"m2 okiteirunara."4290 TALK"m2
okiteirunara."4300 TALK"m2 okiteirunara."4310 TALK"m2 okiteirunara."4320 TALK"m2
okiteirunara."4330 TALK"m2 okiteirunara."4340 TALK"m2 okiteirunara."4350 TALK"m2
okiteirunara."4360 TALK"m2 okiteirunara."4370 TALK"m2 okiteirunara."4380 TALK"m2
okiteirunara."4390 TALK"m2 okiteirunara."4400 TALK"m2 okiteirunara."4410 TALK"m2
okiteirunara."4420 TALK"m2 okiteirunara."4430 TALK"m2 okiteirunara."4440 TALK"m2
okiteirunara."4450 TALK"m2 okiteirunara."4460 TALK"m2 okiteirunara."4470 TALK"m2
okiteirunara."4480 TALK"m2 okiteirunara."4490 TALK"m2 okiteirunara."4500 TALK"m2
okiteirunara."4510 TALK"m2 okiteirunara."4520 TALK"m2 okiteirunara."4530 TALK"m2
okiteirunara."4540 TALK"m2 okiteirunara."4550 TALK"m2 okiteirunara."4560 TALK"m2
okiteirunara."4570 TALK"m2 okiteirunara."4580 TALK"m2 okiteirunara."4590 TALK"m2
okiteirunara."4600 TALK"m2 okiteirunara."4610 TALK"m2 okiteirunara."4620 TALK"m2
okiteirunara."4630 TALK"m2 okiteirunara."4640 TALK"m2 okiteirunara."4650 TALK"m2
okiteirunara."4660 TALK"m2 okiteirunara."4670 TALK"m2 okiteirunara."4680 TALK"m2
okiteirunara."4690 TALK"m2 okiteirunara."4700 TALK"m2 okiteirunara."4710 TALK"m2
okiteirunara."4720 TALK"m2 okiteirunara."4730 TALK"m2 okiteirunara."4740 TALK"m2
okiteirunara."4750 TALK"m2 okiteirunara."4760 TALK"m2 okiteirunara."4770 TALK"m2
okiteirunara."4780 TALK"m2 okiteirunara."4790 TALK"m2 okiteirunara."4800 TALK"m2
okiteirunara."4810 TALK"m2 okiteirunara."4820 TALK"m2 okiteirunara."4830 TALK"m2
okiteirunara."4840 TALK"m2 okiteirunara."4850 TALK"m2 okiteirunara."4860 TALK"m2
okiteirunara."4870 TALK"m2 okiteirunara."4880 TALK"m2 okiteirunara."4890 TALK"m2
okiteirunara."4900 TALK"m2 okiteirunara."4910 TALK"m2 okiteirunara."4920 TALK"m2
okiteirunara."4930 TALK"m2 okiteirunara."4940 TALK"m2 okiteirunara."4950 TALK"m2
okiteirunara."4960 TALK"m2 okiteirunara."4970 TALK"m2 okiteirunara."4980 TALK"m2
okiteirunara."4990 TALK"m2 okiteirunara."5000 TALK"m2 okiteirunara."5010 TALK"m2
okiteirunara."5020 TALK"m2 okiteirunara."5030 TALK"m2 okiteirunara."5040 TALK"m2
okiteirunara."5050 TALK"m2 okiteirunara."5060 TALK"m2 okiteirunara."5070 TALK"m2
okiteirunara."5080 TALK"m2 okiteirunara."5090 TALK"m2 okiteirunara."5100 TALK"m2
okiteirunara."5110 TALK"m2 okiteirunara."5120 TALK"m2 okiteirunara."5130 TALK"m2
okiteirunara."5140 TALK"m2 okiteirunara."5150 TALK"m2 okiteirunara."5160 TALK"m2
okiteirunara."5170 TALK"m2 okiteirunara."5180 TALK"m2 okiteirunara."5190 TALK"m2
okiteirunara."5200 TALK"m2 okiteirunara."5210 TALK"m2 okiteirunara."5220 TALK"m2
okiteirunara."5230 TALK"m2 okiteirunara."5240 TALK"m2 okiteirunara."5250 TALK"m2
okiteirunara."5260 TALK"m2 okiteirunara."5270 TALK"m2 okiteirunara."5280 TALK"m2
okiteirunara."5290 TALK"m2 okiteirunara."5300 TALK"m2 okiteirunara."5310 TALK"m2
okiteirunara."5320 TALK"m2 okiteirunara."5330 TALK"m2 okiteirunara."5340 TALK"m2
okiteirunara."5350 TALK"m2 okiteirunara."5360 TALK"m2 okiteirunara."5370 TALK"m2
okiteirunara."5380 TALK"m2 okiteirunara."5390 TALK"m2 okiteirunara."5400 TALK"m2
okiteirunara."5410 TALK"m2 okiteirunara."5420 TALK"m2 okiteirunara."5430 TALK"m2
okiteirunara."5440 TALK"m2 okiteirunara."5450 TALK"m2 okiteirunara."5460 TALK"m2
okiteirunara."5470 TALK"m2 okiteirunara."5480 TALK"m2 okiteirunara."5490 TALK"m2
okiteirunara."5500 TALK"m2 okiteirunara."5510 TALK"m2 okiteirunara."5520 TALK"m2
okiteirunara."5530 TALK"m2 okiteirunara."5540 TALK"m2 okiteirunara."5550 TALK"m2
okiteirunara."5560 TALK"m2 okiteirunara."5570 TALK"m2 okiteirunara."5580 TALK"m2
okiteirunara."5590 TALK"m2 okiteirunara."5600 TALK"m2 okiteirunara."5610 TALK"m2
okiteirunara."5620 TALK"m2 okiteirunara."5630 TALK"m2 okiteirunara."5640 TALK"m2
okiteirunara."5650 TALK"m2 okiteirunara."5660 TALK"m2 okiteirunara."5670 TALK"m2
okiteirunara."5680 TALK"m2 okiteirunara."5690 TALK"m2 okiteirunara."5700 TALK"m2
okiteirunara."5710 TALK"m2 okiteirunara."5720 TALK"m2 okiteirunara."5730 TALK"m2
okiteirunara."5740 TALK"m2 okiteirunara."5750 TALK"m2 okiteirunara."5760 TALK"m2
okiteirunara."5770 TALK"m2 okiteirunara."5780 TALK"m2 okiteirunara."5790 TALK"m2
okiteirunara."5800 TALK"m2 okiteirunara."5810 TALK"m2 okiteirunara."5820 TALK"m2
okiteirunara."5830 TALK"m2 okiteirunara."5840 TALK"m2 okiteirunara."5850 TALK"m2
okiteirunara."5860 TALK"m2 okiteirunara."5870 TALK"m2 okiteirunara."5880 TALK"m2
okiteirunara."5890 TALK"m2 okiteirunara."5900 TALK"m2 okiteirunara."5910 TALK"m2
okiteirunara."5920 TALK"m2 okiteirunara."5930 TALK"m2 okiteirunara."5940 TALK"m2
okiteirunara."5950 TALK"m2 okiteirunara."5960 TALK"m2 okiteirunara."5970 TALK"m2
okiteirunara."5980 TALK"m2 okiteirunara."5990 TALK"m2 okiteirunara."6000 TALK"m2
okiteirunara."6010 TALK"m2 okiteirunara."6020 TALK"m2 okiteirunara."6030 TALK"m2
okiteirunara."6040 TALK"m2 okiteirunara."6050 TALK"m2 okiteirunara."6060 TALK"m2
okiteirunara."6070 TALK"m2 okiteirunara."6080 TALK"m2 okiteirunara."6090 TALK"m2
okiteirunara."6100 TALK"m2 okiteirunara."6110 TALK"m2 okiteirunara."6120 TALK"m2
okiteirunara."6130 TALK"m2 okiteirunara."6140 TALK"m2 okiteirunara."6150 TALK"m2
okiteirunara."6160 TALK"m2 okiteirunara."6170 TALK"m2 okiteirunara."6180 TALK"m2
okiteirunara."6190 TALK"m2 okiteirunara."6200 TALK"m2 okiteirunara."6210 TALK"m2
okiteirunara."6220 TALK"m2 okiteirunara."6230 TALK"m2 okiteirunara."6240 TALK"m2
okiteirunara."6250 TALK"m2 okiteirunara."6260 TALK"m2 okiteirunara."6270 TALK"m2
okiteirunara."6280 TALK"m2 okiteirunara."6290 TALK"m2 okiteirunara."6300 TALK"m2
okiteirunara."6310 TALK"m2 okiteirunara."6320 TALK"m2 okiteirunara."6330 TALK"m2
okiteirunara."6340 TALK"m2 okiteirunara."6350 TALK"m2 okiteirunara."6360 TALK"m2
okiteirunara."6370 TALK"m2 okiteirunara."6380 TALK"m2 okiteirunara."6390 TALK"m2
okiteirunara."6400 TALK"m2 okiteirunara."6410 TALK"m2 okiteirunara."6420 TALK"m2
okiteirunara."6430 TALK"m2 okiteirunara."6440 TALK"m2 okiteirunara."6450 TALK"m2
okiteirunara."6460 TALK"m2 okiteirunara."6470 TALK"m2 okiteirunara."6480 TALK"m2
okiteirunara."6490 TALK"m2 okiteirunara."6500 TALK"m2 okiteirunara."6510 TALK"m2
okiteirunara."6520 TALK"m2 okiteirunara."6530 TALK"m2 okiteirunara."6540 TALK"m2
okiteirunara."6550 TALK"m2 okiteirunara."6560 TALK"m2 okiteirunara."6570 TALK"m2
okiteirunara."6580 TALK"m2 okiteirunara."6590 TALK"m2 okiteirunara."6600 TALK"m2
okiteirunara."6610 TALK"m2 okiteirunara."6620 TALK"m2 okiteirunara."6630 TALK"m2
okiteirunara."6640 TALK"m2 okiteirunara."6650 TALK"m2 okiteirunara."6660 TALK"m2
okiteirunara."6670 TALK"m2 okiteirunara."6680 TALK"m2 okiteirunara."6690 TALK"m2
okiteirunara."6700 TALK"m2 okiteirunara."6710 TALK"m2 okiteirunara."6720 TALK"m2
okiteirunara."6730 TALK"m2 okiteirunara."6740 TALK"m2 okiteirunara."6750 TALK"m2
okiteirunara."6760 TALK"m2 okiteirunara."6770 TALK"m2 okiteirunara."6780 TALK"m2
okiteirunara."6790 TALK"m2 okiteirunara."6800 TALK"m2 okiteirunara."6810 TALK"m2
okiteirunara."6820 TALK"m2 okiteirunara."6830 TALK"m2 okiteirunara."6840 TALK"m2
okiteirunara."6850 TALK"m2 okiteirunara."6860 TALK"m2 okiteirunara."6870 TALK"m2
okiteirunara."6880 TALK"m2 okiteirunara."6890 TALK"m2 okiteirunara."6900 TALK"m2
okiteirunara."6910 TALK"m2 okiteirunara."6920 TALK"m2 okiteirunara."6930 TALK"m2
okiteirunara."6940 TALK"m2 okiteirunara."6950 TALK"m2 okiteirunara."6960 TALK"m2
okiteirunara."6970 TALK"m2 okiteirunara."6980 TALK"m2 okiteirunara."6990 TALK"m2
okiteirunara."7000 TALK"m2 okiteirunara."7010 TALK"m2 okiteirunara."7020 TALK"m2
okiteirunara."7030 TALK"m2 okiteirunara."7040 TALK"m2 okiteirunara."7050 TALK"m2
okiteirunara."7060 TALK"m2 okiteirunara."7070 TALK"m2 okiteirunara."7080 TALK"m2
okiteirunara."7090 TALK"m2 okiteirunara."7100 TALK"m2 okiteirunara."7110 TALK"m2
okiteirunara."7120 TALK"m2 okiteirunara."7130 TALK"m2 okiteirunara."7140 TALK"m2
okiteirunara."7150 TALK"m2 okiteirunara."7160 TALK"m2 okiteirunara."7170 TALK"m2
okiteirunara."7180 TALK"m2 okiteirunara."7190 TALK"m2 okiteirunara."7200 TALK"m2
okiteirunara."7210 TALK"m2 okiteirunara."7220 TALK"m2 okiteirunara."7230 TALK"m2
okiteirunara."7240 TALK"m2 okiteirunara."7250 TALK"m2 okiteirunara."7260 TALK"m2
okiteirunara."7270 TALK"m2 okiteirunara."7280 TALK"m2 okiteirunara."7290 TALK"m2
okiteirunara."7300 TALK"m2 okiteirunara."7310 TALK"m2 okiteirunara."7320 TALK"m2
okiteirunara."7330 TALK"m2 okiteirunara."7340 TALK"m2 okiteirunara."7350 TALK"m2
okiteirunara."7360 TALK"m2 okiteirunara."7370 TALK"m2 okiteirunara."7380 TALK"m2
okiteirunara."7390 TALK"m2 okiteirunara."7400 TALK"m2 okiteirunara."7410 TALK"m2
okiteirunara."7420 TALK"m2 okiteirunara."7430 TALK"m2 okiteirunara."7440 TALK"m2
okiteirunara."7450 TALK"m2 okiteirunara."7460 TALK"m2 okiteirunara."7470 TALK"m2
okiteirunara."7480 TALK"m2 okiteirunara."7490 TALK"m2 okiteirunara."7500 TALK"m2
okiteirunara."7510 TALK"m2 okiteirunara."7520 TALK"m2 okiteirunara."7530 TALK"m2
okiteirunara."7540 TALK"m2 okiteirunara."7550 TALK"m2 okiteirunara."7560 TALK"m2
okiteirunara."7570 TALK"m2 okiteirunara."7580 TALK"m2 okiteirunara."7590 TALK"m2
okiteirunara."7600 TALK"m2 okiteirunara."7610 TALK"m2 okiteirunara."7620 TALK"m2
okiteirunara."7630 TALK"m2 okiteirunara."7640 TALK"m2 okiteirunara."7650 TALK"m2
okiteirunara."7660 TALK"m2 okiteirunara."7670 TALK"m2 okiteirunara."7680 TALK"m2
okiteirunara."7690 TALK"m2 okiteirunara."7700 TALK"m2 okiteirunara."7710 TALK"m2
okiteirunara."7720 TALK"m2 okiteirunara."7730 TALK"m2 okiteirunara."7740 TALK"m2
okiteirunara."7750 TALK"m2 okiteirunara."7760 TALK"m2 okiteirunara."7770 TALK"m2
okiteirunara."7780 TALK"m2 okiteirunara."7790 TALK"m2 okiteirunara."7800 TALK"m2
okiteirunara."7810 TALK"m2 okiteirunara."7820 TALK"m2 okiteirunara."7830 TALK"m2
okiteirunara."7840 TALK"m2 okiteirunara."7850 TALK"m2 okiteirunara."7860 TALK"m2
okiteirunara."7870 TALK"m2 okiteirunara."7880 TALK"m2 okiteirunara."7890 TALK"m2
okiteirunara."7900 TALK"m2 okiteirunara."7910 TALK"m2 okiteirunara."7920 TALK"m2
okiteirunara."7930 TALK"m2 okiteirunara."7940 TALK"m2 okiteirunara."7950 TALK"m2
okiteirunara."7960 TALK"m2 okiteirunara."7970 TALK"m2 okiteirunara."7980 TALK"m2
okiteirunara."7990 TALK"m2 okiteirunara."8000 TALK"m2 okiteirunara."8010 TALK"m2
okiteirunara."8020 TALK"m2 okiteirunara."8030 TALK"m2 okiteirunara."8040 TALK"m2
okiteirunara."8050 TALK"m2 okiteirunara."8060 TALK"m2 okiteirunara."8070 TALK"m2
okiteirunara."8080 TALK"m2 okiteirunara."8090 TALK"m2 okiteirunara."8100 TALK"m2
okiteirunara."8110 TALK"m2 okiteirunara."8120 TALK"m2 okiteirunara."8130 TALK"m2
okiteirunara."8140 TALK"m2 okiteirunara."8150 TALK"m2 okiteirunara."8160 TALK"m2
okiteirunara."8170 TALK"m2 okiteirunara."8180 TALK"m2 okiteirunara."8190 TALK"m2
okiteirunara."8200 TALK"m2 okiteirunara."8210 TALK"m2 okiteirunara."8220 TALK"m2
okiteirunara."8230 TALK"m2 okiteirunara."8240 TALK"m2 okiteirunara."8250 TALK"m2
okiteirunara."8260 TALK"m2 okiteirunara."8270 TALK"m2 okiteirunara."8280 TALK"m2
okiteirunara."8290 TALK"m2 okiteirunara."8300 TALK"m2 okiteirunara."8310 TALK"m2
okiteirunara."8320 TALK"m2 okiteirunara."8330 TALK"m2 okiteirunara."8340 TALK"m2
okiteirunara."8350 TALK"m2 okiteirunara."8360 TALK"m2 okiteirunara."8370 TALK"m2
okiteirunara."8380 TALK"m2 okiteirunara."8390 TALK"m2 okiteirunara."8400 TALK"m2
okiteirunara."8410 TALK"m2 okiteirunara."8420 TALK"m2 okiteirunara."8430 TALK"m2
okiteirunara."8440 TALK"m2 okiteirunara."8450 TALK"m2 okiteirunara."8460 TALK"m2
okiteirunara."8470 TALK"m2 okiteirunara."8480 TALK"m2 okiteirunara."8490 TALK"m2
okiteirunara."8500 TALK"m2 okiteirunara."8510 TALK"m2 okiteirunara."8520 TALK"m2
okiteirunara."8530 TALK"m2 okiteirunara."8540 TALK"m2 okiteirunara."8550 TALK"m2
okiteirunara."8560 TALK"m2 okiteirunara."8570 TALK"m2 okiteirunara."8580 TALK"m2
okiteirunara."8590 TALK"m2 okiteirunara."8600 TALK"m2 okiteirunara."8610 TALK"m2
okiteirunara."8620 TALK"m2 okiteirunara."8630 TALK"m2 okiteirunara."8640 TALK"m2
okiteirunara."8650 TALK"m2 okiteirunara."8660 TALK"m2 okiteirunara."8670 TALK"m2
okiteirunara."8680 TALK"m2 okiteirunara."8690 TALK"m2 okiteirunara."8700 TALK"m2
okiteirunara."8710 TALK"m2 okiteirunara."8720 TALK"m2 okiteirunara."8730 TALK"m2
okiteirunara."8740 TALK"m2 okiteirunara."8750 TALK"m2 okiteirunara."8760 TALK"m2
okiteirunara."8770 TALK"m2 okiteirunara."8780 TALK"m2 okiteirunara."8790 TALK"m2
okiteirunara."8800 TALK"m2 okiteirunara."8810 TALK"m2 okiteirunara."8820 TALK"m2
okiteirunara."8830 TALK"m2 okiteirunara."8840 TALK"m2 okiteirunara."8850 TALK"m2
okiteirunara."8860 TALK"m2 okiteirunara."8870 TALK"m2 okiteirunara."8880 TALK"m2
okiteirunara."8890 TALK"m2 okiteirunara."8900 TALK"m2 okiteirunara."8910 TALK
```


BUSYLESS TALK



ユーザー必読!
脅威の指導書

マイコン 見栄講座

・最近、巷ではやれパソコンだ、やれマイコンだ、それMSXだと騒いでいるようです。まあ一種のブームと言うことなのでしょうが、何にしてもブームとなると、それに飛び乗って大儲けする人と、乗り遅れて取り残される人が出てくるものです。そこで、本講座ではコンピュータブームに乗り遅れてしまった人々のために、今、最も必要なノウハウをそっとお教えしたいと思います。これを読んで、その通りに実行すれば、この世知辛いマイコン時代に取り残されることなく生きてゆくことができる筈です。

【第一章 ホビー編】

さて、寄ってらっしゃい見てらっしゃい。これがあのスタープログラムのライフスタイルだよ。そこらに転がってる生き方とは格が違ふよ。というわけで、最近世間様から注目されているスタープログラマ先生達が、日頃どんな生活をしているのか紹介しよう。あなたがもし、スタープログラムの仲間入りをしたいのなら、まずこれを読んでじっくり考えてみることですな。

ハードウェア

MS マイコン

スタープログラマと呼ばれる人々は、最近のそのように、すぐにモデルチェンジしてしまうようなヤワなマイコンには決して触れようとしません。本当に力のあるスタープログラマはマイコンなどという子供の玩具には手を出さず、あのDECのターミナルVT-100を自宅に置き、特定回線やDDXなどという民間人には良く理解できない手段を駆使し、契約メーカーに設置されたミニコンを使ってプログラム開発をしています。当然の事ながらBASICやアセンブラなどという低級言語は使っていません。UNIX上でC言語を使用しているのです。

ですから、スタープログラマを夢見るあなた、周囲の人々から羨望の目で見られるためには、自宅にはVT-100だけを置くように

しなければなりません。もちろん、メーカーとの契約など夢のまた夢ですので、たとえ冗談でも売り込もうなどと考えるはいけません。バカにされるのがオチです。

もちろん、友人が使わせろと言ってきても、けっして電源を入れてはいけません。「メーカーとの契約で他人は使えないのだ」と断固拒絶しましょう。友人の中には「それならお前が使っている所を見せろ」などと、しつこくせまるヤツもいるでしょう。そんな時も「開発の内容は極秘事項だから」と、取り合わないにしましょう。とにかく「メーカーとの契約」を前面に押し出すことを決して忘れてはいけません。もちろん、その時に目をキョロつかせる、目を臥せる、ビクつく、コーヒーカップを取り落とす、椅子からズリ落ちる、食いかけのハンバーガーを吹き出す、食いかけのスパゲッティを鼻からドバツと吹く、など内心の動揺を気取られるような行為は慎まなくてはなりません。

また、部屋のインテリアとしてIMSAIなどを置いておくのも効果的です。友人などが来たときに「昔はこれに随分苦労させられたぜ。ま、今となっては懐かしいけどね。憂いヤツじゃ。」と言いながら優しく撫でてやるといういでしょ。

MS オーディオ機器

オーディオ機器は、バックグラウンド用や気分転換用といった一般的な使い方の他、サラリーローンや大家などの近隣騒音から逃れ自分自身の殻に閉じこもる手段、などにも使えるためプログラム作成上必要不可欠のものです。といっても大袈裟なものはありません。見栄スタープログラマを目指すあなた、何のためらいも見せずにSONYのウォークマンWM-20を2台購入すべきです。但し、先に述べたような当たり前の使い方をしなくてはなりません。買ってきただけで分解し、机の上にぶちまけておき、友人などが来た時に『うん? ちょっとね、コマーシャルと同じかどうか見たかっただけで…』と言った後、おもむろに組立てて見せます。但しこのときに3分以上かかってはいけません。あくまで

寡黙にハードウェアに強いことを見せつけてやりましょう。そのためには日頃の訓練が必要です。実際に使用する方は昼間は屋根裏などに隠しておき、真夜中にこっそり使うようにしましょう。

MS ディスケット

ディスケットはもちろん天下のIBMブランドの8インチ純正品を持っていなければなりません。Scotchやmaxellなどは、あくまでも一般大衆のためのものです。スーパーハイグレードディスケットや、Hi-Fi ディスケットが発売されるまでは、たとえ使うことがなくてもIBMディスケットをさり気なく持ち歩く……、そんな心遣いが必要でしょう。

さらに、もっと完璧なものを望む方には、5.25インチのウインチェスター・ハードディスクのリムーバブルユニットを持ち歩くことをお勧めします。もちろん本体共に完動品である必要はありません。ただ、リムーバブルハードと分かる人の前では「ちょっとね」で済みますが、分からない人には一々説明してやらなければならないので注意が必要です。しかし、うまくいった時の効果は絶大です。

ソフトウェア

MS 購読誌

マニア向けの雑誌は決して購入してはいけません。なるべく難しそうな雑誌を本棚に揃えておくことを忘れてはいけません。国内誌なら「情報処理」か「電気通信学会誌」、さらに「数式処理」などが最適です。洋雑誌なら「Sigplan notice」や「IEEE Transaction」などが良いでしょう。これらの雑誌は誰にでも簡単に読めるほど易しくないのので「置いておく」という目的のために使用するのが賢い手です。

また、スタープログラマは世界中の情報を常に把握しておかなくてはなりません。そのためには「Business Week」などを購入すると良いでしょう。ただし、これは本棚などに入れず、コーヒーカップの横にさり気なく置いておくか、ロゴが見えるようにくず籠の中にセットしておきます。もちろんそれが最新号であることは言うまでもありません。

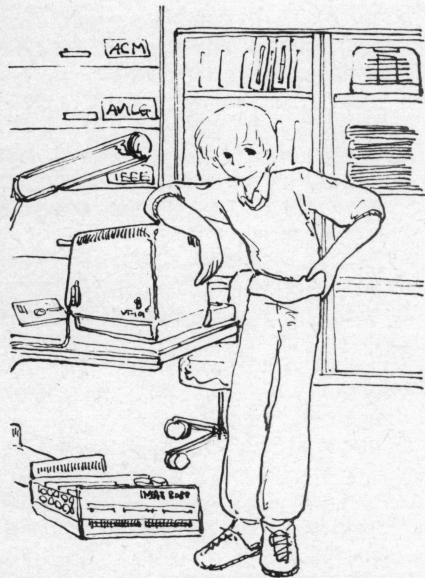
MS プログラム

見栄スタープログラマを目指すあなたは、間違っても、動くプログラムを自分で組もうなどと考えるはいけません。そんな事は全く無意味なことです。なぜなら、誰もあなたのプログラムに期待していないからです。

えっ! 今年もカメラマンやるの? じゃあ広告局長は誰かにやってもらってよね。昨年32ページでも苦しかったんだから、今年はもうダメ。若くないしさあ……ビジーレス・トークも中身有りてしよ。無理だよ絶対! →意志薄弱。軽薄短小。反省/♡BUSYLESS TALKの表紙写真パネル、サイン入りで飛行機好きな人にあげます。M.大熊

ですから、幸運にもUNIXを使うことができるような環境に巡り会っても、欲張ってはいけません。ただ黙々とVT-100に向かい、viでCのプログラムを書いているフリをしていればいいのです。ただし、間違っても行番号を付けたり四角いリストを書かないよう注意が必要です。

もし、コアダンプされたら「ア〜ア、またスーパーミニ落としちゃったぜ」と軽く言いながら、頭を掻くという、不遜とも思える態度に出ればいいのです。大物に見られること請け合いです。



ライフスタイル

AMS テリトリー

見栄スタープログラマーを目指すからには、いかなる環境下に於いてもプログラミングライフをエンジョイできねばなりません。そのために必要な物理的空間は、たったの1畳です。このスペース内に食・住・ターミナルを満足させるだけのレイアウトができれば、スタープログラマーに一步近づいたと言えます。また、ターミナルは太陽に弱いので（もちろんあなた自身も太陽に弱くならなければいけません）、日当たりの良い部屋は避けるか、暗幕を下げるなどの工夫が必要です。

AMS 買物

買物は全て終夜営業のコンビニエンスストアで深夜にしなくてはなりません。間違ってもデパートとかブティックなど、堅気の人の多い所へ足を踏み入れてはいけません。そのためには、常日頃から、自分の部屋を中心とした地理関係を把握しておく必要があります。ちなみに、スタープログラマー用の食事として

唯一許されているのは、ウェンディーズの牛肉団子のサンドイッチですが、地方によってはケンタッキーの鳥の空揚げの場合もありますので注意が必要です。これら以外のものを胃が受けつけないような身体になった時、始めて見栄スタープログラマーへの道が拓かれるのです。

AMS 必須外国語

見栄スタープログラマーを目指す以上、ある程度の外国語を知らなくてはなりません。外国語の代表と言えば、やはり英語です。英語の知識がなければ時代に取り残されること請け合いです。以下に、『これだけ覚えておけば外国へ行っても会話に苦労しない英単語』を掲げておきます。良く覚えて忘れないようにしましょう。さあ、これであなたも国際的スタープログラマー！

alloc, argv, atoi, binaly, case, cat, cd, char, chmod, copy, cp, directory, double, float, fputs, free, fsize, getch, grep, ika, int, itoa, kill, lint, long, .ls, mail, main, man, msg, mkdir, mv, numcmp, 'passwd, power, pr, printd, ps, putchar, pwd, read, reverse, rmdir, scanf, sprintf, struct, switch, system, tail, tako, tentsu, tty, typedef, unsigned, wc, who, write.

【第二章 メーカー編】

ここからは、いつもお世話になっているメーカーの方々への御礼代わりに掲載するものです。ですから、一般読者の方はお読みにならないでください。もし読んでしまった場合は、その内容を誰にも漏らさないようお願いいたします。企業スパイと間違えられ、捕われの身となっても当社では一切関知しません。あしからず。

AMS 新製品発表会

新製品を発表する際の会場は、クレムリンの会議室、ホワイトハウスのオーバルルーム、死刑囚用の独房の中など、取材記者が普段立ち入ることのできそうな場所にはセットしてはなりません。そうすれば、どんなにつまらない新製品であっても、多くの記者を集めることができますし、記事の扱いも違ってきます。間違っても、本社の会議室などというセコイ場所を使っただけではいけません。広報担当者の良識を疑われます。また、記者への手土産には自社の製品は極力避け、一流デパートの商品券（数万円程度）や受付嬢（但し美人に限る）を用意してはなりません。

AMS 記者に対する心構え

取材記者の訪問を受ける際には、資料を全て用意したフリをし、何を聞かれてもすぐにハキハキと答えなくてはなりません。たとえ嘘でも、ハキハキしていれば、変に勘繰られることもありません。特に最近の記者はアホばっかですから、口から出まかせを言っても気付かれることはまずない筈です。

しかし、一部にまともな記者もいるので、あまりはつきりし過ぎるのも考えものです。却って疑われることにもなりかねません。そういう時は、意識して言葉

をつまらせるようなさりげなさが要求されます。ちなみに過去の経験から言って、大会社になればなるほど、言葉につまる傾向があるようです。

AMS ショウでの演出法

毎年5月に開催されるマイコンショウには、最低1件の新製品を発表しなくてはなりません。しかし、頭の悪い技術者や作業の鈍い技術者がかかえた運の悪い会社の場合、製品がショウに間に合わないケースがよくあるようです。そんな時は原宿など若いシロウトの女の子が集まる場所へ赴き、コンパニオンを捜してこなくてはなりません。最近の記者は素人娘に餌をいいますので、製品などなくても女の子見たさに取材に来るでしょう。なお、当然のことですが女子大生よりは女子高生のほうが効果があります。しかし、記者の趣味は様々ですので、一応安全を見越して小中学校の女子生徒なども混ぜておけば完璧でしょう。ただその際には保護者の承認が必要です。間違ってもアメ玉、お寿司、アイスクリーム、クレープ、台湾バナナなどで誘惑してはいけません。

女の子を集めることができなかった場合、非常手段をとることをお勧めします。これは、発表予定だった新製品のボディだけ（中の基板は不要）を展示し、机の下に隠したライバル会社のマシンからの出力をモニターに表示するというものです。実際にこの手を使ったメーカーがありました。気づかれることなく無事にショウを終えることができたようです。ただし、キーボードと本体を結ぶケーブルを断線させておく事を忘れないようにしなければなりません。

AMS プレスリリースの書き方

新製品発表や本社移転のお知らせとして、各報道機関へ送るプレスリリースの書き方にも、細心の注意が必要です。例え嘘でもいいから「業界トップのシェアを誇る……」という文を加えておかねばなりません。ただ、ほとんど実績の無い場合は嘲笑の的にしかありませんから、日頃から販売実数を把握しておかねばなりません。

AMS 終わりに

この文章はフィクションであり、文中に登場したメーカー名やコンピュータ名、その他の名称は実在のものとは関係ありません。



Paradox Island

匿名記者座談会——マイコン界この一年——

司会：それでは、今年一年を振り返って色々と御意見を伺いたいと思います。前回は出版界のこの一年ということでお話頂きましたが、今回はもっと視野を広げてパーソナルコンピュータに関する全般的なお話をして頂きたいと思います。

A：この1年でいちばん華々しかったのは、やっぱり MSX じゃないかな。あのフィーバーぶり。B：当事者の一人だったからそう感じるんですよ。実際は結構意識が低いみたいだよ。秋葉原のある販売店は「MSX はどんなパーソナルコンピュータのソフトウェアも動かすことのできる製品です」と大きく書いて売ってた(笑)。

C：何も知らないユーザーは信じて買う。すると動かない。そこで苦情が殺到し、初めて気が付く。パーソナルコンピュータを「何でもできます」と言って売ってたのと同じで全く進歩してない。パーソナルコンピュータは在来の商品のような誰にでもわかる単能体ではないし、かつそのままでは無能体なんだから、販売店は十分勉強しなければ売れない筈なんだけれどな。

D：製品自体にも問題のあるやつがあったでしょ。コンパチの筈が、ある命令が動かないってアレ。気付かなかったのかな、メーカーの技術者は。

E：どこかの MSX なんて、スロットが1個しかないのにプリンタポートが付いていない。どうやって使うんだろうね。スロット拡張カートリッジでも発売するのかしらん。

A：メーカーは宣伝には力を入れていたようだね。キングコングとか松田聖子を使って新聞の全面広告を打ってたね。

B：ホームコンピュータにはビデオに次ぐ巨大市場が見込まれているからね。しかしキングコングと松田聖子じゃ、MSX の購買層がどっちを選ぶか、実際、ある販売店での調査では、購入動機が一番が「松田聖子が宣伝に出てたから」だったそうだし、「聖子のパソコンちょうだい」って来る人が結構多いらしいよ。

C：今後期待できるメーカーってどこかな？

D：やっぱり、コンピュータ以外の分野で優れた技術を持っているメーカーが出す、特殊機能つきの MSX マシンに面白いものが出るだろうね。これまでのヤマハやビクターみたいな。

E：それと、根本的にユーザーのことをよく考えてくれるところ。少なくとも開発者自身が身銭を切っても使いたくなるマシンを作らなくちゃね。例えば、AV 機器を一括してコントロールする MSX マシン。リモートコントローラをじゃらじゃらさせるのはもううんざりだよ(笑)。

A：ところで MSX はパソコンの統一規格ということでスタートしたわけだけど、W が理想として掲げたホームコンピュータのスタンダードという方向へ進んでいくと思う？

B：それについては、こう考えたらいいんじゃないかな。最初にテレビを作った人たちは、真昼間寝ながら見るようになるとは想像しなかった。電話を発明したベルも、女の子が何時間も長話をするためのものとして作ったわけじゃない。そういう風に商品というのは使われはじめる。最初の意図を離れてどんどん流れていくものでしょう。MSX もそうなるんじゃないかな。

司会：さて MSX はそのくらいにして…

C：あつ、報道官制引くつもり？

司会：いや、そ、そういうわけではありませんが、残り時間が……(苦笑)。

D：去年あたりから、テレビでもパソコン教室やってるでしょ。あれで随分関心が高くなってきたように思うけどね。

E：いや、あまり安直なアプローチも問題だね。コンピュータを知ってる人間が、あまりにも偉そうに見えてしまうんだ。首都圏じゃ月曜日の夜にやってる番組でね、オジサンが出てきて、RUN の説明するわけ。LOAD=RUN って。

A：そうそう、RUN の後にファイル名を付けると、このファイル名のプログラムが走る、つまり LOAD=RUN なわけですから平気な顔して言ってるの。

B：えっ LOAD イコール RUN?

C：そりゃ変に思いますよ。司会の先生もいや〜な顔してたもん。

D：気持ちでは分らないではないけど、LOAD=RUN ってのは一種のスラングでしょ。番組制作者はもうちょっとしっかりして欲しいね。知らない人のために。

E：ところで、流行といえばマウスとウィンドウだね。スーパーパーソナルのふりというか。

A：マウスは確かに便利だけど、誤解しているメーカーがあるでしょう。何はともあれマウス付けとけばいいという感じで。

B：付けてもソフトウェアのサポートがないと最悪だもんね。付いているだけ始末が悪い。

C：そういう意味ではウィンドウについても問題のあるやつがありましたよ。BASIC でウィンドウを制御しないと使えないっていうのが。それじゃあ console 切ったのと同じで本当の有り難さは分からないでしょう。

D：マウスもウィンドウも OS レベルでサポートするのが常識で、ついていけば良いってものではないでしょう。しかも OS 自体の認識っていうのがあるじゃない。だからマウスやウィンドウの使い勝手まで神経が行き届かない。やっぱり誤解があったみたいね。日本に来るときに。

E：どこかのメーカーの人が写真を見て、これがウィンドウかって納得しちゃったんじゃないか。

A：正しいウィンドウの開き方、正しいマウスの飼い方っていうのを一度本誌で説明しないといけないのかな。

B：これが OS だ！これがマウスだ！これがウィンドウだ！そしてこれがマルチタスクだ！なんていう企画をやってみるかい。

司会：さて、そろそろ時間が無くなってきましたので、いま最も注目すべきマシンを挙げていただいて、そこから今後の展望や希望を出していただく形でまとめにしようと思います。

C：注目すべき、かどうかわからないけれど、少なくとも個人的にいちばん興味をひかれているのが、サイトとトランスピュータだね。

D：トランスピュータは世界初の商用並列計算機用マイクロプロセッサだけど、あのシステム・スループットのグラフ見たかい？

E：見た見た。はっきり言って、とても信じられない(笑)。10°個のトランスピュータを接続すると 10°MIPS、つまり 1 TIPS になるそうだし。もしそうなら、西暦2000年までコンピュータ技術研究は休んでいられることになる(笑)。

A：まだ実物もないし、手に入っても手軽に実験できる数字じゃないけど(笑)。まあ、現在までの研究の推移から言っても不可能な数字だと思う。でも、僕は「その意気やよし」としたいな。控え目に言っても夢がある(笑)。

B：もう一方のサイトも、なかなか野心的なマシンだね。あの「ハッカー様御用達」みたいなスペックは感激モノだよ。パワーオンで unix V7 と unix 4.2bsd と Smalltalk-80から選べるなんて夢みたいだ。CPU も 16032/32032 と現在の最先端を積んでいるし、とにかく安い。

C：GDC の 29116 とか IOP の 80186 とか、単体でも十分らしい(笑)。マイクロプロセッサが脇役をやらされているところなんて、まるで Lika みたいだ。おなじハードで Interlisp-D と Smalltalk-80を選べるマシンにしたらどうかね。

D：それじゃ XEROX が泣いちゃうよ(笑)。

E：サイトを見たから言うんじゃないけど、国内のメーカーに言いたいのが、目標を手近に求めるなどということ。新製品発表会に行っても聞かされるウンザリするセリフが、「〜よりも良くなった」というヤツ。なぜそんな低いレベルを目標にするんだと聞きたくない。

A：一言で言うと、ビジョンがない、に尽きるな。

B：そう。自信も知識も予算もないというのならコピーマシンを作るのも仕方がない。でもどうせ作るのなら、一時代を築くつもりでユニークなマシンを作りたいものだね。ユーザーも、そうならないと選ぶ楽しみがない。

司会：いい言葉がでたところで終わりにしたいと思います。皆さんありがとうございました。

表紙の言葉のメモ

P「計器チェック全て完了！離陸開始」

C P「ちょっと待ってよ。もう一回チェックしようよ。ねえ機長ってばあ。」

P「大丈夫だ。この飛行機はコンピュータで制御してるんだ。安心しなさい。」

C P「だから怖いんです。私趣味でマイコンいじっているんですが、これがよく暴走するんですよ。ねっ、だからもう一度だけ…」

P「君のマイコンとこの飛行機のコンピュータと一緒にするな！そんな安物とは出来が違うぞ。この俺を信用できないのか！」

C P「でも基本構造は一緒でしょうが、CPU も付いてるし、メモリものってる。更に怖い

ことは空飛ぶんですよ。これは…」

P「コンピュータが空飛んで何が悪い！鉄のかたまりが空飛ぶご時世だ。」

C P「でも…。やっぱり僕怖いよお。」

P「そんなにダダこねるんじゃないやねえ。この分らず屋。おまえなんかクビだ！」

C P「すんまへん。すんまへん。もう言いません。ごめんなさい。」

という会話がいったかどうか知りませんが、767は無事松山に向かって飛び立って行きました。でもFMS(フライトマネジメントシステム)にバグがいたらどうするのかなあ。バグ取り要員募集の広告見たことないけど… KAZ

COMPUTER

ESP test

嶋田 智幸
上坂 哲

初めに…

コンピュータは、ここ5、6年で異常な進歩をとげ、ついにはニューメディア時代の中核となってしまいました。が、まだしぶとく発達しようとしています。そのため、なにも知らないかわいそうな人達の中からは、『コンピュータは絶対だ』とか、『コンピュータにやらせればなんだってこなせる』とか言った迷信じみた考えをまじになって信じ込み、コンピュータを人間以上のものと思っている人が出て来る始末です。あなたの友だちにも、そういった人が一人や二人はいるでしょう。

このプログラムはそういった人達に、コンピュータに対する正しい認識を与えるためのものです。すなわち、ソフトウェア次第で人間はコンピュータにだまされてしまうということを体験させ、重要なのはコンピュータそのものではなく、それを動かすソフトウェアであり、それにより良くも悪くもなるということとをさとし、今までの間違った認識を取り去ってしまおうというものなのです。このプログラムではこれを“ESPテスト”の形式を用いて行っています。

プログラムの構造

一般に“ESPテスト”といわれるものは、想念の送り手とその受け手とがいて、送り手が思った数、又は図形を受け手が当てるというものであります。これをプログラム化した場合は、コンピュータが送り手となり、受け手が人間となります。まず、コンピュータが乱数で適当に値を決め、そのあとで人間が適

当な値を入力します。そして、受け手の入力した値とその乱数の値が等しいかどうかを判断するということになりますが、このプログラムでは全くそのようなことはしておりません。というのは、一般の“ESPテスト”のように送り手と受け手の思った数が同じであれば正解ということではなく、コンピュータ側は受け手の入力した数とはまったく無関係に正否を判定して、始めに書いたような人達をだまし、超能力が発達したように思わせるといことなのです。そのためこのプログラムでは、段々当たる割合が高くなる様をみせるため、テストを4段階に分けています。そして、一段階を7問という半端な数字にして、正解率を表示する時に小数点以下が必ず出るようにしています。それは、いかにもコンピュータというものが正確であるということをおぼせておくためです。

このプログラムは、まず最初に当たる順番を乱数により設定しています。しかも当たる回数は、1段階目で1回、2段階目で2～3回、3段階目で3～5回、4段階目で5～7回と乱数で範囲が決まっています。

そして、はずれた時に表示する正解の値は入力した数に±1～2をした数値になるように乱数で決め、やってる人が惜しいと思うようにしてあります。

遊び方

このプログラムで遊ぶためには、まずリストを打ち込み、誤りがないかを確かめましょう。そして、最初に書いたような人達がいるかどうか自分の心当たりを探して下さい。なお、その人は自分より腕力の弱い相手にし、

その人とは別にあなたの仲間を2～3人集めます。

見つかりましたら、その人をコンピュータの前に連れてきて、このプログラムを“RUN”させ、説明をよく読ませましょう。そして、雰囲気を盛り上げるために『超能力は誰にでもあるものだから、きみもやってみたら?』と言っておきます。

もしも嫌がったなら、最初にあなたが手本を見せ、安心させて下さい。

遊び方は、1～9までの適当なキーを選んで押すだけです。

相手には、1つの段階が終わるごとに全員で『おおっ、段々、ESP度が高くなってきてるじゃないか! やっぱりきみにも超能力があったのか』と言っておだててあげましょう。

ゲームが終わった後は、しばらく超能力の話などをしましょう。その後、思い出したようにこのプログラムのタネあかしをして、コンピュータは絶対なものではなく、ソフトウェア次第でいかにもいい加減なものになるかと言うことを教えてあげてやって下さい。

しかし、それでも自分の考えを変えないようであつたら、全員で洗脳してあげるのもひとつの方法です。本人のためと思ってるべく実行しましょう。

なお、このプログラムのため友情又は愛情などにヒビが入ってしまった場合、当社は全く関知しません。

変更点

このプログラムは大抵の機種で動くように作られていますが、変更すべきと思われる命

眠い眠い…とにかく眠い。最近の徹夜続きで頭が眠い。ESPテストを担当したんだけど原稿書きなんて初めてだから相当手間取りまして…結局まわりの人に迷惑をかけてしまった。手伝ってくれた皆さんありがとう。読者様は神様です。♡一番面白いことを書いてくれた人に無い金はいってタロットカードとESPカードをあげます。(特に女の子) T.嶋田

令はプログラムの始めの方の110行~220行までにまとめておきました。以下に、変更点を記述します。なお、このリストはPC-6001で作成しました。

行	変更すべき内容
120	画面設定、乱数初期化
130	画面座標設定
140	キー入力
150	WAITルーチン
160~170	文字列出力ルーチン
180~220	MUSICルーチン

MUSIC機能が付いていない機種では、180行から220行までを“RETURN”文のみにし、170行のPLAY文を削除してください。

before care

ガッツにC.G.してね(P.\$2E)

さて、うまく絵は描けたかな？ どーしてもわからなかったという救われないキミのために、詳しい絵の描き方を教えよう。まず、1面目が表示されたら、用意した紙をセロハンテープで画面に固定する。もちろん自信があれば手で押さえるだけでもいいよ。次に、表示されてる点をそのいちばん近くにある記号の順序に鉛筆でつないでいけばOKだ。どこが始点かは、色を変えてあるからすぐわかるね（なんて親切なプログラムだろう）。気をつけてほしいのは、1つの面では表示している記号は重複しないようにしてあるんで、カナ

の場合、ヤ行は「ヤユヨ」、ワ行は「ワラ」となるので気を付けてよ。当たり前だけど、「中」と「エ」はないからね。

それがすんだら画面上の「ここを○色で塗ってチョ」と書いてある部分から、いまつなぎ終わった所までの範囲を色鉛筆で塗りつぶしてやる。これで1面ぶんのできあがりだ。あとは同じことを3回くりかえせばいいんだけど、ラストの面はその他の輪郭データだから何も塗る必要はないよ。

さあ、これで完成と思ったら大まちがい。最後に、描き終えた紙を重ねてRGBの色演算をして正しい色に直してあげよう。もちろん、自分の頭で考えるんだよ。

このプログラムはもともとPC-9801で作ったものなんだけど、他の機種でもグラフィック座標が640×200でキャラクタが80×25字表示できるものならほんのチョット変更すれば楽しめるよ。

それじゃ、今度こそがんばってね！

ESPテスト プログラムリスト

■このプログラムは、あなたが個人として利用するほかは著作権法上、著作権者に無断では使用できません。COPYRIGHT©1984 by ASCII

```

10 REM #####20 REM # ESPER TEST #30 REM #
#40 REM # (C) ASCII 1984 #50 REM # #60 REM
# Shimada,Mazuda #70 REM # Uesaka,Kamimura #80 REM #####
#####90 REM100 GOSUB 120:GOTO 230110 REM ンコウテン120 CONSOLE 0,16,0:PRINT CHR$(1
2);:A=RND(-TIME)130 LOCATE X,Y:RETURN140 IS=INKEY$:RETURN150 FOR T=0 TO 5:NEXT
T:RETURN160 S$=MID$(A$,N,1):PRINT S$;:GOSUB 150:IF S$=CHR$(32) THEN RETURN170
I=INT(RND(1)*96):PLAY "t64l64v13n=i;":RETURN180 PLAY "s9m20000l1o6c","s9m20000l1
o5a","s9m20000l1o5f"190 FOR T=0 TO 1000:NEXT T:RETURN200 A1$="o5t150s9m9999l3gm
4000l16ggl8gecel4gl6al16am10000l2b"210 A2$="o5t150s9m9999l3em4000l16eel8ecccl4el
6fl16fm10000l2g"220 PLAY A1$,A2$:RETURN230 PRINT SPC(5);"#####
240 PRINT SPC(5);"# # # #250 PRINT SPC(5);"#####
260 PRINT SPC(5);"# # # #270 PRINT SPC(5);"#####
TEST280 PRINT290 DATA "コハ、アナノ ESPノウリョクヲ TESTスルモノデス"300 DATA "コンピユータノ
シシニ シタカッテ 1~9ノ スクシヲ"310 DATA "ニューリョク シテ クタサイ。 シトウテキ ニ アタノ"320 DATA "ESPノ
ウリョクヲ ケイサンシマス。ソレヲハ START!"330 FOR J=0 TO 3:READ A$340 FOR N=1 TO 32350 X=N-1
:Y=J*2+6:GOSUB 130360 GOSUB 160370 NEXT N:NEXT J380 DIM A(3),B(3),C(6),D$(3):X
=0:Y=0:S=0390 FOR J=0 TO 3400 A(J)=J+INT(RND(1)*J+1)410 NEXT J420 FOR J=0 TO
3430 D$(J)="00000000"440 NEXT J450 FOR J=0 TO 3460 FOR K=1 TO A(J)470 A=INT(R
ND(1)*7)480 IF MID$(D$(J),A+1,1)="1" THEN 470490 D$(J)=LEFT$(D$(J),A)+"1"+RIGHT
$(D$(J),7-A)500 NEXT K510 NEXT J520 FOR J=0 TO 7530 GOSUB 150540 NEXT J550
GOSUB 120560 FOR J=0 TO 3570 FOR K=0 TO 6580 DATA タイ、タンカイ、モン590 RESTORE 580
:FOR L=0 TO 2:READ A$(L):NEXT L600 PRINT610 A$=A$(0):FOR N=1 TO LEN(A$):GOSUB 1
60:NEXT N:PRINT J+1;620 A$=A$(1):FOR N=1 TO LEN(A$):GOSUB 160:NEXT N:PRINT K+1;6
30 A$=A$(2):FOR N=1 TO LEN(A$):GOSUB 160:NEXT N640 PRINT:PRINT "サテ、ワタシノ
カンカエタ カスハ、":PRINT "1~9ノ ナカノ ナンテショウ?"650 GOSUB 140660 IF I$<>" " THEN 65067
0 GOSUB 140680 IF (I$<"1")+(I$>"9") THEN 670690 PRINT I$700 IF MID$(D$(J),K+1,
1)<>"1" THEN 780710 PRINT:PRINT "アタリ!!":S=S+1:GOSUB 180720 PRINT:PRINT "ESP :
";730 FOR E=1 TO S740 PRINT "*";750 NEXT E760 PRINT770 GOTO 850780 PRINT:PR
INT "ハスレハ! コタヘハ、":790 I=VAL(I$):I=INT(I+RND(1)*7-3)800 IF ((I<1)+(I>9))+(I=VA
L(I$)) THEN 790810 PRINT I;"テシタ。";820 IF ABS(VAL(I$)-I)=3 THEN PRINT"タメタメ!"
:GOTO 850830 IF ABS(VAL(I$)-I)=2 THEN PRINT"モウチョット!":GOTO 850840 PRINT "オシ!!"8
50 NEXT K860 PRINT:PRINT "タイ ";J+1;"タンカイ シュウリョウ"870 B(J)=INT(A(J)/7*10000)/1
00+INT(RND(1)*20)880 IF B(J)>100 THEN B(J)=100890 PRINT:PRINT "ESP :";B(J);"ハ-
セント"900 FOR L=0 TO 30910 GOSUB 150920 NEXT L930 GOSUB 120940 NEXT J950 GOSU
B200:PRINT "***** ESP TEST シュウリョウ *****"960 PRINT SPC(10);"セセキ ハッポウ"970
PRINT980 FOR J=0 TO 3990 PRINT SPC(09);"タイ ";J+1;"タンカイ";B(J);"%1000 NEXT J1
010 PRINT:PRINT SPC(05);"モウ イチノ ヤリマスカ? (Y/N)"1020 GOSUB 1401030 IF I$<>" " THEN
10201040 GOSUB 1401050 IF I$=" " THEN 10401060 A$="エッチシ、ノモクスイタチニトハクヤタルノックテケ?
ハソハレミハチ ンカシニシテンレ!"1070 PRINT:PRINT SPC(3);1080 FOR J=0 TO 231090 PRINT MID$(
A$,J*2+1,1):1100 NEXT J1110 FOR J=0 TO 201120 GOSUB 1501130 NEXT J1140 CLEA
R:GOTO 380

```


TINY BASIC NEWSLETTER

Passion & Power : Product Planning

良いものを造るものは、善きものである

良いものを知らしめるものは更に善きものである

うちの夢はいつまでもみんなといっしょに楽しく暮らしていくことだわ

Beautiful Dreamer... おねえに行き...



MNBI700 CPU 32 bit, advanced C-MOS II 1.6um process

スタック8本、68000 拡張マキアグラ

* Dynamic Instruction Set Computer (DISC)

可変長オペレーションコード、書替可能制御記憶、4Kw

35万Tr、20MHz、2相クロック、80mm²

lispマシン時 500klips/CPU

ページング方式 MMU 内蔵 4GB

180pin, 1.2W

DSPC MN86484

Bit-Mapped Display Controller

32Mbit/sの転送レート

2Mbit/sのバケル転送、DDAハードウェア内蔵

105Tr, C-MOS

MNT14240

プロセスネットコネクター

128本のリアル入出力線により 64プロセスのデータ交換を行なう。

4MBit/sec/line

NEWS 開発計画

National Electric Work Station project

CPU MNBI700 → max 64台

プロセスネットコネクター

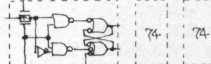
MNT14240

DSPC MN86484

3.5MB 磁気バブル搭載

3.5 inch DD × 1, 1.6MB

weight 4.5kg



よい子のぬり絵

- : n⁺ diffusion
- : poly silicon
- : isolation
- : metal
- : contact
- : p diffusion
- : Oxide

搭載データベース

かな漢字変換 8万語 文節変換

Smalltalk, オプティカ 5000 図記憶

Captain, NAPLPS 受信可能

できませんコッ! やめさせて下さい!

ASCII

THE COMPUTER MAGAZINE

A dark, atmospheric photograph of a shrine interior. A bright light source, possibly a lantern or a small fire, is visible at the bottom center, casting a glow upwards. The background is dark and indistinct, with some faint structural elements visible. The overall mood is mysterious and ancient.

電神器狐狗狸様

ある稲荷神社で発見された謎の古文書!!—

レポーター
上坂哲子

そんな馬鹿な、とおっしゃる方も多いこと
でしょう。まずは図1を御覧下さい。これは
例の巻物の、巻の二・第七章、中の一、番より
抜粋したものです。（文中、訳注は編集部）
これは文章中マニュアルと思われる箇所、で、
読んでいただければおわかりになると思いま
すが、現在のコンピュータソフトに付属して
いるマニュアルに酷似していませんか？ さ
らに図2を参照して下さい。AhSKI! 創刊号
で特集した日本語べえしゅくのリストとよく
似たものが記載されています。これこそ例の
巻物が、コンピュータについて記されたもの
であるという動かぬ証拠でしょう。

レポーター
上坂哲子

3月始め、港区の某神社で発見された江戸時代後期に書かれたと思われる奇怪な巻物については、マスコミ等で大きく騒がれたので御存じの方も多いことでしょう。この巻物に記載されている不可解な文章は各界で様々な論議を呼び、いまだにこれといった結論は出

そこで我々AhSKI!編集部において独自にこの古文書について調査しました結果、実に驚くべき事実が判明いたしましたので御報告いたします。

結論から先に申しましょう。この巻物は、

は、はいよ、『電神器』の實行に進入らんとすべし。おもて、狐狗狸様降雲文字盤となりて『電神器』押下を待ちける。再び『狐狗狸様、おこしくださり給へ』と囃へつつ、『空白鍵』を押すべし。貨幣、馬居にてとどまりける。されば面手、みな貨幣に手指來せここに初めて、狐狗狸様に御伺ひ奉らむ。御伺ひは、『仮能鍵』と『復次』により行ふものなり。又、『機能鍵』には仏様類の御伺ひぞあり、之亦併用せばより良好なり。

『機能鍵』の御伺ひは、次の仏様を供へおくり、

壹、貴殿の運勢
貳、失せ物
參、婚姻・交際の相手
肆、幸運を齎す品
伍、貴殿の電神器の診断

壹の御伺ひは何についての運勢であるかを明確に口頭にて囃へつつ機能鍵の壹番を押すべし。他の御伺ひも同様なり。なお、古今東西の狐狗狸様と同じく、御伺ひの途中にて手指を貨幣から離すことなかれ。若し、手指を離したればたちまちにして神罰下ること必定なり。滞りなく御伺ひ終えたれば、さて狐狗狸様に御歸り頂くなり。『機能鍵』の陸番にて、『あなたがたござりました。』の言葉ぞありけるに之を押下すべし。されば狐狗狸様たちどころに馬居より雲界に歸り給えり。……」

(港区・住友稲荷神社所有)

「電神器狐狗狸事始より抜粹」

実行手順覚書……………プログラム

狐狗狸様……言わずと知れたコツクリさん

御同ひ……

電 4
多 4
4 1
二
ノ
二
r
三
二
7
0
二
+
の
の
お
一
い

テレビのモニタのことであります。

電神器……………同じくマイコンのこと

おもて……………テレビの画面

面子……………メンバー

まあじゃん……………意味不明

押下……………入力のこと

雷電帯……………カセットテープのニとか

意乙

「是二反ぶ」の

いとおかし………
実に趣があることだよ」

実行に遡入らん………実行する（RUNする）

空白鍵・・・・・・・・・・・・・・スペースキー

仮名鍵……………力ナキ一

リターンキー
.....
復改.....

B
S
フ
ア
ン
には裏か
しい言葉
ね♡

機能鍵.....
ファンクションキー

客之物 遺之物

失物・遺失物

狐狗狸様実行手順覚書

[illegible]

コックリさんのページを担当して以来…私のまわりでは…奇怪な現象が次々と起こっています。この本を読んだあなたの後にも……ほら……うぎゃああああ！！……／＼読者の皆様の中でそのような体験をお持ちの方へ、ア・スキー特製の「御説いセット」をプレゼントいたします。神棚と御説い串がペアになっている素敵なキットです。ケケケ！S.上坂

のは、あの数学者として有名なパスカルであり、実に17世紀のことです。その後、時計の技術を応用した歯車式の計算器がいくつも作られてきました。このように計算器の歴史は意外と古いものです。古くから、からくり人形などに見られるハイテクノロジーを誇り、またエレキテルなどで有名な平賀源内という偉大な発明家を生んだこの日本において、18世紀後半に“電子計算器”が製作されていたとしても何の不思議もありません。

次に、このプログラムは何をするものであるか、解析してみました。国立川越大学考古学研究室の我孫子道教授によりますと、これは図1の文中にある“狐狗狸様”，すなわち“コックリさん”のシミュレータであるという説が有力です。以下、我孫子道教授のお話です。

「え～このプログラムと思われる部分ですがね、江戸時代に神社などで、御神託を得る

ために使われたもんだ、というのが妥当なところでしょ～、当時でも、神社の神官によるおつけなどが大変大きなファクターを占めていたということで、おりからの不況により生活を圧迫された民衆が神社に押しかけて、多忙に苦しんだ神官が、当時の技術者に命じて、SA(Shrine Automation)として導入したのはいいけれど、バレると民衆にたたき殺されると思った神官が極秘にしていた、あんまり秘密にしすぎたもんでそのうち自分も忘れてしまった、そのため後世に伝わらなかったんじゃないでしょうかね～こりゃ。」

江戸時代日本において、コンピュータおよびそのソフトが作られたというのは果たして事実なのか、今後の研究が待たれます。

最後に、巻物のプログラムをMSX規格のコンピュータに移植したもののリストを掲載しておきます。読者の皆さんの御意見をお待ちしております。

図2

百、
開帳 壹に對し「拾」。おもて 貳、貳、色 壹、拾、拾。
壹刻に百貳拾たび、貳百貳拾行へ行きて戻るべし
百貳拾、
用意 甲「伍拾陸、壹」、乙字「陸」、丙字「百」。
百貳拾、
丁 零より 伍まで。藍 零より 貳まで。
乙文を讀むべし。乙文、拾陸進とみなしこれを乙とす。
甲「乙、零」、藍掛ける貳拾肆足すことの參拾貳とす。
甲「乙、壹」、丁掛ける貳拾肆足すことの肆拾とす。
繰り返すべし。繰り返すべし。……(後略)

「……さて、此の『実行手順書』は狐狗狸様の御心と我々が心との交わりを手助けせんとするものにて、狐狗狸様に諸々の御伺ひを奉らん為に作られしものなり。
場はより薄暗きを可とし、周囲の鳥獣大猫の類、狐狗狸様にさしさわりのある故に遠く離すべし。場は静寂をもつて良しとす。南窓は開放し、場の中央に『電影』及『電神器』を置き、『電影』はおもてを平らにするべく横に置き、
しかるのち、面子を集めるべし。面子とは狐狗狸様をば共に奉り候う者にて、貳人より參人を必要とす。さりとして面子せらるはざれば壹人で行ふも可なり。されど複数で行ふより神通力を使ひたる故、注意を要すなり。又、肆人せらるへば、まあじやんと始末たるものとつづきし。さらにね：(判読不可能)
まづは手順書に従ひて、『電神器』を押下すべし。この際文字押下することにより『狐狗狸様』、おこしくださり給へ」と強く念すれば霊驗あらたかなり。総て押下し終わりたれば誤り無きやうねんころに確かめたるのち、『電神器』なる物に『電記』すべし。なお、この『電神器』に鳥居を描き印したるものとおかし、徒然なるま：(判読不可能) 煩らう行ひたれ



10円玉が出現したら、すかさず指で追って下さい。でないとなたりが……

```
D(1)*12-6:GOSUB540:NEXT A$=B$(0) 500 FORL=1TOLEN(A$)STEP2:A=VAL(MID$(A$,L,2)) 510
  FORT=0TO1000:NEXT M=Z(A,0):N=Z(A,1):GOSUB540:FORT=0TO150:NEXT:NEXT 520 IFF=0THE
  NLINE(32,176)-(231,184),15,BF:FORT=0TO100:NEXT 530 M=RDND(1)*70+100:N=RDND(1)*8+156
  :GOSUB540:RETURN 540 X1=X:Y1=Y:X=M+RDND(1)*9-6:Y=N+RDND(1)*9-6:R=RDND(1)*2+.5 550 A=
  SQR((X-X1)^2+(Y-Y1)^2):FORT=0TOA STEP R 560 J=(X1*(A-T)+X*T)/A:K=(Y1*(A-T)+Y*T)/A
  570 PUTSPRITE1,(J,K),6,0:PUTSPRITE1,(J,K),8,1 580 NEXT:RETURN 590 IFINKEY$<>" " TH
  ENA=RDND(-TIME):GOTO590 600 B$="" :GOTO660 610 REM MAIN 620 A$=INKEY$:IFA$="" THENIN
  TERVAL ON:GOTO610 630 INTERVAL OFF:IFA$=CHR$(13) THEN700 640 IFA$=CHR$(29) ORA$=CHR
  $(127) ORA$=CHR$(8) THENIFB$<>" " THENB$=LEFT$(B$,LEN(B$)-1):GOTO660ELSE610 650 IFLEN
  (B$)<24 THENB$=B$+A$ 660 LINE(LEN(B$)*8+24,176)-(LEN(B$)*8+48,184),15,BF 670 LINE(
  LEN(B$)*8+33,176)-(LEN(B$)*8+40,184),12,BF 680 PSET(32,176),15:PRINT#1,B$ 690 GOT
  0610 700 LINE(LEN(B$)*8+32,176)-(LEN(B$)*8+40,184),15,BF 710 FORT=1TO6:IFB$=A$(T)
  THEN720ELSENEXT:GOTO730 720 ONTOTO740,750,760,770,780,790 730 IFB$<>" " THENO=RDND(
  1)*3:GOTO480ELSEO=1:GOTO480 740 O=RDND(1)*6+8:GOTO480 750 O=RDND(1)*5+3:GOTO480 760
  O=RDND(1)*8+14:GOTO480 770 A$=B$(RDND(1)*10+27)+B$(RDND(1)*10+37):GOSUB500:GOT
  0590 780 O=RDND(1)*5+22:GOTO480 790 M=124:N=16:GOSUB540:FORT=0TO500:NEXT:COLOR 15,
  4,7:END 800 DATA4606412102,49,50,270612,322132,2212,0716 810 DATA321806412102,310
  116341236210225,14021003123113,163419124003,3113334219124003,03310802080635124431
  1448 820 DATA2019354002,270612220243,322132220243,2212220243,0716220243,021812400
  3014146442102 830 DATA20102235022102,170608220243,011311021240220118162720 840 DA
  TA25454644190243,174003124002,210464190243,274003074824,3648190243 850 DATA0106,0
  845,1245,08110245,33411107,070245,0105,322042,012116,162248 860 DATA2410,06141820
  ,100248,01130702,14041601,1738032602,110228,200902,311817,0818 870 DATA08431202,0
  13003,194726211321,2640144806 880 DATA255 890 O=RDND(1)*5+47:IFO<48 THEN930 900 F=1
  :O=0-1:GOSUB490:F=0:A$="" :910 IFINKEY$<>" " THEN910 920 INTERVAL ON:RETURN 930 A$="
  46123635030604431140032141":GOSUB500:GOTO790 940 M=128:N=192:GOSUB540:SCREEN,3:RE
  STORE200:GOSUB180:GOSUB530:RETURN 1000 RESTORE800 1010 READA$:IFA$="255" THEN1030
  1020 FORT=1TOLEN(A$)STEP2:A=A+VAL(MID$(A$,T,2)):NEXT:GOTO1010 1030 IFA$=4730 THENRE
  STORE:RETURN 1040 PRINT"800-880 キ ョウ からの デー タに ハ ク か" あります。":END 1050 MAY THE KO
  KKURI BE WITH YOU!
```

■このプログラムは、あなたが個人として利用するほか著作権法上、著作者に無断では使用できません。COPYRIGHT © 1984 by ASCII

今回はバロ版会議で思い付いてしまった。ガッツにCG、コックリさん、ESPの指揮を担当してしまいました。あ～、思い付くじやなかったな～ 来年は一挙にビデオ版をやりたいな、なんて思っているとは、我ながらこりないやっちゃん～本当に♡ESPにちなんで6スツートランプをあげちゃいます。ESPの成果をお聞かせください。M.松田

DDD Direct MMM Mare AAA Area



ふとんさん、ふとん
さん……

Dear Editor :

AM6:20. 僕が目を覚ます。寒い。めちゃ寒い。彼女は頭半分しか見えない。何やら懸命にしゃべっている。耳をそばだてると、何のことはない「ふとんさん、ふとんさん」と言っている。「ふとんが、どないしたねん？」と聞いてみたら、「ふとんさんと離れたくなあい」と言う（なに言ってやがる……）。僕はなるべく大きな音をたてて階段を降りる。

AM6:50. 僕は再びやって来る。ジーパンをはき替えながら、どなる。「こらっ、起きやっ」。彼女は枕にしがみつくと、「これっ、7時っ」数分サバを読んでわめく。彼女は観念してムツクリ起きる。「朝だ」とつぶやく。

そしてPM8:30. ドンドンドンドンバサッ。「だいまっ」「おかえりィ」「ねえねえ、今日ねえ」——かくして、彼女は普通の「お姉ちゃん」となって、僕と再会する。僕は、小生意気な妹になり、数学の本を持って、すりすりしたりなんかするのだ。そして、こたつでウトウトしては、お姉ちゃんの叱責を受ける（彼女はこれで朝の事はチョーケシだと主張するのデス）。これが、ここ数年間の毎日のパターン。だがある日の事。「わあーなんじゃあ！ ウソをつけたこのこのっ」ASCIIを見て、僕は本屋さんと叫んでしまった。だってだって、推定年齢16~18歳だったら、僕の妹になりかねない。それでも僕は熱心に読んで、その日、お姉ちゃんが帰ってくるのを楽しみに待っていた——

「だいまっ」「のっ点点点」。一瞬きよんとする。「“Yoは思うの…”」って結んであったね「ああ一つ」と叫ぶYo. グフ。快感。「何てお前は悪い子なのっ」——そうですよ。僕は悪い子ですよ。そして、君の1ページの愛読者ですよ。あの1ページに確かに、君らし

昨年引き続き総指揮ほかを担当。途中で葬式を挙げるハメに陥るかと思うほど疲れましたが、なんとかここまで来ました。みんなご苦労でした／読者のみなさんも、ひたいの下部をびしょびしょにして大変でしょうね／♡特製のシャチハタ®はんこと愛用の赤ペンのセットを、ひとの文章を校正できるだけの文章力を示してくれた人にあげます。S.高橋

さを感じることができるから。ちょっとカワイ過ぎるけど…ね？ 僕のお姉ちゃんは、中央本線の似合う気さくな人デス。

田舎郡 鷹野 光子

コンピュータが嫌いでお姉ちゃんいじめが好きで、「私は結婚なんかしない！」と宣言しているスレンダーなあなた。以前一度お会いしましたが、その後お元気ですか？ 「いずれ男ができたなら、がらっと変わるよ」と僕がお姉ちゃんに言ったのを聞いて憤慨したそうで、その若さあふれる生意気さがまたカワイラシイと思っていたら、そんなあなたもお姉ちゃんにすりすりしたりなんかするのですか。ふーん、やっぱり理解不可能な少女の現役なのですね、あなたも。

——Editor T

Hacker食の 作り方

Dear Editor :

このあいだもマイコンに熱中していて、CRTの前を離れたくない時、おなかガブーツと鳴ったんです。「さて何を食べようかな」と思って、今までこんな時に何を食べたかな、と考えたら、けっこう沢山ありました。

ハンバーガー、おにぎり、フライドチキン、フライドポテト、串カツ、トウモロコシ、焼き芋、サンドイッチその他パン、すし、もち、おだんご、おせんべい、ワッシャー、みかん他くだもの、ピザ、カップヌードル、カレー、するめ、プリト、ポップコーン、肉まん、あんまん、ドーナツツ、etc……。

こう並べるとパリエーションがあつて飽きないように思うでしょうが、実のところ、もうこのデのたべものはうんざりです。かといって不精な男の一人暮らし、手の込んだものを作る勇気はないし、作ってくれる気のきいた友達（もち女！）もいないし、あーなんか



熊本市 古場正行

変わった食いもんはないかなー。

東京都 虫食い道楽

いっちゃん簡単なのは、たらこカサのおにぎりを丼に入れ、お茶をそそいてお茶づけ。付属のノリは干切って入れます。パンのバリエーションなら、おなかサンドやノリサンドが高速処理向きです。オープントスターを使う勇気があれば、レパートリーは一気に拡大します。まずはビザトースト。チーズとマヨネーズを載せて焼くだけです。おにぎりは味噌を載せて焼く田楽や、しょうゆを付けてのこんがり焼きおにぎりもなかなかオツです。あるいは、ちょっと趣向をかえてはんぺんを使ってみるのはいかがでしょう。ハンバーガーのパンのかわりにははんぺんを使います。挟むものとしては、レトルトのハンバーグや、コンビーフ&チーズなどが良いでしょう。但し、ハンバーグは別ゆでする必要があります。

ハンバーグをゆでて鍋を使うことに慣れたら、次のメニューに挑戦できます。それは、なんと、おじやです。まず鍋に水を取り、沸騰させます。次にそこに即席味噌汁（生味噌のがおいしい）を溶き、おにぎりをぶち込みます。ごはんがほぐれて柔らかくなったら出来上がり。卵なんか落とすと最高。もうお客様にもお出できます。——Editor 不精



世田谷区 北さんとし

数か月前、とあるラジオの深夜放送を、ちょっとばかりお手伝いしました。中学生の頃は、深夜放送、よく聞いていたものですが……現場を見るっていうのは、やっぱり、相当に面白かったわ。

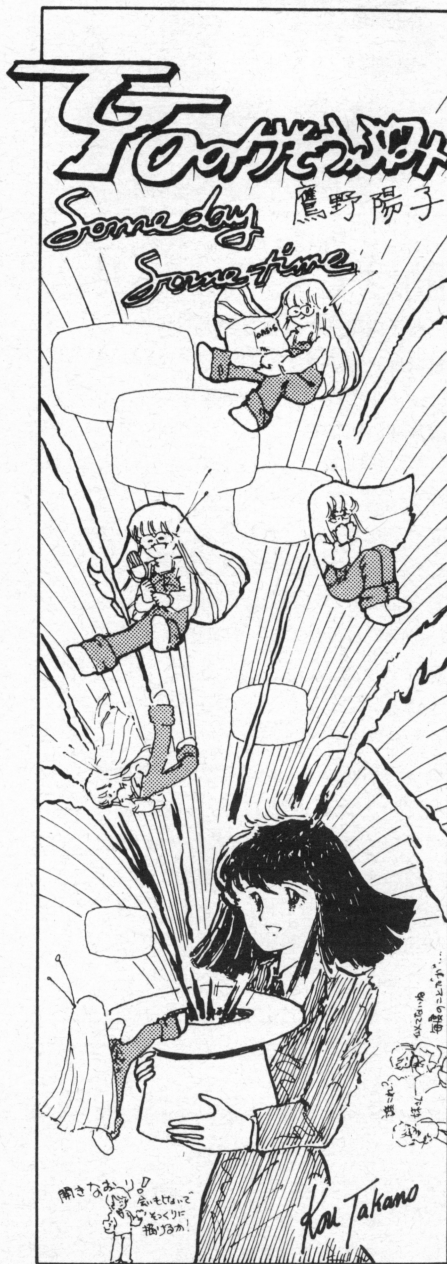
Ah SKI! の読者の皆さんの中にも、聞いた方がきつというらっしゃると思うのですが、全国30局ネットで、『マイコン少年集まれ!』っていう感じの特番がありまして、Yo めも、恥ずかしながら、ちょこっとだけおしゃべりしました。「Yo さん、マイク、怖くありませんよね」を、打ち合わせの度にくりかえす、ディレクターのY氏のしつこさには勝てなかったの——と、言いつつ、実はマイクが大好きだったりするのですが(カラオケのマイクじゃありませんよ、念のため、10才頃から、「全校の皆さん」むけの下手っぴアナウンサーでね)——

さて、放送終了後、スタッフ全員で、うちあげ(深夜放送の後と言いますと、当然時間は……)がありました。その席で、Y氏をはじめ、ミキサーのS氏や、K氏、I氏……つまり、その番組を企画した人たちが、自分たちの夢を話してくれました。その夢というのは……アメリカに、朝から晩まで天気予報をやっているCATVのチャンネルがあるそうなのですが、それと同じのをマイコンでやるんですって。「実は、僕たち、マイコンが大好きなんですよ。そうそう、南青山アドベンチャー、どうしてもあそこでねえ……教えて下さいよ。(Yo だって終わりまで行ってないんだから、教えてあげられるわけないでしょ)」マイコンが大好きな人達が、マイコンの番組ばっか、CATVで流す……。ふーん。

しかし、詳しい内容を聞いて、その全体像を頭の中に描いてみると、へえーっ!!でした。「本日のマイコンニュースに始まって、マイコン講座を初級・中級・上級という具合に分けて、日替わりオンエア」はあ。「料理番組も単発で組みたいね。集中力、持続力をつけるスタミナ料理とかね。プログラム作るときは、スタミナドリンクを買い込んで、カップヌードルやがんばれ玄さんですますというパターンが多いけど、あれはよくない」Iさん、奥さんに見せたいんでしょ。あら、まだ嫁さん募集中? 「健康相談も必要かもしれないな。ディスプレイ装置と眼の疲労とかね」眼科のつぎは、Hucker ノイローゼと題して、Dr. N の登場……とか? 「法律相談だって要るよ。コンピュータウィドウとの離婚とか、プリンタの騒音の隣人訴訟とか、起こってくるぜ、きつと」あ、あの。まさか、「週1で全国のマイ

コンクラブ紹介なんかどうだい?」うーん、これは明るいきけど……etc. etc.

なかばあきれながら「マイコン only で、そんなに番組作れるんですか?」と尋ねると、「番組作りなんて、根性入れればね」ですって。「それに、デモ画面をバックにプログラムを流してもいいし」「そうかなあ」「実際、今度ね、ディレクター仲間でテレビ畑の奴が、



そういったプログラム番組を試験的に流してみても、反応を見ることにもなってるんだ」でもね、そーんな毎日オンエア分のプログラムなんて、いったい誰が作るのよ。カワイソーなのはプログラマーじゃないの!

「夢じゃなくて、現実問題としてはどうなんでしょうか?」と、ちょっと意地の悪い質問をしました。すると、Sさん、ふおつ、ふおつ

と笑いながら、「時間の問題っすよ」と胸を張って答えるのです。えー? じゃあ、実現も間近っていうわけ?

Yo は詳しいことは知らないのだけれど、日本の場合、CATVを(ケーブルを引く関係から)一つの電車の沿線に展開させようという計画が多いのだそうです。某(絶対に秘密だって、教えてくれなかった)電鉄会社CATVプロジェクトの人に、この話を持っていったら、「ケーブル引くのはいいとして、どんな番組でチャンネルを埋めるか、頭抱えてるんですよ。実は」ということで、大歓迎、手応え十分なのですって。

「でも、番組製作費って相当かかるんですよ?」「大丈夫。メーカーは絶対に機械を貸してくれるだろうし、ソフトの件なら、一種の宣伝だもの。ショップが知らんぷりしてるわけがない。純粋な経費は、かなり抑えられるはず」「CATVは視聴料でやっていくものだから、まあ、CMスポンサーはつかないんだけど、ある機種のための番組をつくれれば、CMみたいなもんだしね」

CM……ねえ、『新機種紹介』の番組だけは決して逃さぬ息子に「あれ、欲しい!!」とせがまれるのは、きつとたまらないだろうなあ……話を聞いているうちに、だんだんYo も引き込まれてきました。初めは、マイコンストの夢物語みたいな気がしたけど、実現したら、結構おもしろいんじゃない? という感じがしてきたな。こうなってくると、『いつ?』が気になってきますよね。

「Yo さん、あなた、マイクが好きなんですよ」「(うっ)」「あなたは、きつと、アナウンサーになりたい! と作文に書いたクチでしょう」「僕は、商売柄、毎日マイクに向かう女の子を眺めて暮らしていますがね、Yo さんみたいに、ウレシソーにしゃべる人も珍しい」「そうそう、僕もそう思ったね」と、S氏。「よしっ、決まった。その晩には、Yo さんを専属アナウンサーとして雇ってあげよう」「わあい!」……ん?

「……正午をお知らせします……皆さん、Bug も明け方には退治されて、すがすがしい朝をお迎えのことと思います。さて、『マイコンストへ愛をこめて』の時間がやってまいりました……昨日、『夜のゲームプラザ』でお送りいたしましたゲームプログラム『プログラミングなんて大っ嫌いだ』に、放送終了後 Bug が発見されました。メモの御用意をお願いします。では、2060行、頭の&Hが……」今日も、鷹野陽子アナは、お茶の間を元気にお騒がせしております……

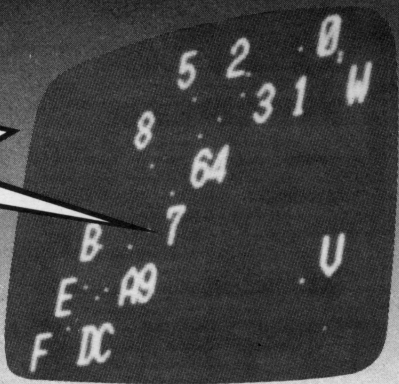
進級を賭けた大博打……じゃなかった、後期の試験にYo がかまけているうちに、無断でモデルにされてしまいました(2E参照)。やい! 肖像権料よこせ! /♡このバロ版には3通りのYo のイラストがあります。これから「ほんとのYo」を想像してイラストを送ってください。1名の方に、「Yo のけそうぶみテープ版」をさしあげます。Y.鷹野

ガッツに

C.G. CONNECTION GRAPHICS

根性!

にね



突然の登場で驚いたことでしょうが、Ah SKII 愛読者の皆さんこんにちは。タコポリの佐藤 塩です。今回はAh SKII 誌の御好意、いえ、殴る蹴るの大騒ぎの末勝ち取った貴重な誌面でハイテクなAV時代にマッチしたすばらしいRGBグラフィックス・プログラムをお届けします。最近のタコポリ本誌のこのコーナーへの投稿作品は非常に質が向上してきており、編集者一同全く驚き呆れる

ものばかりです。表示方法も既存のBASICなどに頼らず、光速ライインターポチャージャーだのハイパータイルペイントだの何やら訳のわからん名称のマシン語を駆使したものへと移行しており、実に頼もしい限りです。ここに御紹介するものも、たいへん極まったグラフィックで、しかも一本のプログラムで4画面も楽しめ、その後さらにオタノシミ♡が待っているというスグレものです。

びあばのらま館ふう 4段重ねRGB分解 グラフィック (PC-9801・他)

この作品はとにかく表示方法が凝っている。なんてたって、絵が完成するのがモニタ上じゃないんだ。何とキミの持っている紙の上に、見てオドロキのすごいグラフィックスが描けちゃうんだ。周辺装置は、鉛筆と薄い紙(トレーシングペーパーが良い)が数枚。あとは12色以上の色鉛筆セットとセロハンテープがあればよい。さらに仕上げ用に上質の画用紙があれば完璧だ。これだけそろえたらさっそくプログラムを打ち込もう。

RUNさせると、アッと驚くような絵が現れる! 後は何かキーを押すごとに違った絵が表示されるんだけど、この絵は全部で4画面も用意したんで充分楽しんでもらえると思うよ。そして、リストを打ち込んでる最中で気づかなかった賢いキミたちでも、ここに至って何をすればいいのかを悟ることと思う。

ここでは、特にメジャーな機種用の変更点を載せておくので、より多くの人たちに楽しんでもらえると思うよ。

それじゃあ、みんながんばってね。

PC-9801/PC-8801用 びあばのらま館ふう4段重ねRGB分解グラフィック プログラムリスト

■このプログラムは、あなたが個人として利用するほかは著作権法上、著作者に無断では使用できません。
COPYRIGHT ©1984 by ASCII

```
1000 CONSOLE 0,25,0,1:SCREEN 0,0:COLOR ,0:WIDTH 80,25:FOR K=1 TO 4:CLS 3:1010 READ XS,
YS:IF YS="e" THEN 1030 ELSE IF XS="w" THEN GOSUB 1310:GOTO 1010:PSET (VAL(XS),VAL
(YS)),7:GOSUB 1300:GOTO 1010:1030 GOSUB 1320:LOCATE 0,0:AS=INPUTS(1):NEXT:END:1040 DAT
A *.*,81,0,178,11,0,110,7,219,15,0,142,15,202,18,2,199,33,198,24,3,251,54,206,30,6,214
,70,205,27,8,194,78,196,23,9,181,86,193,22,11,150,83,216,18,9,149:1050 DATA 102,199,17
,12,151,125,217,18,16,182,117,166,23,14,223,136,220,28,16,257,151,182,32,19,231,161,21
4,28,19,166,179,192,20,21,95,199,218,11,23,*,*,20,60:1060 DATA 191,6,7,59,65,194,6,8,7
,64,200,1,8,5,95,197,1,11,6,118,215,1,14,7,135,209,1,17,60,135,179,8,16,60,144,201,8,1
8,112,135,181,14,17,111,111,184,12,13:1070 DATA 109,73,212,13,8,66,62,207,9,7,61,60,18
5,7,6,*,*,e,4,2,5,10:FILL IN,5,11,WITH RED,53,17,*,*,and also,55,18,FILL IN WITH RED,*,*,30
5,63,48,37,7,287,61,49,36:1080 DATA 8,265,63,50,32,7,264,66,51,34,8,255,69,52,32,9,241
,65,53,29,7,247,71,54,31,9,239,79,55,30,10,226,74,56,27,8,231,84,57,29,11,223,86,65,28
,11,208,85,66:1090 DATA 25,10,215,92,67,27,12,211,93,68,26,12,204,91,69,24,11,199,97,7
0,23,12,198,105,71,25,13,203,113,72,24,14,213,115,73,27,14,207,125,74,25,16,223,120,75
:1100 DATA 28,14,230,125,76,29,14,224,130,77,27,16,239,127,78,31,15,242,134,79,29,16,2
40,138,80,29,17,253,132,81,31,17,263,133,82,33,16,266,140,83,33,18,300,144:1110 DATA 8
4,38,18,305,127,85,37,15,304,95,86,39,11,305,64,87,39,8,*,*,0,37,88,1,4,32,50,89,4,5,6
0,60,90,7,6,59,65,97,6,8,7,64,98,1,7,5,95,99,1,12,6,118,100,1:1120 DATA 14,7,135,101,1
,16,60,135,102,8,16,60,144,103,8,18,16,154,104,2,18,0,160,105,0,19,*,*,e,1,4,45,5,FILL I
N WITH GREEN,*,*,639,20,48,78,2,575,8,49,72,0,490:1130 DATA 1,50,62,0,398,3,51,51,0,31
8,6,52,40,1,237,10,53,29,0,142,16,54,18,2,199,33,55,25,3,235,46,56,28,5,295,37,57,37,3
,344,35,97,43,3,366,30,98,46,3,398,24:1140 DATA 99,50,2,424,27,100,53,2,446,39,101,56,
4,456,55,102,56,6,455,64,103,57,8,440,84,104,54,9,423,91,105,53,11,405,94,106,51,11,40
7,103,107,52,12,399,111:1150 DATA 108,48,13,422,114,109,53,14,447,127,110,57,15,455,14
3,111,58,17,454,159,112,55,19,439,173,113,56,21,415,180,114,51,21,383,181,115,48,21,35
0,175,116:1160 DATA 44,22,303,173,117,38,21,271,170,118,35,20,234,161,119,28,19,163,117
9,120,19,22,237,184,121,30,22,301,189,122,38,23,336,192,177,42,23,384,194,178,47,23:117
70 DATA 415,197,179,52,23,540,198,180,68,23,613,197,181,75,24,339,179,182,78,23,*,*,30
5,63,183,37,7,287,61,184,36,8,265,63,185,32,7,264,66,186,34,8,255,69:1180 DATA 187,32
9,241,65,188,29,7,247,71,189,31,9,239,79,190,30,10,226,74,191,27,8,231,84,192,24,12,204,91,12
7,24,11,199,97,198,23,12,198,105,199,25,13,203,113,200,24,14,213,115,201,27,14,207,125
,202,25,16,223,120,203,27,15,230,125,204,29:1200 DATA 15,224,133,205,27,16,239,127,206
,31,15,242,134,207,29,16,240,138,208,29,17,253,132,209,31,17,263,133,210,34,16,266,140
,211,33,18,300,144,212,38,18:1210 DATA 305,127,213,37,15,304,95,214,39,11,305,64,215,39
,8,*,*,e,1,1,6,7,FILL IN WITH BLUE,*,*,567,33,177,71,3,520,30,182,65,4,480,34,187,60,3,4
47,40,192,56,5:1220 DATA *,*,567,64,197,71,7,518,60,202,65,7,479,62,207,59,8,456,65,21
2,56,7,*,*,566,85,215,71,10,542,83,220,68,9,495,83,178,62,10,462,85,183,58,10,441,86,1
88:1230 DATA 54,10,*,*,568,99,193,72,12,544,98,198,67,12,478,102,203,60,12,417,103,208
,52,13,*,*,455,122,216,56,14,480,125,179,60,16,511,121,184,64,14,566,120,189:1240 DATA
71,14,*,*,463,143,194,58,18,479,145,199,60,18,527,144,204,66,17,561,143,209,70,18,*,*,
440,178,213,53,21,463,181,217,58,23,511,186,180,63,22,551,185:1250 DATA 185,69,22,587
,180,190,74,22,*,*,461,161,195,57,19,479,165,200,59,21,511,167,205,64,21,562,161,210,7
1,20,*,*,344,35,218,43,3,331,50,181,42,6,335,71:1260 DATA 186,41,9,351,87,191,43,11,40
2,95,196,51,11,*,*,401,110,201,49,13,382,111,206,46,13,360,119,211,45,15,344,131,214,4
1,16,335,148,219,40,18,337,160,166:1270 DATA 41,20,350,175,221,44,22,*,*,389,56,65,48
,6,401,58,66,51,7,399,69,67,50,9,383,71,68,47,9,*,*,383,136,69,47,16,400,139,70,16,63
99,149,71,50,18,391:1280 DATA 152,72,49,19,*,*,251,54,73,30,6,265,63,74,33,8,*,*,181,8
6,75,23,10,204,91,76,26,11,*,*,204,112,77,26,13,182,117,78,22,15,*,*,266,140,79,34,16
,257,151:1290 DATA 80,31,19,*,*,150,83,81,18,9,109,73,82,13,8,*,*,151,125,83,19,14,112
,135,84,14,17,*,*,e,1,6,6,3,THESE ARE OTHER DATA:1300 READ XC,LX,LY:LOCATE LX,LY:PRINT CH
RS(XC):RETURN:1310 READ XS,YS:PSET(VAL(XS),VAL(YS)),7:COLOR 5:GOSUB 1300:COLOR 7:RETU
RN:1320 READ TI,CL:COLOR CL:FOR L=1 TO TI:READ LX,LY,MS:LOCATE LX,LY:PRINT MS::NEXT:CO
LOR 7:RETURN
```

FM-7/FM-8用 変更点

```
1000 WIDTH 80,25:FOR K=1 TO 4:CLS:1020 PSET (VAL(XS),VAL(YS)),7:GOSUB 1300:GOTO 1010:1
310 READ XS,YS:PSET(VAL(XS),VAL(YS)),7:COLOR 5:GOSUB 1300:COLOR 7:RETURN
```

X1/X1C/X1D用 変更点

```
1000 CONSOLE 0,25:SCREEN 0,0:COLOR ,0:WIDTH 80:FOR K=1 TO 4:CLS 4:1020 PSET (VAL(XS),V
AL(YS)),7:GOSUB 1300:GOTO 1010:1310 READ XS,YS:PSET(VAL(XS),VAL(YS)),7:COLOR 5:GOSUB 1
300:COLOR 7:RETURN
```

「ガッツにC.G.…」いかがでした? 出来た絵を前にして思わず力が抜けた事と思います。みなさん、死なないでください。まあ、本物は…こんなもんなんですね/丸々1ページを埋める為の全作業を振り返り一言。私の本職は一体何だったんだろう? ♡出来た絵を清書して送ってくれた人にRGB対応の特選色鉛筆セット(限定1部)をあげます。N.大嶋



ユニックロス

プログラム 榎 正憲

解説 砂原 秀樹

FM-8/7移植(テープのみ) 倉沢 良一

ここまで読んでくれた読者の皆様、御苦勞様でした！ 付録のパロディー版 ASCII「年刊 Ah SKI!」いかがでしたか？（何、読んでない？あのねえ……）さて、これからが、本誌の本当の内容ですよ！！

uni+ってなあに？

今のマイコンでは、プログラム開発用のツールと言えるものは、スクリーン・エディタぐらいのもので、しかも必要と思われる機能がそろっているものは少ない。例えば、あるプログラムの中から任意の文字列を捜すでしょう。君はいつもどうしているかな？ LIST を出して目で捜していないかな？ こんな作業は計算機にやらせるのが本当だよね。

またオペレーティング・システム（OS）といったものもあるけども、現存のシステムに満足しているユーザはどれだけいるだろう？ 例えば、君が新たに BASIC で作ったコマンドがあるとしよう。これを使う為に、一々 BASIC を起動してから使っているだろう。これも、OS のコマンドとして使いたいと思わないかな？

さらに悪いことにソースを公開している OS は皆無で、改良をしようにも、逆アセンブルして解析しなければならないから、手間とかなりの能力が必要となって来るよね。

そこで、これらの問題点をすべて解決している、あの uni+ を紹介しようというわけだ。しかも、そのソースまで公開してしまおうと言うのだから、すごいと思わないか？

uni+ はいわゆる OS の部類に属すんだけど、ここにその特徴をまとめておこう。

- (1) 階層的なファイルシステムのサポート
- (2) ユーザーインターフェイスの良いコマンドインタプリタ（シェル）
- (3) 豊富なコマンド群
- (4) 高級言語（BASIC）による実装 etc……

詳しくは後で述べるけれども、簡単に説明しておくと、(1) はプログラム等のファイルを効率的に管理する為に有効になってくる。また (2) (3) で、プログラムの開発環境は格段に良くなるはずだ。更に、(4) によって uni+ の移植性はかなり高いものとなっている。これだけでもすごいのに、更に高級言語（BASIC）で新しくコマンドを作ることも可能だ。この uni+ の拡張性の高さも見逃すことは出来ない。

uni+ はハッカー達によって作られただけに、その使いやすさに慣れるともう離れられなくなるだろう。

ファイル・システム (階層的なディレクトリ構造)

uni+ のファイル・システムの特徴は、なんと言っても、それが階層構造になっていることだ。uni+ のファイル・システムでは普通のファイル（プログラム等の入ったファイル）、ディレクトリ（ファイルの名前とファイルの実体とを結び付け、管理するもの）を統一的に扱っている。図 1 を見てほしい、まずファイル・システム内での起点となるディレクトリが、図の一番上にある root ディレクトリである。ここをスタートしていくつかのディレクトリを通っていくと、目的のファイルにたどり着けるようになっていく。例えば、ファ

イル error をアクセスしようとすると、root から usr0, toshi, error の様にたどって目的のファイルをアクセスできるわけだ。

すべてのディレクトリの下には自由にファイル、ディレクトリを作ることができる。ディレクトリはどうやって使うのか？なんて思った人は手を挙げて！

では、ワザを教えてあげよう。いままでの OS を使っていて、フロッピーの中のファイルをもっと整理したいと思ったことはないかな？ これに階層的ディレクトリを利用するのだ。例えば、ゲームのプログラムは games というディレクトリに、デバッグ用のプログラムは tools というディレクトリに、という具合にファイルの整理に役立つんだ。そうして、ゲームをする時は games のディレクトリに行き、プログラムのデバッグをする時は tools に行き……という具合にディレクトリの中を動き廻りながら使うことになる。

さてここまでで、ディレクトリとは何かわかっただろう。ではもう少しむづかしい話。目的のファイルは実際にはどうやってアクセスするのだろうか？

また図 1 に戻ろう、今 error というファイルをアクセスすることを考える。さっき話した様に、起点となるのは root ディレクトリである。error ファイルは root ディレクトリから usr0, toshi, error とアクセスしていけばよいことはさっき書いたね。そこでこれらを“/”で区切って

root /usr0 /toshi /error

と書くのだけれど、最初の root を一々書くのは面倒なので

一枚の葉書が不幸の始まりだった。まさかこんなどろ沼に引きずりこまれるとは思わなかった。頭の中をリダイレクションとディレクトリが駆け巡る／こんな時に安らぎを与えてくれる女性がいたら……／心僕からのプレゼント、僕の車の助手席指定券。但し、可愛い女の子に限り（可愛い女の子であることを証明できる物を添付のこと）L.砂原

usr0/toshi/error

と書くようになっていて、これは、ファイルの位置を絶対番地でアクセスする方法であり、このように長いファイルの名前をフル・パス・ネームという。

ところで、一々ファイルをアクセスするのにこんなに長い名前を書くのは面倒だね。そこで、カレント・ワーキング・ディレクトリ (cwd) という考え方が出て来る。cwdとはユーザがいかにディレクトリを歩き回っているように、今いるディレクトリを cwd とし、そこからの相対番地でファイルをアクセスする方法だ。例えば、今 cwd を

usr0/toshi

とすると、error ファイルは

error

と書くだけでアクセスできる。また、あるディレクトリの一つ上のディレクトリは“..”(ピリオド2つ)で表わされるので、図1の prog.cmd ファイルをアクセスするには、

../prog.cmd

でアクセスできることになる。

以上がファイル・システムの概要だが、階層的なディレクトリ構造をサポートしていることで、uni+では整然としたファイルの管理ができる様になっている。

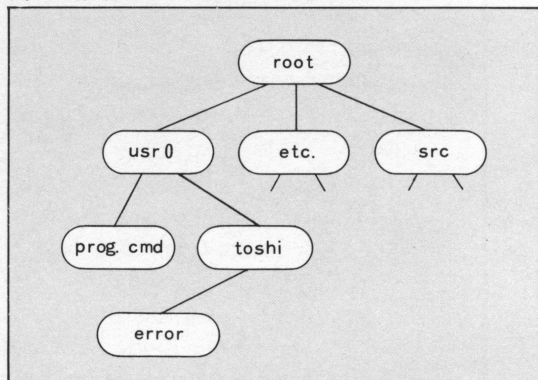
コマンド・インタプリタ (シェル)

uni+が優れているといわれる最も大きな理由は、このコマンド・インタプリタ(シェル)が優れている為なんだ。このシェルがuni+とユーザの間を取り持っているのだけれど、この主な機能をまとめると次のようになる。

- (1) コマンドの入出力の切り換え
- (2) コマンドの連続実行
- (3) ワイルド・カードのサポート

これから、このシェルについての説明をするわけだけれども、その前についてここでシステムの立ち上げ方を簡単に話しておこう。

図1 階層的なディレクトリ構造



●システムの立ち上げ

最初に断っておくけど、一応これから書くことは、PC9801系 (E,F 等) を中心に話をすめることにする。

この uni+ を使う為には、最低限 2 ドライブ必要で、そのうち 1 台がシステム・ドライブになる (システム・ドライブは一番大きいドライブ番号を持つものにしておくことが望ましい)。システムにより管理されるのは、システム・ドライブより小さいドライブ番号を持つもので、ワーク・ドライブと呼ばれる。そして、その上にもみ階層的なディレクトリ構造を持ったファイル・システムを構築できる (例えば、2 ドライブのシステムではドライブ 1 がワーク・ドライブ、ドライブ 2 がシステム・ドライブになる)。システム・ドライブ上には、管理用ファイル、コマンド・ファイル、システム本体を記憶しているディスクを、ワーク・ドライブ上には、ワーク・ディスクをセットする (ワーク・ドライブが複数ある時に、例えば今使っているワーク・ドライブが 1 でドライブ 2 のファイルが見たいとすると、“2:ファイル名”で見ることが出来る)。基本的にはシステム・ディスクはユーザから見えないけれども、“sys:”をファイル名の前に付けることで一部のコマンドでは参照できる。

さてシステム起動だけど、ここでは uni+ をどうやって起動するかについてだけ説明しておく (システム・ディスクをどうやって作るかという話についてはあとで詳しく書く)。まず DISK-BASIC を起動する。

How many files (0-15) ?

には、5 以上で答えてほしい。それからシステム・ディスクから login.cmd をロードして実行しよう。計算機は、

(PC-9801) login :

と聞いてくるから、君の名前を答えておこう return を打つと、今度は、

Password :

uni+システム・プログラミング

BASIC で君自身のコマンドを作ることができるようにする。ここで、それについてほんのちょっとだけヒントを書いておこう。本格的にやるためには、システムのソースをよく読むことが必要だよ。

まず、君が作るコマンドは行番号 30000 から始まるようにする。そしてルーチンの終わりは“END”ではなく必ず“RETURN”にすること。そうしないとシェルに戻らなくなるよ。それから、プログラムは必ず 65000 行で終わる様にしよう (FM-7/8 なら 63999)。注釈文でもいいから絶対にそうしてくれ！ 最後に、プログラムのファイル名は“cmd”で終わるもの、例えば“prog.cmd”にして、アスキーセーブをすること。そうすれば、“prog”というコマンドができあがる。あとは、システムがどんなサブルーチンを持っているのかを解析しよう。それをうまく使えば、君のコマンドができあがる。つまり、標準入出力をサポートしたければ、システムが持っている“getln”や“putln”といったサブルーチンを使えばいい。これらの使い方は、コマンドのソースを参考にして勉強してくれ。

最後に BASIC でコマンドを作る時の注意。原則として、システムが使っている変数は使わないようにすること。但し、システムを持つサブルーチンを使う時に引数用の変数を使うことがあるが、これは例外。だから、一度システムの変数リストを作っておくといいたい。また君が作るコマンドのプログラムもサブルーチンだということを頭に入れてプログラミングしたほうがいいだろう。

と合い言葉を聞いてくるので、大声で叫びながらパスワードを打っておこう。return を打つと、うまくいけば uni+ が起動し始める。とうとう最後の難関だ。

system drive ?

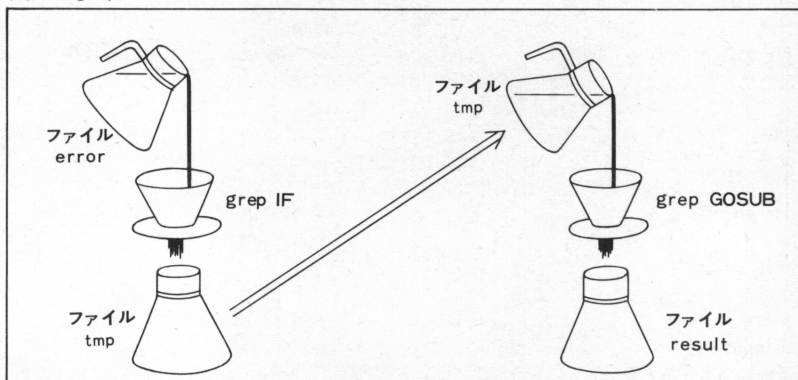
と聞いてくるので、君がシステム・ディスクを入れたドライブ番号を答えてあげよう。

これでやっと uni+ のシステムが起動したわけだ。ここまでたどりつけたかな？ うまくいったならシステムが…… (メッセージ) ……

1 : \$

と表示して止まるだろう。こうなればめでたしめでたしとなる。

図2 grep のワザ



VAX で BASIC の TEXT を EDIT していたら他の部署の人間から白い目で見られた。僕の Priority が下げられているような気がしたのは何だったのだろうか。きっとその為に FM 版の UNI+ はあんなスピードになってしまったのだ、ということにしておこう。♡僕が ASCII に来て初めて作った 68K ボード差し上げます。但しその回路図をおこせる方 (半田付だよ) R. 倉沢

●シェルとのお話の仕方

システムが立ち上がると、

```
1: $ █
```

と表示されるが、これがシェルのプロンプトと言われるものだ。最初の数字はいまアクセスしているワーク・ドライブの番号だ。このプロンプトが出ているときは、『シェルが今は仕事をしていないので暇だから、お仕事待ってます』ということの意味しているのだ。だからここで自由にコマンドを打つといい。

さてこれからまた少し難しい話になるけど、できるだけ簡単に話すから逃げないでね。

uni+の各コマンドは標準入力と標準出力というものを持っていて、標準入力から入力データを受けて、結果を標準出力に吐き出すように作られている。普段は標準入力と標準出力にはそれぞれキーボードとディスプレイが割り当てられている。だから普通にコマンドを使うと、入力データをキーボードから読み取って結果をCRTディスプレイに表示することになる(ちなみに、キーボードからの入力の終了は、BASICのinput文の様なreturnキーではない。なぜかという、標準入力から入力するときには普通は何行も続けて入れたいと思うよね。だからキーボードからの入力のおしまりは、ctrl-Zになっている)。

ところで、これだけではなんにもすごくないよね! ところが、この入出力は切り換えることができるんだ。例えば、今あるコマンド(ls)の出力を取っておきたかったとしよう。コマンドのプログラムはいつも標準出力に出力する様に作ってあるので、その標準出力につながっていたCRTディスプレイを切り離して、ファイルresultにつなぎ変えることができればすごいよね。実はこれができることがuni+のシェルの強力なところなんだ。これをするにはシェルがプロンプトを表示してコマンド待ち状態になっているところで、

```
ls > result
```

とするだけで、ファイルresultにlsの結果が入る。このような機能を、リダイレクションというんだ。もう少し詳しく説明しよう。もしファイルresultが存在していない時は、ファイルresultが新しく作られて、そこにlsの結果がはいり、resultがあれば、その内容はlsの結果で置き換えられることになる。これは標準出力だけでなく、標準入力にも使えることになっている。まとめてみよう。

```
< file A: 標準入力をfile Aに切り換える。コマンドへの入力はfile Aの内容になる。
```

```
> file A: 標準出力をfile Aに切り換える。この時、file Aが存在する時は、そのファイルはなくなって、新しく作られる。
```

```
>> file A: 標準出力をfile Aに切り換え、file Aの内容にコマンドの結果を追加する。但し、file Aが存在しないとエラーになる。
```

さらに連続してコマンド実行するというワザもある。連続ワザはコマンドを” ; ”で区切ることです。つまり

```
date : time
```

とすることで、“date”と“time”の二つのコマンドを続けて実行することができる。これとさっきのリダイレクションをうまく使うと、もっとすごい大ワザを使える。例えば“grep”はある文字列の存在する行を出力するコマンドだけれども、今ファイルerrorの中から、IFとGOSUBという文字列両方がある行をファイルresultにとるとすると、

```
grep IF < error > tmp ; grep GOSUB < tmp > result
```

というふうに、まず“grep IF”でファイルerrorを標準入力から読み込んで、その中のIFという文字列がある行を標準出力からファイルtmpに出力しておく。続いて“grep

に、各行の最初に行番号と’(シングルクォート)をくっつけるコマンド。

```
▷ rmnum
```

今の“setnum”で付けた行番号等の部分を削除するコマンド。

```
▷ xref
```

BASICのプログラム・ファイルの変数等のクロス・リファレンスをとるコマンド。

```
▷ ed
```

行番号の無いファイルでも編集できるエディタ(これは大変かな)。

まだまだ考えるとたくさん出てくるが、あとは君達の類稀な能力と創造性に期待しておこう。「こんなコマンドを作った」なんて連絡を待っているよ!

あると便利なコマンド達

ここで公開しているuni+のソースはOS本体と最低限必要はコマンドだけなんだ。だからこれだけで充分とはいえない。けれども、コマンドはBASICで作ることができるのだから自分でつくって見てはどうだろうか? これからいくつか“こういうのがあると便利だよ”というコマンドの例をあげておこう。

```
▷ diff
```

2つのファイルのちがっている部分を出力するコマンド。

```
▷ setnum
```

行番号の無いファイルを“vi”で編集できるように。

ア・スキーのレイアウトをしている最中は、青山一丁目と五丁目をバイクで飛び回っています。あるときふまじめデザイナー、はまた編集お邪魔虫、しかしてその実態は、もうオジサンだよ。♡という訳で、UNI+のタイトル部分をステッカーにして差し上げます。一回りも年の違うSTUFFとじゃれていられる!。深井です。

今、何故、uni+なのか?

ここで、どうしてuni+がこうもはやるのかを考えてみたい。

階層的ディレクトリ構造、シェルによる効率のよいユーザー・インターフェイス、リダイレクション機能など色々考えられるが、要するに今あるディスク・オペレーティング・システムの中には、自分の使い勝手のいいようにシステムを自由に変更できるものが少ないことが大きな要因になっていると考えられる。

uni+ではシステムすべてがBASICで記述されていること、さらにソースの公開と、ユーザの自由度は高い。

ここで、uni+を開発しさらに今回のソース公開に踏み切ったAhSKI!研究所I氏にその辺のところを語ってもらった。

『なんといってもですね、我々の作ったシステムを使ってもらいたかったのですよ。この使いやすさを一人じめにしておかなくて、それにですね、ソースを公開したのは、このシステムを拡張するのにハッカーの力というのを使ってみようということなんです。我々も開発を続けますが、公開することでその速度は格段に速くなるはずですよ。』
ということは、君達にuni+の未来がかかっているわけだ。

GOSUB”でtmpを標準入力から読み込んで、その中からGOSUBのある行を抜き出して、標準出力を通してファイルresultに出力してやるといいわけだ(図2参照)。

これでシェルの大体の機能は説明したわけだけれども、このほかに便利な機能として特殊キャラクタというのが使用できる。これは以下の様なものがある。

¥¥ : ¥そのもの

¥スペース : スペース(¥のあとにスペースが必要)

¥アルファベット : コントロール・キャラクタ

* : 任意の文字列にマッチする

? : 任意の1文字にマッチする

これらのうち*と?はワイルド・カード・キャラクタといい、ファイル名に対してのみ用いる。例えば、今いるディレクトリに

```
prog.cmd head.cmd data1 data2 tmp
```

の5つのファイルがあるとしよう。ここで

```
*.cmd
```

とすると、これは

```
prog.cmd head.cmd
```

を指定されたと解釈される。またdata?

とすると、これは

```
data1 data2
```

を指定されたと解釈される。それから、

```
grep ¥ OPEN < prog.cmd
```

とすると、ファイルprog.cmdの中から、スペースがあつてその後にOPENという文字列がある行を表示することになる。

さて最後だが、シェルがコマンド入力待ち状態になっているところで

test

とすると、今いるディレクトリに test.cmd というファイルがあればそれを実行し、なければシステム・ディスクを捜しに行く。つまり、システム・ディスクにあるコマンドはいつでも使えるけれど、ワーク・ディスクの各ディレクトリにあるコマンドはそのディレクトリにいる時しか使えないことになる。

あつ、それからもう一つ、シェルがコマンド入力待ち状態になっているところで

!!

とやると、一つ前にやったコマンドをもう一度実行してくれる。

以上がシェルの説明だけど、わかってもらえたかな? まあ、使ってみることですよ!

コマンドの使い方 (uni+user's manual)

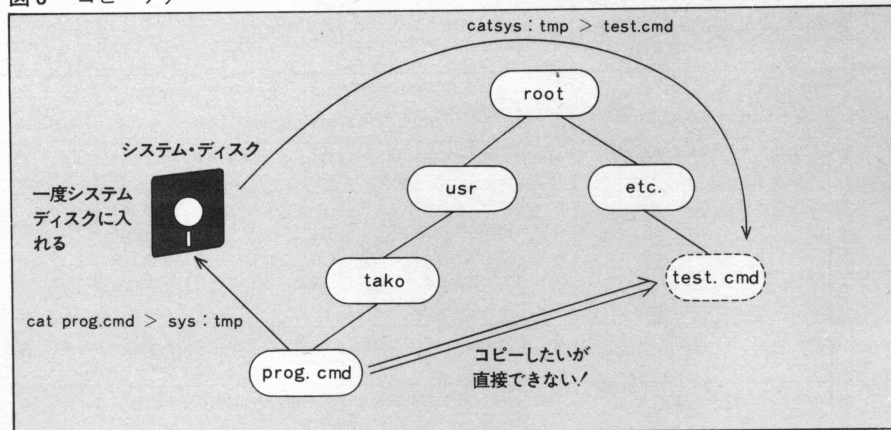
これからコマンドの話をするんだけど、システムが持っているコマンドは大きく分けて2種類あって、ビルトイン・コマンドと外部コマンドと呼ばれている。ビルトイン・コマンドはシステムの中に組み込まれており、外部コマンドは、実行する時にロードしてきて使うコマンドで、行番号30000~65000の部分にロードされる。つまり、行番号30000で始まって65000で終わるプログラムを作っておけば、君独自のコマンドが実行できるようになる(もう少し詳しいことはあとで話す)。それら、コマンドの後ろから ; < > >> などの文字、または改行の前までの文字列の並びのことをアークギュメントというので覚えておこう。各コマンドの説明は表1、2にまとめておいたので、それを見てほしい。

表中の[option]というのは、付けなくてもよいが、機能説明のところにあるようなものを付けると(たとえば echo ならば "-n") 特別注文の機能が付くというものだ。また、標準入力・標準出力が使えるものはリダイレクションが使えるよ。——まあ、さっきも書いたけれど、まずは使ってみることだよ。

その他 (ワザと注意事項)

どうだったかな、これまでで uni+ の大体の説明はおしまいなんだけれど、ちょっと注意事項がある。本当はコマンドのファイル名にはフル・パス・ネームとか “. / etc” とかでも指定できるようにしたかったのだけれども、システムがものすごく大きくなるので、ここでは “cd” 以外のコマンドではそのディ

図3 コピーワザ



レクトリにあるファイルしか指定できません(これは、本人の名誉の為に言いますが、製作者の怠慢ではないことだけは信じてください。ただ単にページが足りなかっただけです)。

最後に、uni+のシステムをうまくつかうワザを少しだけ教えてあげよう。

●リダイレクションのうまい使い方

リダイレクションはワーク・ディスクだけでなくシステム・ディスクにも使える。例えば、

```
cat test.cmd > sys:tmp
```

とすることで、今いるディレクトリの test.cmd というファイルと同じ内容のファイルがシステム・ディスクに tmp という名前でできる。つまり、“sys:”とファイル名の前に付けるとシステム・ディスクのファイルを指定することができるわけだ。これをうまく使うと、あるディレクトリから別のディレクトリにファイルをコピーすることもできる。どうするかというと、図3の様に、

```
/usr/tako/prog.cmd
```

というファイルを

/etc/test.cmd

としてコピーしたいとすると、

```
cd /usr/tako
```

```
cat prog.cmd > sys:tmp
```

```
cd /etc
```

```
cat sys:tmp > test.cmd
```

としてやればすぐにできてしまう。

それからもう一つ便利な機能。

```
cat test > lpt:
```

とすると、プリンタ(“もしもあれば”の話だよ。ない人のことは知らない)にファイル test の内容を印刷することができる。

この他にもいくつかのワザがあるけれども応用だから自分で考えて見よう!

おわりに

どうだった? わかったかな? uni+ はなんと言ってもソースが公開されていることが重要なんだ。これをよく読んで、どんどん改造してほしい。君だけのシステムが持てるなんて素晴らしいことじゃないか。

さあ君も今日からハッカーの仲間入りだ!

行番号の無いファイルの作り方、直し方

行番号の無いファイル、つまり BASIC のプログラムで無いファイルは “vi” を使って作ることはできない。これはなぜかわかるよね! でもやっぱり行番号の無いファイルが作りたくなることだってあるはずだ(例えば、コマンド help 用のファイル)。自分でエディタを作る方法もあるけれど、ここでは uni+にあるコマンドだけでできる方法を紹介しよう。

uni+のコマンドは、それ単独ではなんの役にも立ちそうにないものばかりだけれども、これを組み合わせるとかなりのことができる様になっている。まずは、ファイルの作成。

```
cat > hlpmsg
```

とすると、キーボードから打った文字がそのまま “hlpmsg” というファイルに入るの、これでファイルの作成ができることはすぐにわかるだろう。しかし、打ち間違いはどうするか? これに

“head”と“tail”が活躍する。今、“hlpmsg”の15行目に間違いがあったとしよう。まず、

```
wc < hlpmsg
```

として、hlpmsgの全体の行数を数える。これで “hlpmsg” というファイルは全部で30行あったことにしよう。次に

```
head 14 < hlpmsg > tmp1
```

```
tail 15 < hlpmsg > tmp2
```

として、間違った行を除いてその前と後を取り出す。その次に、

```
cat >> tmp1
```

として、15行目を打ち直してから

```
cat tmp1 tmp2 > hlpmsg
```

としてやればよい。

こうして簡単なファイルなら行番号の無いものでもできるということがわかったネ!

この様に uni+のコマンドは組合せて使うことを覚えるとかなり強力になるはずだ!

表1 ビルトイン・コマンド一覧

コマンド名	シンタックス	機能	使用例	
			実例	意味
echo	echo [option] アーギュメント	アーギュメントを標準出力にエコーバックする。[option] のところに"-n"と付けると表示した後、改行しない。	echo good bye echo -n what	"good bye"を標準出力に表示して改行する。 "what"を表示して、改行しない。
ls	ls [option] [ドライブ番号] [ファイル名]	原則として今いるディレクトリにあるファイル名、ディレクトリ名を標準出力にリストアップする。[ドライブ番号]のところに、"2:" (ドライブ2もワーク・ドライブの時) とするとドライブの指定ができる。[option]のところに、"-v"と付けるとファイル1つ1つを改行して縦に表示。"-s"を付けると各ファイルのクラスタ数(大きさ)を表示。但し、"-s"をつけたものはリダイレクションできない。	ls ls -v ls -s 2:	今いるディレクトリのファイル・リストを表示。 ファイル1つ1つを改行して、縦に表示。 ドライブ2のファイル・リストを各ファイルのクラスタ数とともに表示。-sを使った時だけ、システム・ドライブのファイル・リストもとれる。
pwd	pwd [ドライブ番号]	今いるディレクトリのフル・パスネームを標準出力に表示。	pwd > dir	今いるディレクトリのフル・パス・ネームをファイルdirに出力。
mon	mon	BASICの機械語モニタを起動する。使い方は御存じのとおり、但し、リダイレクションはできない。		
time	time [設定値]	現在の時間を標準出力に表示。設定値のある時はその値に設定	time 12:34:56	現在の時刻を12時34分56秒に設定。
date	date [設定値]	今日の日付を標準出力に表示。設定値のある時はその値に設定	date 84/4/1	今日の日付を1984年4月1日に設定。
mv	mv ファイル名1 ファイル名2	ファイル名1のファイルをファイル名2に移してファイル名1のファイルを削除。	mv john mary	ファイルjohnのファイル名をmaryにする。
vi	vi [ファイル名]	ファイル名のファイルを編集する為にフルスクリーン・エディタを起動する。ファイルはBASICのプログラムであること、ファイル名を省略すると、新しいファイルの編集になる。使用法はBASICのエディタとフル・コンパチ。ファイルをセーブ(アスキー・セーブが望ましい)するのを忘れないように! また、シェルへ戻るにはファイルをセーブした後で、 run "2:uni+" とすればよい(但し、システム・ドライブが2の時)。あとは、起動の時と大体同じ。	vi test.cmd vi	ファイルtest.cmdをロードしてフルスクリーン・エディタ・モードになる。 新しいファイルの編集のため、"new"をしてからフルスクリーン・エディタ・モードになる。
bc	bc	汎用計算プログラム。使い方は考えよう。シェルへの復帰はviと同様にするか、変なことをしなければ"cont"でもよい。	bc ? 1+12 cont	1+12を計算してからシェルへ復帰。
df	df [ドライブ番号]	ディスクのフリースペースを調べる。出力は標準出力。	df > free	ファイルfreeにディスク・スペースの状態を出力。
rm	rm [option] ファイル名……	ファイルを削除する。[option]のところに"-i"を付けると1つずつ確認を取りながら、ファイルの削除を実行。"-d"を付けるとライトプロテクトをはずして削除する。ディレクトリもこれで削除できるが、ディレクトリの下には".dot.dir"と".dotdot.dir"以外のファイル、ディレクトリはないようにしておく。さもないと、ディスクの中にゴミができる。	rm top down rm -i *.bak rm -d src.dir	ファイルtopとdownを削除。 bakというエクステンションを持つファイルを、1つずつ確認をとりながら削除する。 ディレクトリsrcを削除。
n:	n: (nは移りたいドライブの番号)	ワーク・ドライブの変更。ワーク・ドライブが2以上ある時に有効。	2:	ワーク・ドライブをドライブ2にする。(但し、ドライブ2もワーク・ドライブであること)

最新作登場!

AhSKI! VIDEO PRODUCTION PRESENTS
メイキング オフ アスキー
MAKING OF THE AhSKI!-DOCUMENTALY

AhSKI! VIDEO PRODUCTION

今、興奮の VIDEO CASSETTE テープ話題作! 好評発売中!

『Making of AhSKI! vol. IV』
日本初のコンピュータパロディ雑誌「ア・スキー」が作られる過程を描いた問題作が遂に登場しました。悪夢の企画打ち合わせ、狂喜乱舞の合宿、鎌倉に消えた某TV局取材班の謎、ガウオーゲーム製作過程、根性ドラマ「まなみのスチュワーデス物語」など、未公開フィルムで綴る半年間に渡る驚異の追跡ドキュメント。限定発売。

VHS/βともHi-Fi
128分・定価19,800円

Cassette Tapeシリーズ(各巻とも1,800円)

- ☐ コンピュータサウンド1『ゲテモノ』
◇ICのささやき◇8088と8087の喧嘩◇コンピュータの屁の音◇CRTと対話するCPU◇他
- ☐ コンピュータサウンド2
◇アップルIIブート音◇PC-6001の声◇FM-7のエラー音◇レベル3のディスク音◇他
- ☐ プログラマー養成テープ「胎教編」
◇ビル・バッチのタイピング音◇ゲームサウンド集◇コンピュータオーケストラ◇他

コンピュータ・インストルメンタル・
アソシエーション

磁気テープ事業部磁気テープ販売課録音テープ係

コマンド名	シンタックス	機能	使用例	
			実例	意味
cat	cat [ファイル名……]	アーギュメントのファイルすべての内容を標準出力に表示。 アーギュメントがないときは標準入力から入力されたデータを標準出力に出力	cat > out cat fileA fileB > newfile	標準入力（キーボード）からの入力をファイルoutに出力。 fileAとfileBがこの順に結合されてnewfileの中に入る。
kitty	kitty	標準入力から入力された通りに標準出力へ表示。	kitty < prog.cmd	prog.cmdの内容を画面に表示。
more	more [ファイル名……]	アーギュメントのファイルの内容を表示する。但し、ディスプレイに入るように1ページずつ表示し、一時停止する。スペース・キーを押すと次のページへ行き、リターン・キーを押すと1行スクロールする。途中で中止したい時はqのキーを押す。アーギュメントがないときは、標準入力よりデータをとる。	more prog.cmd	ファイルprog.cmdの内容を一画面ずつ表示する。
head	head n (nは任意の数字)	標準入力に入力されたデータの最初のn行を標準出力に表示。	head 10 < result	ファイルresultの最初10行を表示。
tail	tail n (nは任意の数字)	標準入力に入力されたデータの最後のn行を標準出力に表示。	tail 20 < dataAA	ファイルdataAAの最後20行を表示。
upper	upper	標準入力に入力されたデータの小文字を大文字にして標準出力に表示。	upper < data > update	ファイルdata内の小文字を大文字にしてファイルupdateに出力。
lower	lower	標準入力に入力されたデータの大文字を小文字にして標準出力に表示。	lower < resA > lowres	ファイルresA内の大文字を小文字にしてファイルlowresに出力。
wc	wc	標準入力に入力されたデータのバイト数、行数を標準出力に表示する。バイト数、行数の順に表示。	wc < bun	ファイルbunのバイト数、行数を画面に表示。
grep	grep サーチ文字列 [ファイル名…]	ファイル、あるいは標準入力に入力されたデータから、アーギュメントに指定した文字列を探し、見つけた行を標準出力に表示する。但しアーギュメントに指定できる文字列は1つだけ。	grep GOSUB test.cmd	ファイルtest.cmdの中から"GOSUB"という文字列を含む行を探し、画面に表示。
mkdir	mkdir ディレクトリ名	アーギュメントに指定された名前のディレクトリを、今いるディレクトリの下に作成する。	mkdir tako	今いるディレクトリの下にtakoという名前のディレクトリを作成。
cd	cd ディレクトリ名	カレント・ワーキング・ディレクトリの変更	cd /usr0/toshi	カレント・ワーキング・ディレクトリを"/usr0/toshi"にする。
help	help	コマンドの概要説明を英語で表示。	help	システムディスク上にhelp.sysというファイルが必要。
type	type ファイル名	行番号と共にファイルの内容を標準出力に表示。	type gw > gls	ファイルgwの内容に行番号を付け、ファイルglsに出力する。
hd	hd ファイル名…	ファイルの内容を16進数で標準出力に表示。	hd obj	ファイルobjの内容を16進表示する。
login	login	uni+システムを立ち上げる。	login taro.y <パスワード>	ユーザー名taro.yでunitシステムにログインする。パスワードは実際にはエコーバックされない。



UNI+ Installation Guide

これから、uni+を君のシステムで動かす為にするべき作業の手順をお話しよう。ここでも PC9801系を中心に話をすすめることにする。実は FM-8/7版の uni+も作ったんだけど、変更部分が多くなったのと掲載する場所がなかったために、テープ・アスキーにのみ収録することになってしまった。だから FM ユーザーの諸君はテープを買うか、ここに掲載する PC 用を自力で書き換えてほしい。大変かな？ それから、PC8800系にもこのプログラムはそのまま使えるよ。違うのは処理の速さだけだ。

この uni+を使う為には最低限 2 ドライブ必要なことは前に書いた通りだ。最初はシステム・ディスクを作る。その為にまず、プログラムを打ち込まなければならないよね。まずは uni+本体だ。これは長いので根気よく打ち込んでほしい。打ち込み終わったら“uni+”というファイル名でセーブしておこう。それから、uni+の本体のプログラムをアスキー・セーブしておくこと uni+のコマンドでソースを見ることができるので便利だよ。

次は外部コマンドを打ち込むのだけれど、自分に必要なものだけを打ち込んでもまあ使うことはできる(逆に、例えば、“cd.cmd”と“mkdir.cmd”を打ち込まないとディレクトリの管理はできない)。また打ち込む時に面倒だからといって注釈文を省略するのはいいけれど、プログラムが行番号30000から始まる様にしておくこと。それから65000行(FM-8/7では63999)の注釈文は省略してはならない。打ち込み終わったコマンドは、一つ一つ別のファイルにしてアスキー・セーブする。アスキー・セーブしておかないと、外部コマンドの実行はできないよ。もう一つ重要なことは各コマンドのファイル名は必ず

コマンド名.cmd

としておくように！ 更に、help コマンドを使いたい人は help コマンド用のシステムファイル help.sys を打ち込む必要があるが、これは cat 等のコマンドで作る行番号の無いファイルなのでシステムが動いてから作ろう(内容の例はリストのところにしておく)。

その他に“mkroot”と“disktr”のプログラムが必要だ。使い方はあとで書くから、とにかく打ち込んでセーブしておこう。以上でシステム・ディスクはできたことになる。ではシステム・ディスクの内容を確認しよう。システム・ディスクには、以下のファイルが収められているかな？

★ uni+	システム本体
☆ uni+.bak	システム本体(アスキー・セーブ)
★ mkroot	ワーク・ディスクの初期化用
★ disktr	disk.sys を作成
★ cd.cmd	コマンド cd ファイル
★ login.cmd	コマンド login ファイル
☆ *.cmd	その他のコマンド・ファイル

上のファイルのうち★の印がついているファイルは絶対にシステム・ファイルにないといけない。その他のファイルは無くてもよいが、無いと不便だろう。

次にシステム・ディスク上に“disk.sys”というファイルを作らなくてはならない。この作業は uni+システムを作る時に一度だけやればいい。但し、ディスク・ドライブが増えた等君のシステムがバージョン・アップしたら、また実行しなおす必要がある。このファイルはディスク・ドライブなどの管理ファイルで、これを作るプログラムが“disktr”だ。これをロードして実行して見よう。最初に、

system drive number

と聞いてくるので、君のシステム・ドライブ番号を指定する。次に、

max drive number

と聞いてくるので、システムで管理するドライブの台数を入力する。つまりワーク・ドライブの数を入力してやるとよい。最後に、

default drive number

と聞いてくるので、起動時にカレント・ワーク・ドライブとなってほしいドライブの番号を指定しよう(普通は 1, FM-8/7なら 0)。これでシステム・ディスクは完成となる。

次にやらなければならないのが、ワーク・ディスクの初期化だ。さっき書いた様に、ワーク・ディスクは階層化できるけれど、これをやるためにはディスク上にあらかじめ root ディレクトリを作っておかなくてはならない。この為のプログラムが mkroot なんだ。これを実行するとワーク・ディスクには“dot.dir”というファイルが作られるが、これはそのディレクトリ自身(いまここでは、root ディレクトリ)を示すファイルなので消してはならない。またコマンドを使ってディレクトリを作ると、そのディレクトリの中にも

“dot.dir”, “dotdot.dir”

というファイルができるが、これも前者はそのディレクトリ自身、後者はそのディレクトリの一つ上のディレクトリを示す大切なファ

イルなので消してはいけない。

この root ディレクトリは各ワーク・ディスクすべてにつくる必要がある。つまり、ディレクトリの階層化は一つのドライブ内だけで実現できる様になっている。

さあこれでやっとシステム起動の準備ができたわけだ。あとはシェルのところで説明した通りだ。やってみよう。

FM-8/7版の主な相異点

これまでに述べたことのほかにも、FM-8/7版では以下の各点が PC 版と異なっている。特にファイル名については、この通りにしないと動かすこともできないからよく読むことだ。

まず決して忘れてはいけないのが“uni+”の書き換え。掲載したのは FM-7版なので、FM-8では10250行を REM 文にし、10260 行のアポストロフィを取って使ってくれ。

次にデバイス名だが、PC 版にはすでに説明した lpt: と sys: の他に kybd:scrn:com: がある(機能は見当がつくだろう)。これらは FM 版にもあるが、sys: 以外はみな大文字でつづること。それから lpt: と com: は LPT0:COM0: のように 0 が付くから注意しよう。FM 版にはもうひとつデバイスが用意されている。それはカセットで、デバイス名は CAS0: だ。これは PC 版にはないよ。

もうひとつの大きな違いは、上にも書いたようにファイル名の構造にある。FM-8/7はファイル名に 8 文字分しかとれないから、PC 版で使ったエクステンション(.cmd とか.dir など)はすべて頭の一文字(つまり c とか d など)に省略する。更にこの一文字は 8 文字あるファイル名の最後に固定し、間があれば空白を詰めないといけない。ファイル名の中に“.”を入れると uni+からはアクセスできなくなる。理由は自分で調べてくれ。従って、例えばコマンド cd をディスクにセーブする時には“cd.c”とやるとアウトで、正しくは“cd c”とする。cd と c の間には 5 つの空白が入っているよ。まとめると、ファイル名は全体で 8 文字固定、最後の一文字はエクステンション、間があればそこは空白、ピリオドは使わない、となる。

注意しておくけど、これは最初にシステムを立ち上げるとき、FM のディスク・ベシックで各コマンドをディスクにセーブするときだけの約束ごとだ。いったん uni+に入ってしまったら、あとは“cd c”ではなく“cd.c”としてアクセスすればいい。この点がいちばん間違いやすいと思うから、十分気を付けてくれ。

uni+ システムディスク初期化プログラム "dskatr"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```
1000 ' create disk attribute file
1010 PRINT "set system information file"
1020 INPUT "system drive number";SYSNO
1030 *REENT:INPUT "max drive number ( for hierarchy director
y system )";MAX.DRIVE
1040 INPUT "default drive number";DEFAULT.DRIVE
1050 IF DEFAULT.DRIVE>MAX.DRIVE THEN PRINT "?":GOTO *REENT
1060 DIM DSKATR(MAX.DRIVE,4):FOR I=1 TO MAX.DRIVE
1070 MAXTRK=DSKF(I,0)' max track
1080 DSKATR(I,0)=DSKF(I,5)' directory track
1090 ' directory length
1100 IF MAXTRK=76 THEN DSKATR(I,1)=22 ' 8 inch 2D
1110 IF MAXTRK=39 OR MAXTRK=12 THEN DSKATR(I,1)=12 ' 5-1D
1120 IF MAXTRK=79 THEN DSKATR(I,1)=40 ' 5 inch 2DD
1130 ' directory surface
1140 IF MAXTRK=76 THEN DSKATR(I,2)=0 ' 8 inch 2D
1150 IF MAXTRK=34 THEN DSKATR(I,2)=0 ' 5 inch 1D
1160 IF MAXTRK=39 THEN DSKATR(I,2)=1 ' 5 inch 2D FDD
1170 IF MAXTRK=79 THEN DSKATR(I,2)=0 ' 5 inch 2DD
1180 ' FAT
1190 DSKATR(I,3)=DSKF(I,7) ' FAT start sector
1200 DSKATR(I,4)=DSKF(I,8)-DSKF(I,7)+1/DSKF(I,9) ' FAT len
1210 NEXT
1220 ' create attribute file
1230 OPEN RIGHT$(STR$(SYSNO),1)+":disk.sys" FOR OUTPUT AS #2
1240 PRINT #2,SYSNO:PRINT #2,MAX.DRIVE:PRINT #2,DEFAULT.DRIV
E
1250 FOR I=1 TO MAX.DRIVE
1260 PRINT #2,DSKATR(I,0),DSKATR(I,1),DSKATR(I,2),DSKATR(I
,3),DSKATR(I,4)
1270 NEXT:END
```

uni+ ルートディレクトリ作成プログラム "mkroot"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```
1000 ' create root dot directory
1010 DEFINT A-Z : DEF FNFILE$(X$)=RIGHT$(STR$(DRNO),1)+":"+L
EFT$(X$," ")+EXT$: TRUE=-1 : FALSE=NOT TRUE
1020 FIELD #0,128 AS FB00$,128 AS FB01$
1030 FIELD #1,128 AS FB10$,128 AS FB11$
1040 FIELD #2,128 AS FB20$,128 AS FB21$
1050 FIELD #3,128 AS FB30$,128 AS FB31$
1060 FIELD #3,6 AS FB3.DIR$,2 AS FB3.LVL$,32 AS FB3.PATH$
1070 ' read disk attribute file
1080 DIM DIR$(95,1),FILE$(15)
1090 INPUT "System drive number";SYSNO
1100 INPUT "Drive No.";DRIVE
1110 OPEN RIGHT$(STR$(SYSNO),1)+":disk.sys" FOR INPUT AS #1
1120 INPUT #1,SYSTEM.DRIVE : INPUT #1,MAX.DRIVE
1130 INPUT #1,DEFAULT.DRIVE : DIM DSKATR(MAX.DRIVE,4)
1140 FOR I=1 TO MAX.DRIVE
1150 FOR J=0 TO 4 : INPUT #1,DSKATR(I,J) : NEXT
1160 NEXT : CLOSE #1
1170 ' =====
1180 PRINT "This command destroy all file !"
1190 ANSWER$="" : INPUT "Sure ( y or n )";ANSWER$
1200 IF ANSWER$<>"y" THEN END
1210 IF DRIVE >MAX.DRIVE THEN PRINT "Incorrect !" : RUN
1220 FOR I=0 TO DSKATR(DRIVE,1)
1230 DIR$(I,0)=STRING$(128,&HFF):DIR$(I,1)=STRING$(128,&HFF)
1240 NEXT : DIR.LEN=DSKATR(DRIVE,1) : GOSUB *PUT.DIR
1250 EXT$="dir" : DRNO=DRIVE : FLNAME$=FNFILE$("&dot")
1260 OPEN FLNAME$ AS #3 : LSET FB3.DIR$="root"
1270 S.FILE$="dot dir" : GOSUB *SEARCH.FILE
1280 LSET FB3.LVL$=MKI$(0)
```

```
1290 LSET FB3.PATH$=MKI$(KLSTR)+STRING$(30,&HFF) : PUT #3,1
1300 LSET FB31$=STRING$(128,&HFF)
1310 LSET FB30$="dot dir"+CHR$(10)+CHR$(CLSTR)+STRING$(117
,&HFF)
1320 PUT #3,2 : LSET FB30$=STRING$(128,&HFF) : PUT #3,3
1330 CLOSE #3 : SET FLNAME$,"P" : END
1340 ' directry read write
1350 *PUT.DIR
1360 ' put current directory
1370 ' drive : drive No.
1380 ' dir.len : directory length ( sector )
1390 ' dir$() : directory data
1400 IF DSKATR(DRIVE,1)=96 THEN *PUT.HD.DIR
1410 IF DIR.LEN>DSKATR(DRIVE,1) THEN PRINT "error" : STOP
1420 DIR.SUR=DSKATR(DRIVE,2) : DIR.TRK=DSKATR(DRIVE,0)
1430 FOR I=1 TO DIR.LEN
1440 LSET FB00$=DIR$(I-1,0) : LSET FB01$=DIR$(I-1,1)
1450 DSKO$ DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,I
1460 NEXT
1470 IF I<>DSKATR(DRIVE,1) THEN *PUT.DIR.SKIP1
1480 LSET FB00$=STRING$(128,&HFF)
1490 LSET FB01$=STRING$(128,&HFF)
1500 DSKO$ DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,I
1510 *PUT.DIR.SKIP1 : RETURN
1520 *PUT.HD.DIR : DIR.TRK=DSKATR(DRIVE,0)
1530 FOR I=1 TO DIR.LEN
1540 LSET FB00$=DIR$(I-1,0)
1550 LSET FB01$=DIR$(I-1,1)
1560 DSKO$ DRIVE,I*33,DIR.TRK,(I MOD 33)+1
1570 NEXT : IF I=97 THEN RETURN
1580 LSET FB00$=STRING$(128,&H255)
1590 LSET FB01$=STRING$(128,&H255)
1600 DSKO$ DRIVE,I*33,DIR.TRK,(I MOD 33)+1 : RETURN
1610 *SEARCH.FILE
1620 ' search file from directory and get FAT entry
1630 ' s.file$ : search file name
1640 ' drive : drive number
1650 ' clstr : FAT entry
1660 DIR.TRK=DSKATR(DRIVE,0)
1670 DIR.SUR=DSKATR(DRIVE,2) : I=1 : FIND=FALSE
1680 *S.FILE.LOOP1
1690 DUMMY$=DSKI$(DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,I)
1700 IF LEFT$(DUMMY$,1)=CHR$(255) THEN *S.FILE.END
1710 FOR J=0 TO 15
1720 IF MID$(FB00$,J*16+1,9)<>S.FILE$ THEN *S.FILE.NEXT
1730 CLSTR=ASC(MID$(DUMMY$,J*16+1,1)):J=15 : FIND=TRUE
1740 *S.FILE.NEXT
1750 NEXT : I=I+1 : IF FIND THEN *S.FILE.END
1760 GOTO *S.FILE.LOOP1
1770 *S.FILE.END
1780 IF FIND THEN ERROR.FLG=FALSE ELSE ERROR.FLG=TRUE
1790 RETURN
```

uni+ オペレーティングシステム本体 "uni+"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```
10000 ' uni+ for PC-9801
10010 ' copyright ASCII CORPORATION. all right reserved
10020 DEFINT A-Z:WIDTH 80,25:CONSOLE 0,25,0,0:SCREEN ,2:CLS
10030 GOSUB *DEF.FUNC : TRUE=-1:FALSE=NOT TRUE:TM$="uni+"
10040 VERI=95:MXFILE=5:CR$=CHR$(13):LF$=CHR$(10):CRLF$=CR$+
LF$:BS$=CHR$(8)+CHR$(10)
10050 OPEN.MS$="Minami-Aoyama AhSKI! / uni+ ver"+ST
R$(VERI)+".ASD ( PC-9801/E/F )"+CRLF$+CRLF$+CRLF$+"Er
ase is control-H"+CRLF$+"Kill is control-U"+CRLF$
10060 FIELD #0,128 AS FB00$,128 AS FB01$
10070 FIELD #0,255 AS FBX0$,1 AS FBX1$
10080 FIELD #0,6 AS FB0.DIR$,2 AS FB0.LVL$,32 AS FB0.PATH$
10090 FIELD #1,128 AS FB00$,128 AS FB01$
10100 FIELD #1,6 AS FB1.DIR$,2 AS FB1.LVL$,32 AS FB1.PATH$
```

フルセットUNI+のお知らせ!!

書籍編集部

賢明な読者諸君なら、このUNI+が今注目されているミニコン、スーパーパソコン用の高機能OS、UNIXを模写したものであることは、すでにお気づきのことと思います。UNIXは、卓越した作業環境を提供するOS、またその約90%がC言語で記述されていることなどでも知られています。

我々は、この優れた作業環境を持つUNIX(その一部ですが)を、市販されている低価格のBASICマシンの上で実現するために、大胆にもそのすべてをBASICで記述し、このUNI+を生み出すに至りました。このUNI+が、小手先のテクニックでUNIXの上辺だけを真似ているのではなく、UNIXの精神を受け継いだ真正正銘のOSであることは、皆さんがすでに御覧になった通りです。単にOS本体の機能のみに着目すれば、UNIXの弟ともいわれるMS-DOS 2.0に迫るものがあります。

ただし、今回紹介したUNI+は、ターゲットマシンの機能および誌面の関係で、UNI+が宿命的に持たなければならない機能のうち、次のものを意図的に削除してしまっています。

- * マルチユーザのサポート
- * バイブ機能
- * バッチ処理機能
- * ディレクトリ・パスの指定
- * バックグラウンド・プリントプーラ
- * 充実した外部コマンド群(op, sort, tree, etc.)
- * UNIXのCシェルが持つその他の賢い機能

そこで我々は、これらの機能をもサポートしたフルセットUNI+ (マルチユーザはごかんべん)の本を企画進行しております。この本ではソースコー

ドはもちろんのこと、その構築法、使用法など、本稿では言いつくせなかったことが詳しく紹介できると思います。発売時期をこの場ではっきりお約束することはできませんが、5月~6月には、と考えています。ただし、非常に残念なことではありますが、フルセットUNI+の本体および機能はあまりにも膨大であり、現時点でそのターゲットマシンとして耐えうるのは、PC-9800シリーズのみになってしまいました。98ユーザ以外の方々、誠に申し訳ございません。もっとも、実際に動かさなくとも、UNIXの内部構造および使用法について知りたいと言う方には、多少なりともお役に立つはずです。

* UNIXはベル研究所の登録商標です。

* UNI+はアスキー書籍編集部の登録商標です。

今年は、書籍編集部も AhSKI! に出演することになった。見てくれたかUNI+のパワーを。我々は、既に次の版の製作に着手している。UNI+を愛する同志の諸君、意見・感想を待っている。♡今回のUNI+のターゲットから外されてしまった恵まれない貴方の為に、少ないメモリでも走る省エネ版UNI+ (移植は自分で) のソースリストを先着3名に。M. 井芹

```

10110 FIELD #1,16 AS FBF.DOTDOT$,16 AS FBF.DOT$
10120 DIM DIR$(95,1),FILE$(MXFILE),TMP.PATH$(MXFILE),FBBUSY(
MXFILE),PATH$(16),ARGV$(127),FB.TMP(MXFILE),OPEN.MODE(MXFILE
),OTHER.PATH(MXFILE),ARGV.BAK$(127),END.OF.FILE(MXFILE),OPEN
.PATH(MXFILE),ARGBT$(127),CSH.KW$(31)
10130 FBBUSY(1)=TRUE
10140 ' read disk attribute file
10150 DEF SEG=&HA000
10160 SYSNO=PEEK(&HF220):IF SYSNO=0 THEN INPUT "system drive
":SYSNO
10170 POKE &HF220,SYSNO
10180 OPEN FNFILE$(SYSNO,"disk","sys") FOR INPUT AS #1:INPUT
#1,SYSTEM.DRIVE,MAX.DRIVE,HOME.DRIVE
10190 DIM DSKATR(MAX.DRIVE,4),PATH.NODE(MAX.DRIVE,15),CRNT.L
VL(MAX.DRIVE),CRNT.DIR$(MAX.DRIVE),PATH.NAME$(MAX.DRIVE,15)
10200 FOR I=1 TO MAX.DRIVE
10210   FOR J=0 TO 4: INPUT #1,DSKATR(I,J): NEXT
10220 NEXT: CLOSE #1: GOTO *SHELL.INIT
10230 *GET.DIR.ATR ' get current directory attribute
10240 FLNAME$=FNFILE$(DRIVE,"dot","dir")
10250 OPEN FLNAME$ AS #1
10260 GET #1,1:CRNT.DIR$(DRIVE)=FBF.DIR$:CRNT.LVL(DRIVE)=CVI
(FBF.LVL$)
10270 CRNT.LVL(DRIVE)=CVI(FBF.LVL$)
10280 FOR I=0 TO 15
10290   PATH.NODE(DRIVE,I)=CVI(MID$(FBF.PATH$,I*2+1,2))
10300 NEXT: CLOSE #1: RETURN
10310 *DEF.FUNC
10320 DEF FNFILE$(DR,X$,EX$)=RIGHT$(STR$(DR),1)+":"+LEFT$(X$,
"+",6)+EX$
10330 DEF FNFILE.SPC$(X$)=LEFT$(X$,LEN(X$)-3)+":"+MID$(X$,LE
N(X$)-2,3): RETURN
10340 *NODE.TO.PATH ' convert path node to path name
10350 FOR I=0 TO CRNT.LVL(DRIVE)
10360   CLSTR=PATH.NODE(DRIVE,I):GOSUB *CNV.CLSTR.DSKI
10370   DUMMY$=DSKI$(DRIVE,SUR,TRK,SEC):PATH.NAME$(DRIVE,I)=
FBF.DIR$
10380 NEXT: RETURN
10390 *CNV.CLSTR.DSKI
10400 ' convert cluster number to surface,track,sector
10410 CLSTR=CLSTR*DSKF(DRIVE,6):SEC=(CLSTR MOD DSKF(DRIVE,1)
)+1
10420 TRK=CLSTR*(DSKF(DRIVE,1)*2): SUR=(CLSTR\DSKF(DRIVE,1)
)MOD 2: RETURN
10430 *SEARCH.FILE ' search file from directory and get FAT
entry
10440 DIR.TRK=DSKATR(DRIVE,0):DIR.SUR=DSKATR(DRIVE,2):I=1:FI
ND=FALSE
10450 *S.FILE.LOOP1: DUMMY$=DSKI$(DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,1)
10460 IF LEFT$(DUMMY$,1)=CHR$(255) THEN *S.FILE.END
10470 FOR J=0 TO 15
10480   IF MID$(FBX0$,J*16+1,9)=S.FILE$ THEN CLSTR=ASC(MID
$(DUMMY$,J*16+11,1)):SPOS=J: SEC=I: J=15: FIND=TRUE
10490 NEXT: I=I+1
10500 IF FIND=FALSE AND I<=DSKATR(DRIVE,1) THEN *S.FILE.LO
OP1
10510 *S.FILE.END
10520 IF FIND THEN ERROR.FLG=FALSE ELSE ERROR.FLG=TRUE
10530 RETURN
10540 *FILE.LIST ' get file list from current directory
10550 LS.FLG=TRUE:I=1:FILE.CNT=0:DIR.TRK=DSKATR(DRIVE,0):DIR
.SUR=DSKATR(DRIVE,2)
10560 WHILE LS.FLG AND I<=DSKATR(DRIVE,1)
10570   DUMMY$=DSKI$(DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,1)
10580 IF LEFT$(DUMMY$,1)=CHR$(&HFF) THEN LS.FLG=FALSE: GO
TO *FILE.LIST.1
10590 FOR J=0 TO 15
10600   DIR.TMP$=MID$(DUMMY$,J*16+1,12)
10610 IF LEFT$(DIR.TMP$,1)=CHR$(0) THEN *FILE.LIST.2
10620 IF LEFT$(DIR.TMP$,1)=CHR$(&HFF) THEN LS.FLG=FALSE
: J=15 ELSE DIR$(FILE.CNT,0)=DIR.TMP$:FILE.CNT=FILE.CNT+1
10630 *FILE.LIST.2
10640 NEXT
10650 *FILE.LIST.1: I=I+1
10660 WEND: RETURN
10670 *OPEN. ' open file
10680 GOSUB *EMPPFB:FILE.NO=EMPPFB:OPEN.MODE(FILE.NO)=OPEN.MOD
E:FBBUSY(EMPPFB)=TRUE
10690 TMP.NAME$=FILE.NAME$:GOSUB *DIV.FILE.NAME0
10700 IF ERROR.FLG THEN RETURN
10710 IF PATH.CNT=1 AND PATH$(0)<>"root" OR PATH.CNT=0
AND INSTR(FILE.NAME$,"<>")>0 THEN PATH.FLG=FALSE ELSE PATH.F
LG=TRUE
10720 *OPEN.FILE: OPEN.PATH(FILE.NO)=0
10730 OPEN.PATH(FILE.NO)=0
10740 IF FILE.NAME$="scrn:" OR FILE.NAME$="kybd:" OR FILE.NA
ME$="lpt:" OR LEFT$(FILE.NAME$,4)="com:" THEN FLNAME$=FILE.N
AME$ ELSE FLNAME$=RIGHT$(STR$(DRIVE),1)+":"+FILE.NAME$
10750 ON OPEN.MODE(FILE.NO) GOTO *OPEN.INP,*OPEN.OUT,*OPEN.A
PND,*OPEN.RND
10760 ERROR.FLG=TRUE: RETURN
10770 *OPEN.INP: OPEN.FLNAME$ FOR INPUT AS #FILE.NO
10780 GOTO *OPEN.END
10790 *OPEN.OUT: OPEN.FLNAME$ FOR OUTPUT AS #FILE.NO
10800 GOTO *OPEN.END
10810 *OPEN.APND: OPEN.FLNAME$ FOR APPEND AS #FILE.NO
10820 GOTO *OPEN.END
10830 *OPEN.RND: OPEN.FLNAME$ AS #FILE.NO
10840 *OPEN.END: ERROR.FLG=FALSE:FILE$(FILE.NO)=FILE.NAME$
10850 FBBUSY(FILE.NO)=TRUE: RETURN
10860 *CLOSE.FILE ' close file
10870 IF FBBUSY(FILE.NO)=FALSE THEN ERROR.FLG=TRUE: RETURN

```

```

10880 CLOSE #FILE.NO:FBBUSY(FILE.NO)=FALSE:OPEN.MODE(FILE.NO
)=0:FILE$(FILE.NO)="" :END.OF.FILE(FILE.NO)=FALSE
10890 FBBUSY(FILE.NO)=FALSE: OPEN.MODE(FILE.NO)=0: FILE$(F
ILE.NO)="" : END.OF.FILE(FILE.NO)=FALSE: RETURN
10900 *GETCHA ' get one character from file
10910 IF FILE$(FILE.NO)="kybd:" THEN *GETCHA.KEY
10920 IF EOF(FILE.NO) THEN CHA$=CHR$(0) ELSE CHA$=INPUT$(1,F
ILE.NO)
10930 END.OF.FILE(FILE.NO)=EOF(FILE.NO): RETURN
10940 *GETCHA.KEY: CHA$=INPUT$(1,FILE.NO)
10950 IF CHA$=CHR$(&H1A) THEN END.OF.FILE(FILE.NO)=TRUE ELSE
END.OF.FILE(FILE.NO)=FALSE
10960 RETURN
10970 *GETLN ' get line from file
10980 LN$="" : IF FILE$(FILE.NO)="kybd:" THEN *GETLN.KEY
10990 IF NOT EOF(FILE.NO) THEN LINE INPUT #FILE.NO,LN$: LN$
=LN$+CRLF$
11000 END.OF.FILE(FILE.NO)=EOF(FILE.NO)
11010 IF ECHO THEN FILE.NO=ECHO.NO: GOSUB *PUTLN
11020 RETURN
11030 *GETLN.KEY: END.OF.FILE(FILE.NO)=FALSE
11040 *GETLN.LOOP1
11050 IF LEN(LN$)=253 THEN LN$=LN$+CRLF$: PRINT CRLF$: R
ETURN
11060 CHA$=INPUT$(1,FILE.NO)
11070 IF CHA$>=" " THEN LN$=LN$+CHA$:PRINT CHA$:GOTO *GET
LN.LOOP1
11080 IF CHA$=CHR$(8) AND LEN(LN$)>0 THEN LN$=LEFT$(LN$,LE
N(LN$)-1): PRINT BS$:GOTO *GETLN.LOOP1
11090 IF CHA$=CHR$(13) THEN PRINT CRLF$: LN$=LN$+CRLF$:
RETURN
11100 IF CHA$=CHR$(&H1A) THEN END.OF.FILE(FILE.NO)=TRUE:
RETURN
11110 IF CHA$=CHR$(&H15) THEN PRINT STRING$(LEN(LN$),CHR$(
&H1D)):SPACE$(LEN(LN$)):STRING$(LEN(LN$),CHR$(&H1D)):LN$=""
11120 GOTO *GETLN.LOOP1
11130 *PUTCHA ' put one character to file
11140 PRINT #FILE.NO,CHA$: RETURN
11150 *PUTLN ' put one line to file
11160 PRINT #FILE.NO,LN$: RETURN
11170 *GETARG ' divide argument
11180 PP.FLG=FALSE:MS.FLG=FALSE:WC.FLG=FALSE:ARGC=0
11190 IF LEN(CMND$)=0 THEN ARGC=0: RETURN
11200 SCP=INSTR(CMND$,";"): IF SCP=0 THEN *GETARG.SKIP0
11210 IF SCP=1 THEN CMND$=MID$(CMND$,2,255): GOTO *GETARG
11220 IF LEN(CMND$)=SCP THEN CMND$=LEFT$(CMND$,SCP-1) ELSE N
XCMND$=MID$(CMND$,SCP+1):CMND$=LEFT$(CMND$,SCP-1):MS.FLG=TRUE
11230 *GETARG.SKIP0: CMND.CP$=CMND$
11240 IF INSTR(CMND$,"<>")>0 THEN *GETARG.META
11250 *GETARG.LP1: PT=INSTR(CMND.CP$,DLMT$)
11260 IF PT=0 THEN *GETARG.EXIT1
11270 ARGV$(ARGC)=LEFT$(CMND.CP$,PT-1)
11280 IF INSTR(ARGV$(ARGC),"<>")>0 OR INSTR(ARGV$(ARGC),"?"
"<>") THEN X=ARGC: GOSUB *MATCH
11290 IF ARGV$(ARGC)="" THEN ARGC=ARGC-1
11300 CMND.CP$=MID$(CMND.CP$,PT+1,255):ARGC=ARGC+1
11310 GOTO *GETARG.LP1
11320 *GETARG.EXIT1: ARGV$(ARGC)=MID$(CMND.CP$,PT+1,255)
11330 IF INSTR(ARGV$(ARGC),"<>")>0 OR INSTR(ARGV$(ARGC),"?"
"<>") THEN X=ARGC: GOSUB *MATCH
11340 ARGC=ARGC+1: IF ARGV$(ARGC-1)="" THEN ARGC=ARGC-1
11350 RETURN
11360 *GETARG.META: FOR I=0 TO 127: ARGV$(I)="" : NEXT
11370 FOR I=1 TO LEN(CMND$)
11380 CHA$=MID$(CMND$,I,1):IF CHA$<>" " THEN *GETARG.SKIP1
11390 IF ARGV$(ARGC)="" THEN PP.FLG=TRUE
11400 IF ARGV$(ARGC)="" THEN MS.FLG=TRUE
11410 IF INSTR(ARGV$(ARGC),"<>")>0 OR INSTR(ARGV$(ARGC),"?"
"<>") THEN X=ARGC: GOSUB *MATCH
11420 ARGC=ARGC+1: GOTO *GETARG.NEXT
11430 *GETARG.SKIP1: IF CHA$="<" THEN GOSUB *ARGMETA
11440 IF CHA$=">" THEN GOSUB *ARGMETA
11450 ARGV$(ARGC)=ARGV$(ARGC)+CHA$
11460 *GETARG.NEXT: NEXT: ARGC=ARGC+1: RETURN
11470 NEXT: ARGC=ARGC+1: RETURN
11480 *ARGMETA: I=I+1: IF I>LEN(CMND$) THEN RETURN
11490 CHA$=MID$(CMND$,I,1)
11500 IF CHA$=" " THEN RETURN
11510 IF CHA$="<" THEN RETURN
11520 IF CHA$="?" THEN CHA$=CHR$(&H7F): RETURN
11530 IF CHA$="0" AND CHA$<"_" THEN CHA$=CHR$(ASC(CHA$)-&H
40)
11540 RETURN
11550 *DIV.PATH ' divide path
11560 PATH.DIV.TMP=ARGC:DLMT$="/":CMND$=ARGV$(X)
11570 *DIV.PATH1
11580 IF LEFT$(CMND$,1)="/" THEN CMND$="root"+CMND$
11590 GOSUB *GETARG.PATH.CNT=ARGC
11600 FOR I=0 TO PATH.CNT-1: PATH$(I)=ARGV$(I): NEXT
11610 DLMT$="":ARGC=PATH.DIV.TMP: RETURN
11620 *EMPPFB ' get empty file buffer
11630 FOR I=1 TO MXFILE
11640 IF FBBUSY(I)=FALSE THEN EMPFB=I:I=MXFILE
11650 NEXT: RETURN
11660 *DIV.FILE.NAME ' divide device name,path name,file nam
e & remove . from file name
11670 TMP.NAME$=ARGV$(X)
11680 *DIV.FILE.NAME0
11690 IF TMP.NAME$="scrn:" OR TMP.NAME$="kybd:" OR TMP.NAME$
="lpt:" THEN FILE.NAME$=TMP.NAME$:ERROR.FLG=FALSE:RETURN
11700 IF LEFT$(TMP.NAME$,4)="sys:" THEN DRIVE=SYSTEM.DRIVE
:FILE.NAME$=MID$(TMP.NAME$,5,255):PATH.CNT=1:PATH$(0)=FILE.N

```

昨年のライン・プリンタに続き、今年のUNI+と、2年連続となりました。UNI+のおかげで、大晦日からお正月の4日間、サンチェーンにラーメンを買いに行った以外、家を出ませんでした。僕の正月を返せ！♡ 1/2 inchのコンピュータ用磁気テープ（長さ不明、使えるかどうか不明）をあげます。用途は問いません。M.柳


```

AME$:PATH.FLG=FALSE:RETURN
11710 IF MID$(TMP.NAME$,2,1)<>" THEN DRIVE=HOME.DRIVE:GO
TO *DIV.FILE.NAME1
11720 DRIVE=VAL(LEFT$(TMP.NAME$,1))
11730 IF DRIVE<1 OR DRIVE>MAX.DRIVE THEN ERROR.FLG=TRUE:RE
TURN
11740 TMP.NAME$=MID$(TMP.NAME$,3,255)
11750 *DIV.FILE.NAME1: IF INSTR(TMP.NAME$,"/")=0 THEN PATH.
CNT=1:PATH$(0)=TMP.NAME$:GOTO *DIV.FILE.NAME2
11760 FOR I=0 TO ARVC-1: ARGV.BAK$(I)=ARGV$(I): NEXT
11770 CMND$=TMP.NAME$:PATH.DIV.TMP=ARGC:DLMT$=" ":GOSUB *DIV
.PATH1
11780 FOR I=0 TO PATH.DIV.TMP-1:ARGV$(I)=ARGV.BAK$(I):NEXT
11790 ARGC=PATH.DIV.TMP
11800 *DIV.FILE.NAME2
11810 FOR I=0 TO PATH.CNT-1
11820 C.NAME$=PATH$(I):GOSUB *REMOVE.:PATH$(I)=C.NAME$
11830 NEXT
11840 FILE.NAME$=PATH$(PATH.CNT-1): RETURN
11850 *REMOVE.: IF C.NAME$="." OR C.NAME$=".." THEN RETURN
11860 DOTPOS=INSTR(C.NAME$,".")
11870 IF DOTPOS=0 THEN C.NAME$=LEFT$(C.NAME$+"
",9):
RETURN
11880 IF DOTPOS=1 OR DOT.POS>7 THEN RETURN
11890 PRNAME$=LEFT$(LEFT$(C.NAME$,DOTPOS-1)+
",6):EXTN
AME$=LEFT$(MID$(C.NAME$,DOTPOS+1,3)+
",3):C.NAME$=PRNAME$
+EXTNAME$:RETURN
11900 *GET.DRNO ' get drive number from argument
11910 DRNO$=ARGV$(X):DRIVE=VAL(DRNO$)
11920 IF DRIVE>MAX.DRIVE THEN ERROR.FLG=TRUE:RETURN
11930 IF DRIVE<1 THEN DRIVE=HOME.DRIVE
11940 ERROR.FLG=FALSE: RETURN
11950 *RED.INP ' scan argument list ( < )
11960 IN.FL=0
11970 FOR I=1 TO ARGC-1
11980 IF LEFT$(ARGV$(I),1)("<" THEN IN.FL=I:1=127
11990 NEXT
12000 IF IN.FL=0 THEN ERROR.FLG=FALSE:REDINP.FLG=FALSE:RETU
RN
12010 REDINP.FLG=TRUE
12020 IF IN.FL=ARGC-1 AND LEN(ARGV$(IN.FL))=1 THEN REDINP$=S
TDINP$:OS=1:GOTO *RED.INP1
12030 IF LEN(ARGV$(IN.FL))=1 AND LEFT$(ARGV$(IN.FL+1),1)(">"
THEN REDINP$=STDINP$:OS=1:GOTO *RED.INP1
12040 IF LEN(ARGV$(IN.FL))=1 THEN REDINP$=ARGV$(IN.FL+1):OS=
2 ELSE REDINP$=MID$(ARGV$(IN.FL),2,255):OS=1
12050 *RED.INP1: ARGC=ARGC-OS
12060 FOR I=IN.FL TO ARGC-1: ARGV$(I)=ARGV$(I+OS): NEXT
12070 REDINP.SAVE$=FILE$(INP.FILE.NO):FILE.NO=INP.FILE.NO
12080 GOSUB *CLOSE.FILE:FILE.NAME$=REDINP$:OPEN.MODE=1
12090 GOSUB *OPEN.:INP.FILE.NO=FILE.NO:RETURN
12100 *RED.OUT ' scan argument list and redirection ( > > )
12110 OUT.FL=0
12120 FOR I=1 TO ARGC-1
12130 IF LEFT$(ARGV$(I),1)(">" THEN OUT.FL=I:1=127
12140 NEXT
12150 IF OUT.FL=0 THEN REDOUT.FLG=FALSE:ERROR.FLG=FALSE:RETU
RN
12160 REDOUT.FLG=TRUE
12170 IF LEFT$(ARGV$(OUT.FL),2)(">>" THEN REDSYM$=">>":REDLE
N=2:OPEN.MODE=3 ELSE REDSYM$=">":REDLEN=1:OPEN.MODE=2
12180 IF LEN(ARGV$(OUT.FL))=REDLEN AND OUT.FL=ARGC-1 THEN OS
=1:REDOUT$=STDOUT$:GOTO *RED.OUT1
12190 IF LEN(ARGV$(OUT.FL))=REDLEN THEN REDOUT$=ARGV$(OUT.FL
+1):OS=2 ELSE REDOUT$=MID$(ARGV$(OUT.FL),REDLEN+1,255):OS=1
12200 *RED.OUT1: ARGC=ARGC-OS
12210 FOR I=OUT.FL TO ARGC-1: ARGV$(I)=ARGV$(I+OS): NEXT
12220 REDOUT.SAVE$=FILE$(OUT.FILE.NO):RED.MODE.SAVE=OPEN.MOD
E(OUT.FILE.NO):FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *CLOSE.FILE
12230 FILE.NAME$=REDOUT$:GOSUB *OPEN.:RETURN
12240 *RED.RESUME ' resume redirection
12250 IF REDINP.FLG=FALSE THEN *RED.RES1
12260 ' resume input redirection
12270 FILE.NO=INP.FILE.NO:GOSUB *CLOSE.FILE:REDINP.FLG=FALSE
12280 FILE.NAME$=REDINP.SAVE$:OPEN.MODE=1:GOSUB *OPEN.:INP.F
ILE.NO=FILE.NO
12290 *RED.RES1: IF REDOUT.FLG=FALSE THEN RETURN
12300 ' resume output or append redirection
12310 FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *CLOSE.FILE:REDOUT.FLG=FALSE
12320 FILE.NAME$=REDOUT.SAVE$:OPEN.MODE=RED.MODE.SAVE
12330 GOSUB *OPEN.:OUT.FILE.NO=FILE.NO:RETURN
12340 *SHELL.INIT ' command interpreter CHI shell
12350 MS.FLG=FALSE:STDINP$="kybd":STDOUT$="scrn:"
12360 FILE.NAME$=STDINP$:OPEN.MODE=1:GOSUB *OPEN.:INP.FILE.N
O=FILE.NO
12370 FILE.NAME$=STDOUT$:OPEN.MODE=2:GOSUB *OPEN.:OUT.FILE.N
O=FILE.NO
12380 PRMPT$="$ ":DRIVE=DEFAULT.DRIVE
12390 RESTORE *CSH.KW:MAXCOM=10
12400 FOR I=0 TO MAXCOM: READ CSH.KW$(I): NEXT
12410 *CSH.KW:DATA echo,ls,pwd,rm,mv,mon,vi,bc,df,time,date
12420 LN$=OPEN.MS$:OPEN.MS$="":FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *PU
TLN
12430 *COMMAND.INP
12440 IF MS.FLG THEN CMND$=NXCMD$:GOTO *CMND.INP.SKIP1
12450 PRINT #OUT.FILE.NO,RIGHT$(STR$(HOME.DRIVE),1):";PR
MPT$:
12460 FILE.NO=INP.FILE.NO:ECHO=TRUE:ECHO.NO=OUT.FILE.NO:GO
SUB *GETLN
12470 IF END.OF.FILE(INP.FILE.NO) THEN PRINT "logout":CHR$
(7):END
12480 IF LEFT$(LN$,2)!="!" THEN LN$=LAST.COM$:FILE.NO=OUT

```

```

.FILE.NO:GOSUB *PUTLN
12490 LAST.COM$=LN$:LN$=LEFT$(LN$,LEN(LN$)-2):CMND$=LN$:DI
MT$=" "
12500 *CMND.INP.SKIP1: GOSUB *GETARG
12510 IF ARGC=0 THEN *COMMAND.INP
12520 ERROR.FLG=FALSE:COMNO=0
12530 FOR I=0 TO MAXCOM
12540 IF CSH.KW$(I)=ARGV$(0) THEN COMNO=I+1
12550 NEXT
12560 ON ERROR GOTO *TRAP
12570 IF COMNO=0 OR COMNO>MAXCOM+1 THEN *EX.HOME.DR
12580 ON COMNO GOSUB *ECHO,*LS,*PWD,*RM,*MV,*MONITOR,*VI,*BC
,*DF,*TIME,*DATE
12590 GOTO *COMMAND.INP
12600 *EX.HOME.DR ' change home drive
12610 IF ARGC<>1 OR LEN(ARGV$(0))<>2 THEN *EXT.CMD
12620 IF RIGHT$(ARGV$(0),1)<>" THEN *EXT.CMD
12630 IF VAL(LEFT$(ARGV$(0),1))<1 OR VAL(LEFT$(ARGV$(0),1))>
MAX.DRIVE THEN *EXT.CMD
12640 HOME.DRIVE=VAL(LEFT$(ARGV$(0),1)): GOTO *COMMAND.INP
12650 *EXT.CMD ' execute external command
12660 IF LAST.EXE$=ARGV$(0) THEN *OVLED
12670 DRIVE=HOME.DRIVE:GOSUB *SRCH.COM
12680 IF FIND THEN *EXEC.CMD
12690 DRIVE=SYSTEM.DRIVE:GOSUB *SRCH.COM
12700 IF FIND=FALSE THEN LN$=ARGV$(0): Command not found."
+CRLF$:FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *PUTLN:GOTO *COMMAND.INP
12710 *EXEC.CMD
12720 CHAIN MERGE FILE.NAME$,12730,ALL,DELETE 30000-65000
12730 ON ERROR GOTO *TRAP:LAST.EXE$=ARGV$(0):GOSUB *DEF.FUNC
12740 *OVLED
12750 REDINP.FLG=FALSE:GOSUB *RED.INP
12760 REDOUT.FLG=FALSE:GOSUB *RED.OUT
12770 ECHO=FALSE: ON STOP GOSUB *ABORT:STOP ON
12780 GOSUB 30000
12790 *COM.END: GOSUB *RED.RESUME: GOTO *COMMAND.INP
12800 *ABORT: STOP OFF: RETURN *SHELL.INIT
12810 *SRCH.COM: FILE.NAME$=FNFILE$(DRIVE,ARGV$(0),"cmd")
12820 ON ERROR GOTO *EXIST.COM
12830 OPEN FILE.NAME$ FOR INPUT AS #1
12840 ON ERROR GOTO 0:CLOSE #1:FIND=TRUE:RETURN
12850 *EXIST.COM: RESUME *EXIST.COM1
12860 *EXIST.COM1: ON ERROR GOTO 0:FIND=FALSE:RETURN
12870 *PR.ERROR ' print "?" to output file
12880 PRINT #OUT.FILE.NO,"?":CRLF$: RETURN
12890 *MATCH ' match file name
12900 GOSUB *DIV.FILE.NAME:GOSUB *FILE.LIST:WC.FLG=TRUE
12910 PR.NAME$=LEFT$(FILE.NAME$,6):EXT.NAME$=RIGHT$(FILE.NAM
E$,3)
12920 ASTP=INSTR(PR.NAME$,"*")-1:IF ASTP>0 THEN GOSUB *PR.A
ST:GOTO *MT.PR.EXIT
12930 IF INSTR(PR.NAME$,"?")<>0 THEN GOSUB *PR.QST ELSE GOSU
B *MT.PR
12940 *MT.PR.EXIT: ASTP=INSTR(EXT.NAME$,"*")-1
12950 IF ASTP>0 THEN GOSUB *EXT.AST:GOTO *MT.EXT.EXIT
12960 IF INSTR(EXT.NAME$,"?")<>0 THEN GOSUB *EXT.QST ELSE GO
SUB *MT.EXT
12970 *MT.EXT.EXIT
12980 FOR MT.I=0 TO FILE.CNT-1
12990 IF DIR$(MT.I,0)(">" THEN ARGV$(ARGC)=RIGHT$(STR$(DRI
VE),1)+":LEFT$(DIR$(MT.I,0),9):ARGC=ARGC+1
13000 NEXT: ARGC=ARGC-1: RETURN
13010 *PR.AST ' match "*" in primely name
13020 LFPART$=LEFT$(PR.NAME$,ASTP)
13030 FOR MT.I=0 TO FILE.CNT-1
13040 IF LEFT$(DIR$(MT.I,0),ASTP)<>LFPART$ THEN DIR$(MT.I,
0)=""
13050 NEXT: RETURN
13060 *EXT.AST ' match "*" in extension
13070 LFPART$=LEFT$(EXT.NAME$,ASTP)
13080 FOR MT.I=0 TO FILE.CNT-1
13090 IF DIR$(MT.I,0)(">" THEN IF MID$(DIR$(MT.I,0),7,ASTP
)<>LFPART$ THEN DIR$(MT.I,0)=""
13100 NEXT: RETURN
13110 *MT.PR
13120 FOR MT.I=0 TO FILE.CNT-1
13130 IF LEFT$(DIR$(MT.I,0),6)<>PR.NAME$ THEN DIR$(MT.I,0)
=""
13140 NEXT: RETURN
13150 *MT.EXT
13160 FOR MT.I=0 TO FILE.CNT-1
13170 IF DIR$(MT.I,0)(">" THEN IF MID$(DIR$(MT.I,0),7,3)<>
EXT.NAME$ THEN DIR$(MT.I,0)=""
13180 NEXT: RETURN
13190 *PR.QST ' match "?" in primely name
13200 FOR MT.I=0 TO FILE.CNT-1
13210 FL.NAME$=DIR$(MT.I,0):MT.FLG=TRUE
13220 FOR MT.J=1 TO 6
13230 IF MID$(PR.NAME$,MT.J,1)<>"?" AND MID$(PR.NAME$,MT
.J,1)<>MID$(FL.NAME$,MT.J,1) THEN MT.FLG=FALSE:MT.J=6
13240 NEXT: IF MT.FLG=FALSE THEN DIR$(MT.I,0)=""
13250 NEXT: RETURN
13260 *EXT.QST ' match "?" in extension
13270 FOR MT.I=0 TO FILE.CNT-1
13280 MT.FLG=TRUE
13290 IF DIR$(MT.I,0)="" THEN *EXT.QST.SKIP
13300 FL.NAME$=DIR$(MT.I,0)
13310 FOR MT.J=1 TO 3
13320 IF MID$(EXT.NAME$,MT.J,1)<>"?" AND MID$(EXT.NAME
$,MT.J,1)<>MID$(FL.NAME$,MT.J,1) THEN MT.FLG=FALSE:MT.J=3
13330 NEXT: IF MT.FLG=FALSE THEN DIR$(MT.I,0)=""
13340 *EXT.QST.SKIP

```

もうお気付きのことと思いますが、この欄外では、パロディ版に深く関わったほぼ全ての人が一言ずつ書いています。その最後に♡マークと共に記されているのが、その人から愛読者の皆さんへの贈り物の内容です。そうです。プレゼントしちゃうのです。なお、数量が明記されていないものはすべて1名様のみです。プレゼントは全て各人の持ち出しに♪

```

13350 NEXT : RETURN
13360 *ECHO ' echo back argument list to output file
13370 IF ARGV$(1)="-n" THEN ECHO.ST=2:ECHO.TRM$=" " ELSE ECH
O.ST=1:ECHO.TRM$=CRLF$
13380 REDOUT.FLG=FALSE:GOSUB *RED.OUT:LN$="":FILE.NO=OUT.FIL
E.NO
13390 FOR ECHO.I=ECHO.ST TO ARGC-1
13400 LN$=ARGV$(ECHO.I)+" ":GOSUB *PUTLN
13410 NEXT : LN$=ECHO.TRM$:GOSUB *PUTLN
13420 IF REDOUT.FLG THEN *RED.RESUME
13430 RETURN
13440 *LS ' list file name
13450 REDINP.FLG=FALSE:GOSUB *RED.INP:REDOUT.FLG=FALSE
13460 GOSUB *RED.OUT : LS.TRM$=" " :LS.ST=1
13470 IF ARGC=1 THEN *LS.SKIP0
13480 IF LEFT$(ARGV$(1),1)<>"-" THEN *LS.SKIP0
13490 LS.ST=2
13500 IF INSTR(ARGV$(1),"v")<>0 THEN LS.TRM$=CRLF$
13510 IF INSTR(ARGV$(1),"s")<>0 THEN GOSUB *LS.FILES : GOT
O *LS.EXIT1
13520 *LS.SKIP0 : IF WC.FLG THEN *LS.SKIP3
13530 IF ARGC=LS.ST THEN DRIVE=HOME.DRIVE : GOTO *LS.NOP
13540 GOSUB *FILE.LIST : X=LS.ST:GOSUB *DIV.FILE.NAME
13550 IF FILE.NAME$=" " THEN *LS.NOP
13560 FILE.NO=OUT.FILE.NO
13570 FOR X=LS.ST TO ARGC-1
13580 F.FIND.FLG=FALSE : GOSUB *DIV.FILE.NAME
13590 FOR LS.I=0 TO FILE.CNT-1
13600 IF FILE.NAME$<>LEFT$(DIR$(LS.I,0),9) THEN *LS.SKIPI
13610 LN$=RIGHT$(STR$(DRIVE),1)+"*"+FNFILE.SPC$(LEFT$(DIR$(L
S.I,0),9))+LS.TRM$:GOSUB *PUTLN:F.FIND.FLG=TRUE:LS.I=FILE.CN
T
13620 *LS.SKIPI
13630 NEXT : IF F.FIND.FLG=FALSE THEN LN$=FNFILE.SPC$(ARGV$(
X))+" not found"+CRLF$:GOSUB *PUTLN
13640 NEXT : GOTO *LS.EXIT0
13650 *LS.NOP : GOSUB *FILE.LIST : FILE.NO=OUT.FILE.NO
13660 FOR LS.I=0 TO FILE.CNT-1
13670 LN$=RIGHT$(STR$(DRIVE),1)+"*"+FNFILE.SPC$(LEFT$(DIR$(
LS.I,0),9))+LS.TRM$:GOSUB *PUTLN
13680 NEXT : GOTO *LS.EXIT0
13690 *LS.SKIP3 : FILE.NO=OUT.FILE.NO
13700 FOR LS.I=LS.ST TO ARGC-1
13710 LN$=FNFILE.SPC$(ARGV$(LS.I))+LS.TRM$:GOSUB *PUTLN
13720 NEXT
13730 *LS.EXIT0 : LN$=CRLF$:GOSUB *PUTLN
13740 *LS.EXIT1 : GOSUB *RED.RESUME : RETURN
13750 *LS.FILES : IF ARGC=2 THEN DRIVE=HOME.DRIVE ELSE X=2:G
OSUB *DIV.FILE.NAME
13760 FILES DRIVE : RETURN
13770 *PWD ' print working directory
13780 REDOUT.FLG=FALSE : GOSUB *RED.OUT
13790 IF ARGC>2 THEN *PR.ERROR
13800 IF ARGC=1 THEN DRIVE=HOME.DRIVE : GOTO *PWD.SKIP
13810 X=1:GOSUB *GET.DRNO : IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR
13820 *PWD.SKIP : GOSUB *GET.DIR.ATR
13830 IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR
13840 GOSUB *NODE.TO.PATH : IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR
13850 PRINT #OUT.FILE.NO,RIGHT$(STR$(DRIVE),1)+": ";
13860 IF CRNT.LVL(DRIVE)=0 THEN PRINT #OUT.FILE.NO,"/";CRLF$
: RETURN
13870 FOR I=1 TO CRNT.LVL(DRIVE)
13880 TMP.PWD$=PATH.NAME$(DRIVE,I):SPCP=INSTR(TMP.PWD$," ")
13890 IF SPCP=0 THEN PRINT #OUT.FILE.NO,"/";TMP.PWD$: ELSE P
RINT #OUT.FILE.NO,"/":LEFT$(TMP.PWD$,SPCP-1);
13900 NEXT:PRINT #OUT.FILE.NO,CRLF$:GOSUB *RED.RESUME:RETURN
13910 *MONITOR ' monitor
13920 MON
13930 RETURN

```

```

13940 *TIME ' display and set time
13950 ECHO=FALSE : REDOUT.FLG=FALSE:GOSUB *RED.OUT
13960 IF ARGC>1 THEN TIME$=ARGV$(1):GOTO *TIME.EXIT
13970 LN$=TIME$+CRLF$:FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *PUTLN
13980 *TIME.EXIT : GOSUB *RED.RESUME : ECHO=TRUE : RETURN
13990 *DATE ' display date
14000 ECHO=FALSE : REDOUT.FLG=FALSE:GOSUB *RED.OUT
14010 IF ARGC>1 THEN DATE$=ARGV$(1):GOTO *DATE.EXIT
14020 LN$=DATE$+CRLF$:FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *PUTLN
14030 *DATE.EXIT : GOSUB *RED.RESUME : ECHO=TRUE : RETURN
14040 *MV ' move
14050 IF ARGC<>3 THEN *PR.ERROR
14060 X=1:GOSUB *DIV.FILE.NAME:MV.DR=DRIVE:OLD.NAME$=FILE.NA
ME$
14070 X=2:GOSUB *DIV.FILE.NAME:DR=RIGHT$(STR$(MV.DR),1)+": "
14080 NAME DR$+OLD.NAME$ AS DR$+FILE.NAME$ : RETURN
14090 *VI ' vi
14100 CLS : IF ARGC=1 THEN *NEW.FILE
14110 X=1:GOSUB *DIV.FILE.NAME
14120 VI.NAME$=RIGHT$(STR$(DRIVE),1)+": "+FILE.NAME$
14130 LN$="Load "+CHR$(34)+FNFILE.SPC$(VI.NAME$)+CHR$(34)
14140 FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *PUTLN : LOAD VI.NAME$
14150 *NEW.FILE : LN$="New file"
14160 FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *PUTLN : NEW
14170 *BC ' bc
14180 FILE.NO=INP.FILE.NO : GOSUB *CLOSE.FILE
14190 FILE.NO=OUT.FILE.NO : GOSUB *CLOSE.FILE : END
14200 RETURN *SHELL.INIT
14210 *DF ' disk free
14220 REDOUT.FLG=FALSE : GOSUB *RED.OUT
14230 IF ARGC=1 THEN DRIVE=HOME.DRIVE:DR.NAME$=RIGHT$(STR$(H
OME.DRIVE),1)+": ":GOSUB *DF.CORE:GOSUB *RED.RESUME:RETURN
14240 FOR DF.I=1 TO ARGC-1
14250 X=DF.I:GOSUB *DIV.FILE.NAME : DR.NAME$=ARGV$(DF.I)
14260 GOSUB *DF.CORE
14270 NEXT : GOSUB *RED.RESUME : RETURN
14280 *DF.CORE
14290 FREE.C=DSKF(DRIVE):FREE!=FREE.C*DSKF(DRIVE,6)*256
14300 LN$=DR.NAME$+" disk free space "+STR$(FREE.C)+" cluste
rs "+STR$(FREE!)+ " bytes"+CRLF$:FILE.NO=OUT.FILE.NO
14310 GOSUB *PUTLN : RETURN
14320 *RM ' remove file
14330 IF ARGC=1 THEN *PR.ERROR
14340 IF LEFT$(ARGV$(1),1)<>"-" THEN *RM.SKIP1
14350 IF INSTR(ARGV$(1),"i")<>0 THEN *RMI
14360 IF INSTR(ARGV$(1),"d")<>0 THEN *RMD
14370 *RM.SKIP1
14380 FOR X=1 TO ARGC-1
14390 GOSUB *DIV.FILE.NAME
14400 IF RIGHT$(FILE.NAME$,3)<>"dir" THEN KILL RIGHT$(STR$(
DRIVE),1)+": "+FNFILE.SPC$(FILE.NAME$) ELSE LN$="rm: "+FNFI
LE.SPC$(ARGV$(X))+" directory"+CRLF$:FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSU
B *PUTLN
14410 NEXT : RETURN
14420 *RMI
14430 FOR X=2 TO ARGC-1
14440 GOSUB *DIV.FILE.NAME
14450 IF RIGHT$(FILE.NAME$,3)<>"dir" THEN *RM.SKIP4
14460 LN$="rm: "+FNFILE.SPC$(ARGV$(X))+" directory"+CRLF$:
FILE.NO=OUT.FILE.NO:GOSUB *PUTLN
14470 GOTO *RM.SKIP5
14480 *RM.SKIP4
14490 LN$="rm: remove "+FNFILE.SPC$(ARGV$(X))+"? "
14500 FILE.NO=OUT.FILE.NO : GOSUB *PUTLN
14510 FILE.NO=INP.FILE.NO : GOSUB *GETLN
14520 IF LEFT$(LN$,1)<>"y" THEN *RM.SKIP5
14530 KILL RIGHT$(STR$(DRIVE),1)+": "+FILE.NAME$
14540 *RM.SKIP5
14550 NEXT : RETURN

```

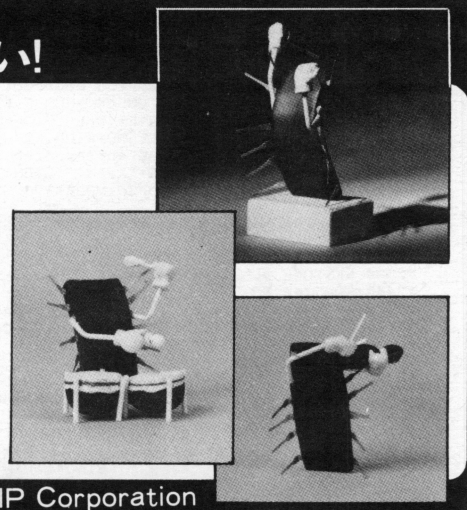
有名アーティスト集合しなさい。 そして私のために本当の音を聴かせなさい!

世界の一流アーティストを自宅に呼んで生のコンサートを聴いてみたい。そう思ったことはありませんか？ SOUND SHIP 7™ は、そんなあなたの希望をかなえる世界初のシンセサイザボードです。各パートには、世界の名演奏家の生演奏を実際に分析し設計された専用チップを用いているため、驚くほどのハイクオリティを実現しました。

SOUND SHIP 7™ シリーズには、既に新日本フィルセット、ニューヨークフィルセットなど6楽団をアンサンブルしたものが用意されていますが、あなたの好みのアンサンブルもできるように各パートのみの購入も可能です。ですから、ニューヨークフィルをベースにし、新日本フィルの第一バイオリンをアンサンブルすることも可能です。

さらに、SOUND SHIP 7™ シリーズには、オプションとしてコンダクターセットが用意されています。これには、カラヤン、リヒター、オザワなど有名指揮者12人の演奏パターンが一人1個ずつ計12個のICに収められており、曲データを受け取ると自動的にその指揮者のパターンにコンポーズし演奏するという画期的なものです。

なお、コンピュータとのインターフェイスにはMIDIを採用しましたので、外部の電子楽器とも簡単に接続することが可能です。



SOUND SHIP Corporation

より行きます。従って厳正なる抽選はいたしません。要するに、欲しい人にかに自分をアピールするかが、運命の分かれ目ということになります。人によってはプレゼントに条件を付けていることもあります。その場合は、自分がその条件をみたしていることを、知恵をしばって証明して下さい。運よりも知恵ですよ、このプレゼントは/さて、応募のノ


```

14560 *RMD
14570 FOR X=2 TO ARGC-1
14580   GOSUB *DIV.FILE.NAME
14590   RM.NAME$=RIGHT$(STR$(DRIVE),1)+":"+FILE.NAME$
14600   SET RM.NAME$,"":KILL RM.NAME$
14610 NEXT : RETURN
14620 *TRAP ' error.trap
14630 IF ERR=5 THEN PRINT "?": RESUME *TR.RESUME
14640 IF ERR=15 THEN RESUME NEXT
14650 IF ERR=70 OR ERR=9 THEN PRINT "Bad drive number": RES
UME *TR.RESUME
14660 IF ERR=57 THEN PRINT "Direct statement in command": R
ESUME *TR.RESUME
14670 IF ERR=68 THEN PRINT "Disk full": RESUME *TR.RESUME
14680 IF ERR=62 THEN PRINT "Disk off line": RESUME *TR.RES
UME
14690 IF ERR=65 THEN PRINT "File already exists": RESUME *T
R.RESUME
14700 IF ERR=54 THEN PRINT "File already open": RESUME *TR.
RESUME
14710 IF ERR=53 THEN PRINT "File not found": RESUME *TR.RES
UME
14720 IF ERR=61 THEN PRINT "File write protected": RESUME *
TR.RESUME
14730 ON ERROR GOTO 0
14740 *TR.RESUME: CLOSE
14750 FOR I=2 TO MXFILE: FBBUSY(I)=FALSE: NEXT
14760 RETURN *SHELL.INIT
30000 ' external command area
65000 '

```

uni + 外部コマンド“login. cmd”

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *LOGIN ' Initial Program Loader for uni+
30010 DEFINT A-Z:TM$="uni+"
30020 WIDTH 80,25:CONSOLE 0,25,0,0:SCREEN ,2:CLS
30030 FOR I=0 TO 7:COLOR=(I,1):NEXT
30040 PRINT CHR$(7);"(PC-9801)login: ";
30050 LINE INPUT USER.ID$
30060 PRINT "Password:": : C$="":PASSWORD$=""
30070 WHILE C$<>CHR$(13)
30080   C$=INPUT$(1):PASSWORD$=PASSWORD$+C$
30090 WEND : PRINT
30100 IF SYSNO=0 THEN INPUT "System drive number":SYSNO
30110 DEF SEG=&HA000
30120 POKE &HF220,SYSNO
30130 RUN RIGHT$(STR$(SYSNO),1)+":"+TM$
65000 '

```

uni + 外部コマンド“cat. cmd”

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *CAT ' catenate and print
30010 IF ARGC=1 THEN GOSUB *CAT1: GOTO *CAT.EXIT
30020 FOR CAT.I=1 TO ARGC-1
30030   FILE.NAME$=ARGV$(CAT.I)
30040   OPEN.MODE=1: GOSUB *OPEN.: CAT.FNO=FILE.NO
30050   GOSUB *CAT.CORE
30060   FILE.NO=CAT.FNO: GOSUB *CLOSE.FILE
30070 NEXT
30080 *CAT.EXIT: RETURN
30090 *CAT1:CAT.FNO=INP.FILE.NO:GOSUB *CAT.CORE:RETURN
30100 *CAT.CORE
30110 WHILE NOT END.OF.FILE(CAT.FNO)
30120   FILE.NO=CAT.FNO: GOSUB *GETLN
30130   FILE.NO=OUT.FILE.NO: GOSUB *PUTLN
30140 WEND
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド“kitty. cmd”

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *KITTY ' kitty
30010 WHILE NOT END.OF.FILE(INP.FILE.NO)
30020   FILE.NO = INP.FILE.NO: GOSUB *GETLN
30030   FILE.NO = OUT.FILE.NO: GOSUB *PUTLN
30040 WEND
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド“more. cmd”

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *MORE ' More
30010 SCLEN=25: PGWIDTH=80
30020 IF REDINP.FLG=FALSE AND ARGC=1 THEN *PR.ERROR
30030 IF ARGC=1 THEN MORE.FNO=INP.FILE.NO: LINE.CNT=0: GOS
UB *MORE.CORE: GOTO *MORE.EXIT
30040 FOR MORE.I=1 TO ARGC-1
30050   FILE.NAME$=ARGV$(MORE.I)
30060   OPEN.MODE=1: GOSUB *OPEN.: MORE.FNO=FILE.NO
30070   IF ARGC=2 THEN LINE.CNT=0: GOTO *MORE.NO.HD
30080   LN$=STRING$(12,"")+CRLF$+ARGV$(MORE.I)+CRLF$+STR
ING$(12,"")+CRLF$
30090   FILE.NO=OUT.FILE.NO: GOSUB *PUTLN: LINE.CNT=3
30100   *MORE.NO.HD: GOSUB *MORE.CORE

```

```

30110   FILE.NO=MORE.FNO: GOSUB *CLOSE.FILE
30120   IF ARGC=2 OR MORE.I=ARGC-1 THEN *MORE.NO.TL
30130   CURSORY=CSRLIN: LOCATE 0,CURSORY: PRINT SPACE$(7
9): : COLOR 4: LOCATE 0,CURSORY
30140   PRINT "-- More -- ( Next file: ":ARGV$(MORE.I+1):
") ":
30150   MORE.SW$=INPUT$(1): COLOR 0: GOSUB *MORE.ERASE
30160   IF MORE.SW$<>CHR$(13) AND MORE.SW$<>" " THEN MORE.
I=ARGC
30170   *MORE.NO.TL
30180 NEXT
30190 *MORE.EXIT: RETURN
30200 *MORE.CORE
30210 IF REDINP.FLG=FALSE THEN FILE.VOL!=LOF(MORE.FNO)*256:
DISP.VOL!=0: MORE.LINE=FALSE: MORE.ABORT=FALSE
30220 WHILE NOT END.OF.FILE(MORE.FNO) AND NOT MORE.ABORT
30230   FILE.NO=MORE.FNO: GOSUB *GETLN
30240   IF REDINP.FLG THEN *MORE.SKIP01
30250   DISP.VOL!=DISP.VOL!+LEN(LN$)+2
30260   *MORE.SKIP01
30270   LINE.CNT=LINE.CNT+(LEN(LN$)-1)*PGWIDTH+1
30280   FILE.NO=OUT.FILE.NO: GOSUB *PUTLN
30290   IF MORE.LINE=FALSE AND LINE.CNT<SCLEN-4 THEN *MORE.S
KIP4
30300   CURSORY=CSRLIN: LOCATE 0,CURSORY: PRINT SPACE$(7
9): : COLOR 4: LOCATE 0,CURSORY
30310   IF REDINP.FLG THEN PRINT "-- More -- ": : GOTO *M
ORE.SKIP02
30320   PRINT USING "-- More -- (###%)":DISP.VOL!/FILE
.VOL!*100:
30330   *MORE.SKIP02: COLOR 0: MORE.SW$=INPUT$(1)
30340   IF MORE.SW$<>" " THEN *MORE.SKIP2
30350   MORE.LINE=FALSE: LINE.CNT=0
30360   GOSUB *MORE.ERASE: GOTO *MORE.SKIP4
30370   *MORE.SKIP2
30380   IF MORE.SW$<>CHR$(13) THEN *MORE.SKIP3
30390   MORE.LINE=TRUE
30400   GOSUB *MORE.ERASE: GOTO *MORE.SKIP4
30410   *MORE.SKIP3:MORE.ABORT=TRUE:GOSUB *MORE.ERASE
30420   *MORE.SKIP4
30430 WEND: RETURN
30440 *MORE.ERASE
30450 LOCATE 0,CURSORY:PRINT SPACE$(79):LOCATE 0,CURSORY
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド“head. cmd”

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *HEAD ' Display any lines from head (head)
30010 LINE.C = 0
30020 WHILE NOT END.OF.FILE(INP.FILE.NO) AND LINE.C < VAL(AR
GV$(1))
30030   FILE.NO = INP.FILE.NO: GOSUB *GETLN
30040   FILE.NO = OUT.FILE.NO: GOSUB *PUTLN
30050   LINE.C=LINE.C+1
30060 WEND
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド“tail. cmd”

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *TAIL ' Display any lines from tail (tail)
30010 IF ARGC<2 THEN *PR.ERROR
30020 IF VAL(ARGV$(1))<1 THEN *EXIT.COM
30030 LINEN=VAL(ARGV$(1)): DIM STRBUF$(LINEN): L.PTR=0
30040 WHILE NOT END.OF.FILE(INP.FILE.NO)
30050   L.PTR=L.PTR MOD LINEN:L.C=INT(L.PTR/LINEN)
30060   FILE.NO=INP.FILE.NO: GOSUB *GETLN
30070   STRBUF$(L.PTR)=LN$: L.PTR=L.PTR+1
30080 WEND
30090 IF L.C<1 THEN LINEC=L.PTR: FILE.NO = OUT.FILE.NO
30100 FOR I=L.PTR TO L.PTR+LINEN-1
30110   LN$=STRBUF$(1 MOD LINEN):GOSUB *PUTLN
30120 NEXT:ERASE STRBUF$
30130 *EXIT.COM
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド“upper. cmd”

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *UPPER ' convert upper case
30010 WHILE NOT END.OF.FILE(INP.FILE.NO)
30020   FILE.NO=INP.FILE.NO: GOSUB *GETCHA: CHAR=ASC(CHA$)
30030   IF CHAR>96 AND CHAR<123 THEN CHAR=CHAR-32
30040   CHA$=CHR$(CHAR):FILE.NO=OUT.FILE.NO: GOSUB *PUTCHA
30050 WEND
65000 RETURN

```

方法ですが、分類が面倒なので、アンケートはがきの利用、および一通で複数のプレゼントに応募、は失格とします。形態ははがきもしくは封書のみとし、直接来社しての直訴・物品送付による買収などは受けつけません。また封書に現金・商品券等を同封して買収を図った場合、発見されれば即座に失格、かつブツはスタッフで山分けします。露見を免ふ

uni + 外部コマンド "lower. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *LOWER ' convert lower case
30010 WHILE NOT END.OF.FILE(INP.FILE.NO)
30020 FILE.NO=INP.FILE.NO : GOSUB *GETCHA : CHAR=ASC(CHA$)
30030 IF CHAR>64 AND CHAR<91 THEN CHAR=CHAR+32
30040 CHA$=CHR$(CHAR):FILE.NO=OUT.FILE.NO : GOSUB *PUTCHA
30050 WEND
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド "wc. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *WC ' Word count program (wc)
30010 LINE.C=0 : CHAR.C#=0 : FILE.NO=INP.FILE.NO
30020 WHILE NOT END.OF.FILE(INP.FILE.NO)
30030 GOSUB *GETLN
30040 CHAR.C#=CHAR.C#+LEN(LN$)+1 : LINE.C=LINE.C+1
30050 WEND : PRINT #OUT.FILE.NO,CHAR.C#,LINE.C
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド "grep. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *GREP ' grep
30010 IF ARG<2 THEN *PR.ERROR
30020 SR.WORD$=ARG$(1)
30030 IF ARG<2 THEN GREP.FNO=INP.FILE.NO : GOSUB *GREP.CORE
: GOTO *GREP.EXIT
30040 FOR GREP.I=2 TO ARG<-1
30050 FILE.NAME$=ARG$(GREP.I)
30060 OPEN.MODE=1 : GOSUB *OPEN. : GREP.FNO=FILE.NO
30070 GOSUB *GREP.CORE:FILE.NO=GREP.FNO:GOSUB *CLOSE.FILE
30080 LN$=CRLF$ : FILE.NO=OUT.FILE.NO : GOSUB *PUTLN
30090 NEXT
30100 *GREP.EXIT : RETURN
30110 *GREP.CORE
30120 WHILE NOT END.OF.FILE(GREP.FNO)
30130 FILE.NO=GREP.FNO : GOSUB *GETLN
30140 IF INSTR(LN$,SR.WORD$)=0 THEN *GREP.SKIP1
30150 FILE.NO=OUT.FILE.NO : GOSUB *PUTLN
30160 *GREP.SKIP1
30170 WEND
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド "mkdir. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *MKDIR ' make new directory on current directory
30010 IF ARG<2 THEN *PR.ERROR
30020 X=1:GOSUB *DIV.FILE.NAME : IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR
30030 GOSUB *GET.DIR.ATR : IF PATH.CNT<>1 THEN *PR.ERROR
30040 DIR.NAME$=FILE.NAME$ : GOSUB *MAKE.DIR
30050 IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR
30060 RETURN
30070 *MAKE.DIR ' make new directory
30080 IF CRNT.LVL(DRIVE)=15 THEN ERROR.FLG=TRUE : RETURN
30090 FLNAME$=FNFILE$(DRIVE,DIR.NAME$,"dir")
30100 IF DSKF(DRIVE)>10 THEN *MAKE.DIR.SKIP1
30110 ERROR.FLG=TRUE : RETURN
30120 *MAKE.DIR.SKIP1 : ERROR.FLG=FALSE : OPEN FLNAME$ AS #1
30130 IF LOF(1)>0 THEN ERROR.FLG=TRUE : CLOSE #1 : RETURN
30140 LSET FBF0$=STRING$(128,&HFF) : LSET FBF1$=STRING$(128,&HFF) : PUT #1,1
30150 S.FILE$=MID$(FLNAME$,3,255) : GOSUB *SEARCH.FILE
30160 LSET FBF.DIR$=DIR.NAME$ : LSET FBF.LVL$=MKI$(CRNT.LVL(DRIVE)+1)
30170 PATH.TMP$=STRING$(32,&HFF)
30180 FOR I=0 TO CRNT.LVL(DRIVE)
30190 MID$(PATH.TMP$,I*2+1,2)=MKI$(PATH.NODE(DRIVE,I))
30200 NEXT : MID$(PATH.TMP$,I*2+1,2)=MKI$(CLSTR)
30210 LSET FBF.PATH$=PATH.TMP$ : PUT #1,1
30220 S.FILE$=LEFT$(DIR.NAME$+" ".6)+"dir" : GOSUB *SEARCH.FILE
30230 DOT.NODE=CLSTR:S.FILE$="dot dir":GOSUB *SEARCH.FILE
30240 DOTDOT.NODE=CLSTR
30250 IF DSKATR(DRIVE,1)<>96 THEN ENTKL1$=CHR$(DOTDOT.NODE)+STRING$(5,&HFF) : ENTKL2$=CHR$(DOT.NODE)+STRING$(5,&HFF) ELSE ENTKL1$=MKI$(DOTDOT.NODE)+STRING$(4,&HFF) : ENTKL2$=MKI$(DOT.NODE)+STRING$(4,&HFF)
30260 LSET FBF0$=STRING$(128,&HFF) : LSET FBF.DOTDOT$="dotdotdir"+CHR$(&H10)+ENTKL1$
30270 LSET FBF.DOT$="dot dir"+CHR$(&H10)+ENTKL2$ : LSET FBF1$=STRING$(128,&HFF) : PUT #1,2
30280 LSET FBF0$=STRING$(128,&HFF) : PUT #1,3
30290 CLOSE #1 : SET FLNAME$,"P"
30300 RETURN
65000

```

uni + 外部コマンド "cd. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *CD ' change directory
30010 IF ARG<2 THEN *PR.ERROR
30020 X=1:GOSUB *DIV.FILE.NAME:IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR
30030 GOSUB *GET.DIR.ATR
30040 IF PATH$(0)<>"root" THEN H1=0 : GOTO *CD.1
30050 DIR.NAME$=".."
30060 FOR H=1 TO CRNT.LVL(DRIVE)
30070 GOSUB *CHANGE.DIR : IF ERROR.FLG THEN H=15
30080 NEXT : H1=1 : IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR
30090 *CD.1
30100 FOR H=H1 TO PATH.CNT-1
30110 DIR.NAME$=PATH$(H) : GOSUB *CHANGE.DIR : IF ERROR.FLG THEN H=15
30120 NEXT : IF ERROR.FLG THEN *PR.ERROR ELSE RETURN
30130 *GET.DIR ' get current directory
30140 DIR.SUR=DSKATR(DRIVE,2) : DIR.TRK=DSKATR(DRIVE,0)
30150 DIR.LEN=1 : DUMMY$=DSKI$(DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,1) : DIR$(0,0)=FB00$ : DIR$(0,1)=FB01$
30160 WHILE LEFT$(FB00$,1)<>CHR$(&HFF) AND DIR.LEN<=DSKATR(DRIVE,1)
30170 DIR.LEN=DIR.LEN+1:DUMMY$=DSKI$(DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,DIR.LEN):DIR$(DIR.LEN-1,0)=FB00$:DIR$(DIR.LEN-1,1)=FB01$
30180 WEND : IF DIR.LEN<>1 THEN DIR.LEN=DIR.LEN-1
30190 RETURN
30200 *PUT.DIR ' put current directory
30210 IF DIR.LEN>DSKATR(DRIVE,1) THEN PRINT "error" : STOP
30220 DIR.SUR=DSKATR(DRIVE,2):DIR.TRK=DSKATR(DRIVE,0) : I=1
30230 FOR I=1 TO DIR.LEN
30240 LSET FBF0$=DIR$(I-1,0) : LSET FBF1$=DIR$(I-1,1) : DSKO$ DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,I
30250 NEXT : IF I<>DSKATR(DRIVE,1) THEN *PUT.DIR.SKIP1
30260 LSET FBF0$=STRING$(128,&HFF) : LSET FBF1$=STRING$(128,&HFF) : DSKO$ DRIVE,DIR.SUR,DIR.TRK,I
30270 *PUT.DIR.SKIP1 : RETURN
30280 *CHANGE.DIR ' change directory
30290 IF DIR.NAME$=".." THEN DIR.NAME$="dotdot"
30300 IF DIR.NAME$="." THEN DIR.NAME$="dot"
30310 IF DIR.NAME$="dotdot" AND CRNT.LVL(DRIVE)=0 THEN ERROR.FLG=TRUE : RETURN
30320 IF DIR.NAME$<>"dot" AND DIR.NAME$<>"dotdot" AND CRNT.LVL(DRIVE)=15 THEN ERROR.FLG=TRUE : RETURN
30330 ' save current directory to dot.dir
30340 GOSUB *GET.DIR : FLNAME$=FNFILE$(DRIVE,"dot","dir") : SET FLNAME$,"" : OPEN FLNAME$ AS #1
30350 IF LOF(1)<2 THEN ERROR.FLG=TRUE : CLOSE #1 : RETURN
30360 ERROR.FLG=FALSE
30370 FOR I=0 TO DIR.LEN
30380 LSET FBF0$=DIR$(I,0):LSET FBF1$=DIR$(I,1):PUT #1,I+2
30390 NEXT : CLOSE #1 : SET FLNAME$,"P"
30400 IF DIR.NAME$="dotdot" THEN CRNT.LVL(DRIVE)=CRNT.LVL(DRIVE)-1 ELSE IF DIR.NAME$<>"dot" THEN CRNT.LVL(DRIVE)=CRNT.LVL(DRIVE)+1
30410 ' load directory file
30420 FLNAME$=FNFILE$(DRIVE,DIR.NAME$,"dir") : OPEN FLNAME$ AS #1
30430 IF LOF(1)<2 THEN ERROR.FLG=TRUE : CLOSE #1 : KILL FLNAME$ : RETURN
30440 GET #1,1
30450 FOR I=0 TO 15
30460 PATH.NODE(DRIVE,I)=CVI(MID$(FBF.PATH$,I*2+1,2))
30470 NEXT : DIR.LEN=LOF(1)-1
30480 FOR I=0 TO DIR.LEN-1
30490 GET #1,I+2 : DIR$(I,0)=FBF0$ : DIR$(I,1)=FBF1$
30500 NEXT : CLOSE #1 : GOSUB *PUT.DIR
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド "help. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *HELP. ' help
30010 MS.FLG=TRUE : NXCMD$="more <sys:help.sys"
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド "type. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *TYPE ' type text with line number
30010 LINEC=1
30020 WHILE NOT END.OF.FILE(INP.FILE.NO)
30030 FILE.NO = INP.FILE.NO : GOSUB *GETLN
30040 FILE.NO = OUT.FILE.NO
30050 PRINT #OUT.FILE.NO, USING "#### : ";LINEC:
30060 LINEC=LINEC+1 : GOSUB *PUTLN
30070 WEND
65000 RETURN

```

uni + 外部コマンド "hd. cmd"

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

```

30000 *HD ' hexadecimal dump
30010 IF ARG<1 THEN *HD.EXIT
30020 FOR HD.I=1 TO ARG<-1
30030 OPEN.MODE=4 : FILE.NAME$=ARG$(HD.I) : GOSUB *OPEN.

```

れて各プレゼント者に到達したのも、おそらくありがたく頂戴したとき、効果を及ぼすことはないと想像されますのであしからず さて宛先は、アスキーの年刊アスキー編集部「一人一品プレゼント ××係」とします。××には、欲しいプレゼントをくれる人の名前を入れます。同姓の間もおりますので、フルネームで書くほうが良いでしょう。△


```

30040 HD.NO=FILE.NO : HD.AD=0
30050 FIELD #HD.NO,128 AS HD0$,128 AS HD1$
30060 FOR HD.J=1 TO LOF(HD.NO)
30070 GET #HD.NO,HD.J : FILE.NO=OUT.FILE.NO
30080 HD.LN$=SPACES(77)+CRLF$
30090 FOR HD.K=0 TO 7
30100 MID$(HD.LN$,1,4)=RIGHT$("0000"+HEX$(HD.AD+16*HD.K
),4)
30110 FOR HD.L=0 TO 15
30120 MID$(HD.LN$,6+3*HD.L,2)=RIGHT$("00"+HEX$(ASC(MI
D$(HD0$,16*HD.K+HD.L+1,1))),2)
30130 HDCH$=MID$(HD0$,16*HD.K+HD.L+1,1)
30140 IF HDCH$<" " THEN HDCH$="."
30150 MID$(HD.LN$,60+HD.L,1)=HDCH$
30160 NEXT : LN$=HD.LN$ : GOSUB *PUTLN
30170 NEXT : LN$=HD.LN$
30180 FOR HD.K=0 TO 7
30190 MID$(HD.LN$,1,4)=RIGHT$("0000"+HEX$(HD.AD+128+16*
HD.K),4)
30200 FOR HD.L=0 TO 15
30210 MID$(HD.LN$,6+3*HD.L,2)=RIGHT$("00"+HEX$(ASC(MI
D$(HD1$,16*HD.K+HD.L+1,1))),2)
30220 HDCH$=MID$(HD1$,16*HD.K+HD.L+1,1)
30230 IF HDCH$<" " THEN HDCH$="."
30240 MID$(HD.LN$,60+HD.L,1)=HDCH$
30250 NEXT : LN$=HD.LN$ : GOSUB *PUTLN
30260 NEXT : HD.AD=HD.AD+256
30270 NEXT : FILE.NO=HD.NO : GOSUB *CLOSE.FILE
30280 NEXT
30290 *HD.EXIT
65000 RETURN

```

uni+ helpコマンド用ドキュメントファイル"help.sys"の一例

COPYRIGHT ©1984 by ascii/pub.bok

*** PC-9801 uni+ Command menu ***

(command) (option) (action)

```

ls          -s      list file name
              -v      with cluster count ( can not redirect )
              display one file per line

cat          concatenate files

kitty       subset of cat

```

```

more        display contents of a file. one page at a time

upper       convert all lowercase characters to uppercase

lower       convert all uppercase characters to lowercase

head <N>    display <N> lines from the beginning of a file

tail <N>    display last <N> lines of a file

cd          change directory

mkdir       create a new directory

pwd         print working directory

wc          count lines/bytes of a file

grep        display lines which include specified strings

echo        echo back argument lists
            -n      no carriage return after echoback

rm          remove files or directories
            -i      request confirmation on removing
            -d      ignore write protect flags

df          display free space of disks

mv          move files

time        display/set time

date        display/set time

vi          visual editor

bc          calculator

mon         debugger

bascom      executable file generator

type        type contents of a file with line numbers

hd          dump a file in hexadecimal and corresponding characters

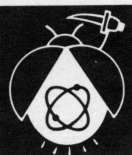
login       login other environment

help        display this

```

BUGS
No warranty. Sorry.

created: February 20th, 1984 by /usr3/pub.bok



ちょっと危険なプログラム PC-9801+PC-9881

リズムボックス マクシム トローチ

PC-9801のディスクシステムを、リズムボックスがわりにするプログラムが出来ましたので発表します。

プログラムを入力するとき、とくにデータの数値や“,”は正確に入れるようにしてください。このデータが一つでも違うと、別のリズムになってしまいます（音が出ればまだ良い方で、音が出なかったり、エラーが発生します）。そして、実行すると音を出し始めます。

ここでは、ワルツ、ロックンロール、エイトビートの3つのリズムを入れてありますが、FOR~NEXTのパラメータ、110行からのデータを変えてやることで色々なリズムを作ることができるはずです。ここではPC-9881を利用するように機械語ルーチンを組んでいますので、残念ながら他のディスクユニットは使えません。

ただ、このプログラムはディスクに対するヘッドのアクセスを利用していますので、あまり長く走らせることはマシンとディスクの

耐久性から考えると問題があることは目に見えています。御注意ください。また、必ず両方のドライブにディスクを入れるように

してください（さもないと、そのドライブが奏でる部分が聞けなくなりますし、プログラムが中断してしまうこともあります）。

プログラムリスト

```

10 CLEAR ,&H1800:DEF SEG=&H1800:N=&H3F:CLS 1:FOR I=0 TO N:READ DAT$:DAT=VAL('&h'+
+DAT$):POKE I,DAT:NEXT:FOR I=1 TO 5:READ A$:P=POKE VAL('&H10'+A$),P:CALL TAKO:NE
XT:LOCATE 25,1
20 PRINT"どれを実行しますか":LOCATE 27,7:PRINT"1. ワルツ":LOCATE 27,10:PRINT"
2. ロックンロール":LOCATE 27,13:PRINT"3. エイトビート":LOCATE 44,1
30 C=VAL(INPUT$(1)):IF C<1 OR C>3 THEN BEEP:GOTO 30 ELSE IF C=1 THEN N=7:KK=29:G
OTO 40 ELSE IF C=2 THEN N=33:KK=9:GOTO 40 ELSE IF C=3 THEN N=9:KK=31
40 BEEP:LOCATE 25,20:PRINT"今から演奏を始めます。":FOR I=0 TO 2000:NEXT
50 FOR K=1 TO KK:GOSUB *DATA.C:FOR I=1 TO N:READ P1,P2,P3:IF P1<0 THEN GOSUB*INT
ERVAL
60 POKE &H101,P1:POKE &H102,P2:POKE &H103,P3:CALL TAKO:NEXT:NEXT
70 FOR I=1 TO 1000:NEXT:LOCATE 20,21:PRINT"終わりました。もう一度実行しますか
":BEEP:K$=INPUT$(1):IF K$="Y" OR K$="y" THEN 10 ELSE IF K$<"N" AND K$<"n"
THEN 70 ELSE END
80 *INTERVAL:FOR J=0 TO P2:NEXT:READ P1,P2,P3:RETURN
90 *DATA.C:IF C=1 THEN RESTORE 110:RETURN ELSE IF C=2 THEN RESTORE 120:RETURN EL
SE IF C=3 THEN RESTORE 140:RETURN
100 DATA 8c,c8,8e,d8,8e,c0,bb,00,01,8a,67,01,8a,47,02,8a,4f,03,25,01,01,0c,90,80
,f9,4d,73,23,84,e4,75,08,b4,10,cd,1b,88,27,eb,17,8a,77,04,80,e6,01,b2,01,8a,ea,b
d,00,02,bb,00,01,b4,56,cd,1b,a2,00,01,cf,1,0,2,1,3,1,2,0,3,1
110 DATA ,45,-1,300,,,50,-1,500,,,55,-1,500,,,11,-1,300,,,6,-1,500,,,1,-1,
500,,,1
120 DATA ,16,-1,100,,,31,-1,100,,,1,1,1,-1,100,,,1,16,-1,100,,,1,31,-1,100,,,1,
46,-1,100,,,1,31,-1,80,,,1,1,46,-1,100,,,1,61,-1,100,,,1,76,-1,100,,,1,31,-1,100,
,,,46,-1,100,,,61,-1,100,,,76,-1,100,,,1,1,76,-1,80,,,1,80,,,1,0,76,-1,100,,,61,-1,100
,,,46
130 DATA -1,100,,,1,1,76,-1,100,,,1,61,-1,100,,,1,46,-1,100,,,1,31,-1,100,,,1,46,
-1,80,,,1,1,31,-1,100,,,1,16,-1,100,,,1,1,-1,100,,,1,0,46,-1,100,,,31,-1,100,,,1,
6,-1,100,,,1,-1,100,,,1,1,1,-1,80,,,1,0,1,-1,100,,,1
140 DATA ,26,-1,100,,,51,-1,100,,,56,-1,200,,,61,-1,100,,,36,-1,100,,,11,-
1,100,,,6,-1,200,,,1,-1,100,,,1

```

締切りは1984年5月末日（消印有効）とします。一人でいくつものプレゼントに応募するのも自由ですが、気が多いことがバレるとプレゼント者の心証を悪くするかもしれません。また、一人のプレゼント者に対して何通も応募するのも結構ですが、下手な鉄砲よりもたった一発の正確な射撃のほうが有効かもしれません。ゴルフに弟子入りますか？

Making of AhSKI! 1984

鎌倉編

by KIYOKAZU ARAI



年刊 AhSKI! 1984 年号が、いったいどの
ようにして作られたかを読者諸氏に伝えるの
が、この『Making of AhSKI!』である。今
年度版 AhSKI! にかかわった人間の悲喜劇
その他もろもろを、イラストと文章で皆様
にお伝えしよう。

悲劇の始まり

1983年もおしつまった仕事納めの日、編集
会議で来年の4月にパロディ版を出版するこ
とが、誰も異義を唱えないために即決されて
しまった。これが悲劇の幕明けになるとは、
この時は誰も予想出来なかったのである。い
や、それを予期し、心待ちにする者もいたか
も知れない。

鎌倉宿

編集部員やアルバイト、そしてアスキーOB
である某企業連の面々を含めて総勢27名で、

かの鎌倉の地でパロディ版宿。一同自分の
持ちネタを文書にまとめ、人数分コピーして
会議の際に全員に配布することになる。この
出発直前のワープロとコピーマシンの込み具
合は、空前絶後であった。当夜、会議の席で
これを配布したため、様々なことが展開され
た。予想外にも全員が提出したため、ネタ文
書は膨大なものになり、そのおかげで会議は
白熱化して延々7時間に及んだのである。一
説には、やたらと物事にこだわって、意味も
無く盛り上げた編集者たち(T、第二技術の
Mなど)のせいでこのようになったとも言わ
れる。しかし、今となっては定かではない。
一方、夜食買い出し部隊は彼らなりに一生懸
命、騒動を起こしてきた。上に描かれたよう
なことが起きたその後、Fはもともとない恥
を更に捨てて、ネバリにネバってプラスチッ

ク製けん玉「なんたらボール」を3個タダで
巻き上げてきたのである。そんな出来事起
こしながら、かくて鎌倉の夜は更けていった。
この時の様子は、イラストから一目瞭然であ
ろう。なお、この会議の実況テープは年刊テ
ープ・ア・スキーに含まれて、絶賛発売中
である。定価は3,000円だ。

ガ・ウォーゲーム

パロディ版製作で最も多くの犠牲者を出し
たのは、何と言ってもガ・ウォーゲーム制作
チームからであった。なにしろ、卒業まで
あと20日にこぎつけながらガウォーのために人
生を棒に振った者を始め、完成にこぎつける
まで5日連続で会社に泊り込んだ者等々、そ
の屍は山となり、その血は河となっていた
のである。本来は筆者であるはずのUと、表
参道アドベンチャーで知られるAが演じた、

私は何でこんな所にいるんだろう。いつものこの時期は楽しくスキーにいそしんでいる身なのに…。Making of なんたらかんたらとかガッツでうんぬんなんて…。こら、責任者出て
きて鬨と鬨をそれ! まー、わしゃ、えれーでいかんわ/♡ガッツでC.G.の中間色加工処理済み絵が出るプログラムを今年浪人する良い子の88ユーザーに。T.瀬古



彼らがふだん自宅でやっているままのデバッグ姿は思わず皆の涙を誘った。また、夜が明け、マグロのように横たわる彼らの姿を一目見たら、編集部を尋ねてきた読者のような反応を示すのは当然のことであろう。やっとのことでなんとかプログラムを完成して、そのまま帰らぬ人となったガ・ウォーゲームスタッフの冥福を祈る。黙禱。

スタッフたち

これら、まともではない出来事を次々と世に送り出したのは、なんともいっても彼ら AhSKI! スタッフ持ち前の性格、いや人格によるところが大きいと思われる。本来はプログラマーであるはずのSは、なにげなく書いた自分のイラストに対するあまりの反響のすさまじさにパニックを起こすし、井を壊すならこの人ありと言われたF嬢は、大雪の日に通

行人の目をもとめせず、黙々と雪のコンピュータ製作に没頭した。また、ガウォースタッフの冷たい視線など知らぬ存ぜぬで脳天気にはスキーに出掛けていったN”など、健全な行動を続けるスタッフに私は驚嘆の念を禁じ得なかった。イラストにこそならなかったが、深夜の買い出し1つにも様々な悲劇が繰り広げられた。洋風鳥の立田揚げを買いに出ている間にビルから締め出されたIやUなどは序の口。ほてい腹のMは、しょっちゅう同じコンビニエンスストアで買物をするのでついに店員に言われてしまった。「お客様、近頃度々当店でお買物をして頂いてありがとうございます。ですが、一度にお弁当を20個もお買いになられると他のお客様の迷惑になります。こういう場合は前もって予約なさって下さらないと……」。こんな言葉を浴びながらも、M

は夜毎せつせと弁当の買い出しに行ったのである。

いままで記した他にも数々のエピソードを残して散った、愛すべき AhSKI! スタッフと、この欄に掲載されなかったボツネタよ、共に永遠なれ!

おことわり

ここに掲載しましたイラストは、そのモデルに全く似ていません。従って、もしこのイラストに似た人物を、秋葉原・寺町・日本橋・すすきの・歌舞伎町・雄琴・十三等の裏路地で見掛けても、決して声をかけないで下さい。

あれば便利なマイコン

ハードソフト 大特集!!

ランドセル・コンピュータ

＊ごの春ご入学のお子様へ！
ご入学おめでとう。ランドセルの用意はお済みですか？これからの小学生に最適なキンジロー、容量は余裕の教科書8冊で通学に困ることはありません。いじめっ子は30cm物差しで一発撃退。また、ゲームをしながら鬼ごっこ、草野球等ができるため、21世紀に求められる体力とコンピュータの能力が自然に身につく、お子様の将来は安心です。



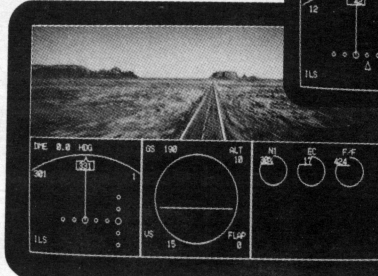
定価458,000円

フライト・シミュレータ

米航空局認定

メタ シミュレート310

計器デザインはアビオニクス
の最前線、バブリング社BB
-310とコンパチブル。現在唯
一のFAA公認パーソナルコ
ンピュータ・シミュレータ。
ぜひ一度当社ショールームで



お試しください。この素晴らしさが分かって載けるはず
です。

定価 595,000円

別売りBB-310マニュアル

定価 138,000円

駄文プロセッサ・ポアシス100J

その1・作家別語彙文体ディスク

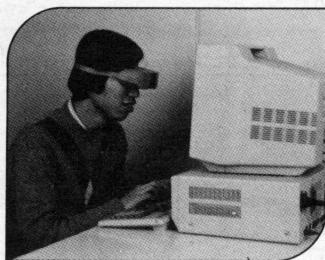
・別々の作家の比率を混ぜることができる

ワープロでも奇麗な文章が書けない、とお嘆きの方にこのダープロをお勧めします。古今東西の作家の語彙文体ディスクを用意、しかも異なる作家のものの混合が可能なので(たとえば文体は昭和軽薄体、語彙は馬琴とJ.P. ホーガンで7対3の割合で混合等)、非常に独創的な文章を作れます。また、キーボードは新開発の足親指シフト方式、肩に無理なくスピーディな作業をお約束します。

デバッグの友

驚異の収虫率。プログラマー必携の一品

「プログラムの生産効率を上げる」、という問題を解決する為に曼陀羅工科大学・空師研究室との共同研究から生まれた、雑念除去装置『バグバイザーTM』。バグバイザーTMはプログラミング・デバッグの障害になる、外部からの邪悪な雑念・誘惑・騒音を99%シャットアウトし、プログラマーを短時間で機械との対話・一体化の状態にトリップさせ、プログラムの生産効率を確実に向上させます。その高い実績は内外有名無名ソフトウェアハウス、芸能プロダクションへの納入実績が物語っています。あなたのスマートなコンピューティング・ライフの小物の一つに是非お加え下さい。なお、御注文の際は男物・女物の指定をお忘れなく!



定価 13,000円 (送料込み)

スチュワーデス物語

～白夜に燃えた若い肉体

教官!わたし、できませんそんなこと!～

国際ビジネスマンとして、世界を又にかけているおじさま方、飛行機の中で思わず発情してしまった覚えはありませんか。そんなあなたに是非おすすめしたいのがこのソフトです。世界69エアラインのスチュワーデスが貴方のものになるのです。もちろん卑猥さ超



怒級、市販の半端なソフトでは満足できない学生さんも大満足の69画面です。「毛穴までわかる精巧さ」をモットーとする当社の美術部が超ハイレゾ画面で自信を持って御贈りする芸術品です。御家族や大家さんにバレないように御送りします。て心配無用。5インチ20枚、送料込みで六万九千円。機種を明記の上書留て。

敬老用品

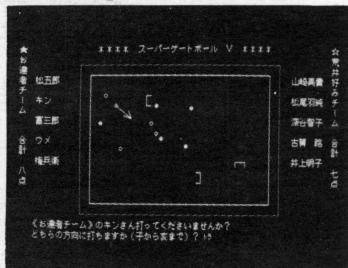
特別謝恩セール開催中

◎お年寄のために開発したキーボード『大解』

既存の一般キーボードになじめないお年寄にお勧めしたいのが、この『大解』です。老眼の方にもクッキリ区別できる大型キートップ(一寸四方)で、押し間違いもなし。不便なオートリヒート機能はもちろん無くしましたので、中気さみで手の震えが不安な方も楽々タイピングができます。(幅一尺四寸、奥行き七寸、高さ二寸) 特価三万九千八百円

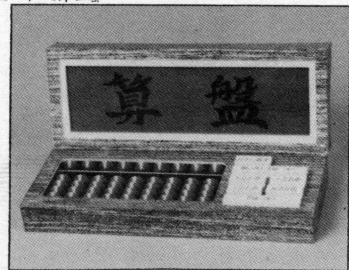
◎お年寄も楽しめる『スーパーゲートボール・V』

而て試合が中止になってしまったり、仲間が集まらない時などは、このゲートボール・シミュレータ『SG・V』でお楽しみ下さい。ルールは勿論、公式ルールブック準拠ですので、完全に試合を再現できます。こっそり練習して、仲間を驚かせれば、一人くらい心臓マヒて往ってしまうかもしれませんよムフフ。特価四千四百九十円



◎お年寄の夢をかなえた入出力装置『御破算盤』

やはり、皆さんが一番親しみを感じるのには算盤ですね。当社の『御破算盤』なら簡単、願ひましては、キーでクリアしたら後は、数式どおりに入力するだけ、答えは算盤上に石の並びとして出力されます。なんとカナの入力も可能。「数字←かな」キーでモードを切り替えれば、石の一つ一つが右から五十音に対応します。(幅七寸、奥行き三寸、高さ三寸三分) 特価四万二千八百円



◎お年寄にも読みやすい書籍シリーズ『弘法』

最近のマイコン書は内容を欲張るあまり、小さい文字の細密充填で、お年寄にはとても読めるものではありません。当社の『弘法』シリーズでは、当代きつての書家『邦島利男』氏の筆による鮮やかな草書体を採用することにより、最高の読みやすさを実現しました。BASICを学びたい方にはシリーズ最新刊の『べいしゅく入門』(特価八百九十円)をお勧めします。特に制御命令の解説には、漢文の返り点と対象させることにより、お年寄にも分かりやすくなっています。皆さんの時代を彷彿とさせてくれるこの一冊を座右の書に!

ASKII CORPORATION

トマト・ウエスト ☆ ピル・ケイト ☆ ジョーク・カワチ
スチーム・ダイジョーブ ☆ ストープ・スグニアク ☆ キーン・コーン
セント・オックス ☆ ユーミン・ヨシナビッチ ☆ ビール・バッチシ
ヨイト・リバーマウス ☆ ピース・ウエスト

■日本のアニメ技術はついに「デゼー」を超えた。心の奥から幸せを感じることが出来る映画だ。(漫画家 手塚地虫) ■誰にでもあるあの甘酸っぱい青春のときめきを思い出させてくれる。(戦国機乗り・一条雄)
■こんなに恐ろしい結末をたがふ想しなであつた。決して一人で見てはいけぬ。映画のマニトフ。 ■30億ドルを掛けたといわれるコンピュータ・グラフィックスが素晴らしい効果を上げている。(LOGOUT誌)
■巷に氾濫しているシス映画なんて目じゃないわ。あのステブが忘れられない。(女優 ホンコンビルズ) ■貧乏のどん底から這い上がりつゝひたすら耐え抜く主人公の姿が涙ぐみに勇気を与えてくれる。(NHK広報誌)

■見終ったあと、コートの襟を立てて煙草をくゆらせながら夜の巷をさまよいたくなる 男心を酔わせてくれるハードボイルドである。(編集者 ライト戸島) ■こんなメチアグチャな設定で良く作品に仕上がったね。特異点 桂木桂
■ロマンと野望が渦巻いているこの時代を、ここに描ききった 壮大な絵巻物がここに完成した。(ウォールストリートマガジン誌) ■度肝を抜くスリルとサスペンス/今世紀最高のアクション巨編だつ。(アクション俳優 牙新二)
■この世のものとは思えない最高のラストシーンは 歴史に残る名場面として語り継がれるであらう。(ザスクリーン誌) ■現代の 翔んでる女の 哀愁を感じさせるわ。まさに女性のための女性の映画ね。(編集者 福井翔子)

製作 ☆ トルー・ビックベア 監督 ☆ ビューティー・ウエスト 脚本 ☆ セット・クリック・フィールド
撮影 ☆ フレンドリー・テンブル 編集 ☆ アダルト・フロンツ 美術 ☆ ビュー・アー・エンド



by JUN SUEMI

4月28日(土)より

G・W ロードショー

下記の映画館では『LIKA カード』と、『まる秘の破壊カード』で御覧になります。



くろまへ
日本映画の伝統を今に受け継ぐ大劇場
国技館活動写真場
日本最古の活動劇場は今、燃えている。
ます席 一萬円
拝観料 砂かぶり 三萬円也

南阿呆山
世界に羽ばたくBLACK CINEMA
COMME des GANGS
今、CINEMAの熱い風が心地良い。
なお黒い服を着用していないお客様は
ご遠慮いただいております。

水筒橋
大スタジアムは興奮のルツボ
脳膜炎スタジアム
なお5月1日から3日間は
GW 3連戦のため映画はお休みです。



徹夜明けの目に朝日が眩しい
いつものネズカフェ……

Good morning



朝の陽射しの中にこぼれる笑顔が……

ネズカフェは清涼飲料。その効果は12時間も持続し、夕方飲めば深夜中に睡魔に襲われることはありません。しかも徹夜明けの身体に活力がみなぎり、翌日の原動力となります。特にコンピュータ関係に従事する方々には、覚醒作用の強い「ネズカフェ・リフレッシュコーヒー」をお勧めいたします。シリコンバレー原産の白いコーヒーにハッカをブレンドした高級覚醒飲料です。茶匙一杯で効果抜群！

明日の健康をお約束する

明日の素ゼニニナルフーズ AGF



Refresh Coffee 19600円

Modern Coffee 1200円

AhSKII

株式会社 **アスキー**

〒107 港区南青山5-11-5 住友南青山ビル

☎03-486-7111(代) Printed in JAPAN 1984

ISBN4-87148-710-7 C3055 ¥370E

昭和59年4月1日発行

定価370円